

公益社団法人北海道観光振興機構 御中

令和5年度 テーマ別観光推進事業
「ケア・ツーリズム調査事業」
調査報告書

事業目的 [1]

北海道のケア・ツーリズムに係る調査・分析
(既存コンテンツ・カスタマーニーズ・先進地事例・
旅行会社・医療施設受入体制調査・分析)
「北海道のケア・ツーリズム」推進への参考データ収集
効果的な打ち手の示唆

令和6年3月8日

「令和5年度 ケア・ツーリズム調査事業」受託コンソーシアム

目次

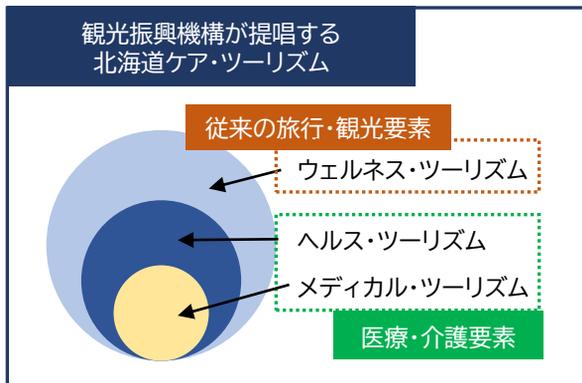
事業目的[1]

(0)事業実施結果	P. 3
(0)ケア・ツーリズムとは？	P. 4
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査	P. 8
(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査	P.143
(3)中間とりまとめ	P.180
(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査	P.181
(5)インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて の調査	P.197
(6)独自追加施策 現物協賛・広告換算	P.214
(7)全体考察	P.217

全体スキーム

次年度へ向けて足場を固めるためのスキーム

A.調査・分析



- ・ ケア・ツーリズムの定義付け
- ・ コンテンツ、素材の洗い出し
- ・ ニーズ状況調査
- ・ 受入体制調査
- ・ 北海道のコアコンピタンスの明確化



①「北海道ケア・ツーリズム」の定義を
確立する。

②「北海道ケア・ツーリズム」推進へ
向けた方向性を見出す。

報告書は、「事業目的1」

B.WEB・SNS(HOKKAIDO LOVE!)

- 北海道の観光情報発信基盤として、
- ・ 質の高い情報発信を行う
 - ・ 北海道ファンとの関係強化を図る



③サイト集客強化、サイトの質向上を図る。



『A.調査・分析の結果』と
『HOKKAIDO LOVE!』との連動



④「北海道ケア・ツーリズム」の啓蒙を行う。

⑤調査・分析結果の検証を行い、
次年度の施策に役立つ情報を得る。

報告書は、「事業目的2」

項目	目標値	実績
(1)「北海道のケアツーリズム」に関する既存コンテンツの洗い出し及び道外のカスタマーに対するニーズ調査		
コンテンツや素材の洗い出し／自治体、DMO・観光協会	20件	24件
健康施設・自費診療病院・クリニック	－	27件
自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所	－	31件
(2)道外のカスタマーに対するニーズ調査		
ウェルネス・ヘルス	400サンプル	451サンプル
リハビリ・レスパイト	－	10サンプル ※4,000事業所に依頼
(3)国内のケアツーリズム先進地に関する調査	4施設	4施設
(4)北海道ケアツーリズムの新たなニーズ等の調査	5件	6件(回答5件、未回答1件)
(5)インバウンドを対象とした北海道ケアツーリズムの受入体制等の調査	10件	10件
(6)独自追加施策		
ケア・ツーリズムに関するセミナー	5回	3回
「リハビリテーション・ツーリズム」研修への受入	－	3回

(0) ケア・ツーリズムとは？

「ケア・ツーリズム」における当コンソーシアムの考え方

ケア・ツーリズムとは？

近年の健康志向の高まりを受け、また心身の多様なニーズや価値観に対する新たなアプローチとして「ヘルス・ツーリズム」「ウェルネス・ツーリズム」「メディカル・ツーリズム」等が注目を集めているが、それらの総称として貴機構が名づけたもの。

ー北海道として「ケア・ツーリズム」推進していくためにー

「ケア・ツーリズム」に
関係する人々

- ・本人・家族や友人などを含む利用者/旅行者
- ・旅行会社・観光関係者
- ・医療機関・関係者

による、北海道の「ケア・ツーリズム」の「定義の共有」が必要

「北海道ケア・ツーリズム」の定義

心身の充足を求めて行う旅「からだ、こころ、満たす旅」

をケアツーリズムと定義し、対象と目的別に4つのコテゴリーで構成。

- ①ウェルネス・ツーリズム
- ②ヘルス・ツーリズム
- ③リハビリ・ツーリズム
- ④レスパイト・ツーリズム

【「北海道のケア・ツーリズム」の構成】

ー下記の目的を、旅先である「北海道」での滞在を通じて、果たすことができるー

状態	カテゴリー	目的
健康	①ウェルネス	健康な人を もっと 健康に
	②ヘルス	健康な人を ずっと 健康に
非健康	③リハビリ	非健康な人とその家族に 活力 を与える
	④レスパイト	非健康な人とその家族に 癒し を与える

これらを、「北海道ケア・ツーリズム」の定義として共有し、北海道における「観光振興」と「観光の高付加価値化」の新機軸となる、「北海道の新しいツーリズム」として、確立させます。

(0) ケア・ツーリズムとは？

「ケア・ツーリズム」における当コンソーシアムの考え方

健康な方を対象としたウェルネス／ヘルス・ツーリズムに加え、
非健康な方を対象にしたリハビリ／レスパイト・ツーリズムをも含めた形で、
「ケア・ツーリズム」を定義いたします。

2025年日本は人口の5人に1人が75歳以上の後期高齢者になる超高齢化社会を迎えます。

現在日本では、健康寿命を終えてから生命としての寿命が終わるまでの期間が約10年あります。健康寿命の延伸はもちろん大切ですが、健康寿命を終えてから、つまり、障害を抱えてからの10年をどう豊かに生きるかということもまた重要な事でもあります。

そしてこの課題は、今後高齢化の大波が押し寄せるアジアにおいても共通のものであります。ゆえに、日本人、外国人問わず、非健康な人に対しても旅行を通じて活力や癒しを与えることが、従来の「旅行」の裾野を広げ、「観光の高付加価値化」を促進します。



状態	カテゴリー	目的
健康	ウェルネス	健康な人を もっと 健康に
	ヘルス	健康な人を ずっと 健康に
非健康	リハビリ	非健康な人とその家族に 活力 を与える
	レスパイト	非健康な人とその家族に 癒し を与える

● **ウェルネス・ツーリズム** とは

旅先での地域資源に基づいた心身の活動により、健康の増進を図ることができる旅行のこと。

● **ヘルス・ツーリズム** とは

旅先での医学的根拠に基づいた検査や加療により、健康の維持を図ることができる旅行のこと。

● **リハビリ・ツーリズム** とは

旅先でのリハビリを中心とした医療サポートを受けながら、地域資源を通じた心身の活動を行うことで、人生への活力を得ることができる旅行のこと。

● **レスパイト・ツーリズム** とは

旅先での介護サポートを受けながら、地域資源を通じた心身活動を行うことで、人生における癒しの時間を得ることができる旅行のこと。

※レスパイト

レスパイト(respite)とは、「一時休止」「休息」「息抜き」という意味。介護現場では、家族などの介護者が一定の期間、介護から解放され、適度な休息やリフレッシュするという意味で使われています。

※メディカル・ツーリズム

従来でいうところの「メディカル・ツーリズム」は、「ヘルス・ツーリズム」と「リハビリ・ツーリズム」の双方を合わせたものを指すことになります。

(0) ケア・ツーリズムとは？

「北海道ケアツーリズム」の構成

－北海道において－

滞在基盤となる**目的** × 滞在基盤となる**施設** × 滞在基盤となる**サービス**を得られること

北海道において、滞在基盤となる目的を達成することが可能な施設とサービスを得ることのできる、「**トータルプラン**」を提供することが必要。

状態	目的	施設	サービス			
			医療系	介護系	健康系	旅行系
健康	ウェルネス －もっと健康に－	宿泊／ 飲食施設			例:美容、食、 マインドフルネス、ヨガ	従来の 観光素材
	ヘルス －ずっと健康に－	・ 運輸機関			例:健診	従来の 観光素材
非健康	リハビリ －活力を与える－	宿泊／ 飲食施設 (バリアフリー 含む)	自費リハビリ 自費看護	(必要な場合は 自費介護)	あっても 良い	従来の 観光素材
	レスパイト －癒しを与える－	・ 運輸機関 (バリアフリー 車両を含む)	自費看護 自費リハビリ	自費介護	あっても 良い	従来の 観光素材

[例1]

目的を「**ウェルネス**」としたケア・ツーリズム

×

施設「従来の宿泊／飲食施設・運輸機関」 → 従来の温泉旅館／従来の送迎車両

×

サービス「健康系コンテンツ」 → 地産地消のヘルシー食・ヨガ

「既存の観光コンテンツ」 → 従来の観光



[例2]

目的を「**リハビリ**」としたケア・ツーリズム

×

施設「従来またはバリアフリー施設・車両」 → バリアフリーのホテル・バリアフリー車両

×

サービス「自費で行うリハビリ」 → 行程中終始同行の理学療法士

「自費で行う看護」* → 行程中終始同行の看護師

「既存の観光コンテンツ」 → 従来の観光



*滞在中の処置や安全確保のため

※自費で受ける医療系・介護系のサービスについて

医療サービスや介護サービスは、医療保険や介護保険といった公的保険でその費用の一部を負担することが一般的です。しかし、旅行先での同行といった訪問型の医療サービスや介護サービスに対しては公的保険を使用することができません。一方で、全額自費負担の場合にはそれが可能となります。ゆえに、「ケアツーリズム」において、看護師、理学療法士、介護士などの医療・介護従事者を同行させる場合やホテルに訪問させる場合には全額自費負担での利用となります。

ここまで「**広範囲**」かつ「**深度の高い**」定義づけを行い、
ケア・ツーリズムを実践する地域は、日本にはまだありません。

本年を「北海道におけるケア・ツーリズム元年」とし、調査・分析を開始。
次年度以降の事業戦略立案、受入体制整備、受入機関関係構築、新たなコンテンツ・
滞在プランの造成と実証、周知広報(啓蒙)へ繋げ、
北海道をケア・ツーリズムの最先進地として位置づけ、確立をめざします。

既存のコンテンツや素材の洗い出しについての考え方

①既存コンテンツや素材を洗い出すため、道振興局、自治体、DMO・観光協会へヒアリング

さらに + 「北海道のケア・ツーリズム」について、リハビリ・ツーリズム、レスパイト・ツーリズムも含めた展開のためには...

以下2つの項目についても、デスクリサーチによる洗い出しとヒアリングが不可欠であると考えます。(自主提案にて提案いたします。)

②「健診施設」・「自費診療病院・クリニック」

③「自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所」

①～③すべてを洗い出し、ヒアリング調査を行うことで、深度のある「北海道のケア・ツーリズム」の効果的な打ち手の示唆が可能となります。

さらに、エリアごとに洗い出すことにより...

- ・エリアごとの現状の受入体制を把握し、課題を認識することができます。
- ・今後の受入関係者間の関係性の構築にも役立つ事が可能です。

【ケア・ツーリズム目的別 洗い出し・ヒアリング対象】

状態	目的	施設	サービス			
			医療系	介護系	健康系 ①	旅行系
健康	ウェルネス -もっと健康に-	宿泊／ 飲食施設 ・ 運輸機関	/	/	例:美容、食、 マインドフルネス、ヨガ	従来の 観光素材
	例:健診 ②				従来の 観光素材	
非健康	リハビリ -活力を与える-	宿泊／ 飲食施設 (バリアフリー 含む) ・ 運輸機関 (バリアフリー 車両を含む)	自費リハビリ 自費看護	(必要な場合は 自費介護)	あっても 良い	従来の 観光素材
	レスパイト -癒しを与える-		自費看護 自費リハビリ	自費介護	あっても 良い	従来の 観光素材

ヒアリング調査方法

下記の方法で、ケア・ツーリズムの4カテゴリーの情報を洗い出します。

(1)調査目的

ケア・ツーリズムの促進に向けて、現在の状況・取り組み実態、課題認識、今後の意向について情報収集をしました。

(2)調査対象・方法

対象① 既存コンテンツや素材に関する自治体、DMO・観光協会

方法：電話・メールインタビューを行いました。

※自治体、DMO・観光協会では内容を把握していないコンテンツについては、コンテンツ実施企業にインタビューを行いました。
対象コンテンツは、企画提出後のデスクリサーチの継続により、一部企画書記載のものから変更しております。

対象② 「健診施設」・「自費診療病院・クリニック」

方法：電話インタビューを行いました。

対象③ 「自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所」

方法：電話インタビューを行いました。

(3)調査期間

2023年10月

➡調査内容は、次ページ

ヒアリング調査方法

(4)調査内容

対象① 既存コンテンツや素材に関する自治体、DMO・観光協会、コンテンツ実施企業

- ・具体的な取り組み内容
- ・受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)
- ・過去の受入実績(対象・数量・事例等)
- ・受入(取り組み)開始の経緯
- ・受入にあたっての課題
- ・受入(取り組み)のメリット・デメリット
- ・地域内／外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)
- ・今後の受入(取り組み)意向
- ・その他

対象② 「健診施設」・「自費診療病院・クリニック」観光と組み合わせたの健診や自費診療サービスの提供に関して

- 実績の有無 →ありの場合
 - ・具体的な取り組み内容
 - ・受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)
 - ・過去の受入実績(対象・数量・事例等)
 - ・受入(取り組み)開始の経緯
 - ・受入にあたっての課題
 - ・受入(取り組み)のメリット・デメリット
 - ・地域内／外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)
 - ・今後の受入(取り組み)意向
 - ・その他
- なしの場合
 - ・今後の受入(取り組み)意向の有無
 - ➔ありの場合 … 希望する取り組み内容
 - ➔なしの場合 … その理由や課題があれば
 - ・その他

対象③ 「自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所」観光と組み合わせたの自費看護・リハビリ・介護サービスの提供に関して

- 実績の有無 →ありの場合
 - ・具体的な取り組み内容
 - ・受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)
 - ・過去の受入実績(対象・数量・事例等)
 - ・受入(取り組み)開始の経緯
 - ・受入にあたっての課題
 - ・受入(取り組み)のメリット・デメリット
 - ・地域内／外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)
 - ・今後の受入(取り組み)意向
 - ・その他
- なしの場合
 - ・今後の受入(取り組み)意向の有無
 - ➔ありの場合 … 希望する取り組み内容
 - ➔なしの場合 … その理由や課題があれば
 - ・その他

ヒアリング調査結果

対象① 既存コンテンツや素材に関する自治体、DMO・観光協会

*デスクリサーチ結果によるリストアップ

ウェルネスコンテンツ

SHIRO(砂川市/空知振興局)
アグリツーリズム・ワインツーリズム(岩見沢市/空知振興局)
石狩ハマナス 再生プロジェクト(石狩市/石狩振興局)
京極ふきだし公園(京極町/後志振興局)
岩内海洋深層水(岩内町/後志振興局)
ワインツーリズム(余市町・仁木町/後志振興局)
別荘リゾート(ニセコ町・倶知安町/後志振興局)
「北限のブナ林」「歌才のブナ林」の 森林浴(黒松内町)
サイクルルート(稚内市/宗谷振興局)
サウナ(上富良野町/上川振興局)
香りの里ハーブガーデン(滝上町/オホーツク振興局)
ハマナス蒸留水(北見市/オホーツク振興局)
森林浴(置戸町/オホーツク振興局)
ワイン樽サウナ(池田町/十勝振興局)
モール温泉のガー デンスパ体験(音更町/十勝振興局)

ヘルスコンテンツ

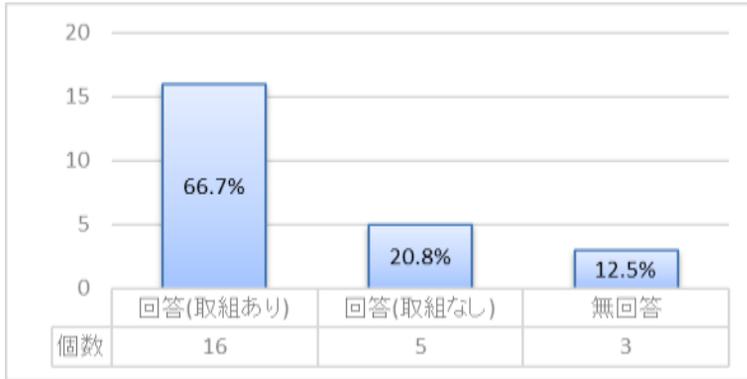
ホースセラピー(浦河町/日高振興局)
ホースセラピー(白老町/胆振振興局)
登別カルルス温泉での湯治(登別市/胆振振興局)
タラソセラピー(乙部町/檜山振興局)
豊富温泉(豊富町/宗谷振興局)
森林セラピー基地で の森林セラピー(津別町/オホーツク振興局)
海洋深層水・laus+(羅臼町/根室振興局)
クジラ・イルカ・バードウォッチング(羅臼町/根室振興局)

その他コンテンツ

ユニバーサルツーリズム(千歳市/石狩振興局)

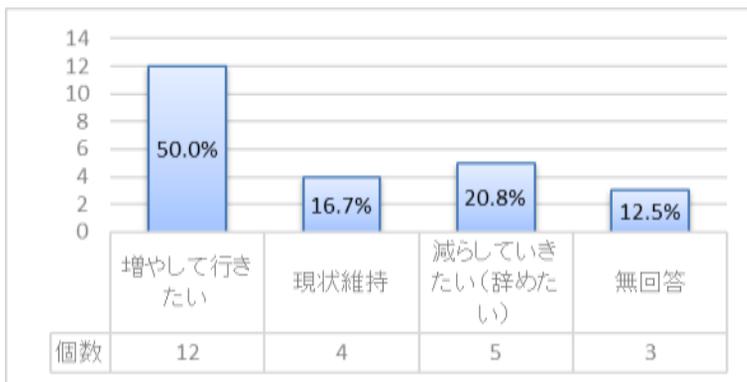
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

取組状況



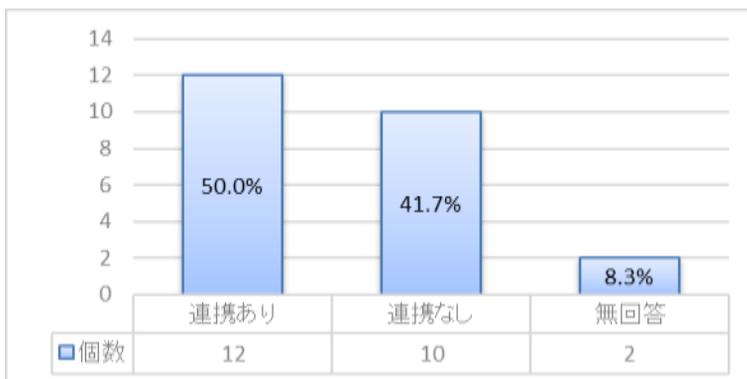
取組あり
16件、66.7%、
取組なし
5件、20.8%
無回答
3件、12.5%
の結果となった。

今後の受け入れ意向



増やしていきたい
12件、50.0%、
減らしていきたい
5件、20.8%
現状維持
4件、16.7%
無回答が
3件、12.5%
の結果となった。

地域内外関係機関との連携状況



連携ありが
12件、50.0%、
連携なしが
10件、41.7%
無回答が
2件、8.3%
の結果となった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

調査内容

分類項目	コンテンツ名
相手先	回答
1. 具体的な取り組み内容	回答
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	回答
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	回答
4. 受入(取り組み)開始の経緯	回答
5. 受入にあたっての課題	回答
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	回答
7. 今後の受入(取り組み)意向	回答
8. 地域内／外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	回答

※以下調査内容の無回答の項目は省略

ウェルネス	アグリツーリズム・ワインツーリズム(岩見沢市/空知振興局)
相手先	岩見沢市観光協会
1. 具体的な取り組み内容	アグリツーリズムとしては、野菜&果物の収穫体験、豆腐作り体験、ワインツーリズムではワインタクシーの利用での訪問あり。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	アグリツーリズムに関しては農家の方が携わることが多いため、時期的な調整などに配慮。またワインタクシーはドライバーさんの研修などを行い受入態勢を強化。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	野菜収穫体験は今年の6月学生40名ほどで訪問実績あり、豆腐体験は5月インバウンド60代6名で対応、ワインタクシーは昨年度7月から10月まで行い、9台23名乗車。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	アグリツーリズムに関しては2016年岩見沢市農業体験受入組織を設立し、農業士会、JA、体験事業者とは協力体制ができている。岩見沢市などとともに取り組みを開始。ワインタクシーも空知のワイナリーは市街地より遠いため二次交通の不便さを解消するため、2016年より取り組みをはじめた。
5. 受入にあたっての課題	アグリツーリズムは受入農家の繁忙期に体験を希望する方も多く、日程調整などが必要なことが多い。ワインタクシーは7月～10月までとなっているが、そのほかの時期でも希望される方もいるため、時期の検討が必要。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:地域の方と交流できたことを喜んでくれる方が多い。 デメリット:受入先が大変だったと言う方が多い。
7. 今後の受入(取り組み)意向	受入については今後増やしていきたいと思っている。さまざまな体験ができる場所を活かして、滞在する時間・日数を増やしていただき、リピート率を高めていきたいと思っている。
8. 地域内／外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	体験事業者とは協力体制が出来ている。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	石狩ハマナス 再生プロジェクト(石狩市/石狩振興局)
相手先	石狩観光協会
1. 具体的な取り組み内容	主体は石狩市となるが、ハマナス関係で石狩ガイドボランティア活動を推進している。地域の公園の自然や歴史の説明などをするもので、実績もある。(有料)
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	観光客と石狩ガイドボランティアの方を結びつけるため、HPIにて予約を受け付けて手配をしている。(時期によりオン/オフあり)
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	年間、国内中心100名以下で毎年結構差がある
4. 受入(取り組み)開始の経緯	石狩ガイドボランティア活動は10年以上たっているため、始まりの経緯は明確ではない。
5. 受入にあたっての課題	ガイド人数が少なく高齢者が多いため、対応力が低く、外国語対応等はほぼできない。総合的に人手不足が課題。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	ガイドボランティアの方々は地域愛が強く、それを知って頂きたい気持ちで活動しているため、顧客も喜んでくれていると思う。来られる顧客も年齢層も高く国内がほとんどである事はデメリット。
7. 今後の受入(取り組み)意向	興味はあるが、人手不足で積極的にはならない
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	興味はあるが、人手不足で積極的にはならない

ウェルネス	京極ふきだし公園(京極町/後志振興局)
相手先	京極町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	京極ふきだし公園 芽根ラスが豊富なおいしい水が年中飲める。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	定期的に水質検査を行っている。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	年間、70~80万人が訪れている。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	その昔、町民の生活用水から始まり、昭和60年に名水100選に選ばれてから徐々に人気が出た。
5. 受入にあたっての課題	観光客が出すゴミが問題となっている。車の長時間駐車も解決したい。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:国内外からの人で賑わっている点 デメリット:ごみ問題
7. 今後の受入(取り組み)意向	今後も増やしていきたい。特に冬場の観光客の確保が課題。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	イベントを通じて訪問者を増やしたい。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	岩内海洋深層水(岩内町/後志振興局)
相手先	岩内観光協会
1. 具体的な取り組み内容	深層水を使った商品開発 2種類の温泉
2. 受入にあたっての配慮 (ハード面・ソフト面)	深層水のサポートセンターを運営し、祭りなどのイベントを実施している。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	把握していない。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	深層水は元々運送などに利用されていたが、化粧品などに使われて多様化を目指している。
5. 受入にあたっての課題	商品化に向けて多様なパートナーが必要だが少ない状況。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	深層300mなので遺物が少なく、質が高い。
7. 今後の受入(取り組み)意向	深層水に関しては商品化して販売するのが第一の目標となり、それによる観光客の増槽は付加的な効果とみている。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	良い機会があれば連携・協力し町をもっと活性化できるとうれしい。

ウェルネス	ワインツーリズム(余市町・仁木町/後志振興局)
相手先	余市町商工観光課
1. 具体的な取り組み内容	ワインツーリズムプロジェクトは、仁木町と共にワイナリーのパンフレットの制作をしている。
2. 受入にあたっての配慮 (ハード面・ソフト面)	ワイナリーに行く手段がないので余市仁木観光タクシープランを用意している。行くところは決まっているが、訪問先(ワイナリーやレストラン)へはお客様ご自身で予約するプラン。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	コロナの影響があったので数字ははっきりと出ていない。『La Fête des Vignerons à YOICHI』(年1回開催)は1,200名規模でチケット完売。道外(主に首都圏)のお客様が多い。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	ワイナリーが増えたので当初はワイナリー巡りツアーを企画する予定だったが、ワイナリーは小規模が多く受け入れが難しいことが判明し、パンフレット制作のみになった。
5. 受入にあたっての課題	ワイナリーは小規模が多く観光の受け入れが難しい。19件のうち3件のみ見学受け入れ可能。交通手段がない。宿泊施設が少ない。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:日頃飲めないワイン、札幌や東京で飲めないワインが飲める。 デメリット:飲食店が少ない。希少なワイン目当てでいらしてもないときも。
7. 今後の受入(取り組み)意向	ワイナリーを増加したい。 ワインとセットになる良い食材も多いので飲食店と連携してPRしたい。 ワイナリー巡りや希少なワインを飲めるレストランを巡るツアーや団体ツアーができれば非常に嬉しい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	コンテンツとしては果樹園やトマト園、グランピング等。 ワイナリー同士は連携している。
9. その他	「ワインツーリズムプロジェクト」は平成27年に取得した交付金事業の名称をそのまま使っているだけ。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	別荘リゾート(ニセコ町・倶知安町/後志振興局)
相手先	株式会社ニセコリゾート観光協会
1. 具体的な取り組み内容	ウェルネス目的での来訪者(健康志向の強いお客様)はいる。ただし、ニセコでの滞在そのものが目的であり、滞在しながら時にウェルネスな体験をするといった方が多いように思う。※統計的な情報はなし。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	宿泊施設において、フィットネスクラブ、温泉、マッサージやエステを提供しているところが増えている(例:ヒルトンニセコ、空の抄)。ヨガは町内在住のインストラクターが教室を開いたり、出張イベントを開催している。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	実績1 2023年度 有島の朝と綺羅乃湯を楽しむ朝ツアー・約3キロのフットパスコースをガイド付きで歩き、歩き終わった温泉入浴、焼きたてパン・コーヒーの朝食を楽しむツアーを造成。(2回実施、延べ12名参加) 実績2 アドベンチャーツアーの自然食ランチ(POWBAR) 9月11日のATWSのDOAにおける自然食ランチ(POWBAR)の評価が高かった。(1回実施、参加者数20名)
4. 受入(取り組み)開始の経緯	北海道観光振興機構の地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業の重点支援項目の一つに「ケア・ツーリズム」があったことで着目した。
5. 受入にあたっての課題	「ケア」「健康」とうたうよりも、フットパス、温泉、ヨガなど具体的な活動在前面に出して魅力を訴えるようにしている。ターゲットは札幌等日帰り客、滞在客、リピーター、近隣住民等、ニセコでの一定時間の滞在を期待できる層を狙っている。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	マスのトレンドにはなりづらいと感じている。ニセコ滞在の楽しみ方の一つとして、ブラッシュアップしていきたい。また機会を見つけてモニターツアーなどでブラッシュアップしていきたい。
7. 今後の受入(取り組み)意向	受入の方法の一つとして、ヨガイベントなどMICE支援の一環として取り組んでいきたい。ニセコの知名度、自然、清涼感、地元の食材をふんだんに使った料理といったニセコのブランドイメージは、健康志向の強い客層をターゲットにしたイベントの舞台として競争力がある。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	2024年度のリゾートツアー、フラダンスイベント等の問合せをいただいている。主催はイベント会社や旅行会社であり、当協会では実現に向けた現地窓口(イベント会場、宿泊、飲食、体験コンテンツ等の紹介)を担う。
9. その他	MICE全般ではあるが、地方部においては受入人数が100人未満の小さいものが多い。現在の北海道観光振興機構のMICE支援は100名以上で10万円~となっているが、地方部の実態に合いづらく、少額でも良いので都市部以外開催の小規模MICE支援策を設けて欲しい。

ウェルネス	ハマナス蒸留水(北見市/オホーツク振興局)
相手先	北見市観光協会
7. 今後の受入(取り組み)意向	現状、【ヘルスツーリズム】という観点でのコンテンツ造成は行っていない。健康という新しい考え方で地域の観光振興ができるのであれば、前向きに検討して取り入れていく事も考えていかなければ、と思う。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	上記の通り【ヘルスツーリズム】という観点でのコンテンツ造成を行っていない。現在あるコンテンツや温泉などの素材が、健康志向の高いお客様にどのように受け取っていただけるのかは気になる部分ではある。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	香りの里ハーブガーデン(滝上町/オホーツク振興局)
相手先	滝上町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	森林セラピーを行っているが、それを前面に打ち出してはいない。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	医学的根拠がないので、あまりアピールできないでいる。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	年間(春～秋)、400名くらい。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	15年位前から開始
5. 受入にあたっての課題	町全体の人口が減っているなかで、ガイドの確保が問題となっている
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:たくさんの人が来ること デメリット:今のところなし
7. 今後の受入(取り組み)意向	増やしていきたいが、受け入れのキャパをオーバーしないようにバランスを取っていきたい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	健康目的に限らないが陽殖園、香りの里ハーブガーデンなどと連携は取れている
9. その他	今後、スポーツ愛好者の受け入れを取り組んでいきたい

コンテンツ⑧	「北限のブナ林」「歌才のブナ林」の 森林浴(黒松内町)
相手先	黒松内町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	ブナ林の森林浴を中心とした観光。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	商品を開発している。森林を活用し、ヨガ、ハーブティー(お茶)、木の実などでコンテンツ開発をすでに町内対処に実施している。今後町外に拡大していく予定。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	現在は把握していない。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	30年前からブナ林を中心に自然と共存できる町造りをしてきた
5. 受入にあたっての課題	宿泊施設の不足、ガイドの不足
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:町の活性化
7. 今後の受入(取り組み)意向	昔から進めた地域の発展方向なので、どんどん拡大していきたい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	課題解決には至ってないが、他地域との協力連携を進めている。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	サイクルート(稚内市/宗谷振興局)
相手先	北海道豊富町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	サイクリングイベントの実施。 看板整備など。
2. 受入にあたっての配慮 (ハード面・ソフト面)	ハード面:道路整備、看板整備が十分にできていない。 レンタサイクルの拠点を3か所で設け、各場所で貸出、乗り捨てができる仕組みを構築している。 ソフト面:自治体、関係機関の温度差があり十分な取組ができていない。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	<ul style="list-style-type: none"> ・200名~300名規模のロードレースを20年近く実施している。 ・春のサイクリングイベント、30年程実施。 ・秋のサイクリングイベントを2019年頃より実施(20~40名程参加) ・シーニックバイウエイなど関係機関と連携、試走会、ナショナルサイクリングルート制定に向け連携し、試走会、サイクルラックの整備等を実施している。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	自治体としては30年以上前に、自転車健康都市宣言している。2次交通が不便な為、移動手段としてのレンタサイクルを整備。関係機関とサイクルツーリズムについて推進、連携。2019年頃より観光協会でもサイクルツーリズムを推進、様々なタイプの自転車購入。レンタサイクル拠点を1ヶ所から3ヶ所に増設。
5. 受入にあたっての課題	自転車販売事業者がない為、メンテナンスがすぐにできない。 レンタサイクルの買い替えが予算が十分でない為、制限される。 道路、看板など費用がかかることに対して中々進まない。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:2次交通課題解決、地域住民の健康増進、経済波及。 デメリット:道路状況が悪い箇所があり、事故の原因となりうる。
7. 今後の受入(取り組み)意向	回答無し。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	いる。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	森林浴(置戸町/オホーツク振興局)
相手先	置戸町役場 産業振興課
1. 具体的な取り組み内容	毎年1~2回森林ウォークを実施。おけと勝山温泉ゆうゆではコテージやトレーラーハウスに宿泊可能で、本州の方が2週間程度滞在することも。今後SUP体験も実施予定だったが、悪天候で当日中止に。また実施したいと考えている。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	おけと勝山温泉ゆうゆでWi-Fiを設置した(ワーケーションとして使えないか話が出ている)。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	おけと勝山温泉ゆうゆの2023年9月宿泊実績は600名ほど。ほかの月も600~700名ほどいる。(じゃらん?の泊まってみたいコテージランキングで1位になったことがあり、人気がある)森林ウォークもとても人気で、参加者にゆうゆや町内で使える食事券などを渡している。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	わからない。
5. 受入にあたっての課題	町内の宿泊施設がおけと勝山温泉ゆうゆと若者交流センターの2件しかなく、団体の受け入れは難しい。(ゆうゆには中型バスもある)北見市内で宿泊して日帰りということは可能。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	イベントに町内で使える利用券をつけるなど、参加するだけでなく町内にもメリットがあるよう工夫している。デメリットは特に感じていない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	続けていきたい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	町内で使える利用券をつけるなどすでに連携している。ゆうゆにはお世話になっているので。

ウェルネス	サウナ(上富良野町/上川振興局)
相手先	白銀荘
1. 具体的な取り組み内容	サウナ(ロウリュ・雪ダイブで人気)。サウナ目的の若い方がかなり増えている。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	サウナ客に対しては特になし。館内はバリアフリーになっているが、サウナはなっていない。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	現在サウナ目的のお客様が3~4割。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	サウナ自体は創業した27年前から営業している。ロウリュは3~4年前から。たまたまサウナの修繕工事をしたとき業者に「こんなの流行ってるよ」と紹介されて設置した。
5. 受入にあたっての課題	以下、デメリットに対しての調整。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	デメリット:あまり広くはないのでサウナ目的のお客様がサウナに並び、浴室内なので風呂目的のお客様の邪魔になってしまっている。
7. 今後の受入(取り組み)意向	現時点でもツアー等の組み込みはあり、今後もウェルネス/ヘルスツーリズムのツアー等あれば積極的に参加したい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	第三セクターで役場の持ち物であり、観光協会や旅館協会等と連携有り。民間企業とは特に連携していない。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス	モール温泉のガー デンスパ体験(音更町/十勝振興局)
相手先	十勝川温泉観光協会
1. 具体的な取り組み内容	なし。
7. 今後の受入(取り組み)意向	ヘルスツーリズムについて、先がよく分からない部分が多く宿泊施設での対応が可能かどうかも含めて、検討していく必要がある。各宿泊施設から特にヘルスツーリズムについての問い合わせなどはない。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	今のところ、特に考えていない。

ウェルネス	ワイン樽サウナ(池田町/十勝振興局)
相手先	池田町観光協会ツカダMSから十勝まきばの家に確認いただいた回答
1. 具体的な取り組み内容	ワイン樽サウナはレジャー目的の受け入れであり健康志向のお客様向けとは考えていない
7. 今後の受入(取り組み)意向	受け入れの意思なし
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	連携なし
9. その他	観光協会としても健康志向のお客様受け入れの実績はなし、現在も特に取り組みはない。

ウェルネス	SHIRO(砂川市/空知振興局)
相手先	SHIRO本店
	無回答

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヘルス	豊富温泉(豊富町/宗谷振興局)
相手先	北海道豊富町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	湯治(とうじ)目的利用者の受け入れ。特にアトピーや乾癬(かんせん)といった皮膚疾患でお悩みの方が療養に来町。
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	<p>ハード面: 1997年ふれあいセンター湯治浴槽設置 1999年町営豊富温泉保養宿泊所「湯快宿」オープン 2000年アトピーセミナー開催 2017年町営日帰り入浴施設ふれあいセンターが、温泉利用型健康増進施設として認定</p> <p>ソフト面:湯治利用者の受入体制・サポート 2009年コンシェルジュデスク設置 公営・民営、療法で自炊型宿泊施設やシェアハウスの運営 ミライノウジ https://toyotomi-onsen.com/</p> <p>2015年藤澤皮膚科クリニック×NPO法人健康と温泉フォーラム開催 2015年温泉力地域協力協定(豊富町・大分県竹田市・秋田県仙北市)</p>
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	<p>2001年～湯治体験バスツアー実施 実数不明 2003年～観光協会限定湯治宿泊パック設定 実数不明 1週間滞在湯治ツアー実施</p> <p>2020年湯治客入込 3,414人 内湯治相談515人</p> <p>他に、湯治×ワーケーション、湯治×冬季モニターツアー等実施 2023年ヘルスツーリズムアカデミー実施(首都圏在住看護職関係者)</p>
4. 受入(取り組み)開始の経緯	<p>1990年代北海道内の主に乾癬の方たちの中で効能が口コミで広がる。 2000年代アトピーの方たちにも口コミで広がる。 1998年と2003年に道立衛生研究所の研究によりアトピーや乾癬に効果を認める報告がされる。</p>
5. 受入にあたっての課題	<p>食事制限がある方がいること。清掃等、宿泊事業者負担が増加すること。 観光シーズン(主に6月～8月)、湯治利用希望者の宿泊施設が確保できないこと。来町までの距離が遠く、運賃が高いこと。来町後の移動手段、交通網が弱いことなど。</p>
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	<p>メリット:関係機関への経済波及効果、地域存続 関係人口、コミュニティの形成、移住者の増加 デメリット:観光客・湯治利用者受入のキャパシティ 受入体制が十分でない状態でのサービス低下</p>
7. 今後の受入(取り組み)意向	<p>増やしていきたい。 新規顧客層の確保・滞在時間の延長・消費単価の増額。 観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業を採択、取組中。 従来の湯治利用者受入+健康経営企業の誘致。 ヘルスツーリズムプログラム認証取得を目指す。</p>
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	<p>全てはできていない。 一部宿泊事業者や体験プログラム事業者と連携して実施。 地域内外ともに、連携できている所、できていない所が混在。</p>

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヘルス	タラソセラピー(乙部町/檜山振興局)
相手先	バリアフリーホテル あすなろ
1. 具体的な取り組み内容	タラソセラピー入浴
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	全館、車いすで移動可能。入浴も車いすのままでも可能。資格を持った介護士がいる。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	把握していない。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	7, 8年前から開業。
5. 受入にあたっての課題	特にない
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	特にない
7. 今後の受入(取り組み)意向	今のまま持続していきたい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	観光協会と連携している。

ヘルス	ホースセラピー(白老町/胆振振興局)
相手先	ホースセラピーペガサス
1. 具体的な取り組み内容	ナチュの森に来るお子様の乗馬がメイン。旅行者より近郊の方が多い。内々で近隣の発達障害のお子様も受けている。長時間は難しいので1回15分程度を以て。しかしスタッフが林様1名のため、コースを設定したり広告を打ち出して生徒を募集するようなことはしていない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	来春くらいからスタッフを増やしたいと思っている。スタッフを増やして受け入れ態勢が整えば、ヘルスツーリズム客の受け入れ(大人を含む障害者等)も積極的にしていきたい。林様本人は障害者乗馬協会の資格を持っているが、必ずしもホースセラピーに資格が必要なわけではない。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	以前は白老町との連携もあったが、今は会社に入ってしまった(ナチュの森内での営業になった)ため、自治体等との連携は取っていない。

ヘルス	ホースセラピー(浦河町/日高振興局)
相手先	浦河観光協会
1. 具体的な取り組み内容	NPO法人があったが、現在は東京へ移ってしまい現地での活動は行っていない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	特に考えていない
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	特に考えていない

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヘルス	森林セラピー基地での森林セラピー(津別町/オホーツク振興局)
相手先	津別町 観光課
1. 具体的な取り組み内容	森林セラピーをNPO法人にて運営中
2. 受入にあたっての配慮(ハード面・ソフト面)	バリアフリーに向けてコースの途中まででも参加できるように配慮としている。海外向けに多国言化を進めている。
3. 過去の受入実績(対象・数量・事例等)	把握していない。
4. 受入(取り組み)開始の経緯	把握していない。
5. 受入にあたっての課題	自然の豊かな場所なので交通などが不便だが仕方ない部分もある。
6. 受入(取り組み)のメリット・デメリット	メリット:需要があるので、観光の拠点にしていきたい。 デメリット:特に感じていない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	町の活性化を見込んで観光資源としてのケアツーリズムの観光客を増やしていきたい。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	観光全般では近隣自治体の観光資源コースを組む事で連携しているが、ケアツーリズムとしてはまだ進んでいない。今後連携を強くしていきたい。

ヘルス	海洋深層水・laus+(羅臼町/根室振興局)
相手先	知床羅臼町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	特に行っているものはない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	今後の計画も今のところない。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	らうす海洋深層水は、羅臼町と企業が連携して宣伝・販売をしているが、観光協会としては特に活動していない。

ヘルス	クジラ・イルカ・バードウォッチング(羅臼町/根室振興局)
相手先	知床羅臼町観光協会
1. 具体的な取り組み内容	特に行っているものはない。
7. 今後の受入(取り組み)意向	今後の計画も今のところない。
8. 地域内/外における関係機関との連携(連携先・情報収集先)	らうす海洋深層水は、羅臼町と企業が連携して宣伝・販売をしているが、観光協会としては特に活動していない。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヘルス	登別カルルス温泉で の湯治(登別市/胆振振興局)
相手先	湯元オロフレ荘
回答	現場では回答できないとのことでFAXを送信、回答がないため数日後に再度電話をしたが、経営者に渡したと言われるだけでその後回答を得られず。

ヘルス	登別カルルス温泉で の湯治(登別市/胆振振興局)
相手先	鈴木旅館
回答	回答拒否

その他	ユニバーサルツーリズム(千歳市/石狩振興局)
相手先	千歳観光連盟
1. 具体的な取り組み内容	高齢者・おからだに不安をお持ちの方向けのツアー、ユニバーサルマナー検定の受講、福祉タクシー車両保有、バリアフリーツアーの実施、車椅子のレンタルサービス、筆談対応ボード設置、優先トイレの設置、補助犬用ボウル・マット貸出し、スロープのレンタルサービス、車椅子用空気入れの貸出
7. 今後の受入(取り組み)意向	昨年からスタートして、機構の補助のツアーも今年度は実施が終わった。まだ始めたばかりで、しかし現時点で具体的に課題を打ち出しているわけではない。これからどうしようかと模索しているところ。来年度はもっと幅を広げていきたいと考えている。目の見えないからのツアーとか。バリアフリーだけではだめなので、人のバリアフリーどう手伝いできるかを考えなければならない。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

対象② 健診施設(日本人間ドック学会 機能評定認定施設) *デスクリサーチ結果によるリストアップ

札幌北辰病院 健康管理センター[北海道札幌市]
 札幌フジクリニック[北海道札幌市]
 札幌健診センター[北海道札幌市]
 船員保険 北海道健康管理センター[北海道札幌市]
 溪仁会円山クリニック[北海道札幌市]
 時計台記念病院[北海道札幌市]
 JA北海道厚生連 札幌厚生病院 健診センター[北海道札幌市]
 北海道大野記念病院[北海道札幌市]
 札幌循環器病院[北海道札幌市]

対象② 自費診療病院・クリニック *デスクリサーチ結果によるリストアップ

自由診療クリニック ゴールデンゲートクリニック (札幌)
 北海道がんセンター (札幌) がん遺伝子外来
 白いあさがお皮ふ科スキンケアクリニック (札幌)
 白石ガーデンプレイス皮膚科クリニック (札幌)
 形成外科・美容外科SSCクリニック (札幌)
 札幌いそべ頭痛・もの忘れクリニック (札幌)
 Miraclinic (札幌) 幹細胞培養上清液治療
 札幌中央形成外科 (札幌)
 アルバアレルギークリニック (札幌)

対象③ 自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所 *デスクリサーチ結果によるリストアップ

1)自費看護サービス

保険外看護サービス 株式会社cocle (札幌)	一般社団法人 看しずく (帯広、札幌・釧路も対応)
サポートナース フェアネス (札幌)	訪問看護ステーション ここね (札幌)
訪問看護ステーション あかり (札幌)	AMIRA訪問看護ステーション (札幌)
訪問看護、リハビリステーション 白ゆり (札幌9箇所、函館2箇所)	恵み野訪問看護ステーション はあと (恵庭市)

2)自費リハビリサービス

脳梗塞後専用後遺症リハビリセンターストロークジム (札幌、小樽)	プライベートリハビリ 脳と体の研究所 (札幌)
自費訪問リハビリサービス フィールドクルーズ (札幌)	脳梗塞リハビリステーション札幌中央 (札幌)

3)自費介護サービス

生活支援のアルファベリー (札幌、千歳、石狩、小樽、岩見沢)	ニチイライフ (札幌、旭川、釧路)
のんのライフサポート (札幌)	介護保険外サービス むつみ (札幌)
あいりす介護サービス (札幌)	日本介護システム株式会社 (札幌、千歳、恵庭、北広島)
ダスキんライフケア (札幌)	自費サービス事業所 YUI (室蘭)
SONPOケア保険外サービス (道内17所)	

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

調査結果概要

健診施設

合計		9施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	8
	無回答	1
受け入れ可能性	あり	2
	なし	3
	どちらとも言えない	2
	無回答	2

自費診療病院・クリニック

合計		8施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	4
	無回答	4
受け入れ可能性	あり	2
	なし	1
	どちらとも言えない	1
	無回答	4

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

調査結果概要

自費看護

		合計	8施設
受け入れ実績	あり		2
	なし		5
	無回答		1
受け入れ可能性	あり		3
	なし		1
	どちらとも言えない		3
	無回答		1

自費リハビリ

		合計	4施設
受け入れ実績	あり		0
	なし		4
	無回答		0
受け入れ可能性	あり		0
	なし		3
	どちらとも言えない		1
	無回答		0

自費介護

		合計	9施設
受け入れ実績	あり		1
	なし		7
	無回答		1
受け入れ可能性	あり		2
	なし		4
	どちらとも言えない		2
	無回答		1

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●健診施設 ①

健診施設	札幌北辰病院健康管理センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
3. サービスが不可能な理由や課題	現状のサービス提供で精いっぱい。予約もかなり混みあっている。

健診施設	札幌フジクリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	責任者不在のためお答えしかねる(近日中の対応不可)
3. サービスが不可能な理由や課題	回答なし

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●健診施設 ②

健診施設	札幌健診センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし(依頼があったことはあるが断った)
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	恐らく難しいと思う
3. サービスが不可能な理由や課題	4~5か月先の予約が埋まっており、胃カメラは例年6月頃には年内の予約が埋まってしまうため、なかなか難しいのではないと思う。キャンペーンを広げることも現状困難。

健診施設	船員保険北海道健康管理センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容によるが難しいかもしれない
3. サービスが不可能な理由や課題	予約枠が開いていて提供中の内容であれば可能だと思うが、インバウンドに関しては通訳が必要だと思う。現状既に予約が混みあっている。

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●健診施設 ③

健診施設	溪仁会円山クリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	こちらの空き状況や内容にもよるため、話を聞いて検討したい
3. サービスが不可能な理由や課題	回答なし

健診施設	時計台記念病院
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容によるが、検討できると思う。ただ、2か月先までの予約しか取れないため、先過ぎる予約も近々過ぎる予約も取れない。
3. サービス提供可能な内容	一般的な健診内容

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●健診施設 ④

健診施設	JA北海道厚生連札幌厚生病院健診センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	正確にお答えできかねるので文書で依頼してほしい
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし
3. サービスが不可能な理由や課題	回答なし

健診施設	札幌孝仁会記念病院
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない。今年度企画はしたが提供には至らなかった
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容や条件による
3. サービス提供可能な内容	日本在住の方が当院で提供している範囲の内容であれば可能だと思う。インバウンドは契約をして責任の所在などがはっきりできていれば可能だと思う。(英語対応は一切しないという契約になる)

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●健診施設 ⑤

健診施設	札幌循環器病院
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	多分難しい
3. サービスが不可能な理由や課題	積極的にそのような事業を展開していく予定が無い

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費診療病院・クリニック①

自費診療病院・クリニック	自由診療クリニック ゴールデンゲートクリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可
3. サービスが不可能な理由や課題	引き受けたくないため

自費診療病院・クリニック	北海道がんセンター（がん遺伝子外来）
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	調査はお断りしている
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	無回答
3. サービス提供可能な内容	無回答

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費診療病院・クリニック②

自費診療病院・クリニック	白いあさがお皮ふ科スキンケアクリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ない
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	可能。ぜひ参加したいので、詳細が決まったら連絡欲しい。
3. サービス提供可能な内容	クリニックで提供している内容の自費診療。インバウンドも可能。

自費診療病院・クリニック	形成外科・美容外科sscクリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	担当者不在のためお答えしかねる
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	無回答
3. サービスが不可能な理由や課題	無回答

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費診療病院・クリニック③

自費診療病院・クリニック	札幌いそべ頭痛・もの忘れクリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	可能
3. サービス提供可能な内容	現状行なっている脳ドックやサプリメントの提案など。 採血など、結果に時間がかかるものについてはどうやっていくか検討する必要がある。

自費診療病院・クリニック	Miraclinic(幹細胞培養上清液治療)
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず
3. サービスが不可能な理由や課題	連絡つかず

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費診療病院・クリニック④

自費診療病院・クリニック	札幌中央形成外科
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容や契約内容による
3. サービス提供可能な内容	1日で終わるものもあれば経過を見なければいけないものもあるので、お答えが難しい。インバウンドに関しては、コミュニケーションがしっかりとれないと対応できないので、通訳がいれば可能。当日キャンセルの賠償なども含め、契約内容に問題が無ければ引き受けることは可能だと思う。

自費診療病院・クリニック	アルバアレルギークリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
2. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず
3. サービス提供可能な内容	連絡つかず

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費看護サービス①

自費看護	サポートナース フェアネス
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	ある
2. 具体的な取り組み内容	市内在住の方の市内観光。(車いす、視覚障害者、高齢者等)
3. 取り組みにおける過去の受け入れ実績(対象・数量・事例等)	20件以上(外出支援というニュアンスが強いが)
4. 取り組み開始の経緯	自分の父を最後に旅行に連れて行ってあげられなかったことがきっかけ。
5. 取り組みに当たっての配慮(ハード面・ソフト面)	本人の体調に合わせる。本人の能力を活かすケアをする。
6. 取り組みに当たって地域内/外における関係機関との連携	各種交通機関、ケアマネ、かかりつけ医、訪問看護等
7. 取り組みのメリット・デメリット	喜んでいただける
8. 取り組みに当たっての課題	下調べしていてもイレギュラーが起こるので、その対応力。本人側が一歩踏み出す勇気が持てなかったり、周知が行き届いていないこと。
9. 取り組みに関する今後の意向(継続する意志があるか)	継続する予定
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費看護サービス②

自費看護	訪問看護ステーション あかり
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	依頼による。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	具体的にはお答えしかねる。

自費看護	保険外看護サービス 株式会社cocole
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	ある
2. 具体的な取り組み内容	道内旅行への同行、道外から来道された方の現地での同行、温泉入浴介助
5. 取り組みに当たったの配慮（ハード面・ソフト面）	事前のZoomでの打ち合わせ(本人同席と医療者のみとで実施)
6. 取り組みに当たって地域内/外における関係機関との連携	提携先医師との連携
9. 取り組みに関する今後の意向（継続する意志があるか）	継続意志あり
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費看護サービス ③

自費看護	訪問看護リハビリステーション 白ゆり
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	状況による。
13. サービスが不可能な理由や課題	日頃からサービスを受けられている方なら可能かもしれないが、人員が確保できるかわからないため、難しいかもしれない。

自費看護	一般社団法人 看しずく
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	代表不在でわかりかねる。
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし

自費看護	訪問看護ステーション ここね
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	人員が足りないため難しい

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費看護サービス④

自費看護	AMIRA訪問看護ステーション
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	考えてはいる。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	保険内サービスを提供中の方で、マンパワーが確保でき、医師の指示なども確認できれば可能だと思う。
13. サービスが不可能な理由や課題	新規の方はどのようにしていけばいいかわからないため、難しいと思う。

自費看護	恵み野訪問看護ステーション はあと
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	利用者であれば可能かもしれない。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	普段からサービスを利用している方であれば宿泊を伴うような依頼も検討したい。
13. サービスが不可能な理由や課題	新規で観光の場合の支援はしたことがないため難しい。

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費リハビリサービス ①

自費リハビリ	脳梗塞後専用後遺症リハビリセンター ストロークジム
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容による。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	個人旅行に同行するといったサービスは考えていないが、団体旅行などはできたらいいなと検討している。

自費リハビリ	自費訪問リハビリサービス フィールドクルーズ
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	専門分野ではないので難しいかも。
13. サービスが不可能な理由や課題	旅行に向けて必要な力を獲得するということならできるが、付き添いは専門としてやっているわけではない。

自費リハビリ	プライベートリハビリ 脳と体の研究所
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	イメージが湧かない。リハビリなので旅行に行くまでのサービスならできるかもしれない。

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費リハビリサービス②

自費リハビリ	脳梗塞リハビリステーション札幌中央
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容によるが難しいかも。
13. サービスが不可能な理由や課題	セラピストが1人しかいないため

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費介護サービス ①

自費介護	生活支援のアルファベリー
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	あり
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	可能
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	特にエリアや日数制限などなく検討できると思う。介護の範囲で。

自費介護	のんのライフサポート
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	多分ないけど担当者不在で不明。
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	担当者不在で不明。

自費介護	あいりす介護サービス
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	ヘルパー不足。

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費介護サービス ②

自費介護	ダスキンライフケア
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	可能
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	事業所は札幌市なので、基本は市内だが、旅行は道内も可能。人員が手配できれば日数などの制限なし。医療行為不可。無資格者でもできる食事介助、排泄介助、入浴介助などは可能。

自費介護	SONPOケア保険外サービス
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	予定が立てづらい。ヘルパーのスキルもあるので、初対面の方へのサービス提供は難しい。

自費介護	ニチイライフ
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	その都度検討
13. サービスが不可能な理由や課題	ヘルパーが不足している

ヒアリング調査対象

「道央」(札幌、小樽、積丹、余市、苫小牧、千歳、白老、ニセコ、日高等)

●自費介護サービス ③

自費介護	介護保険外サービス むつみ
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11.今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	状況による。
12.どのような内容のサービスを提供可能ですか？	日帰りなら可能かも。 現在、保険内からはみ出た分を自費サービスとして受けているので、積極的に保険外を引き受けていくことは検討していない。

自費介護	日本介護システム株式会社
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11.今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13.サービスが不可能な理由や課題	将来的に人員が確保できるかもしれないが、現時点では人材不足のため不可能。

自費介護	自費サービス事業所 YUI
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
11.今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず

ヒアリング調査対象

「道南」(函館、奥尻、北斗、七飯)

対象② 健診施設(日本人間ドック学会 機能評価認定施設) *デスクリサーチ結果によるリストアップ

函館五稜郭病院[北海道函館市]

対象② 自費診療病院・クリニック *デスクリサーチ結果によるリストアップ

無し

対象③ 自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所 *デスクリサーチ結果によるリストアップ

1)自費看護サービス

訪問看護、リハビリステーション白ゆり(札幌9箇所、函館2箇所)

訪問看護ステーションはびふる(帯広)

訪問看護ステーションひなた(北斗市)

2)自費リハビリサービス

無し

3)自費介護サービス

SONPOケア保険外サービス(道内17箇所)

ヘルパーステーションあーる(函館、七飯)

ヒアリング調査対象

「道南」(函館、奥尻、北斗、七飯)

調査結果概要

健診施設

合計	1施設
受け入れ実績	なし
受け入れ可能性	なし

自費看護

	合計	3施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	1
	連絡つかず	2
受け入れ可能性	あり	1
	なし	0
	連絡つかず	2

自費介護

	合計	2施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	2
受け入れ可能性	あり	0
	なし	2

ヒアリング調査対象

「道南」(函館、奥尻、北斗、七飯)

●健診施設

健診施設	函館五稜郭病院
1. 今までに、観光と組み合わせた健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	現状そのようなことは考えておらず、どのようなサービス内容かもわからないため。

●自費看護

自費看護	訪問看護リハビリステーション 白ゆり
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	状況による。
13. サービスが不可能な理由や課題	日頃からサービスを受けられている方なら可能かもしれないが、人員が確保できるかわからないため、難しいかもしれない。

自費看護	訪問看護ステーション はぴふる
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず

ヒアリング調査対象

「道南」(函館、奥尻、北斗、七飯)

自費看護	訪問看護ステーション ひなた
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず

●自費介護

自費介護	ヘルパーステーション あーる
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	そのようなサービス提供の予定はないため

自費介護	SONPOケア保険外サービス
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	予定が立てづらい。ヘルパーのスキルもあるので、初対面の方へのサービス提供は難しい。

ヒアリング調査対象

「道北」(旭川、美瑛、富良野、稚内、利尻、礼文)

対象② 健診施設(日本人間ドック学会 機能評価認定施設) *デスクリサーチ結果によるリストアップ

吉田病院予防医療センター[北海道旭川市]

JA北海道厚生連旭川厚生病院[北海道旭川市]

対象② 自費診療病院・クリニック *デスクリサーチ結果によるリストアップ

かねた皮膚科クリニック(札幌、旭川)

対象③ 自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所 *デスクリサーチ結果によるリストアップ

1)自費看護サービス

無し

2)自費リハビリサービス

無し

3)自費介護サービス

SONPOケア保険外サービス(道内17箇所)

ニチイライフ(札幌、旭川、釧路)

ヒアリング調査対象

「道北」(旭川、美瑛、富良野、稚内、利尻、礼文)

調査結果概要

健診施設

		合計	2施設
受け入れ実績	あり		0
	なし		2
受け入れ可能性	あり		1
	なし		1

自費診療病院・クリニック

合計		1施設
受け入れ実績		なし
受け入れ可能性		なし

自費介護

		合計	2施設
受け入れ実績	あり		0
	なし		2
受け入れ可能性	あり		0
	なし		1
	どちらとも言えない		1

ヒアリング調査対象

「道北」(旭川、美瑛、富良野、稚内、利尻、礼文)

●健診施設

健診施設	吉田病院予防医療センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不明、そのようなサービス提供の予定はない。

健診施設	JA北海道厚生連旭川厚生病院
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	人間ドックは、日程が早めにわかっていたら予約できるので対応できるかもしれない。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	人間ドックの提供。

●自費診療病院・クリニック

自費診療病院・クリニック	かねた皮膚科クリニック
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	引き受けたくないため。

ヒアリング調査対象

「道北」(旭川、美瑛、富良野、稚内、利尻、礼文)

●自費介護

自費介護	SONPOケア保険外サービス
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	予定が立てづらい。ヘルパーのスキルもあるので、初対面の方へのサービス提供は難しい。

自費介護	ニチイライフ
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	その都度検討
13. サービスが不可能な理由や課題	ヘルパーが不足している

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

※一部抜粋

対象② 健診施設(日本人間ドック学会 機能評定認定施設) *デスクリサーチ結果によるリストアップ

帯広厚生病院健診センター[北海道帯広市]

対象② 自費診療病院・クリニック *デスクリサーチ結果によるリストアップ

満岡内科・循環器クリニック(帯広) ED,アンチエンジング

対象③ 自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所 *デスクリサーチ結果によるリストアップ

1)自費看護サービス

医療法人社団刀圭会訪問看護ステーション向日葵(帯広) 訪問看護ステーションはびふる(帯広)

一般社団法人看しずく(帯広、札幌・釧路も対応)

2)自費リハビリサービス

訪問型自費リハビリテーションクレアティオ(釧路、鶴居村)

3)自費介護サービス

SONPOケア保険外サービス(道内17箇所)

ニチイライフ(札幌、旭川、釧路)

芽室町社会福祉協議会(芽室町)

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

調査結果概要

健診施設

合計	1施設
無回答	1

自費診療病院・クリニック

合計	1施設
受け入れ実績	なし
受け入れ可能性	あり

自費リハビリ

合計	1施設
無回答	1

自費看護

	合計	3施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	1
	無回答	1
	連絡つかず	1
受け入れ可能性	あり	0
	なし	1
	無回答	1
	連絡つかず	1

自費介護

	合計	3施設
受け入れ実績	あり	0
	なし	3
受け入れ可能性	あり	1
	なし	2

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

●健診施設

健診施設	帯広厚生病院健診センター
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	アンケートには協力していないとのこと。
11. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	

●自費診療病院・クリニック

自費診療病院・クリニック	満岡内科・循環器クリニック (ED, アンチエイジング)
1. 今までに、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供を行ったことがありますか？	ないが興味はある。
11. 今後、観光と組み合わせての健診や自費診療サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	人員が確保できたら、やっていきたい。

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

● 自費看護

自費看護	訪問看護ステーション 向日葵
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	内容・状況による。
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	現在、保険内で訪問している方にのみ保険外サービスを提供しているため、その方からの依頼であれば検討したいが、宿泊を伴うものは難しいかもしれない。

自費看護	一般社団法人 看しずく
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	代表不在でわかりかねる。
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし

自費看護	訪問看護ステーション はびふる
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	連絡つかず
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	連絡つかず

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

●自費リハビリ

自費リハビリ	訪問型自費リハビリステーション クレアティオ
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	回答なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	回答なし

●自費介護①

自費介護	SONPOケア保険外サービス
1. 今までに、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせての自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
13. サービスが不可能な理由や課題	予定が立てづらい。ヘルパーのスキルもあるので、初対面の方へのサービス提供は難しい。

ヒアリング調査対象

「道東」(帯広、北見、網走、紋別、釧路、根室、弟子屈、羅臼(知床))

●自費介護②

自費介護	ニチイライフ
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	その都度検討
13. サービスが不可能な理由や課題	ヘルパーが不足している

自費介護	芽室町社会福祉協議会 (芽室町/十勝振興局)
1. 今までに、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供を行ったことがありますか？	なし
11. 今後、観光と組み合わせた自費看護・リハビリ・介護サービスの提供の依頼があった場合、受けることは可能ですか？	不可能
12. どのような内容のサービスを提供可能ですか？	サービス内容に外出支援はあるが、旅行は含まれていないため。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

調査結果の考察

状態	目的	施設	サービス			
			医療系	介護系	健康系	旅行系
健康	ウェルネス ーもっと健康にー	宿泊／ 飲食施設 ・ 運輸機関			例:美容、食、 マインドフルネス、ヨガ	従来の 観光素材
	ヘルス ーずっと健康にー				例:健診	従来の 観光素材
非健康	リハビリ ー活力を与えるー	宿泊／ 飲食施設 (バリアフリー 含む) ・ 運輸機関 (バリアフリー 車両を含む)	自費リハビリ 自費看護	(必要な場合は 自費介護)	あっても 良い	従来の 観光素材
	レスパイト ー癒しを与えるー		自費看護 自費リハビリ	自費介護	あっても 良い	従来の 観光素材

対象② 「健診施設」・「自費診療病院・クリニック」

「健診施設」、「自費診療病院・クリニック」においては、立地エリアの道央、札幌への集中に加え、ツーリズムとのコラボレーションに関して、スタンスが二極化している。医療機関の場合、そのスタンスに対して外的に変化を促すことは困難と考えられるため、ヘルス・ケアツーリズムの造成のためには、まずは積極的な受け入れ姿勢をとる施設を選択し、集中的にコラボレーションすることが必須と考えられる。

対象③ 「自費看護・リハビリ・介護サービス可能事業所」

「自費の看護・リハビリ・介護サービス可能事業所」の蓄積は道央、特に札幌に集中しており、その他の地域においては皆無と言ってよい状況である。しかし、その札幌においても、受け入れ可能な事業所数は、看護で3、リハビリは0、介護は2と、十分とは言えない状況である。着地型でのリハビリテーション・ケアツーリズム、レスパイト・ケアツーリズムを実現するためには、全道的に旅行支援が可能な医療・介護専門職のリソースの充実が必須である。道央以外のエリアでは特にである。医療・介護専門職のリソースの充実を図る際、事業所単位では人材不足等により進捗が遅い可能性が予想されることから、医療・介護専門職個人としてパラレルキャリア的な参画を可能とすることもリソースの拡充が必要であると考え。ただしその際には、安全管理等のバックアップ体制の整備が不可欠である。

道外のカスタマーに対するニーズ調査についての考え方

① 既存コンテンツや素材の洗い出しを経て抽出した「具体的なコンテンツ」に対するニーズ調査

さらに **+** 商品造成などを行うためには...

以下の項目についても、ニーズ調査が不可欠である。

②「サービス分類」に対するニーズ調査

そして **+** 健康状態が異なるカスタマーのニーズを把握するためには...

以下のカスタマーについても、ニーズ調査が不可欠である。

③ ウェルネス/ヘルス・ツーリズムだけでなく、リハビリ/レスパイト・ツーリズムの対象者に関するニーズ調査



①～③のニーズ調査を行うことで、ユーザーが求めるニーズの全体像を把握し、具体的な商品造成に資する指針を構築することが可能となります。

- ・コンテンツ造成、既存コンテンツの磨き上げ
- ・モデルコース造成
- など

	調査対象対象		調査サンプル数
健康	【ウェルネス】 健康な人をもっと健康に	カスタマー本人に対するニーズ調査 ※北海道を除く全国を対象	400サンプル 実施結果:451サンプル
	【ヘルス】 健康な人をずっと健康に		
非健康	【リハビリ】 非健康な人とその家族に活力を与える	リハビリ病院や介護支援機関に向けた患者のニーズに関する調査 ※新しい市場なので、北海道を含む全国を対象	100程度を想定 ※400件の事業所に依頼 実施結果:10サンプル ※4,000事業所に依頼
	【レスパイト】 非健康な人とその家族に癒しを与える		

調査方法

ウェルネスツーリズム&ヘルスツーリズム

(1)調査目的

ケア・ツーリズムの核となる商品(コンテンツ)において、ユーザーが求めるニーズの全体像を把握することで、具体的な商品造成に資する指針を構築する。

(2)調査対象・方法

確実に400サンプル集めるために、リサーチ会社のアンケート配信システムを使用しました。

実施結果:451サンプル

対象

北海道外在住、年齢20歳代～70歳代、男女。
「過去1年間にプライベートで国内旅行をしたことがある人」に対してスクリーニング。

※ケア・ツーリズムが新しい概念のため、「ケア・ツーリズムに対する興味・関心がある」パネルが存在しません。健康のパネルは、旅行と縁遠くなるため採用しません。

■予備調査によるスクリーニング内容

- └ 旅行の目的(当てはまるものを選択)
- └ 北海道への旅行有無
- └ ケアツーリズム、ヘルスツーリズムへの認知



(3)調査期間

2023年10月

(4)調査内容

[ウェルネスツーリズム系]

- ・調査で抽出したウェルネス系コンテンツに対する興味関心
- ・ウェルネス系サービス分類に対する興味関心
- ・滞在期間／希望と現実
- ・組み合わせる従来の旅行要素で重視するものは何か
- ・費用感について

[ヘルスツーリズム系]

- ・調査で抽出したヘルス系コンテンツに対する興味関心
- ・ヘルス系サービス分類に対する興味関心
- ・滞在期間／希望と現実
- ・組み合わせる従来の旅行要素で重視するものは何か
- ・費用感について

※調査票は、次ページ

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

ウェルネス・ツーリズム&ヘルス・ツーリズム調査票

▶ 属性の確認

あなたの年代を教えてください。 20代/30代/40代/50代/60代/70代
あなたの性別を教えてください。 男性/女性/その他/回答しない

▶ ウェルネス系コンテンツで最も興味があるものは

※既存のコンテンツや素材の洗い出しを経て抽出したウェルネス・コンテンツを羅列

問1. 以下のウェルネス系コンテンツで、一番関心のあるものは、どれですか？(選択の中から一つ選ぶ)

砂川自然美容/岩見沢ワインツーリズム/ニセコ別荘リゾート/黒松内北限のブナ林森林浴 …

▶ ウェルネス系サービス分類で最も興味があるものは

問2. 以下のウェルネス系サービスで、最も興味があるものはどれですか？(選択の中から一つ選ぶ)

美容/自然食/断食/マインドフルネス/ホースセラピー /ワインツーリズム/森林浴/別荘リゾート/アロマセラピー/
ヨガ/ウォーキング/サイクリング

▶ 滞在期間/希望

問3. ウェルネスを目的として北海道に滞在する場合、金銭的・時間的制約がないと仮定したときに、希望する旅行滞在日数を以下よりお選び下さい。(選択の中から一つ選ぶ)

1~2泊/3~5泊/6泊以上/10泊以上/14泊以上/30泊以上

▶ 滞在期間/現実

問4. ウェルネスを目的として北海道に滞在する場合、現実的に可能だと思える旅行滞在日数を以下よりお選び下さい。

(選択の中から一つ選ぶ) 1~2泊/3~5泊/6泊以上/10泊以上/14泊以上/30泊以上

▶ 組み合わせる従来の旅行要素で重視するものは

問5. ウェルネスを目的として北海道に滞在する場合、ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素を以下よりお選び下さい。(複数回答可)

グルメ/史跡/買い物/アウトドアアクティビティ/文化体験/博物館・美術館/温泉/ラベンダーなどの花畑/スポーツ(スキー・スノーボード・ゴルフ等)/その他(記述式)

▶ 金額はどこまで出せるか

問6. ウェルネスを目的として北海道に滞在する場合、支出できる滞在費について以下よりお選び下さい。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、ウェルネス系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。また、問4でお答えいただいた滞在日数を想定してお答えください。

10,000~30,000円/30,001~50,000円/50,001~100,000円/100,001円~150,000円/150,001円
~200,000円/200,001円以上 …

▶ ヘルス系コンテンツで最も興味があるものは

※既存のコンテンツや素材の洗い出しを経て抽出したヘルス・コンテンツを羅列

問7. 以下のヘルス系コンテンツで、一番関心のあるものは、どれですか？

豊富温泉湯治/タラソテラピー/森林セラピー …

▶ ヘルス系サービス分類で最も興味があるものは

問8. 以下のウェルネス系サービスで最も興味があるものはどれですか？(選択の中から一つ選ぶ)

疾患に効能が高いとして有名な温泉/タラソテラピー/人間ドック/PET検査/アンチエイジング

▶ 滞在期間/希望

問9. ヘルスを目的として北海道に滞在する場合、金銭的・時間的制約がないと仮定したときに、希望する旅行滞在日数を以下よりお選び下さい。(選択の中から一つ選ぶ)

1~2泊/3~5泊/6泊以上/10泊以上/14泊以上/30泊以上

▶ 滞在期間/現実

問10. ヘルスを目的として北海道に滞在する場合、現実的に可能だと思える旅行滞在日数を以下よりお選び下さい。

(選択の中から一つ選ぶ) 1~2泊/3~5泊/6泊以上/10泊以上/14泊以上/30泊以上

▶ 組み合わせる従来の旅行要素で重視するものは

問11. ヘルスを目的として北海道に滞在する場合、ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素を以下よりお選び下さい。(複数回答可) ※基本選択ですが、その他を選択した方は記述できる仕様とする。

グルメ/史跡/買い物/アウトドアアクティビティ/文化体験/博物館・美術館/温泉/ラベンダーなどの花畑/スポーツ(スキー・スノーボード・ゴルフ等)/その他(記述式)

▶ 金額はどこまで出せるか

問12. ヘルスを目的として北海道に滞在する場合、支出できる滞在費について以下よりお選び下さい。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、ウェルネス系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。また、問10でお答えいただいた滞在日数を想定してお答えください。

(選択の中から一つ選ぶ) 10,000~30,000円/30,001~50,000円/50,001~100,000円/100,001
円~150,000円/150,001円~200,000円/200,001円以上 …

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「自然美容」に一番関心のある回答者



○自然美容

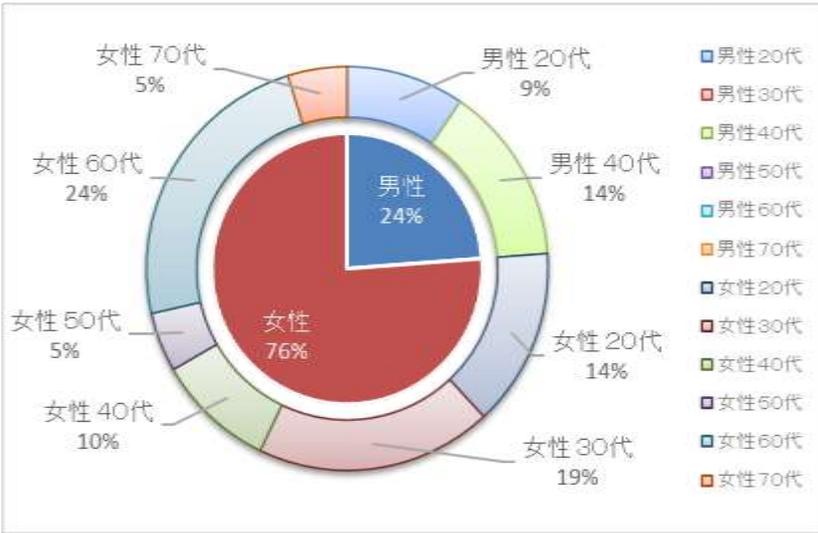
<市区町村>砂川市

<コンテンツ紹介コメント>

がごめ昆布や栗山の小林酒造の日本酒など、地元の自然素材を使った肌にも心にも優しいコスメの製造過程を見学。併設の工場で作った自分だけの香り「マイフレグランス」で、おうちに帰ってからも癒されてください。

1. 回答者の男女、年齢の比率

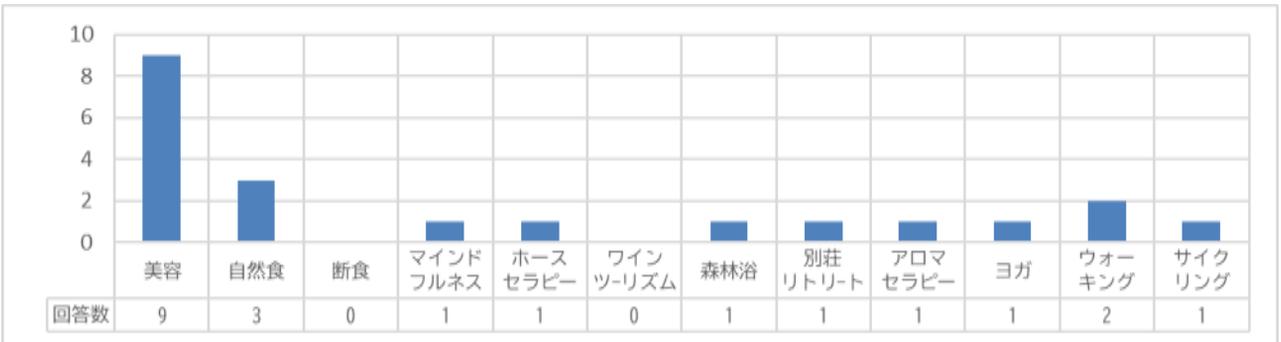
(※N = 21)



回答数は21、全体の5%が自然美容に一番関心があると回答。76%は女性、特に60代、30代、20代の比率が高く、それぞれ24%、19%、14%を占めた。子育て期間やキャリア繁忙期前後の世代が特に関心を持っている。また、男性は40代、20代が関心を持っている。

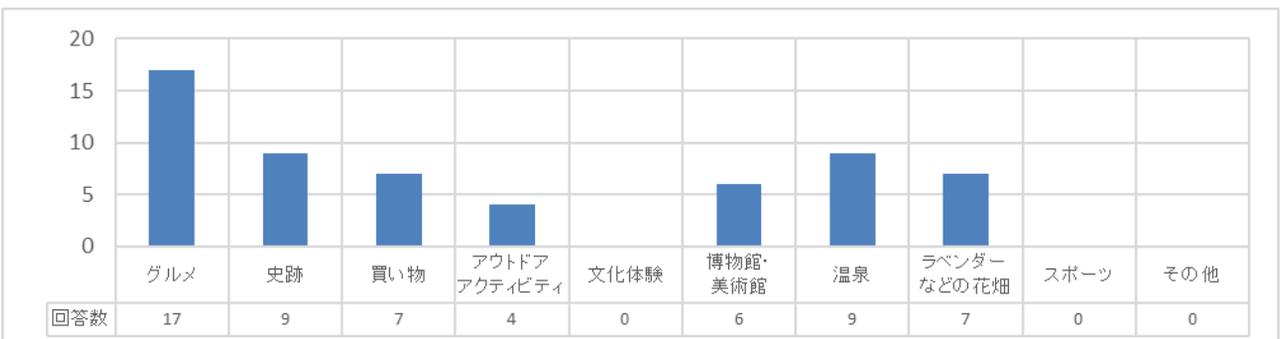
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的ともに半数以上を占め、1~2泊が続いた。理想的には6泊以上、10泊以上という回答も見られたが、現実的には、10泊以上の回答はなく、金銭的・時間的制約のため、実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

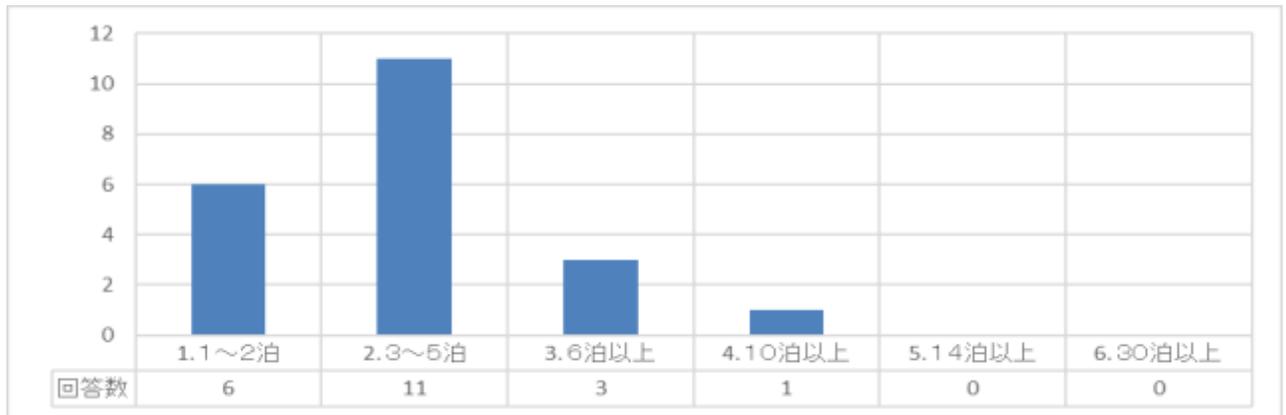
※複数回答可



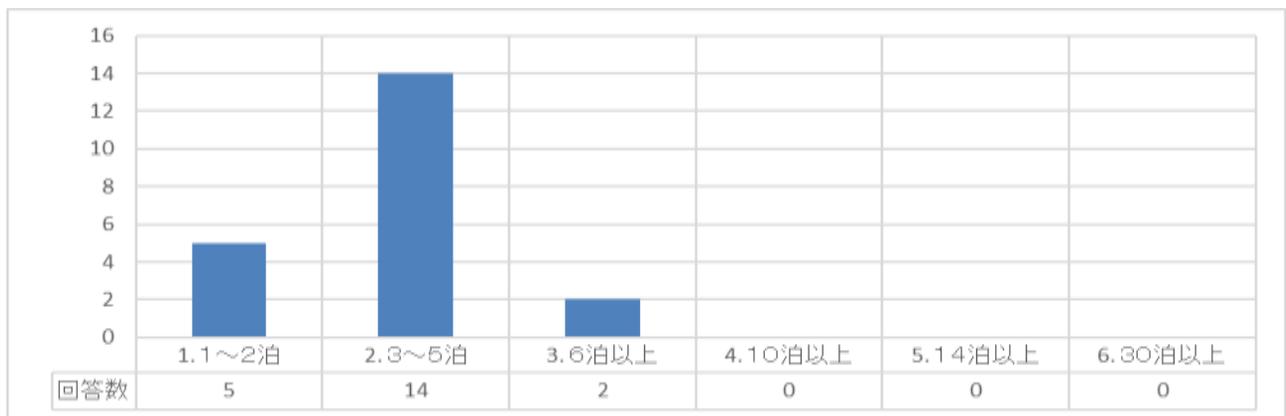
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

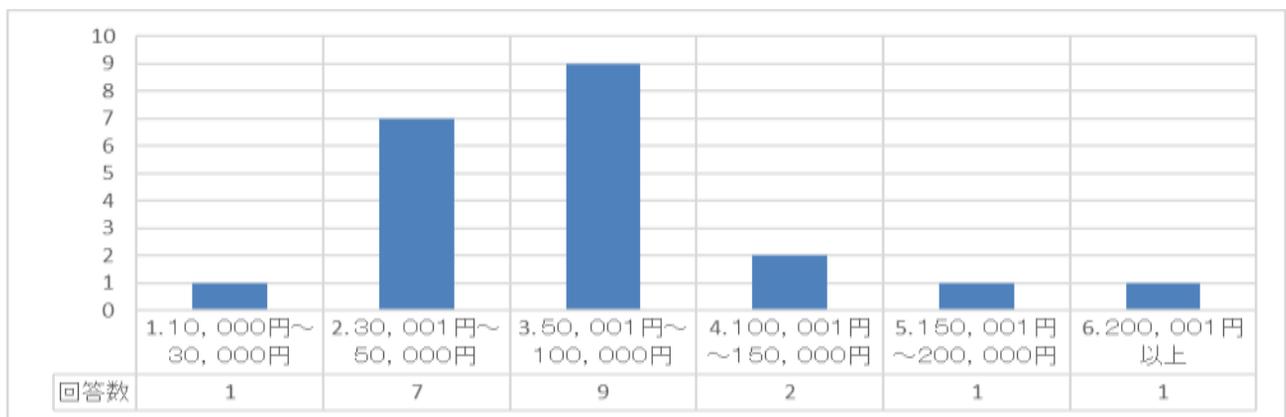
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



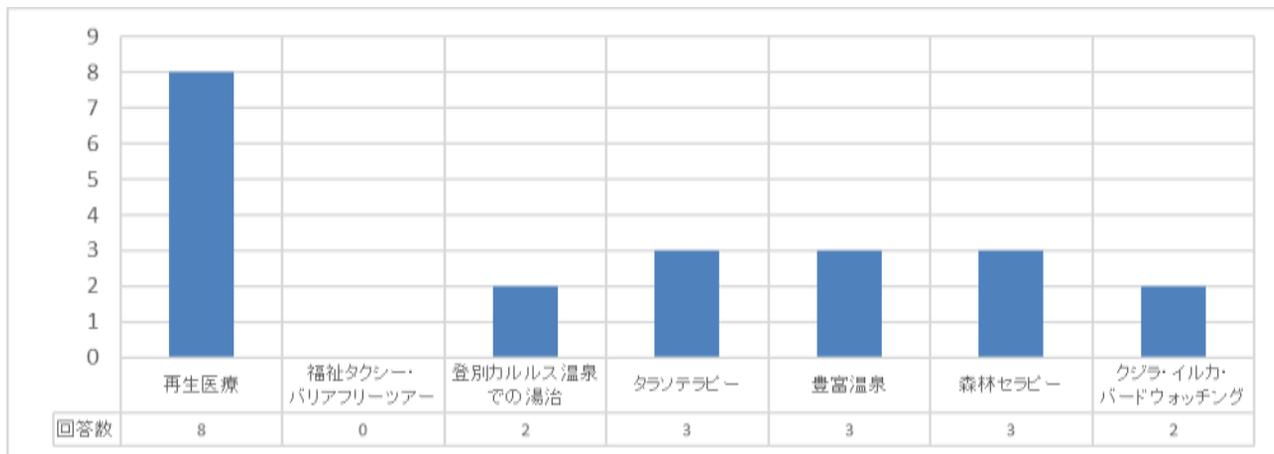
ウェルネス系サービスで最も興味があるのは、「美容」(回答数9/43%)が圧倒的に多い。また、回答数は1~3であるが、「断食」・「ワインツーリズム」を除く各サービスへも回答が分散している。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数17)が圧倒的に多い。



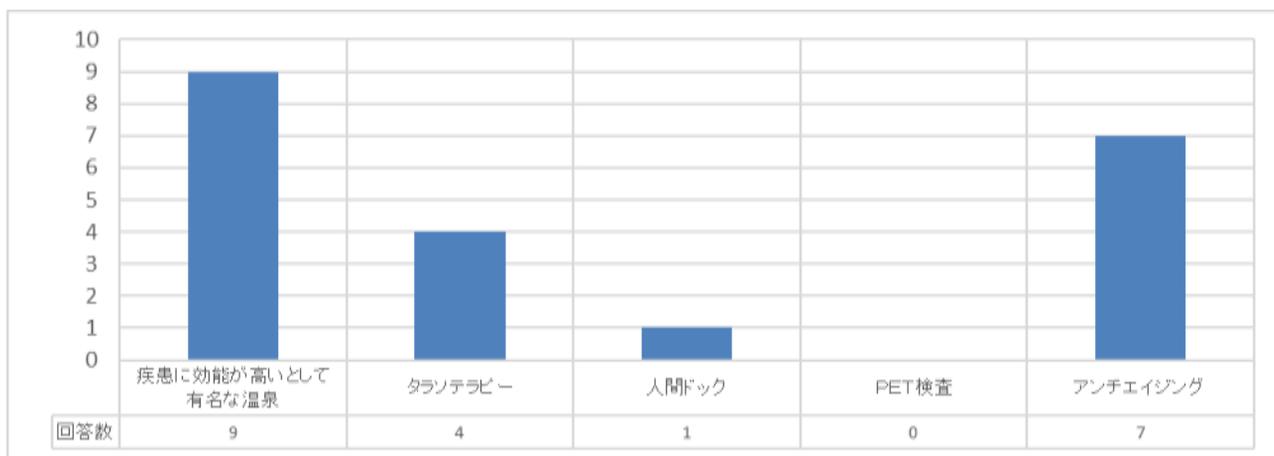
ウェルネス系サービスとしては、やはり「美容」に興味がある回答者がもっとも多いものの、その他のコンテンツへも回答者が分散していることから、「自然美容」の様々なウェルネス系サービスとの親和性が示唆された。また、旅行要素としては「グルメ」との親和性が高い、また、滞在費としての価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



最も興味があるヘルス系コンテンツは、「再生医療」（回答数8/38%）が圧倒的に多い。
ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数9/43%）、「アンチエイジング」（回答数7/33%）が多い。



ヘルス系コンテンツとの組み合わせとして「自然美容」+「再生医療」の親和性の高さが示唆された。さらに、ヘルス系のサービスとしては「アンチエイジング」はもとより「温泉」（特に効能の高い）との親和性が高いことが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「**ワインツーリズム・アグリツーリズム**」に一番関心のある回答者



○ワインツーリズム・アグリツーリズム

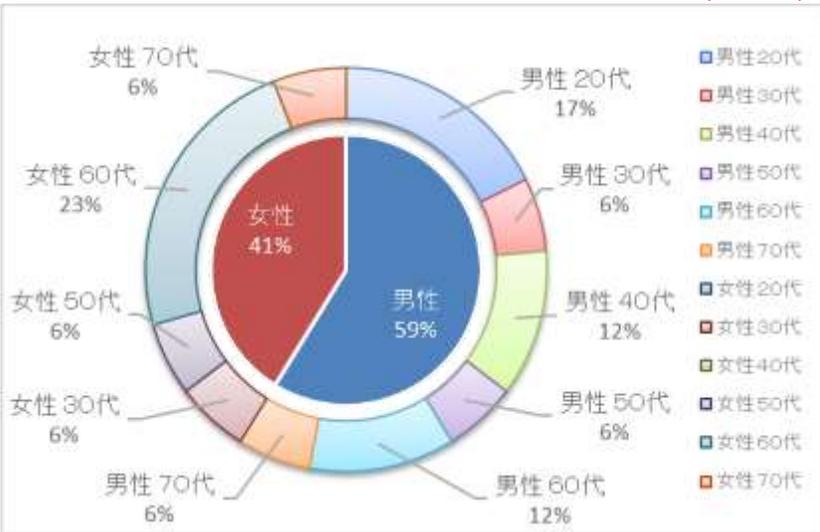
<市区町村>岩見沢市

<コンテンツ紹介コメント>

そらちワインタクシーではワイナリー+α訪問ツアーをご用意。上質で希少な空知産ワインを味わいながら一面に広がるぶどう畑の景観をお楽しみいただけます。市内では野菜&果物の収穫体験、豆腐作り体験も実施。

1. 回答者の男女、年齢の比率

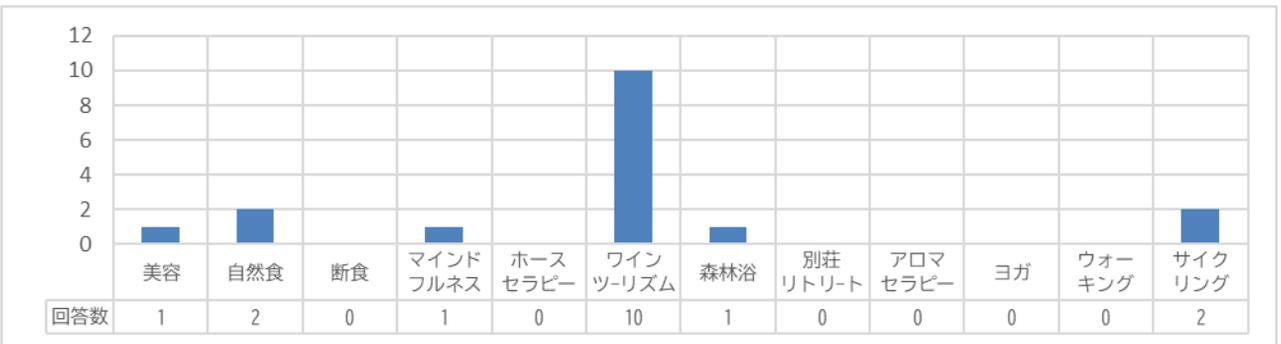
(※N = 17)



回答数は17、全体の4%がワインツーリズム・アグリツーリズムに一番関心があると回答。59%は男性、すべての年代が関心を示している。女性は特に60代の関心が高い。

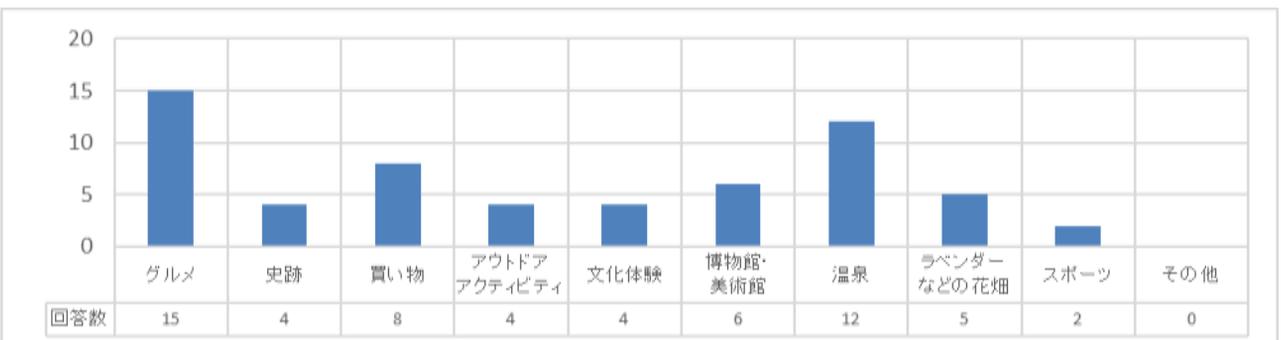
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的ともに半数以上を占め、1~2泊が続いた。理想的には6泊以上、10泊以上という回答も見られたが、現実的には、10泊以上の回答はなく、金銭的・時間的制約のため、実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

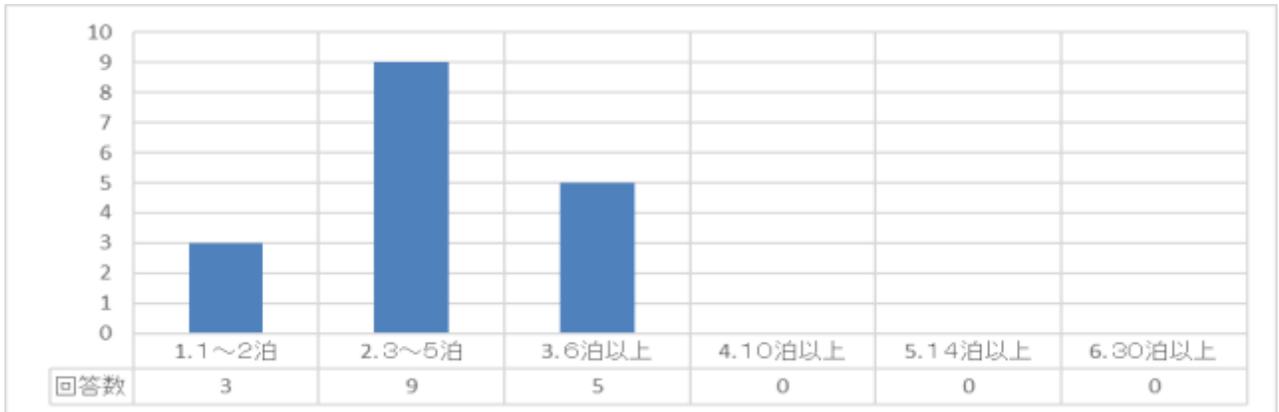
※複数回答可



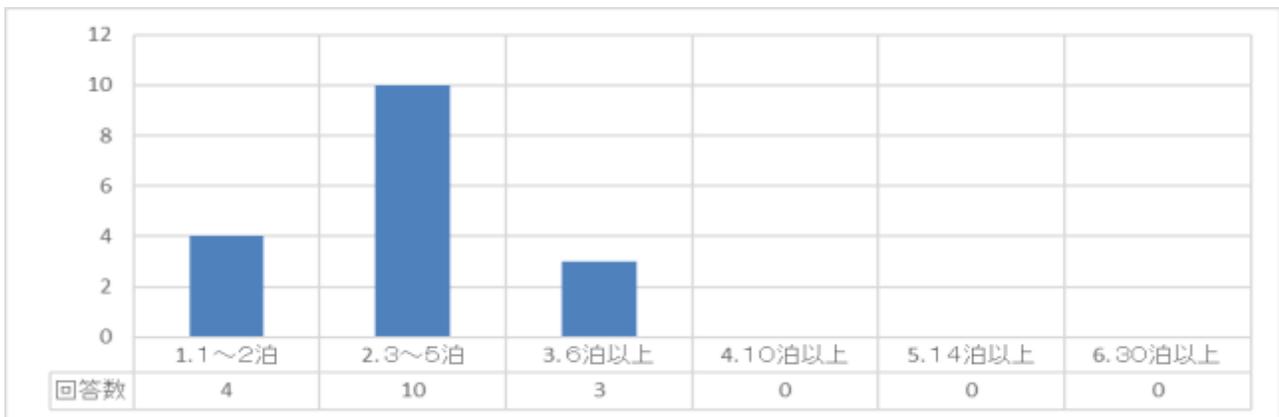
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

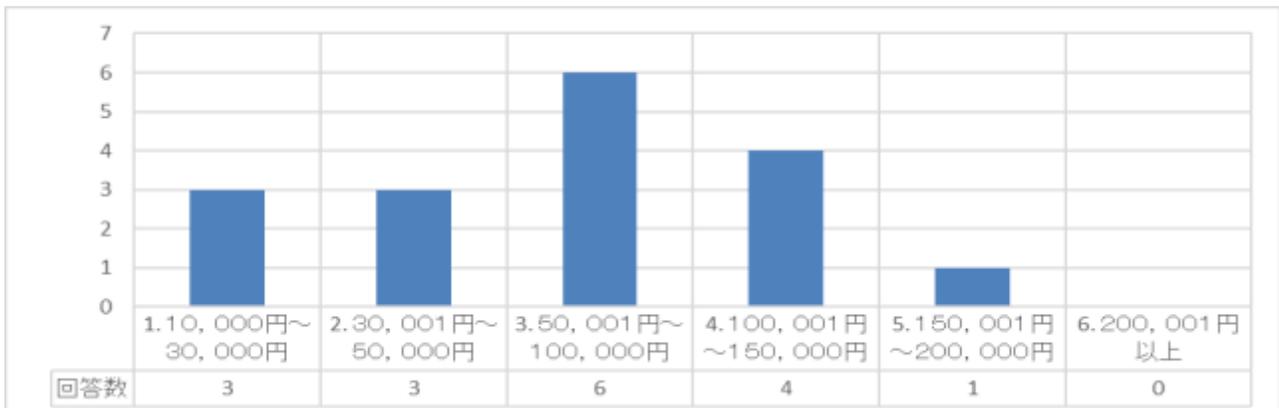
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



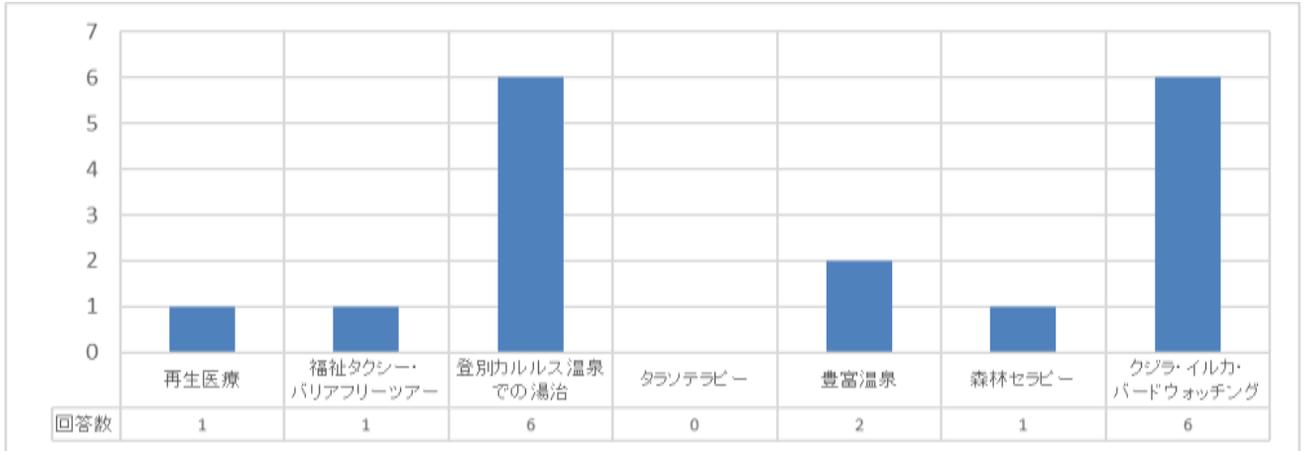
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「ワインツーリズム」が圧倒的に多いが、他、「自然食」、「サイクリング」、「美容」、「マインドフルネス」、「森林浴」にも1~2の回答数が見られる。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数15)、「温泉」(回答数12)が多い。



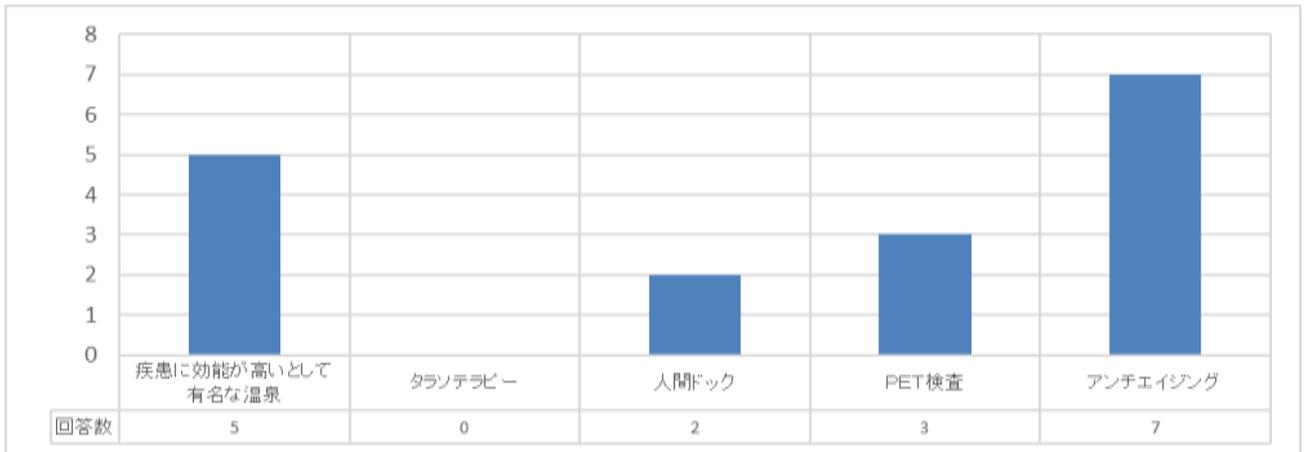
「ワインツーリズム・アグリツーリズム」には旅行要素として「グルメ」や「温泉」との親和性が高いことが示唆された。また価格帯は5~15万円程度がボリュームゾーンであると考えられたが、想定滞在費として150,001円~200,000円の回答も回答数1ではあるが存在していることから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数6/35%）と「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数6/35%）に二分された。ヘルス系サービスは、「アンチエイジング」（回答数7/41%）、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数5/29%）が多い。



「**ワインツーリズム**」と親和性が高いヘルス系コンテンツ、サービスとしては「**温泉**」（特に効能が高い）が示唆された。また、「**クジラ・イルカ・バードウォッチング**」という海洋コンテンツとの組み合わせに対するニーズも示唆される結果であった。ヘルス系サービスにおいては、温泉以外では「**アンチエイジング**」との親和性が高いことが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「石狩ハマナス再生プロジェクト」に一番関心のある回答者



○石狩ハマナス再生プロジェクト

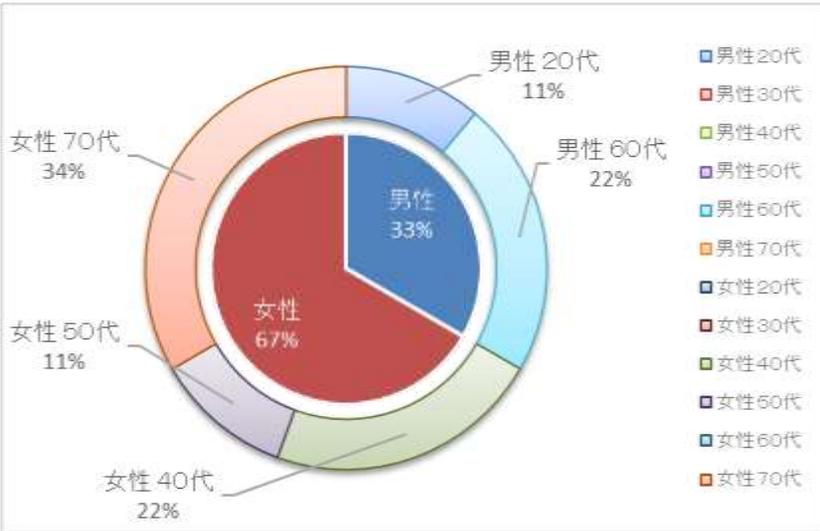
<市区町村>石狩市

<コンテンツ紹介コメント>

石狩浜では“ハマナス彩る砂丘の風景”を再現するために、再生活動に取り組んでいます。都会の喧騒を忘れて、石狩浜の潮騒と心地よい風を感じながら「花散策」をお楽しみください。ガイドツアーも実施しています。

1. 回答者の男女、年齢の比率

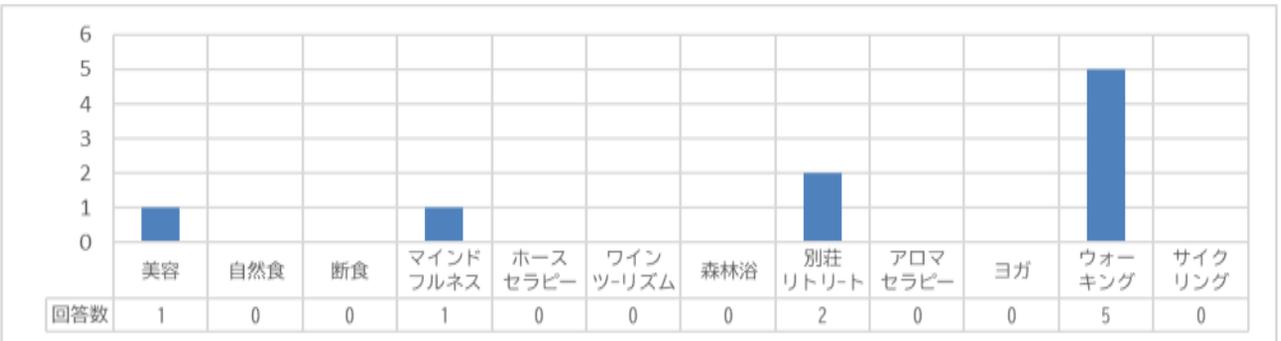
(※N = 9)



回答数は9、全体の2%が石狩ハマナス再生プロジェクトに一番関心があると回答。67%は女性、特に70代、40代、50代の比率が高く、それぞれ34%、22%、11%を占めた。男性は60代、20代が関心がある。

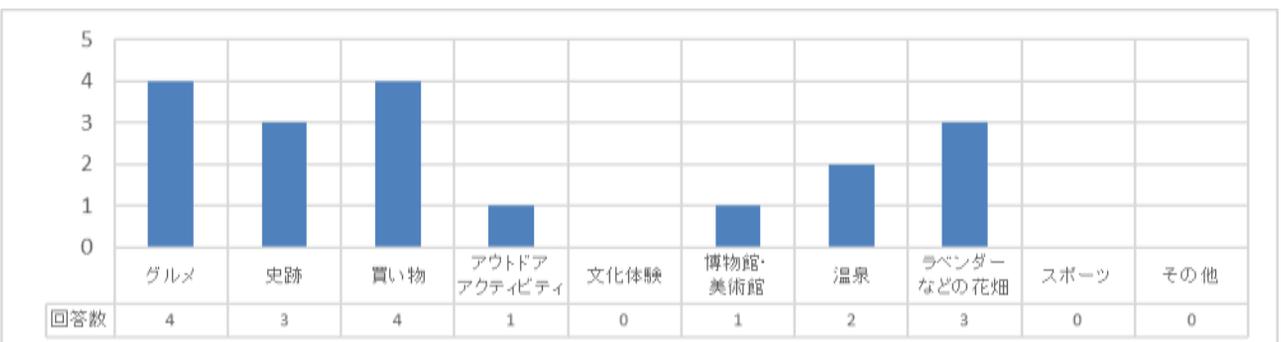
滞在日数は理想的、現実的ともに3~5泊が半数以上を占める。理想的には6泊以上、10泊以上という回答も見られたが、現実的には、10泊以上の回答はなく、金銭的・時間的制約のため、実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

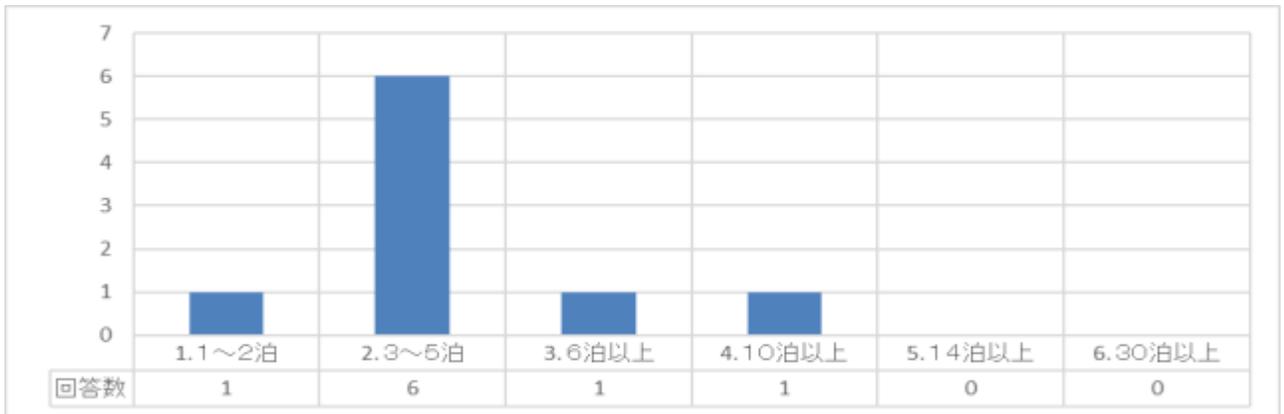
※複数回答可



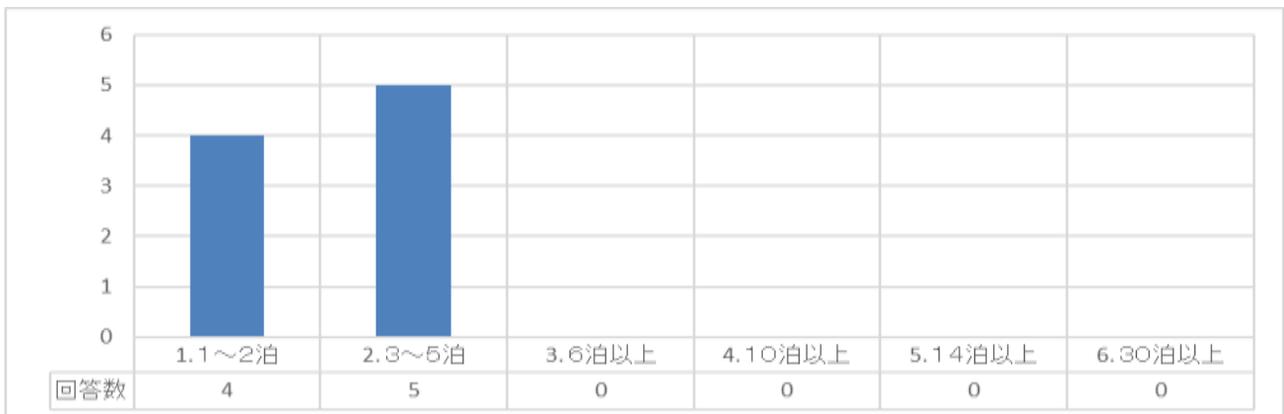
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

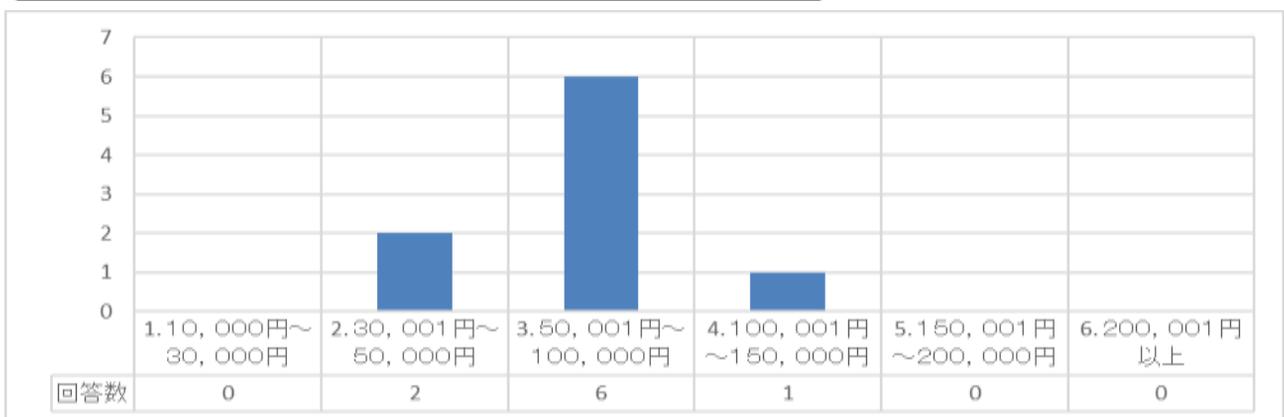
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



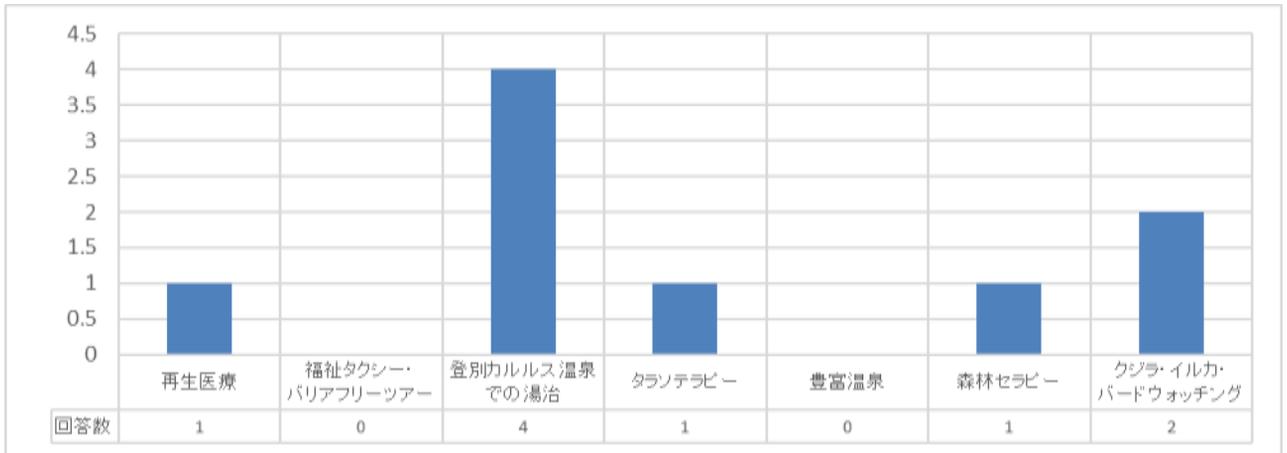
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「ウォーキング」(回答数5/56%)が特に多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数4)、「買い物」(回答数4)、「史跡」(回答数3)、「ラベンダーなどの花畑」(回答数3)が多い。



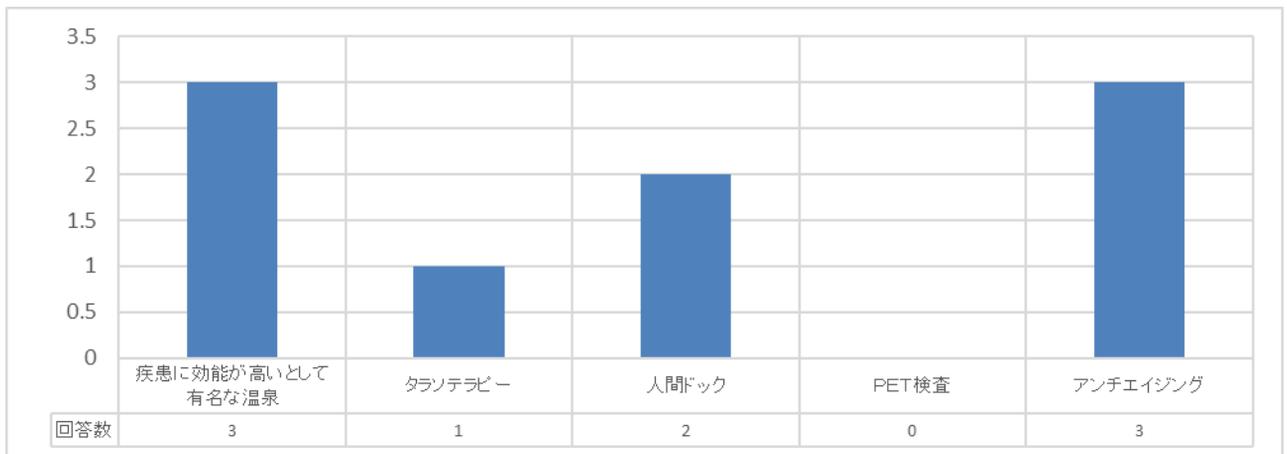
すでに花散策として実施されているが、やはり「石狩ハマナス再生プロジェクト」と親和性の高いウェルネス系サービスは「ウォーキング」であること、また価格帯は5~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数4/44%）であり、次に「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数2/22%）である。ヘルス系サービスは、「アンチエイジング」（回答数3/33%）、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数3/33%）、そして次に「人間ドック」（回答数2/22%）であった。



「石狩ハマナス再生プロジェクト」に組み合わせるヘルス系コンテンツとして親和性が高いものは「**温泉**」（特に効能が高い）であることが示唆された。また、男女ともに回答年齢層が高かったことを反映してか、「**アンチエイジング**」に関連するセラピー系コンテンツのニーズも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「名水百選に選ばれた湧き水」に一番関心のある回答者



○名水百選に選ばれた湧き水

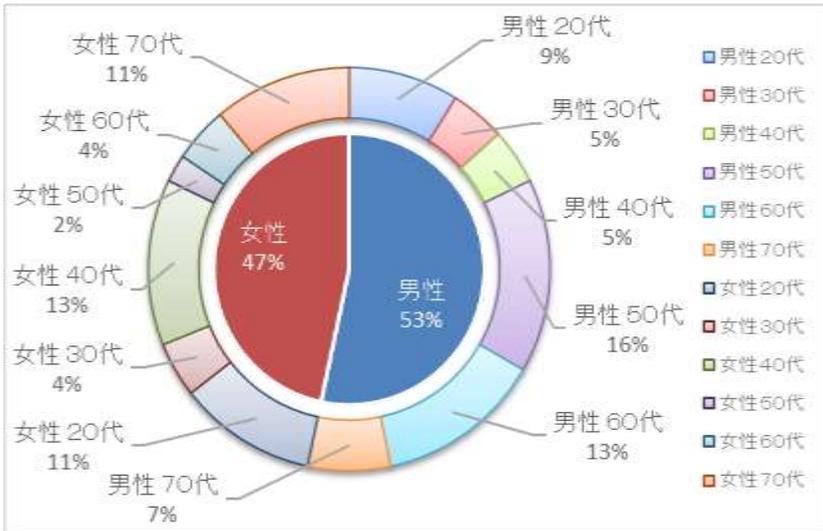
<市区町村>京極町

<コンテンツ紹介コメント>

羊蹄山で濾過された雨や雪が、ミネラルを含んだ名水として湧き出るふきだし公園。緑豊かで美しい園内を散策し、名水でカラダの中からキレイに!レストランでは名水を使用した料理をお召し上がりいただけます。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 45)

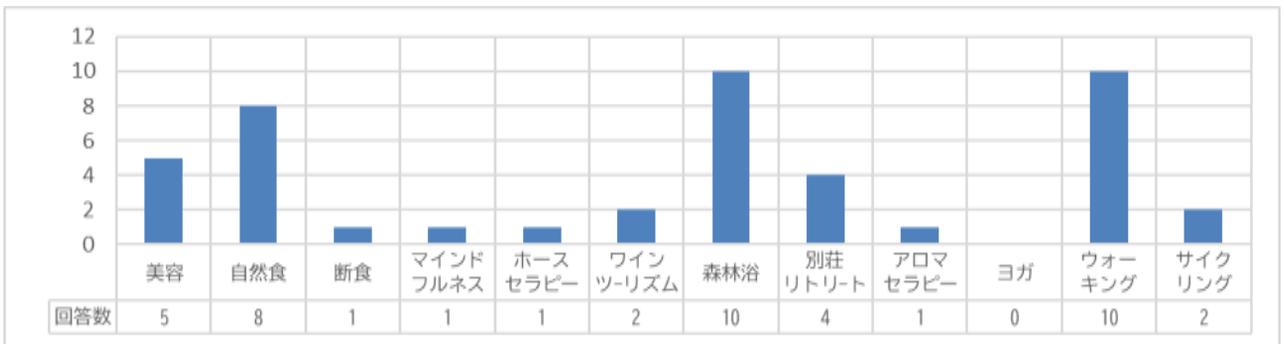


回答数は45、全体の10%が名水百選に選ばれた湧き水に一番関心があると回答。男女比もほぼ半数ずつ、また男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは50代男性と60代男性である。

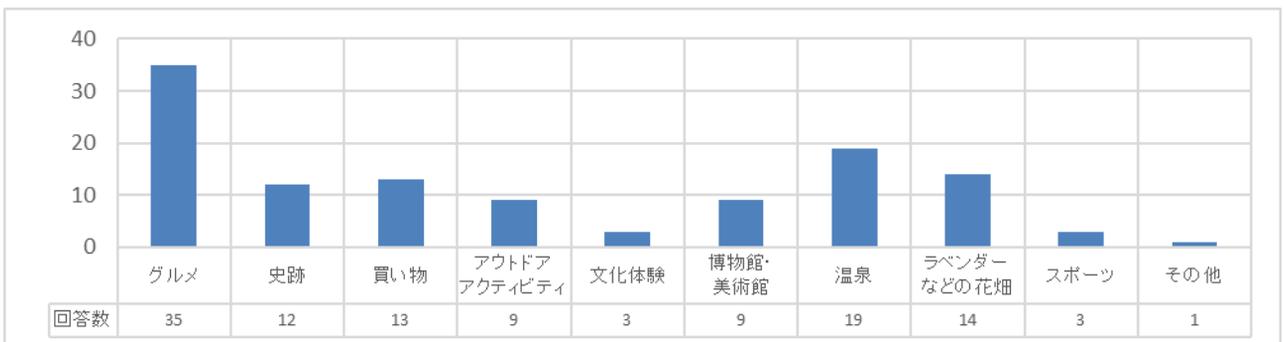
現実的な滞在日数は、3~5泊と1~2泊が大多数である。回答数は1ではあるが、現実的に10泊以上の滞在が可能であるとの回答も見られた。また、理想的な滞在日数として、回答数は1ではあるが、14泊以上、30泊以上との回答も見られた。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

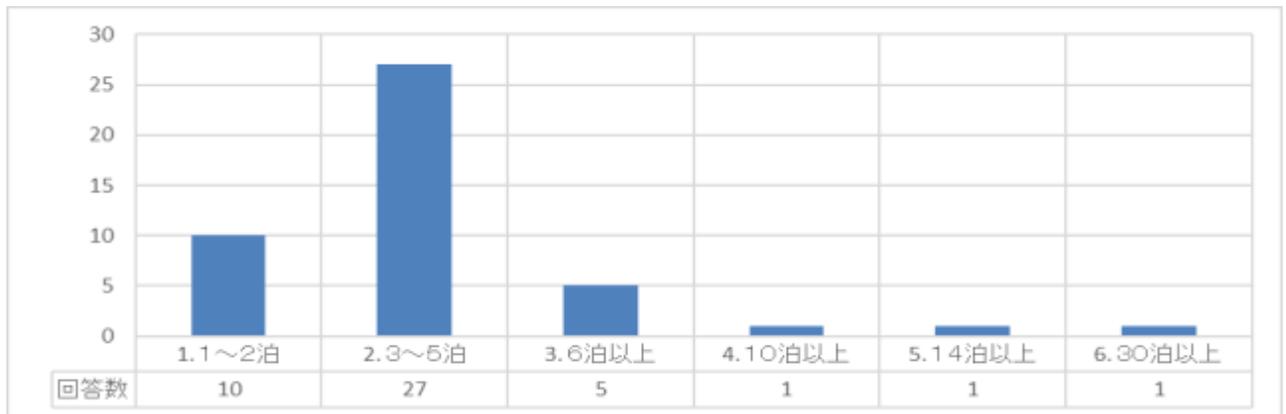
※複数回答可



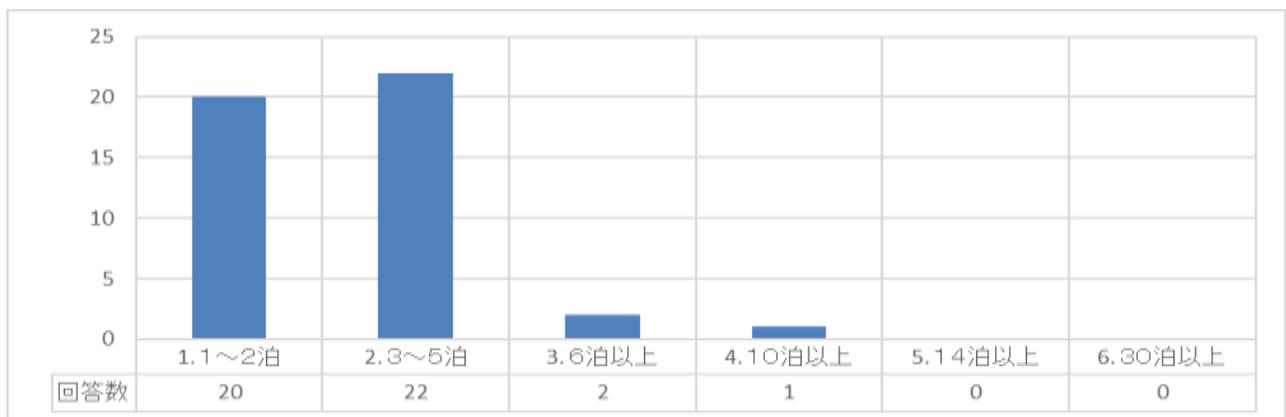
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.自然)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

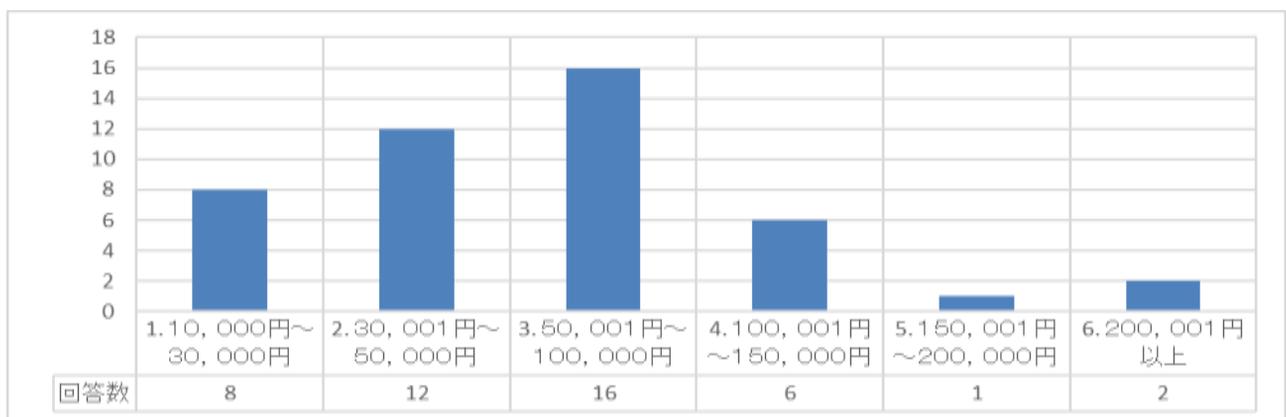
4. 理想的な滞在日数（ウェルネス）



5. 現実的な滞在日数（ウェルネス）



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



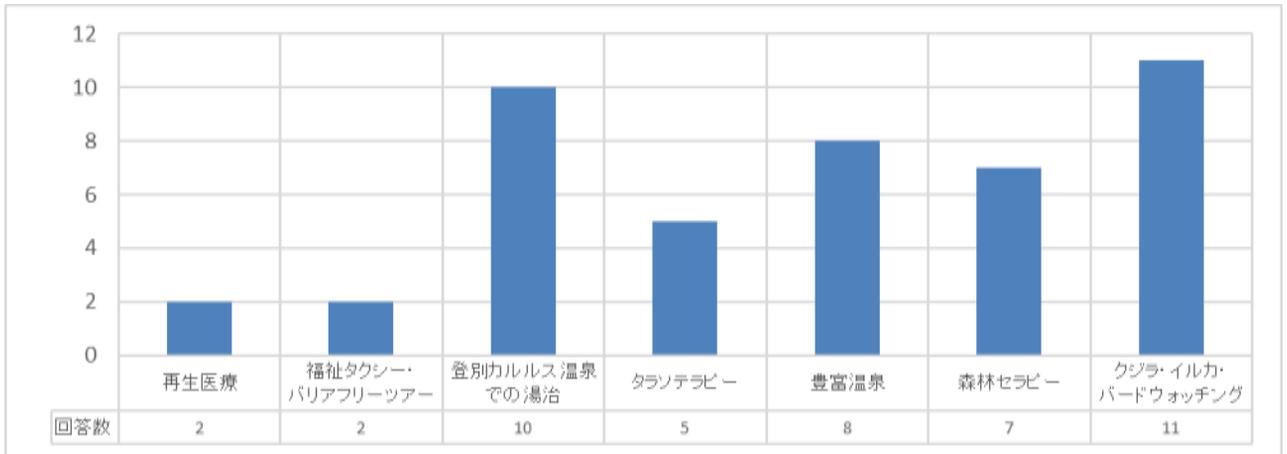
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「森林浴」・「ウォーキング」（各回答数10／各22%）が特に多く、次に「自然食」（回答数8／18%）が多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数33）、「温泉」（回答数19）が多い。



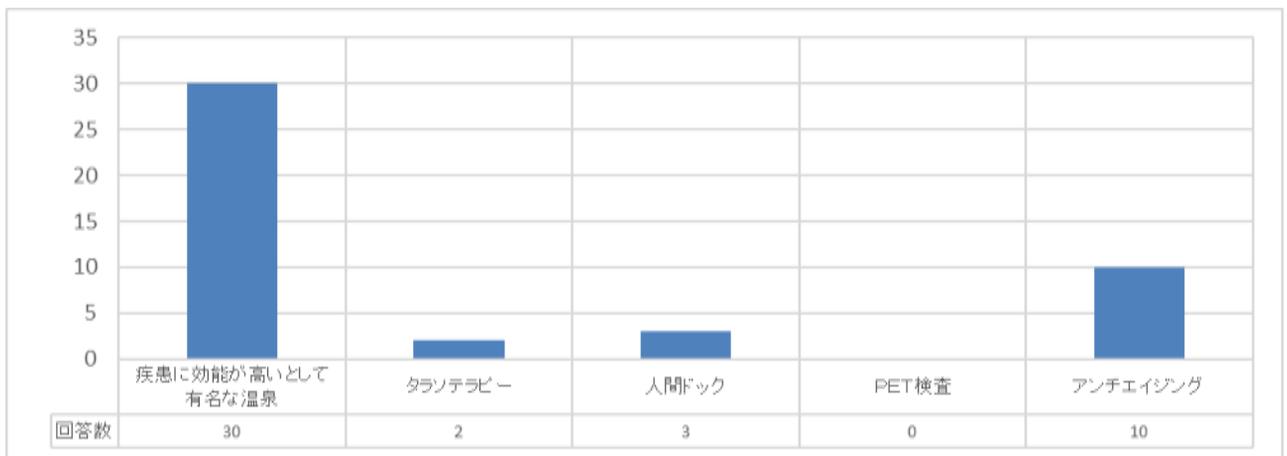
「名水百選に選ばれた湧き水」にはウェルネス系サービスとして「森林浴」や「ウォーキング」との親和性が高く、また、価格帯に関しては3~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数11/24%）であり、次に「登別カルルス温泉での湯治」（回答数10/22%）である。また、「豊富温泉」（回答数8/18%）、森林セラピー（回答数7/16%）が続く。
ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数30/67%）が突出して高い。



「名水百選に選ばれた湧き水」に親和性が高いヘルス系コンテンツ、サービスとして「温泉」（特に効能が高い）があげられるが、ヘルス系コンテンツとしては、「森林セラピー」や「クジラ・イルカ・バードウォッチング」のような自然系コンテンツへのニーズが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「**ワインツーリズム**」に一番関心のある回答者



○**ワインツーリズム**

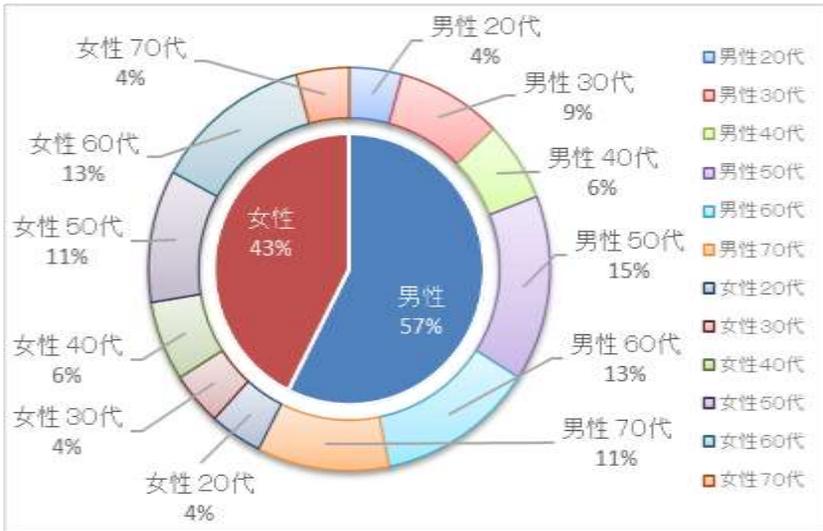
<市区町村>余市町・仁木町

<コンテンツ紹介コメント>

町内19ものワイナリーでは、町外には出回らない上質で希少なワインも数多くあります。地元食材を使ったレストランでお料理と共にワインをお楽しみください。ワインイベントの開催もあります。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 47)

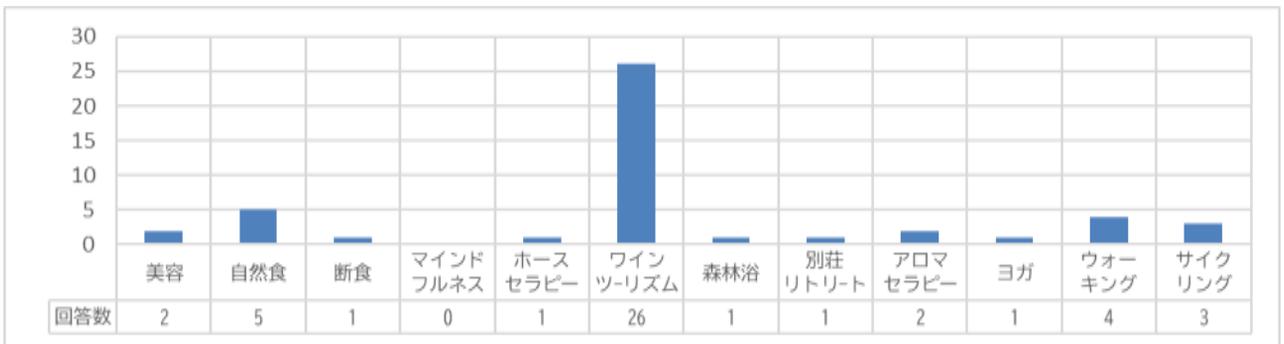


回答数は47、全体の10%がワインツーリズムに一番関心があると回答。男性比率がやや高く57%。また男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは50代男性である。

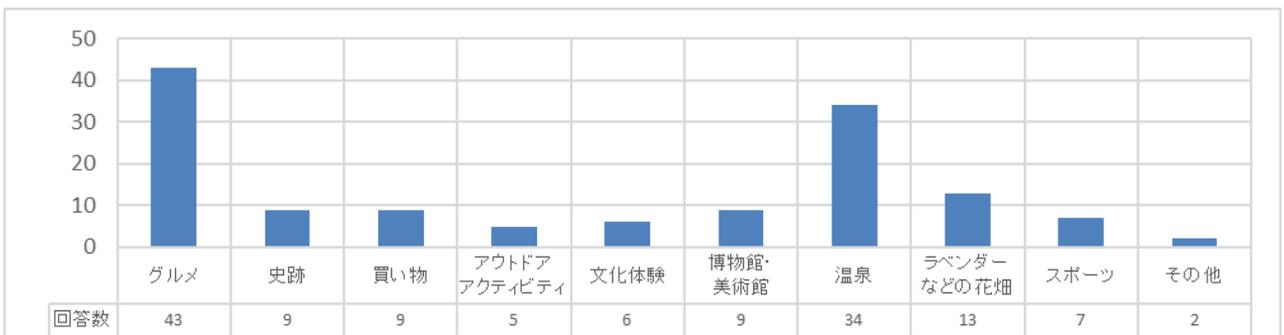
現実的な滞在日数は、3~5泊が半数を占める。回答数は2ではあるが、現実的に10泊以上の滞在が可能であるとの回答も見られた。また、理想的な滞在日数として、回答数は1ではあるが、14泊以上、30泊以上との回答も見られた。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

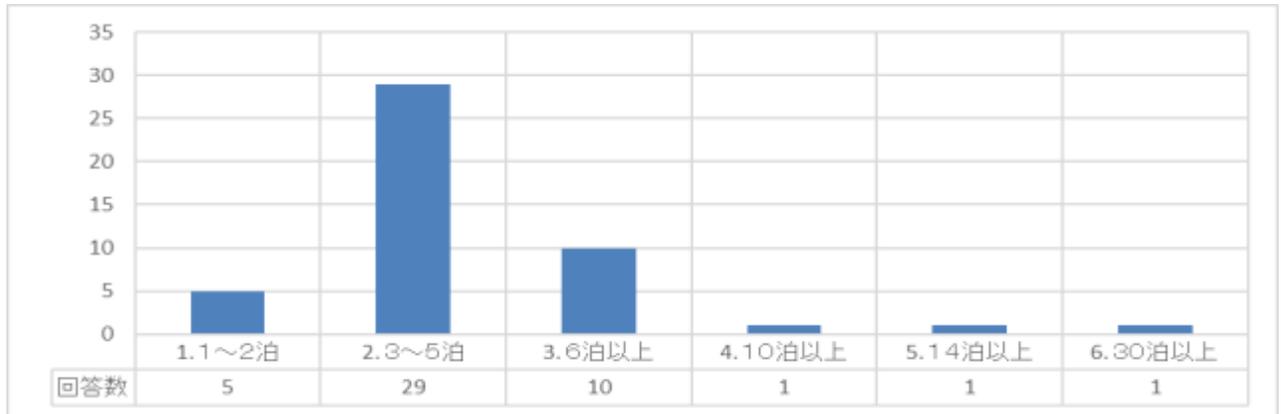
※複数回答可



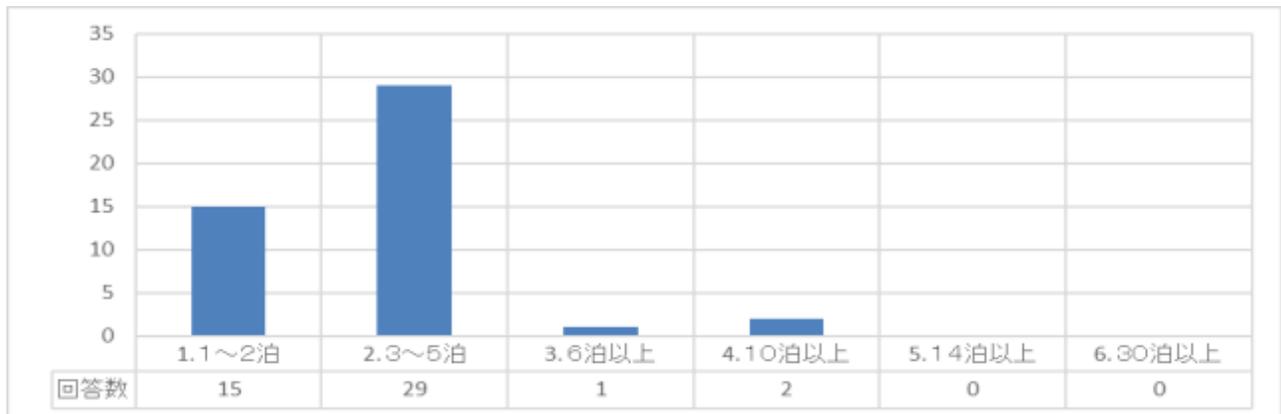
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1. 知的好奇心を満たす旅 2. ビール)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

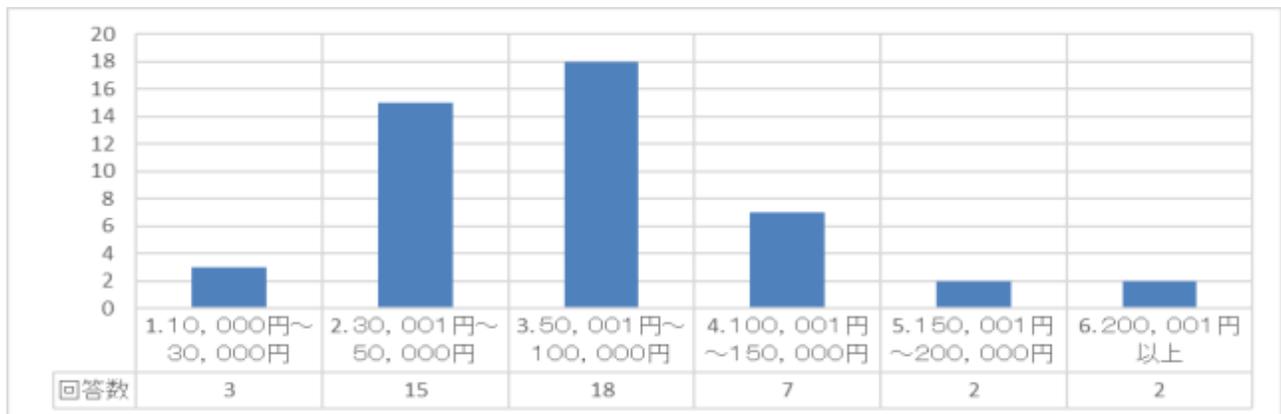
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



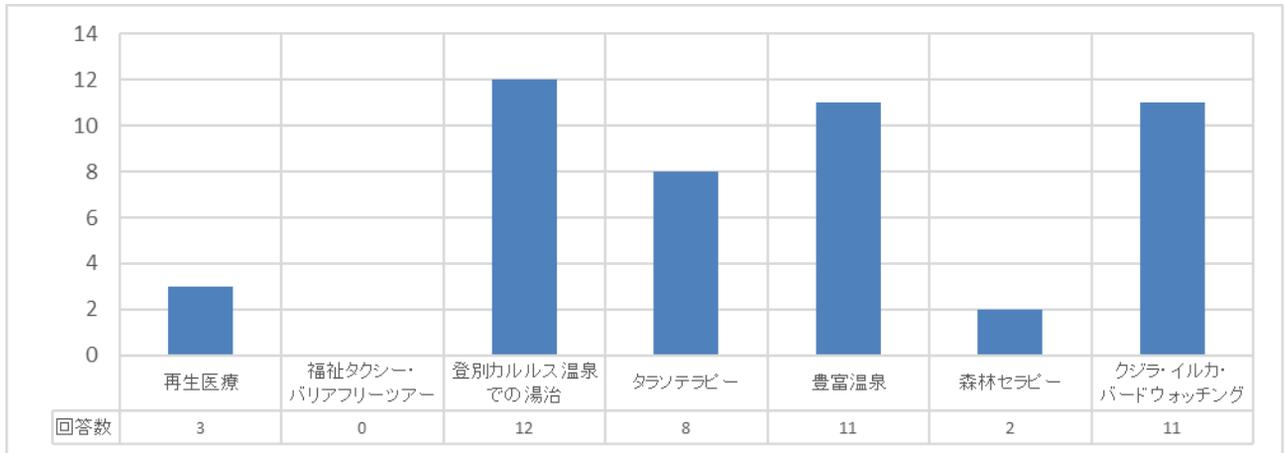
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、当然「ワインツーリズム」(回答数26/55%)が半数を占めた。その他の回答としては、「マインドフルネス」を除いた各サービスに対して1~5の回答数で回答が分散した。組み合わせたい旅行要素では「グルメ」(回答数43)、「温泉」(回答数34)が突出していた。



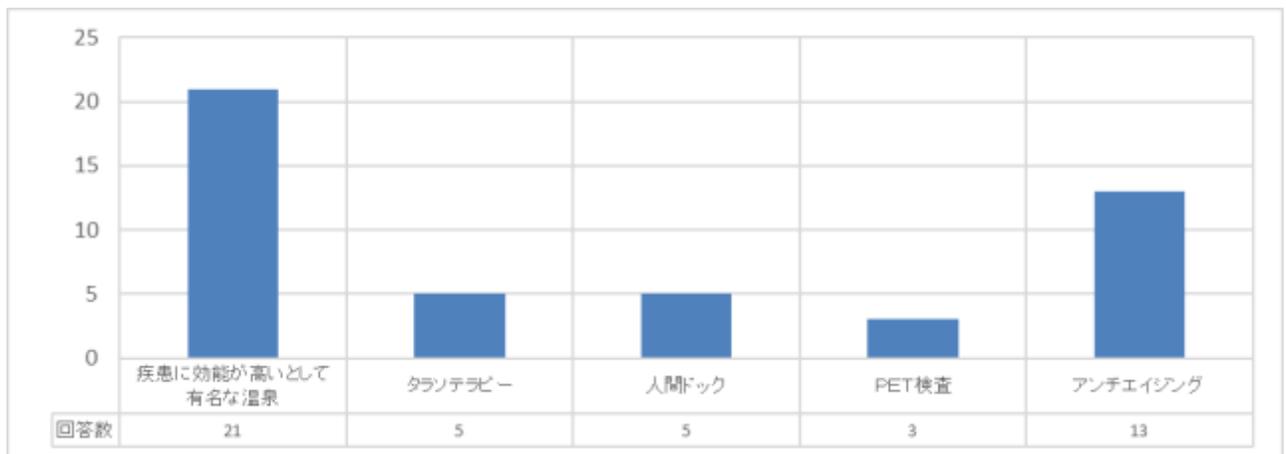
「ワインツーリズム」と親和性の高い旅行要素として「グルメ」や「温泉」が示唆された。また、価格帯に関しては3~10万円程度がボリュームゾーンであると考えられる。想定滞在費として200,001円の回答も回答数2ではあるが見られることから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数12/26%）であり、次に「クジラ・イルカ・バードウォッチング」、「豊富温泉」（各回答数11/各23%）である。また、「タラソテラピー」（回答数8/17%）が続く。

ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数21/45%）が特に多く、次に「アンチエイジング」（回答数13/28%）が多い。



ウィンツーリズムと親和性が高いヘルス系コンテンツ、サービスとしてはまず「**温泉**」（特に効能が高い）が示唆されたが、加えて「**クジラ・イルカ・バードウォッチング**」や「**タラソテラピー**」という海洋コンテンツとの組み合わせに対するニーズも示唆される結果であった。ヘルス系サービスにおいては、温泉以外では「**アンチエイジング**」との親和性が高いことが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「別荘リトリート」に一番関心のある回答者



○別荘リトリート

<市区町村>ニセコ・倶知安町

<コンテンツ紹介コメント>

リトリートとは、数日間日常を離れて、仕事や人間関係で疲れた心や体を癒す過ごし方のこと。貸別荘の多いニセコの自然を感じながら瞑想やヨガ等ゆったりとした時間を過ごして自身の心の声に耳を傾けてみてください。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 35)

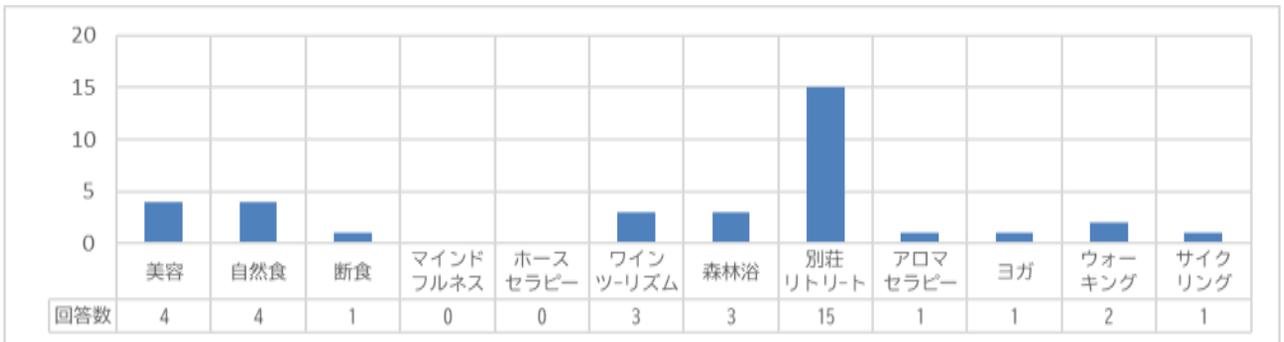


回答数は35、全体の8%が別荘リトリートに一番関心があると回答。男女比もほぼ半数ずつである。女性はすべての年代が関心があると回答。男性は30代以外の年代で関心があると回答。

特に関心があるのは40代男性・40代女性である。

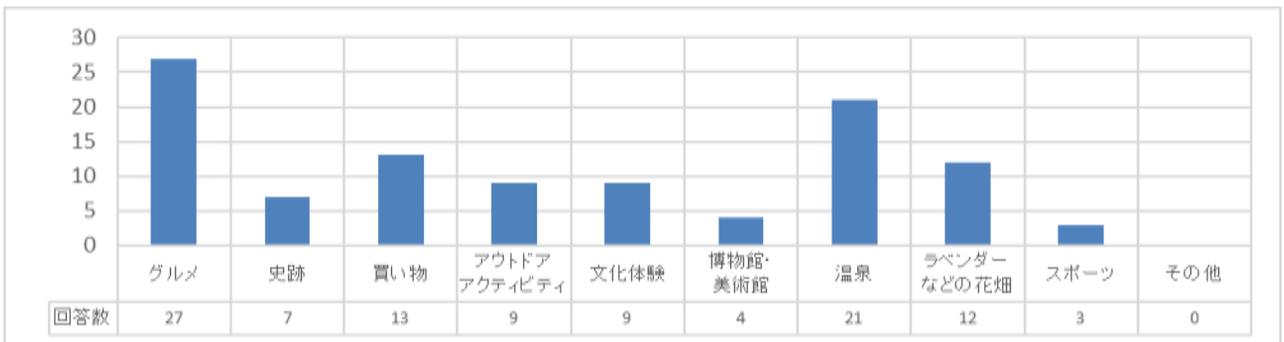
現実的な滞在日数は、3~5泊が多数を占める。回答数は2ではあるが、現実的に10泊以上の滞在が可能であるとの回答も見られた。また、理想的な滞在日数として、回答数は1ではあるが、14泊以上、30泊以上との回答も見られた。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

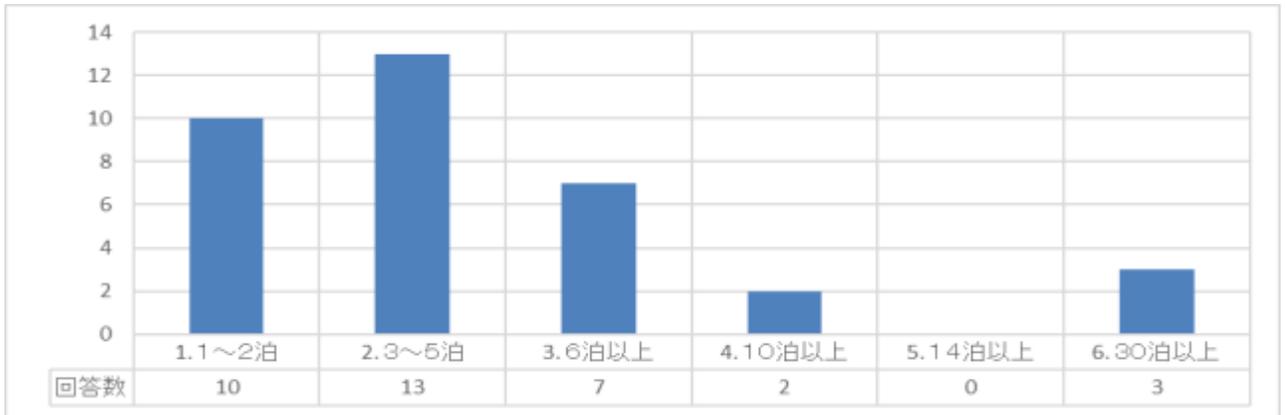
※複数回答可



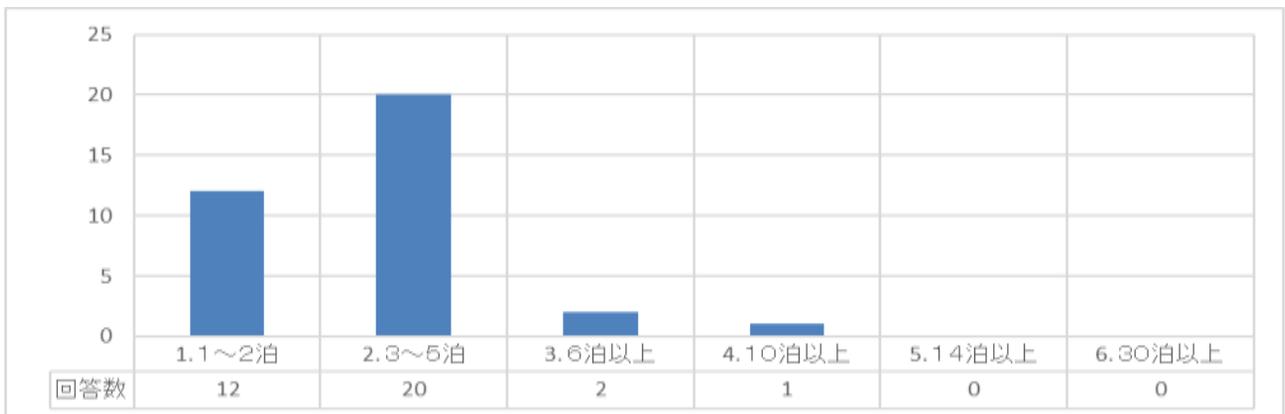
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

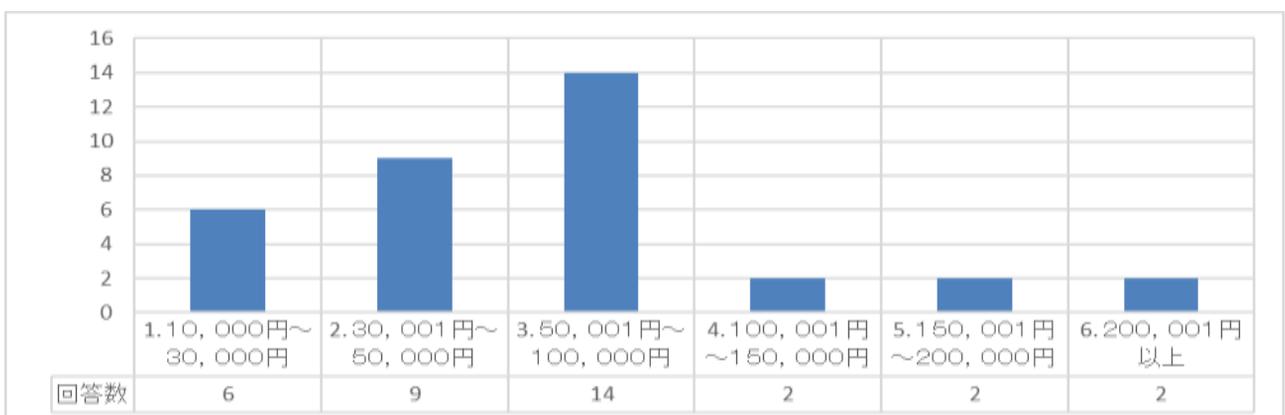
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



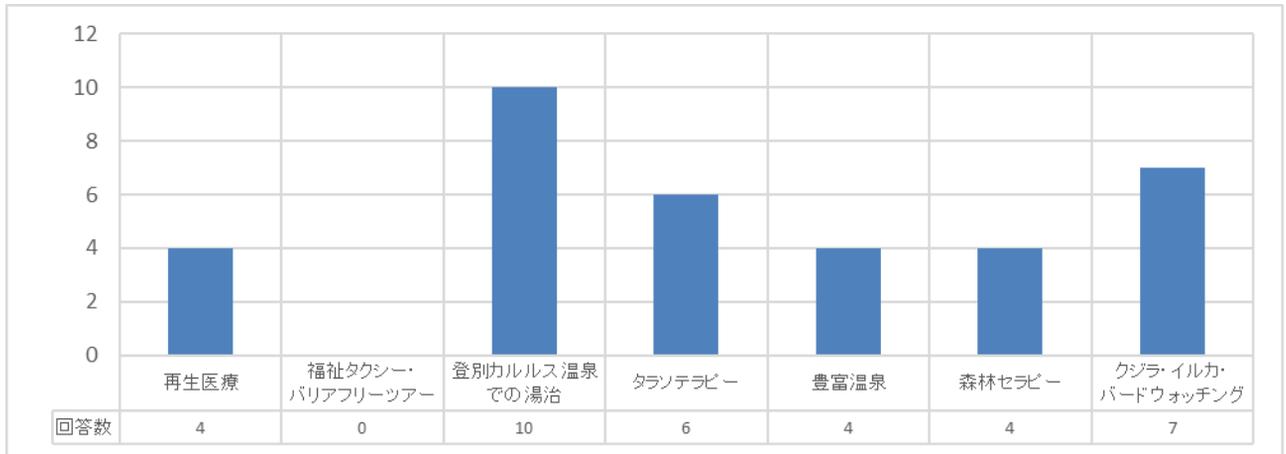
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、当然「別荘リトリート」(回答数15/43%)が特に多い。また、その他の回答としては「マインドフルネス」・「ホースセラピー」を除いた各サービスにも1~4の回答数で回答が分散した。組み合わせたい旅行要素では「グルメ」(回答数27)、「温泉」(回答数21)が突出していた。



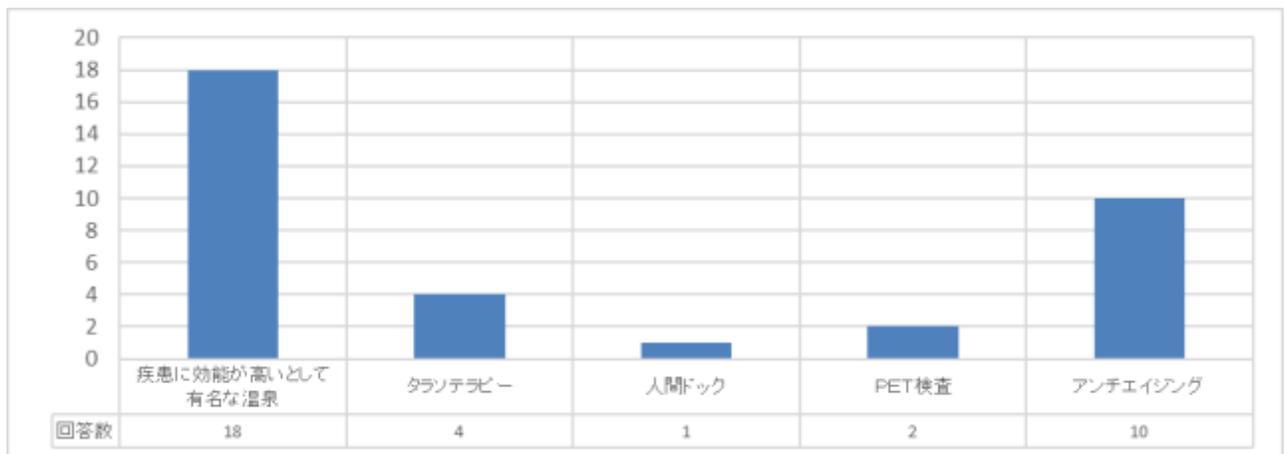
「別荘リトリート」と親和性の高い旅行要素として「グルメ」や「温泉」が示唆された。また、価格帯に関しては5~10万円程度がボリュームゾーンと考えられたが、想定滞在費として200,001円以上の回答も回答数2ではあるが存在しており、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数10/29%）であり、次に「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数7/20%）が続く。ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数18/51%）が特に多く、次に「アンチエイジング」（回答数10/29%）が多い。



「別荘リゾート」と親和性の高いヘルス系コンテンツ、サービスとしては「温泉」（特に効能が高い）が示唆された。また、その他のヘルス系コンテンツとして「クジラ・イルカ・バードウォッチング」や「タラソテラピー」という海洋コンテンツとの組み合わせに対するニーズも示唆される結果であった。ヘルス系サービスにおいては、温泉以外では「アンチエイジング」との親和性が高いことが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴」に一番関心のある回答者



○ 北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴

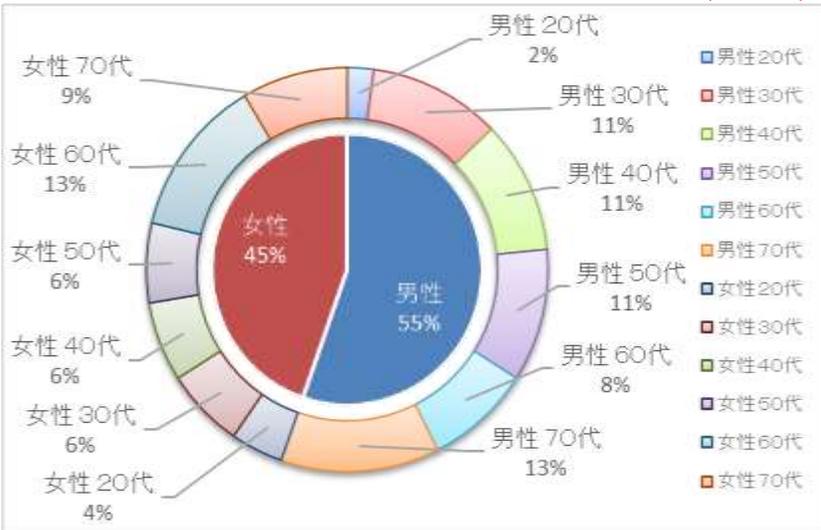
<市区町村>黒松内町

<コンテンツ紹介コメント>

国の天然記念物や北海道遺産に認定されている北限のブナ林「歌才ブナ林」で、森林浴とウォーキングを楽しみましょう。往復4kmの散策路を90分ほどかけてのんびり歩いたあとは、「黒松内温泉ぶなの森」でリフレッシュ!

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 47)

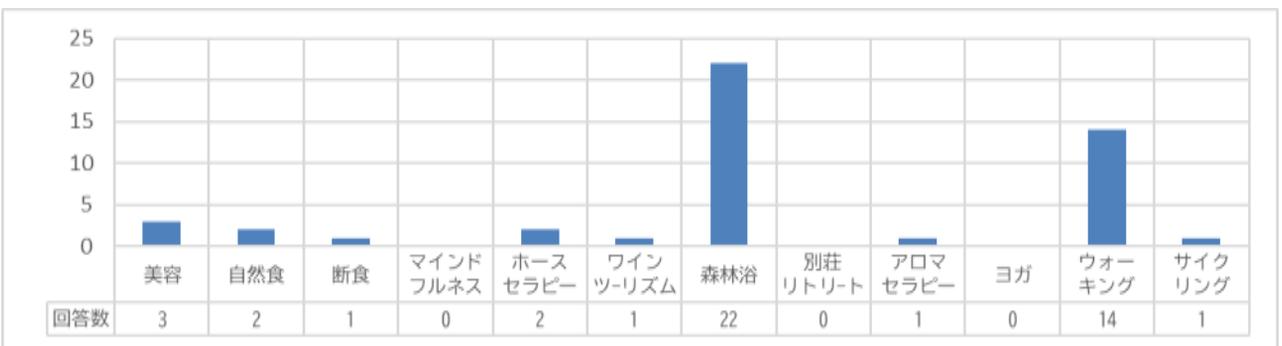


回答数は47、全体の10%が北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴に一番関心があると回答。男性比率がやや高く55%。また男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは男女ともに60代・70代である。

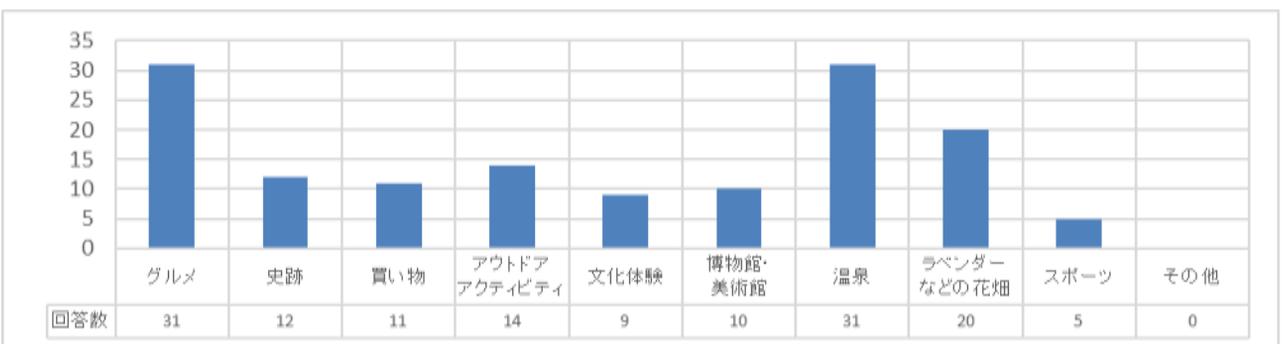
現実的な滞在日数は、3~5泊と1~2泊が大多数である。回答数は1ではあるが、現実的に10泊以上の滞在が可能であるとの回答も見られた。また、理想的な滞在日数としては、30泊以上の回答数が4と他のコンテンツに比べ多い。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

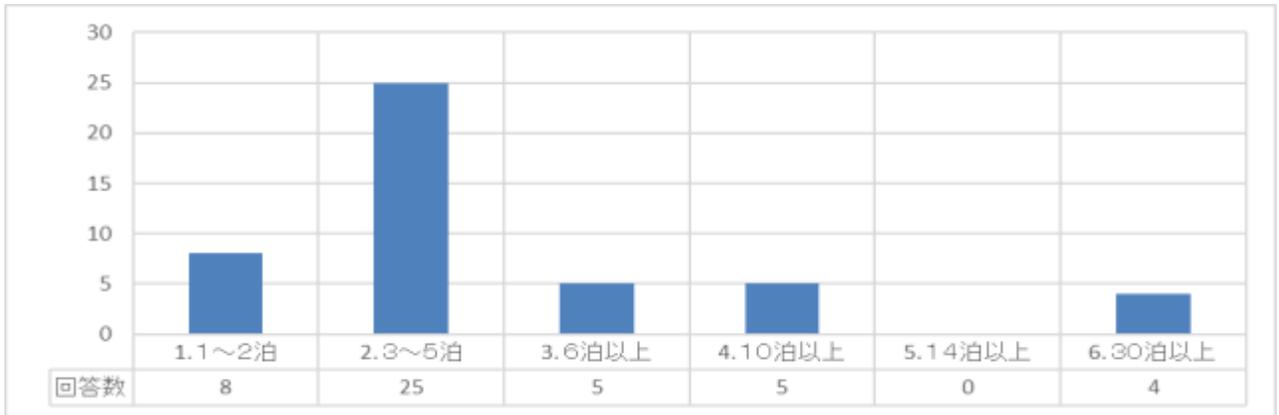
※複数回答可



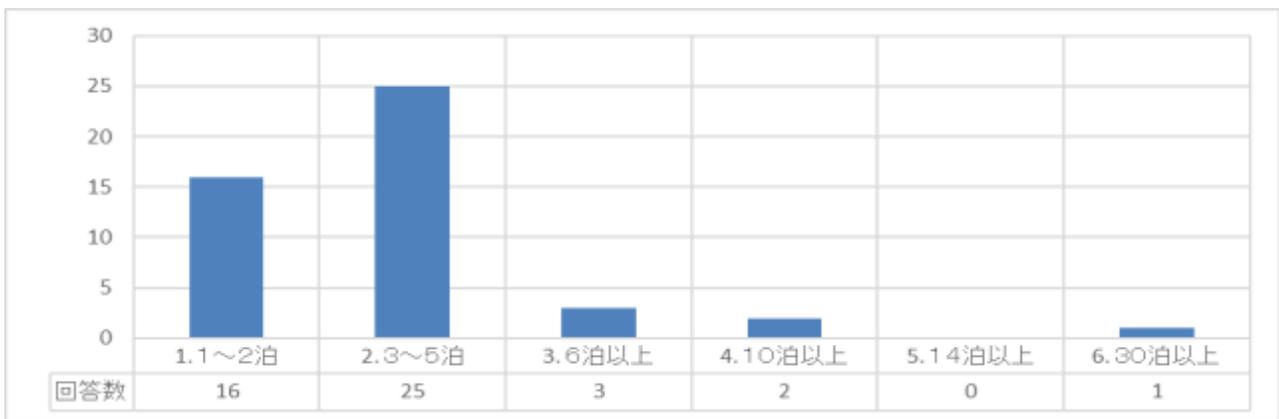
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

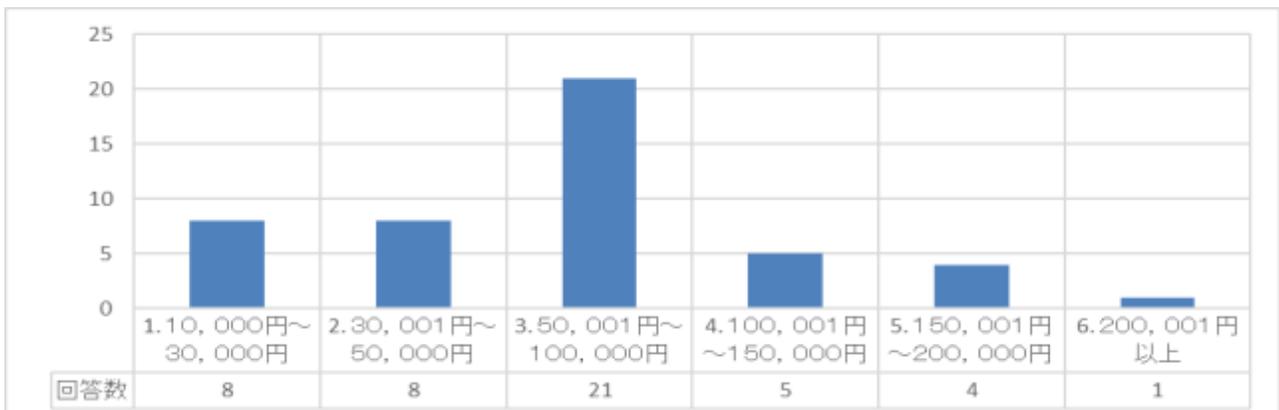
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



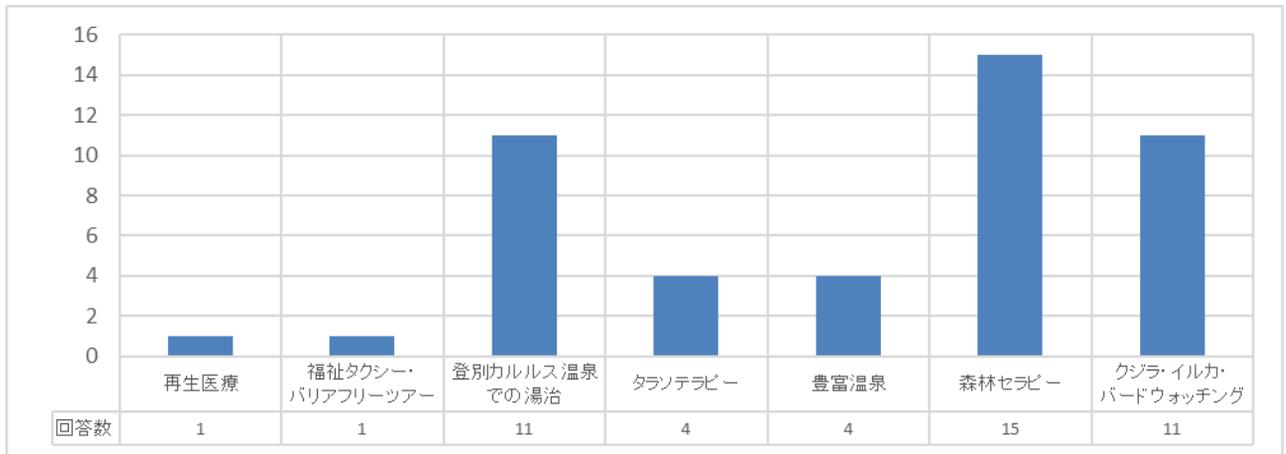
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「森林浴」(回答数22/47%) が特に多く、次に「ウォーキング」(回答数14/30%)が多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」・「温泉」(各回答数33)が特に多く、次に「ラベンダーなどの花畑」(回答数20)が多い。



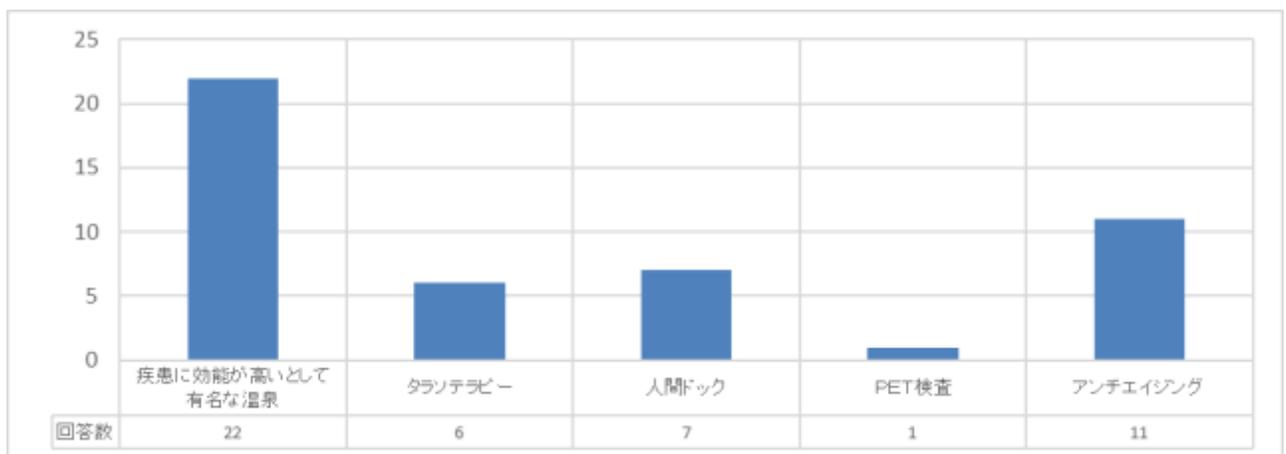
「北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴」に対してウェルネス系サービスであれば「ウォーキング」が、旅行要素としては「温泉」と「グルメ」が高親和性であるが、「ラベンダーなどの花畑」という植物系旅行要素の親和性の高さが示唆された。また、価格帯に関しては5~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。想定滞在費として200,001円の回答も回答数2ではあるが見られることから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、やはり「森林セラピー」（回答数15/32%）である。次に「登別カルルス温泉での湯治」と「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（各回答数11/各23%）が続く。ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数22/47%）が突出して高い。



「北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴」と特に親和性の高いヘルス系コンテンツ、サービスとしては、「温泉」（特に効能の高い）が示唆された。また、ヘルス系コンテンツとして「クジラ・イルカ・バードウォッチング」も関心を集めていることから、海洋系または動物系コンテンツとの高親和性も示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「サイクリング」に一番関心のある回答者



○サイクリング

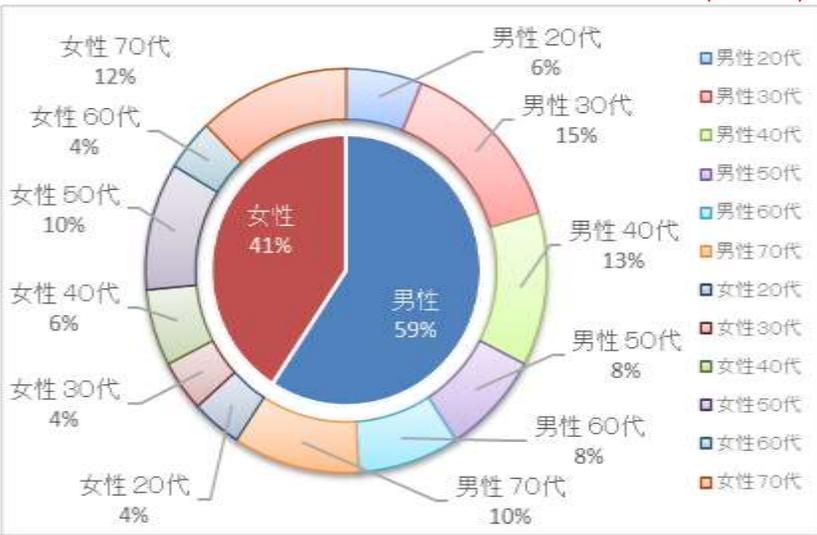
<市区町村>稚内市～旭川市

<コンテンツ紹介コメント>

サイクルート北海道のきた北海道ルートは旭川から372kmを駆け抜けて日本最北端の宗谷岬へ。山・田園・海と美しい景色を是非お楽しみください。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 49)

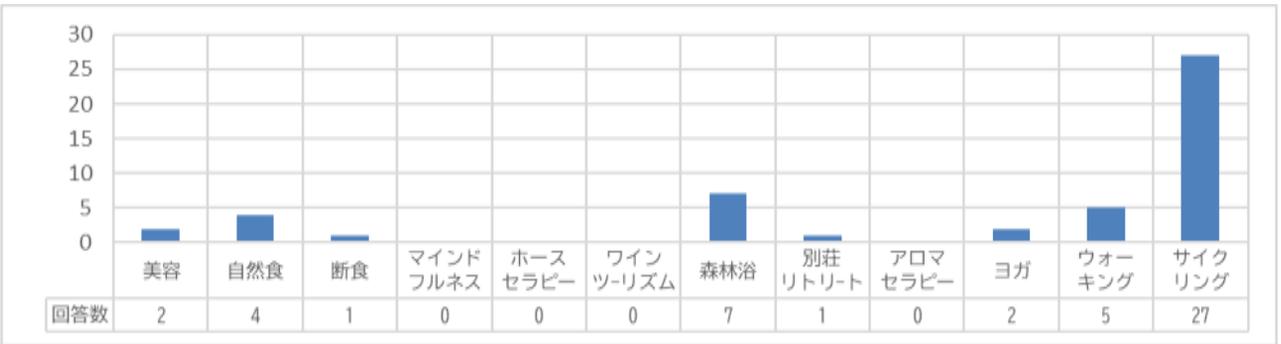


回答数は49、全体の11%がサイクリングに一番関心があると回答。男性比率がやや高く59%。また男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは30代・40代男性である。

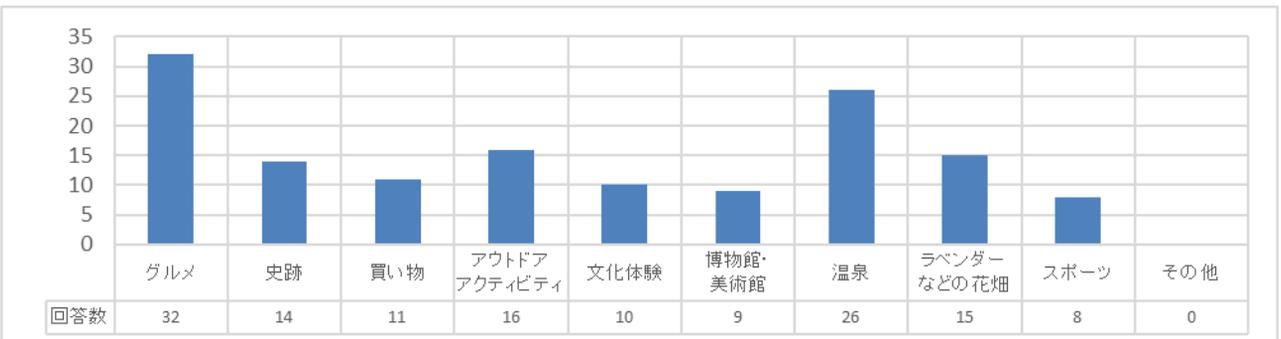
現実的な滞在日数は、3～5泊が大多数である。理想的な滞在日数としては、回答数が1～2ではあるが、14泊以上、30泊以上の回答もある。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

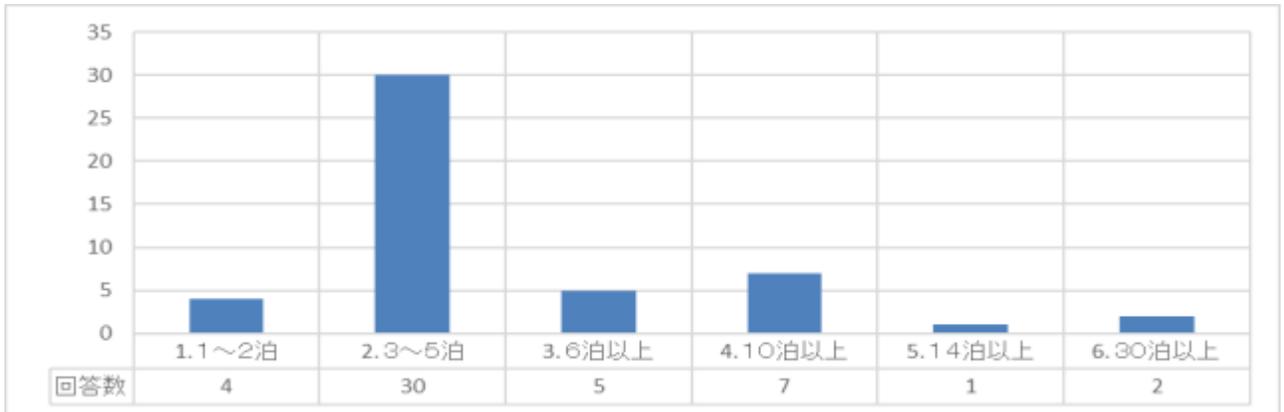
※複数回答可



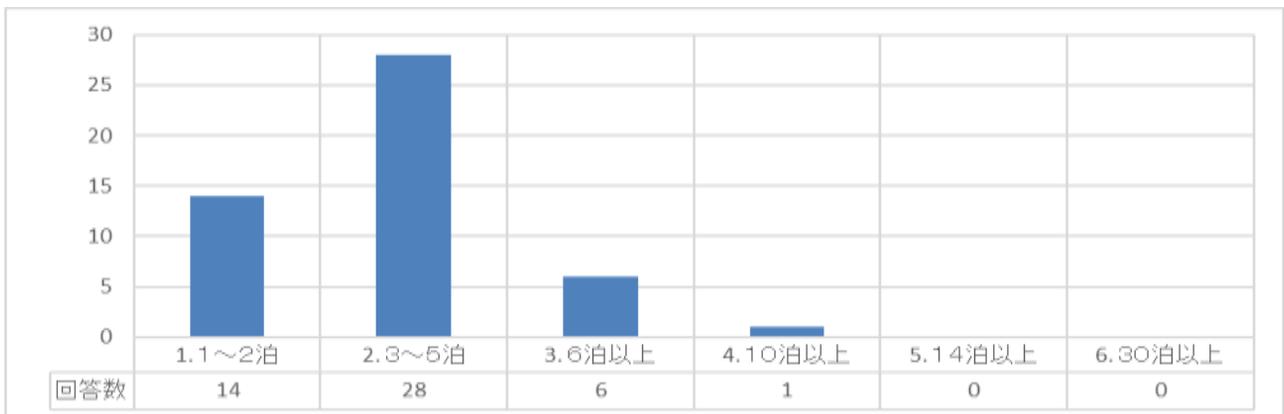
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

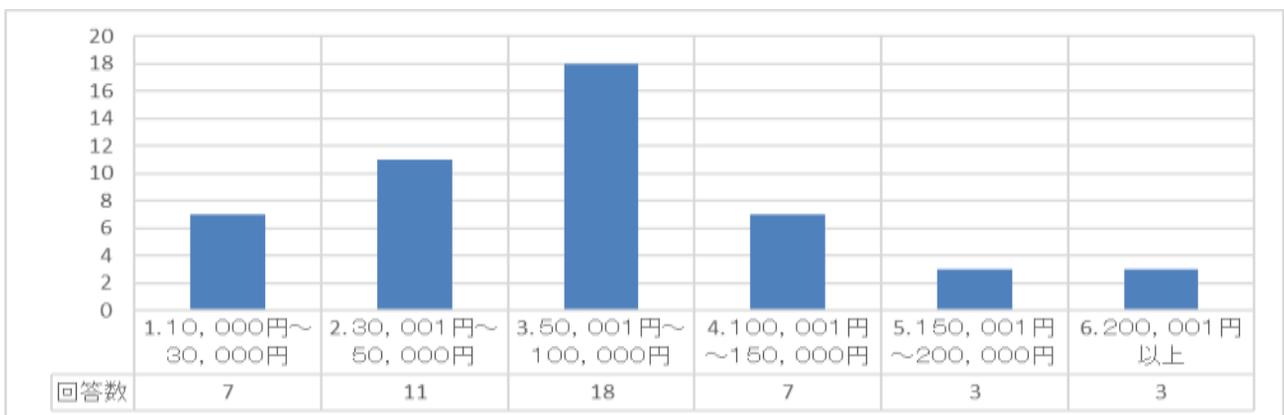
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



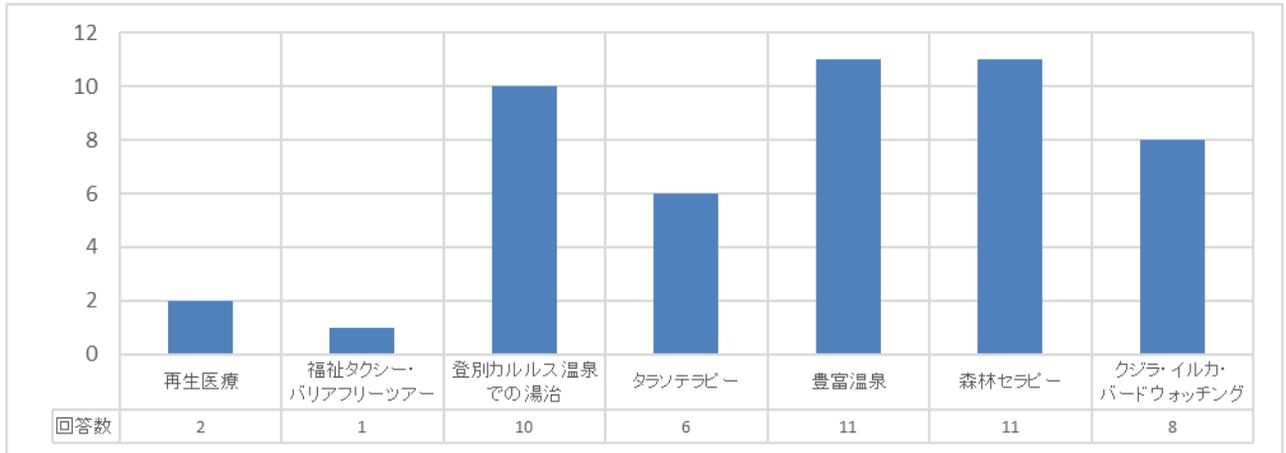
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、やはり「サイクリング」(回答数27/55%)が突出して多い。次に「森林浴」(回答数7/14%)が続くが、その差は大きい。組み合わせたい旅行要素では「グルメ」(回答数32)が多く、次に「温泉」(回答数26)が続くが、「アウトドアアクティビティ」(回答数16)が比較的多いことが特徴的であった。



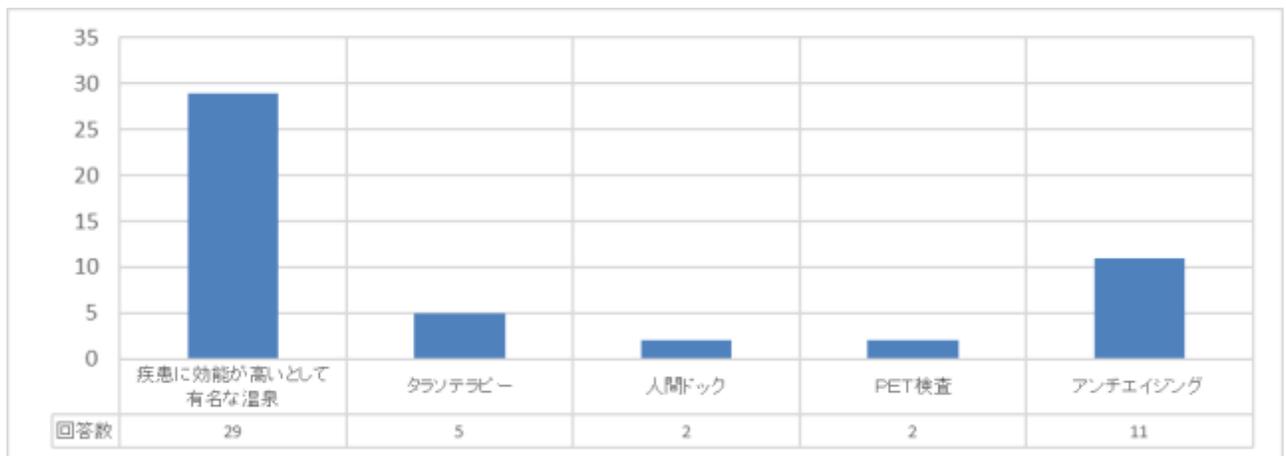
「サイクリング」と親和性の高い旅行要素として「グルメ」や「温泉」と共に、他の「アウトドアアクティビティ」も示唆される結果であった。また価格帯は5~10万円程度がボリュームゾーンであると考えられたが、想定滞在費として200,001円の回答も回答数3ではあるが見られることから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、回答が分散した。「豊富温泉」と「森林セラピー」（各回答数11/各22%）で多く、次に「登別カルルス温泉での湯治」（回答数10/20%）が続く。ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数29/59%）が突出して高い。



「サイクリング」と親和性が高いヘルス系コンテンツ、サービスとしては、まず「温泉」（特に効能が高い）が示唆された。加えて、「森林セラピー」や「クジラ・イルカ・バードウォッチング」といった自然系コンテンツや「クジラ・イルカ・バードウォッチング」や「タラソテラピー」といった海洋コンテンツとの組み合わせに対するニーズも示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「サウナ」に一番関心のある回答者



○サウナ

<市区町村>上富良野町
 <コンテンツ紹介コメント>
 吹上温泉保養センター白銀荘はドラマ「サ道」のロケ地としても有名。全国のサウナ好きが訪れ、北海道サウナの聖地とも言われています。セルフフローリュと雪ダイブ、源泉100%の温泉で大満足!

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 20)



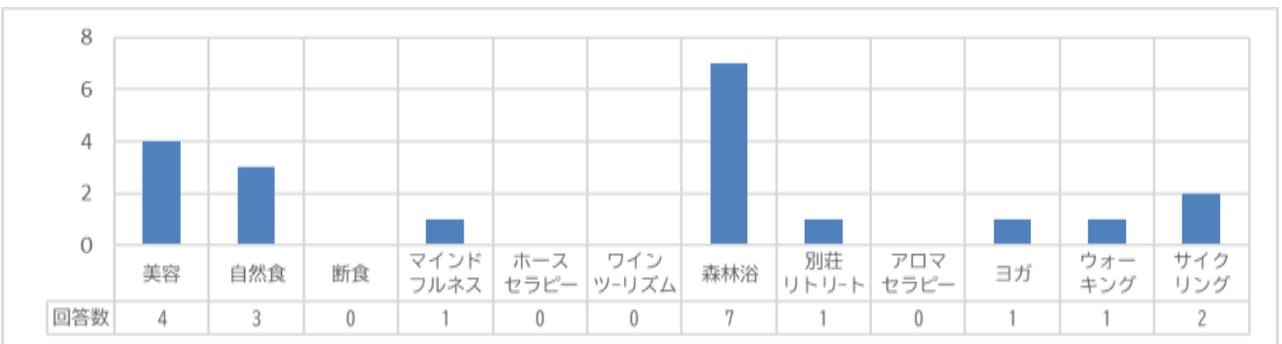
回答数は20、全体の4%がサウナに一番関心があると回答。男性比率が高く65%。

特に関心があるのは20代・40代男性である。女性では30代の関心が高い。

滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的ともに半数以上を占める。次に6泊以上の回答が多い。

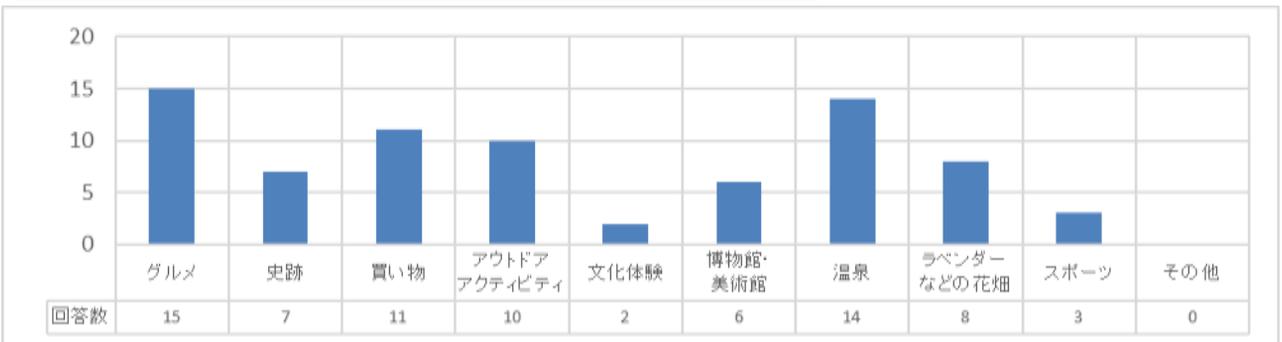
理想的な滞在日数と現実的な滞在日数の乖離が比較的少ない。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

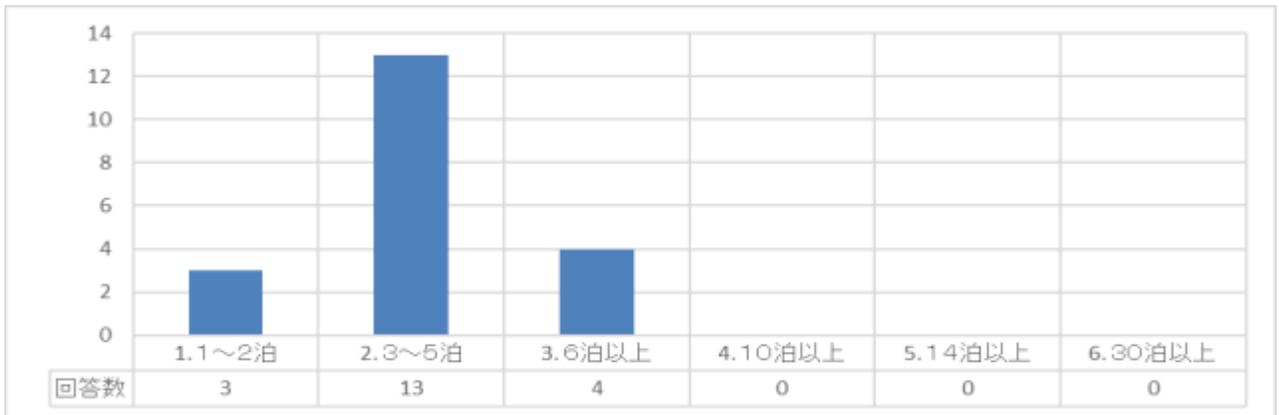
※複数回答可



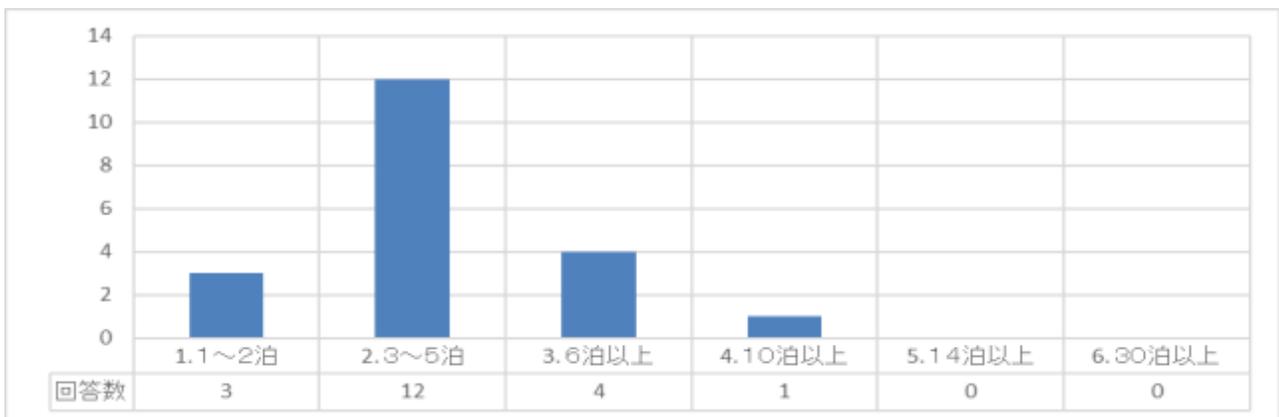
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

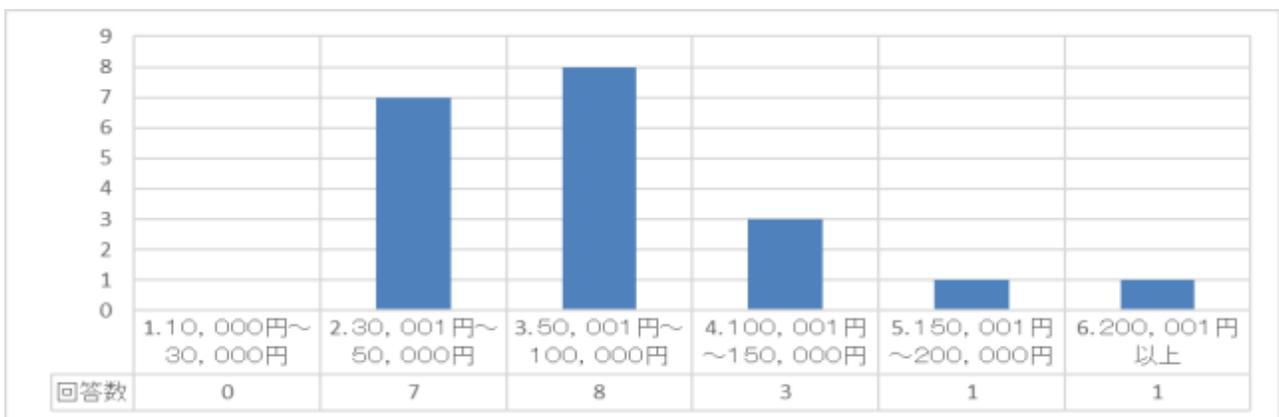
4. 理想的な滞在日数（ウェルネス）



5. 現実的な滞在日数（ウェルネス）



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



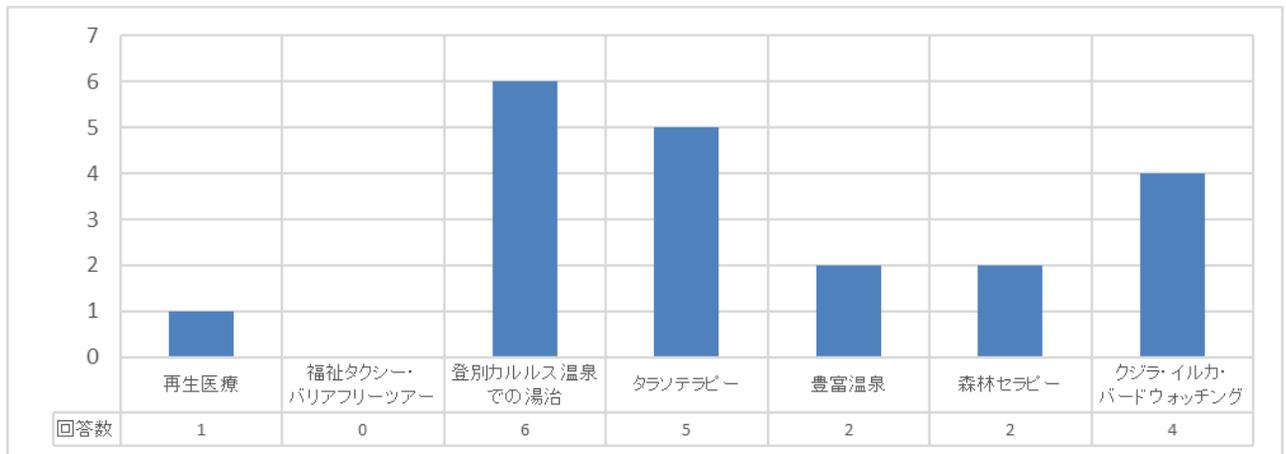
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「森林浴」（回答数7/35%）が特に多い。次に「美容」（回答数4/20%）が多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数15）が多く、次に「温泉」（回答数14）が多い。



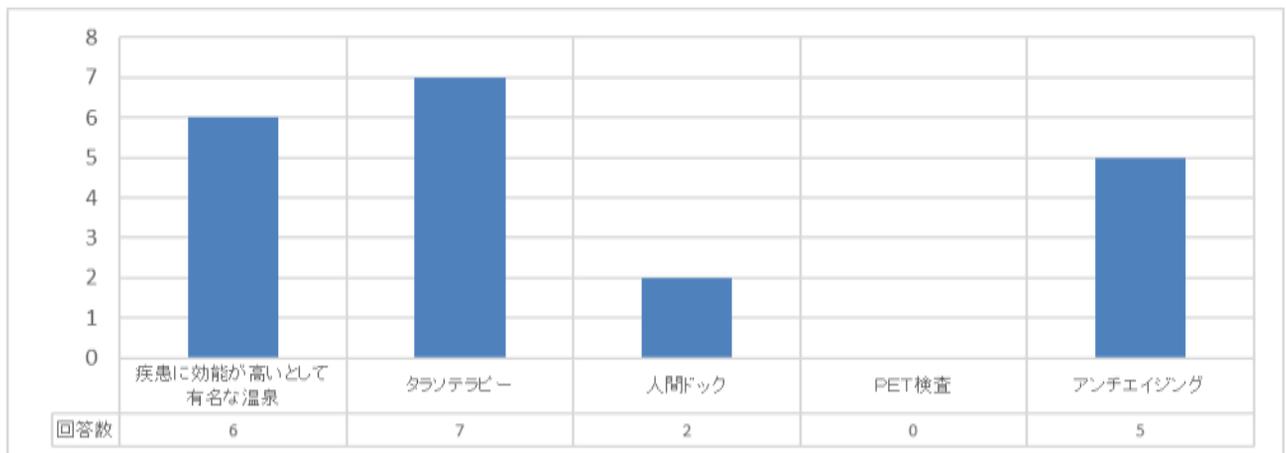
ウェルネス系サービスとして「サウナ」と親和性の高い組み合わせとして「森林浴」が示唆された結果であった。また価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンと考えられたが、想定滞在費として200,001円以上の回答も回答数1ではあるが存在することから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数6/30%）が最も多く、「タラソテラピー」（回答数5/25%）、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数4/20%）が続く。ヘルス系サービスにおいても「タラソテラピー」が回答数7/35%で最も多かった。



「サウナ」に対して「温泉」（効能の高い）の他に親和性の高さが示唆されたヘルス系コンテンツ、サービスとして「タラソテラピー」や「クジラ・イルカ・バードウォッチング」という海洋系コンテンツがあげられたことが特徴的であった。また、ヘルス系サービスとして、「アンチエイジング」の親和性の高さも示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「滝上ハーブガーデン」に一番関心のある回答者

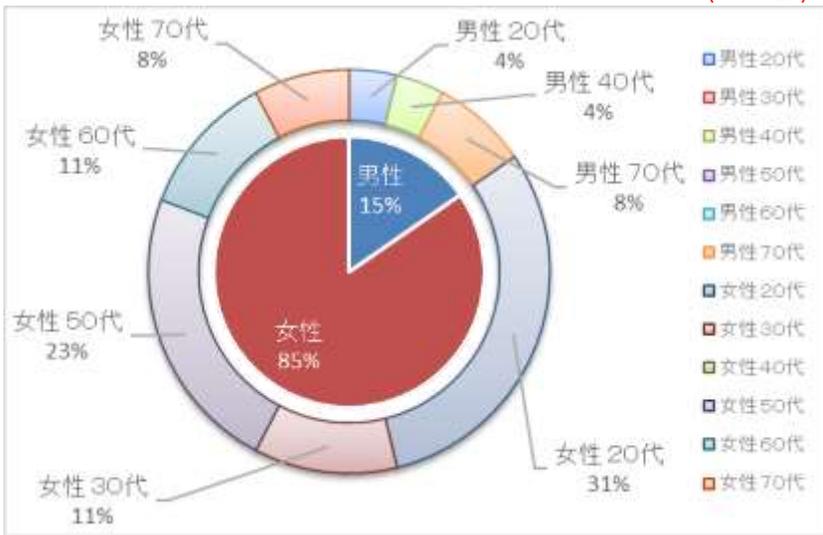


○滝上ハーブガーデン

<市区町村>滝上町
 <コンテンツ紹介コメント>
 ミント生産量95%!日本一を誇る滝上町。香りの里ハーブガーデンのヨガ&ハーブティでリフレッシュ。誰でも楽しめる香りの観光をお楽しみください。石鹸作りなど手軽なハーブクラフトも体験することができます。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 26)

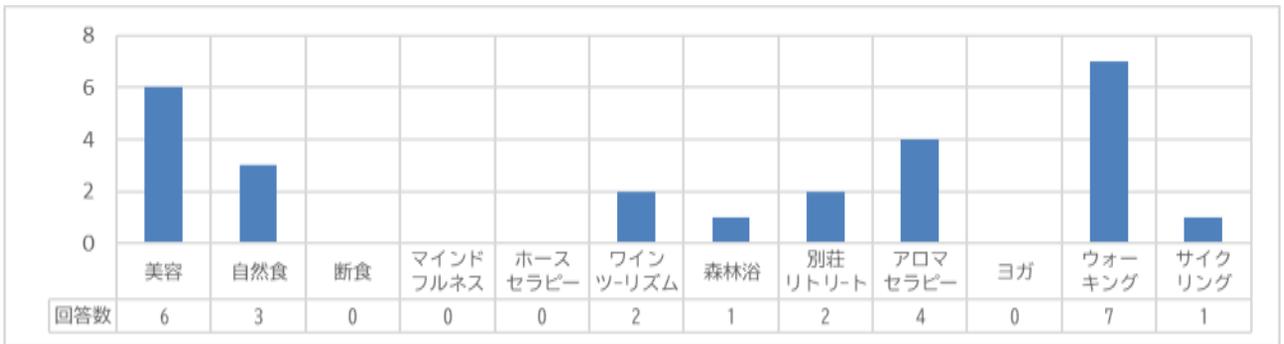


回答数は26、全体の6%が滝上ハーブガーデンに一番関心があると回答。女性比率が大変高く85%。

特に関心があるのは20代・60代女性である。

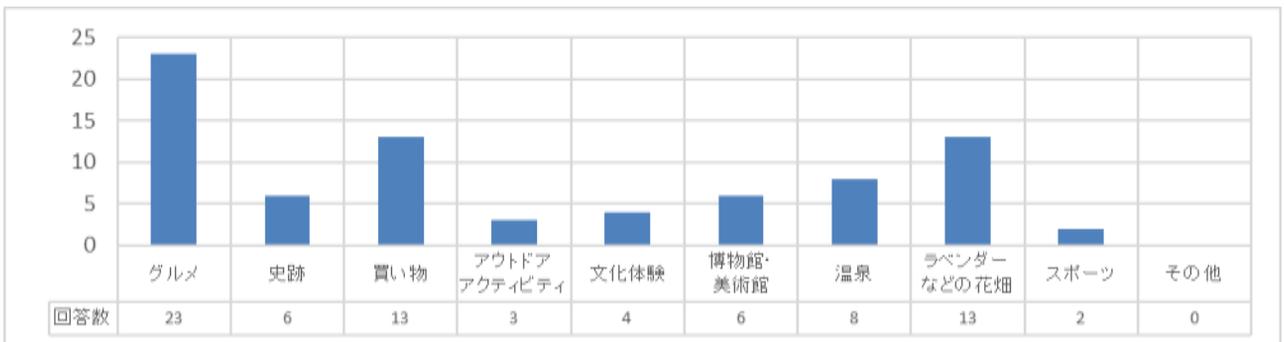
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的ともに半数以上を占める。次に1~2泊以上の回答が多い。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

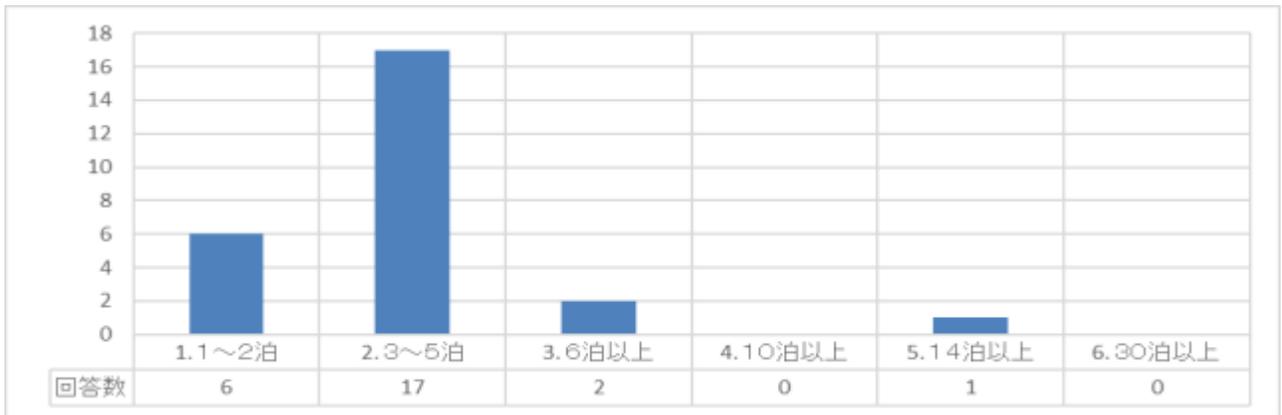
※複数回答可



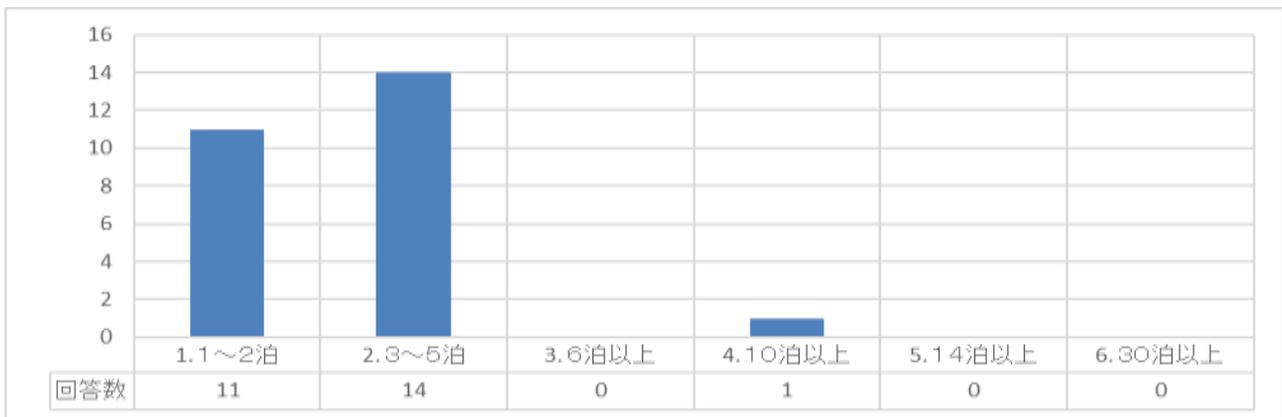
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

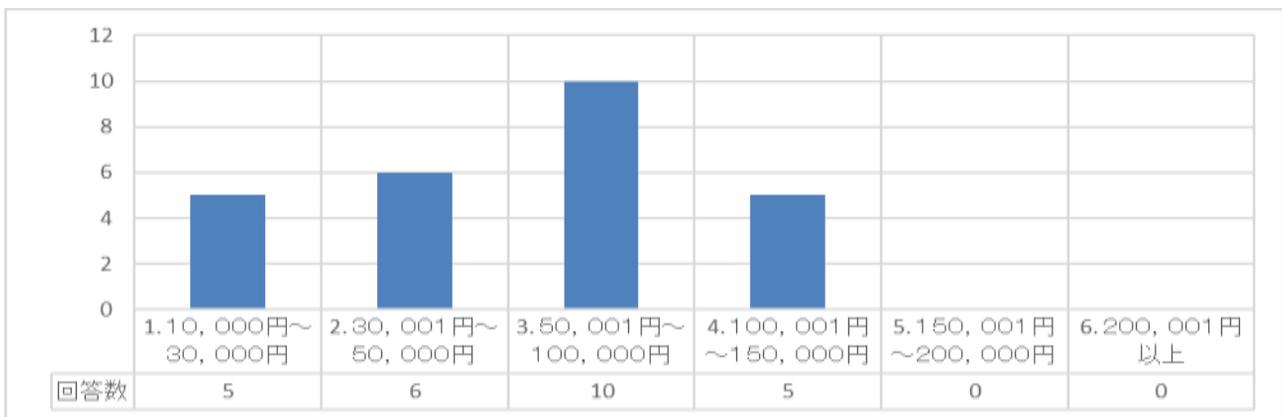
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



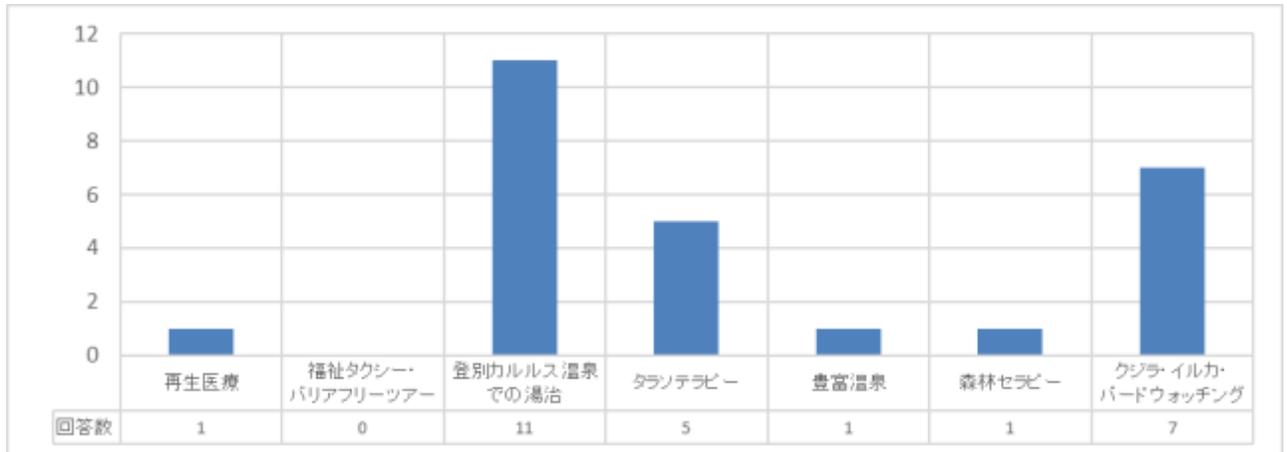
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「ウォーキング」(回答数7/各27%)が多く、次に「美容」(回答数6/23%)が多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数23)が多く、次に「買い物」(回答数13)・「ラベンダーなどの花畑」(回答数13)が多い。



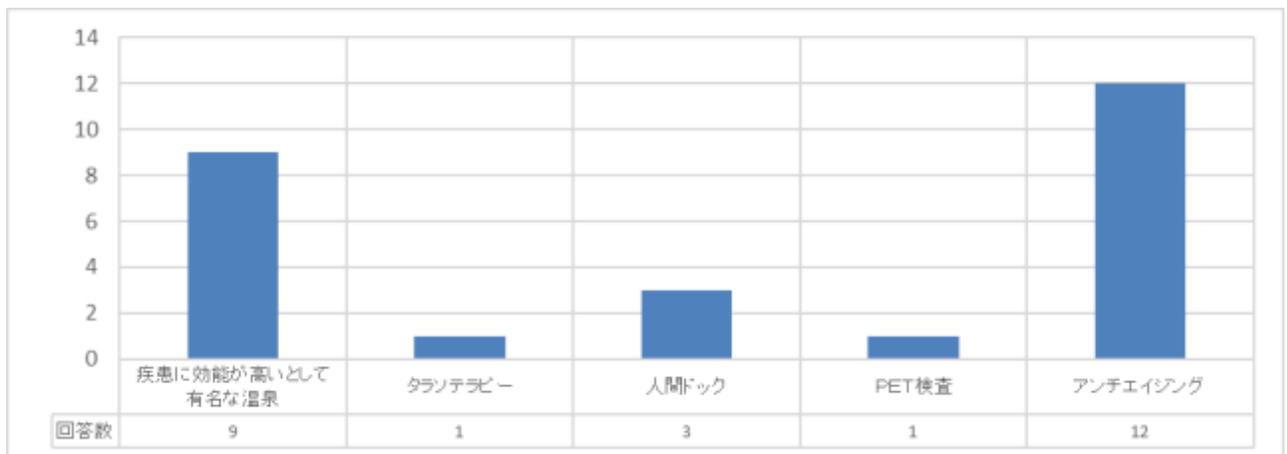
「滝上ハーブガーデン」と親和性が高いウェルネス系コンテンツとしては「ウォーキング」や「美容」が示唆された。また価格帯は5~10万円程度がボリュームゾーンであると示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数11/42%）が多く、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数7/27%）が続く。ヘルス系サービスは、「アンチエイジング」（回答数12/46%）が高い。「アンチエイジング」が高いのは12コンテンツ中、滝上ハーブガーデンのみである。



「滝上ハーブガーデン」との親和性の高いヘルス系コンテンツ、サービスとしては「温泉」（効能の高い）が示唆される結果であったが、ヘルス系サービスとして「アンチエイジング」との親和性の高さも強く示唆される結果であった。コンテンツとしては、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」や「タラソテラピー」といった海洋系コンテンツとの親和性も示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「森林浴」が一番関心のある回答者



○森林浴

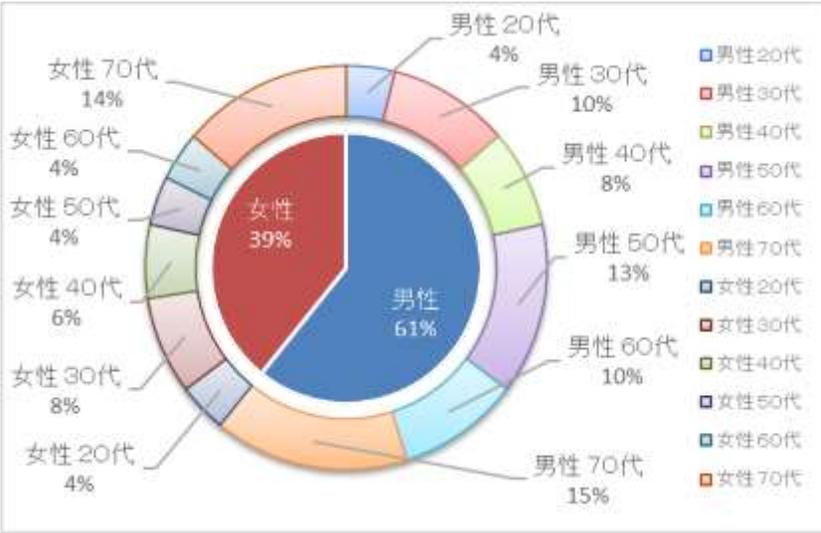
<市区町村>置戸町

<コンテンツ紹介コメント>

様々な植物を観察できる「鹿の子沢」。小川が流れ、鳥や虫の声、風で木々が擦れる音を感じながら森林浴でリフレッシュ。森林工芸館の見学や木のモノづくり教室で更に木と触れ合ひましょう。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 51)

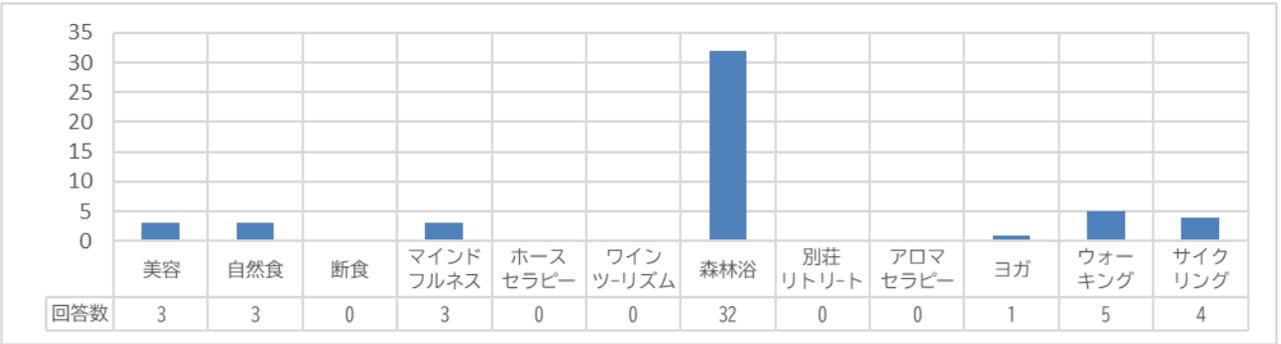


回答数は51、全体の11%が森林浴が一番関心があると回答。男性の比率がやや高く61%。また男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは70代男性・女性である。

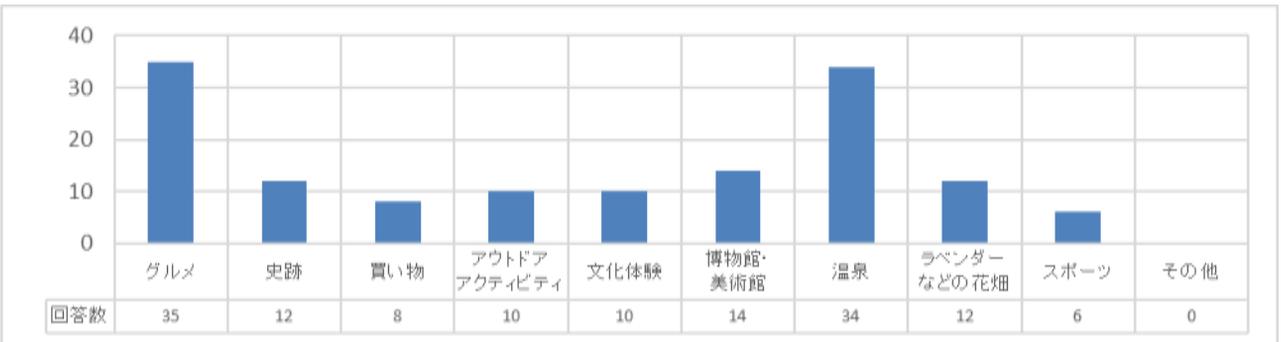
現実的な滞在日数は、3~5泊が半数以上を占める。また、理想的な滞在日数としては、30泊以上の回答数が5と他のコンテンツに比べ多く、現実的にも可能である回答数は3であった。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

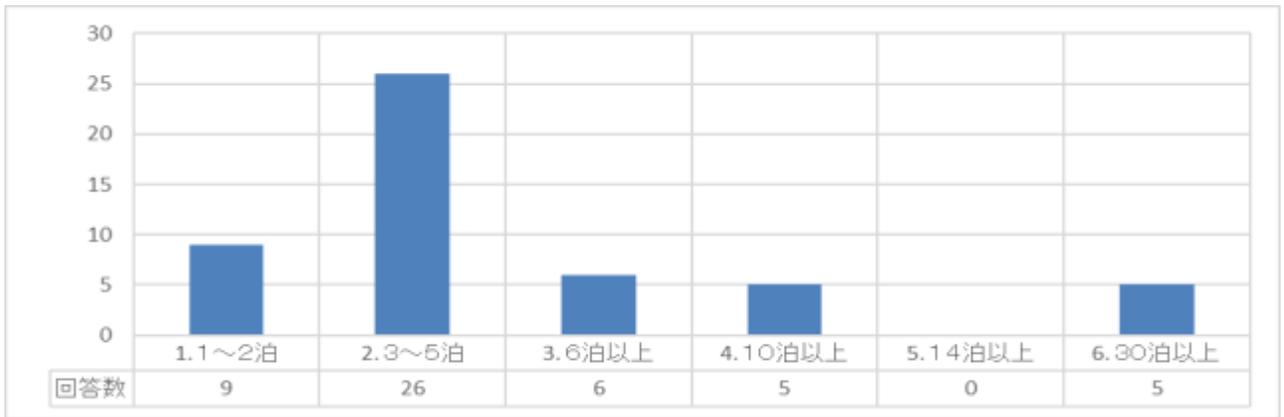
※複数回答可



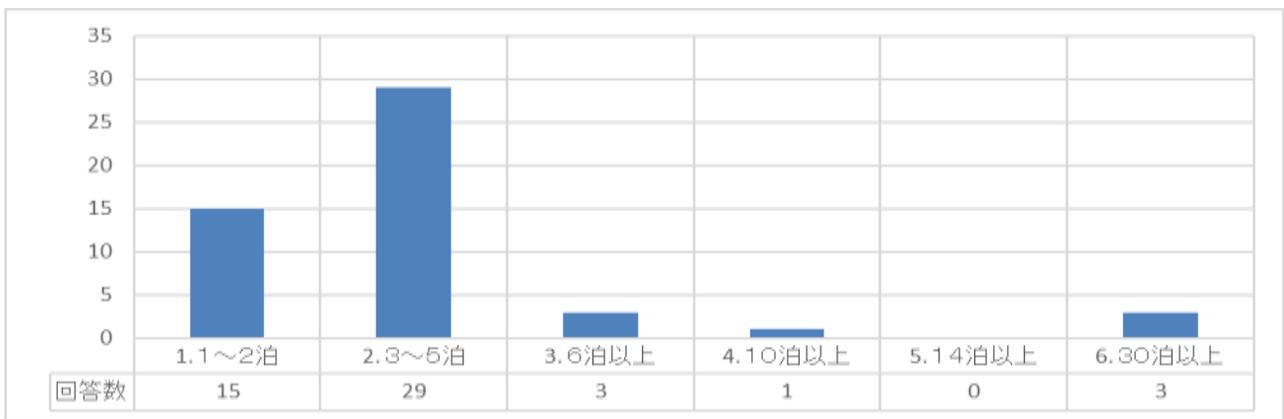
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

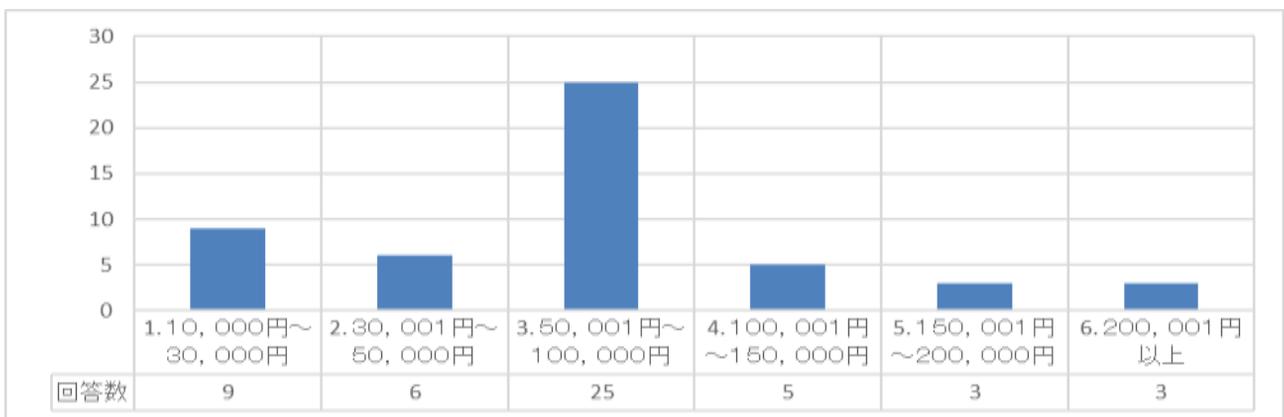
4. 理想的な滞在日数（ウェルネス）



5. 現実的な滞在日数（ウェルネス）



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



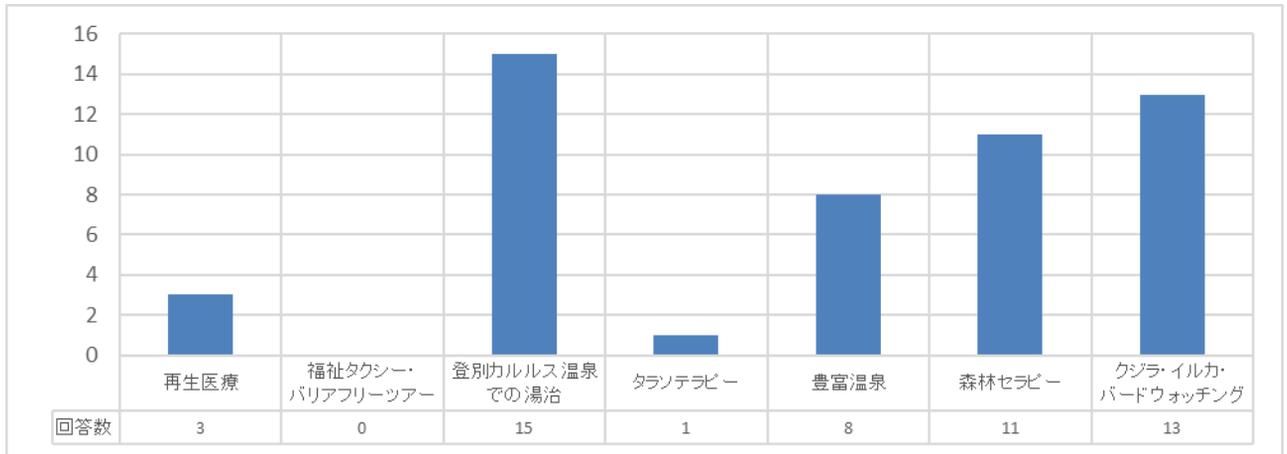
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、「森林浴」（回答数32／63%）が突出している。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数35）、「温泉」（回答数34）が多く、次に「博物館・美術館」（回答数14）、「ラベンダーなどの花畑」（回答数12）、「史跡」（回答数12）と続く。



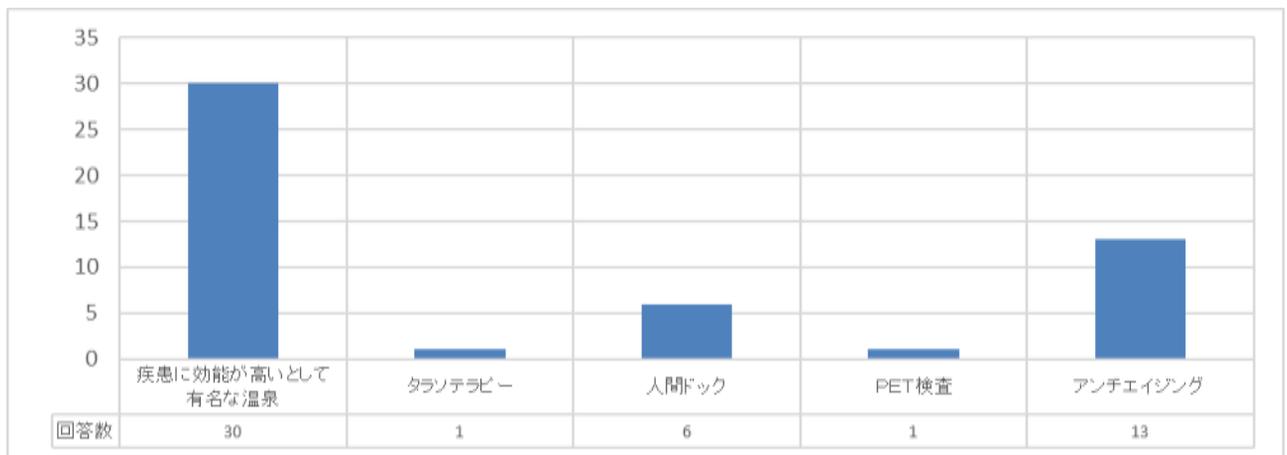
「森林浴」との組み合わせる旅行要素として「温泉」や「グルメ」との親和性が高いことが示唆されたが、「博物館・美術館」などのその他の要素も満遍なく回答者がいることから、親和性の高い組み合わせの幅の広さが示唆された。また価格帯は5~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数15/29%）が最も多かったが、次に続く「クジラ・イルカ・バードウォッチング」（回答数13/25%）、「森林セラピー」（回答数11/各22%）も比較的高い回答率であった。

ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数30/59%）が突出して高い。



「森林浴」と組み合わせるヘルス系コンテンツ、サービスとしては、「温泉」（効能の高い）の親和性の高さが示唆されたが、その他のヘルス系コンテンツとして、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」、「森林セラピー」といった自然系コンテンツの親和性も示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ウェルネス系コンテンツで、「**モール温泉のガーデンスパ体験&ウォーキング**」に一番関心のある回答者



○モール温泉のガーデンスパ体験&ウォーキング

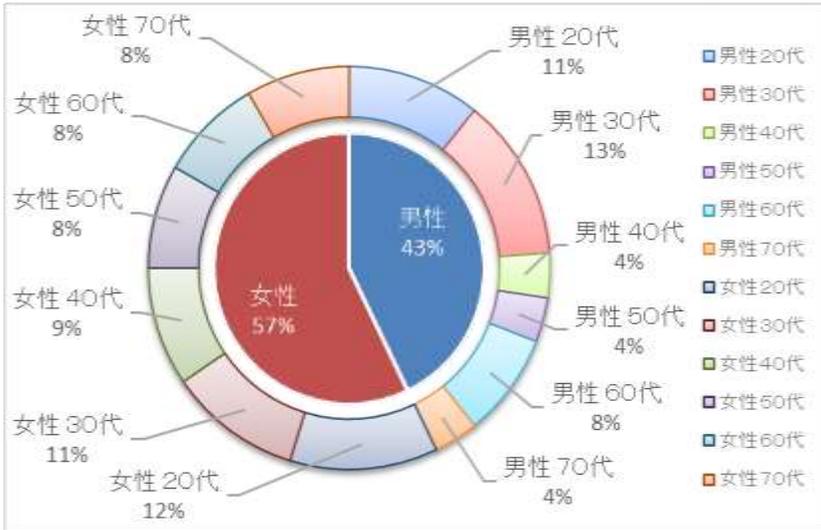
<市区町村>音更町

<コンテンツ紹介コメント>

モールの湯はかつてアイヌの人たちが薬の沼と言っていたという語り伝えもある温泉。植物性の有機物を多く含み、効能豊富で美肌効果あり。北海道遺産でもあります。ガーデンスパ&ウォーキングで体の内外とも元気に!

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N = 84)

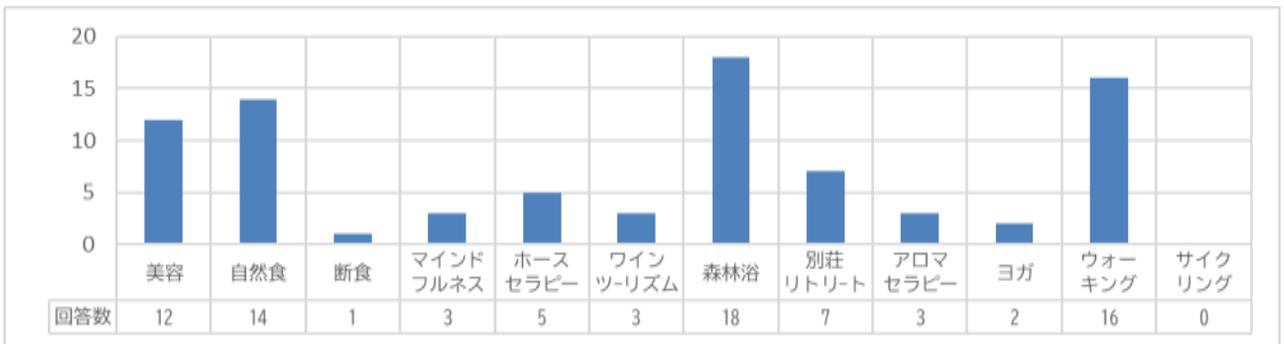


回答数は84、全体の19%がモール温泉のガーデンスパ体験&ウォーキングに一番関心があると回答。女性比率がやや高く57%。男女ともにすべての年代が関心があると回答。

特に関心があるのは20-30代男性・女性である。

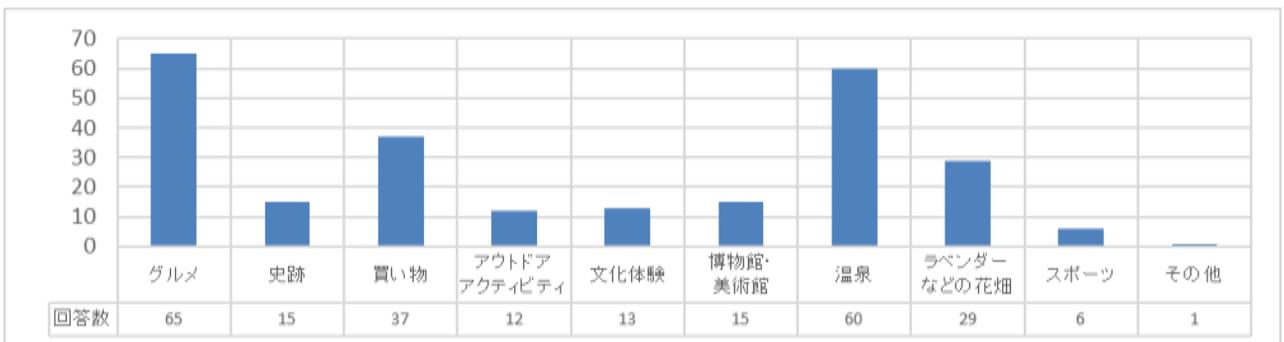
現実的な滞在日数は、3~5泊が多数を占める。回答数は2ではあるが、現実的には1~2泊お比率が高まる。

2. 最も興味があるウェルネス系サービス



3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

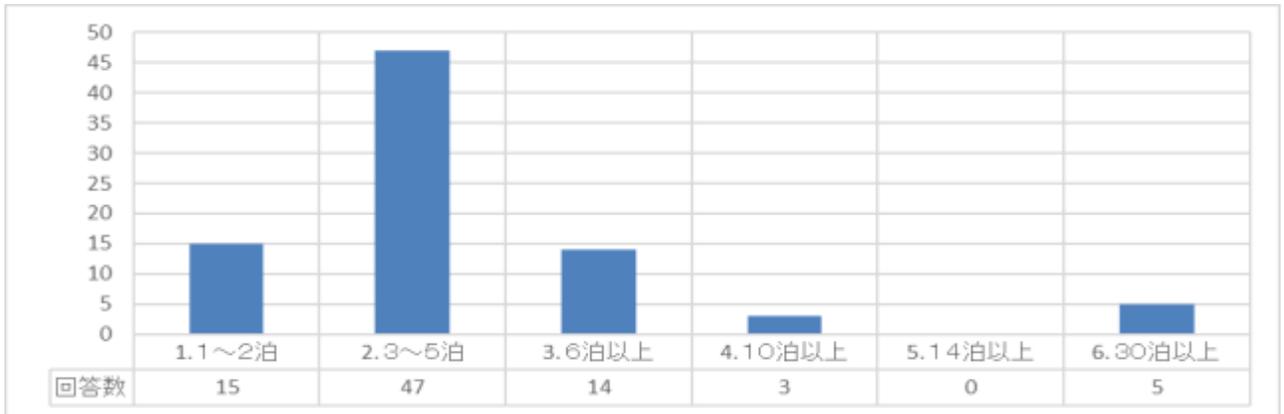
※複数回答可



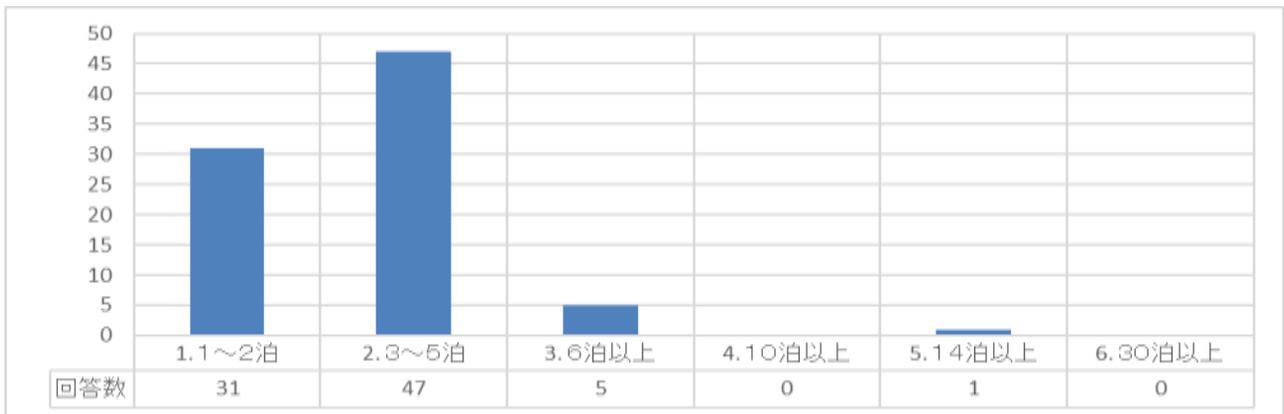
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

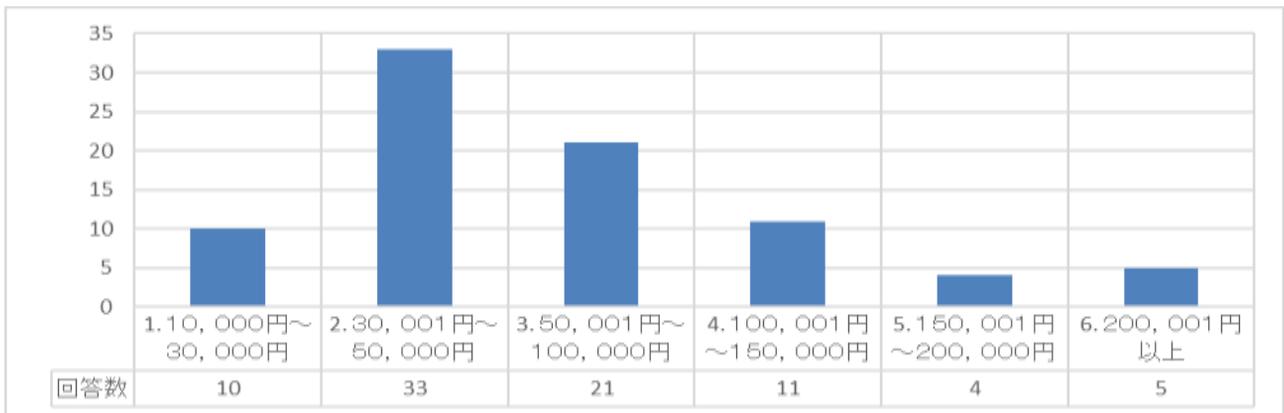
4. 理想的な滞在日数 (ウェルネス)



5. 現実的な滞在日数 (ウェルネス)



6. ウェルネスを目的の想定滞在費



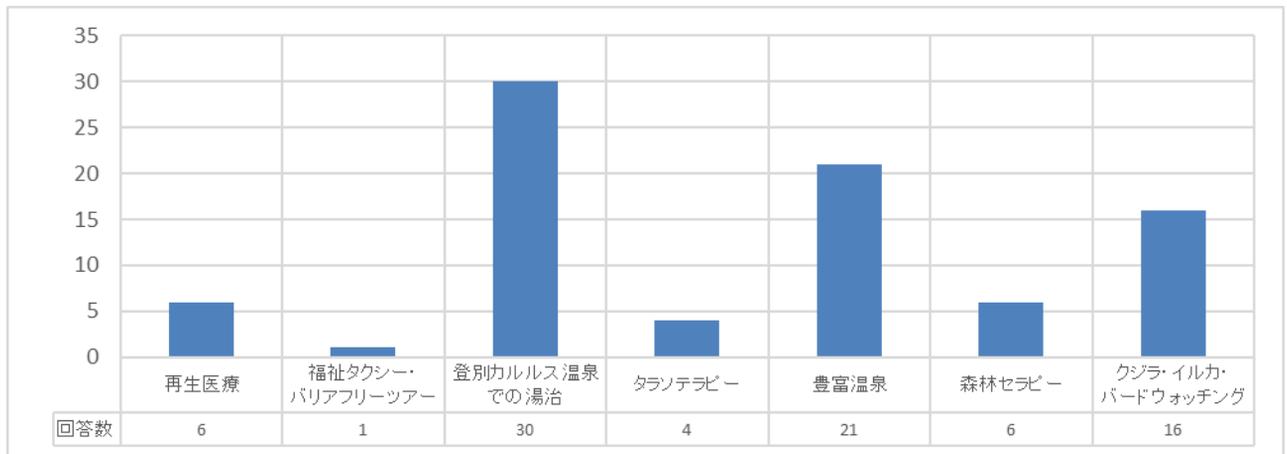
ウェルネス系サービスで最も興味があるサービスは、回答が分散した。「森林浴」(回答数18/21%)が多く、次に「ウォーキング」(回答数16/19%)、「自然食」(回答数14/17%)、美容(回答数12/14%)が続く。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数65)、「温泉」(回答数60)が多く、次に「買い物」(回答数37)が多い。



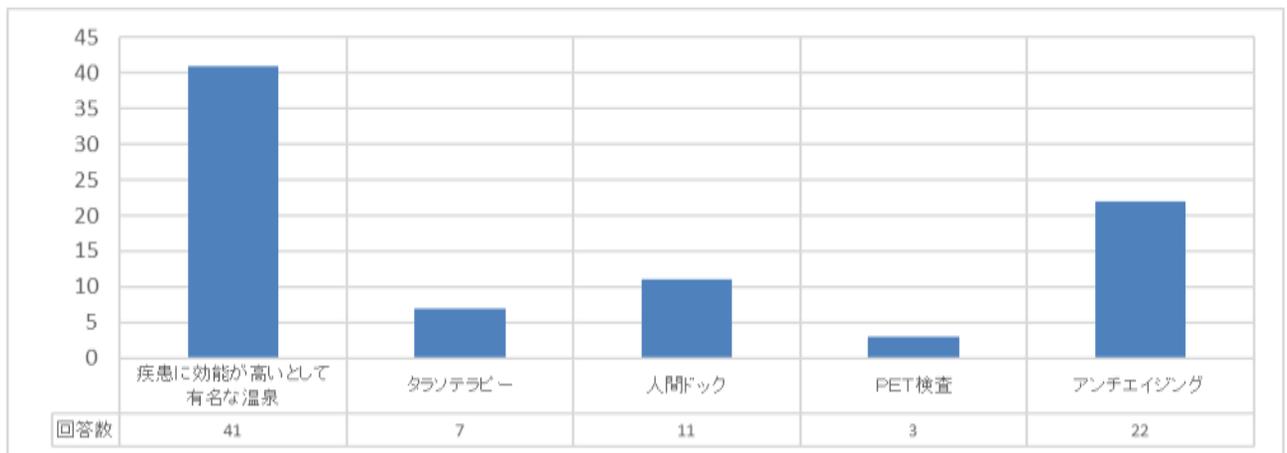
「モール温泉のガーデンスパ体験&ウォーキング」との組み合わせるウェルネス系サービスとして、「ウォーキング」を除けば、「森林浴」「自然食」「美容」との親和性の高さが示唆され、その幅の広さが示唆された。また、価格帯としては3~5万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された結果であったが、想定滞在費として200,001円以上の回答も回答数5で存在することから、高額商品における訴求力があることも示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



8. 最も興味があるヘルス系サービス



一番関心のあるヘルス系コンテンツは、「登別カルルス温泉での湯治」（回答数30/36%）であり、次に「豊富温泉」（回答数21/25%）である。
ヘルス系サービスは、「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数41/49%）が突出して多く、次に「アンチエイジング」（回答数22/26%）であった。

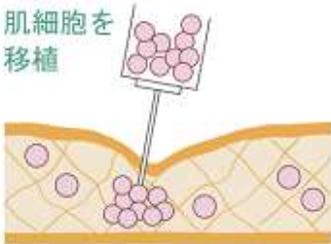


「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」と組み合わせるヘルス系コンテンツ、サービスでは「温泉」（効能の高い）との親和性の高さが示唆される結果であった。また、ヘルス系サービスでは「アンチエイジング」との親和性が示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「再生医療」に一番関心のある回答者

肌細胞を移植



○再生医療

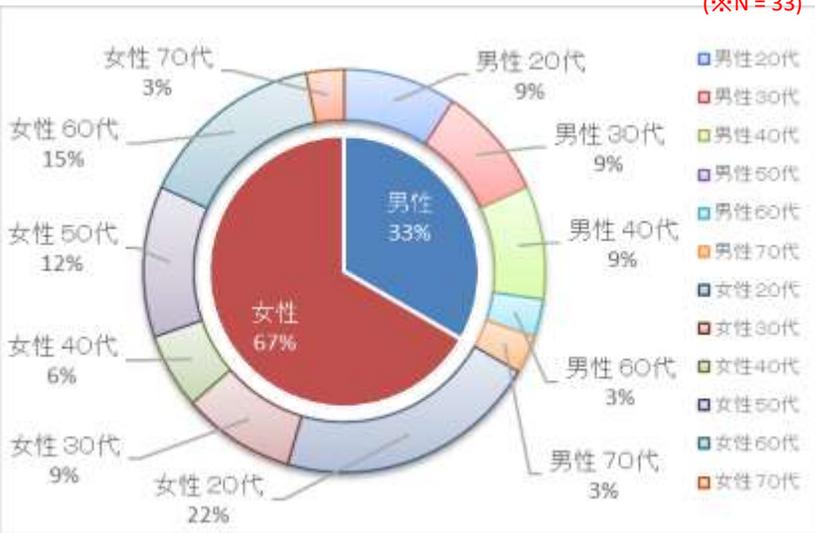
<市区町村>札幌市

<コンテンツ紹介コメント>

「肌再生医療」肌の“真皮”部分にある「肌細胞(真皮線維芽細胞)」を移植して増やすことで、老化症状が起こる前の肌本来の状態に戻す治療です。肌細胞を増やしお肌の老化を改善させる方法は、肌の再生医療以外にはありません。

1. 回答者の男女、年齢の比率

(※N=33)

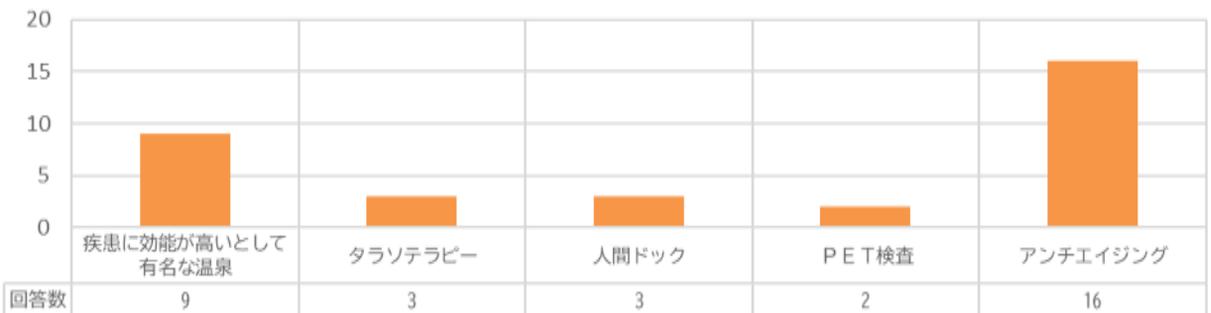


回答数は33、全体の7%が再生医療に一番関心があると回答。女性は67%、特に20代、60代、50代の比率が高く、それぞれ22%、15%、12%を占めた。男性は33%で、女性に比べ回答数は低い結果となった。

滞在日数は理想的な滞在日数と現実的な滞在日数が一致しており、どちらも3~5泊が一番多い。(回答数16/48%)

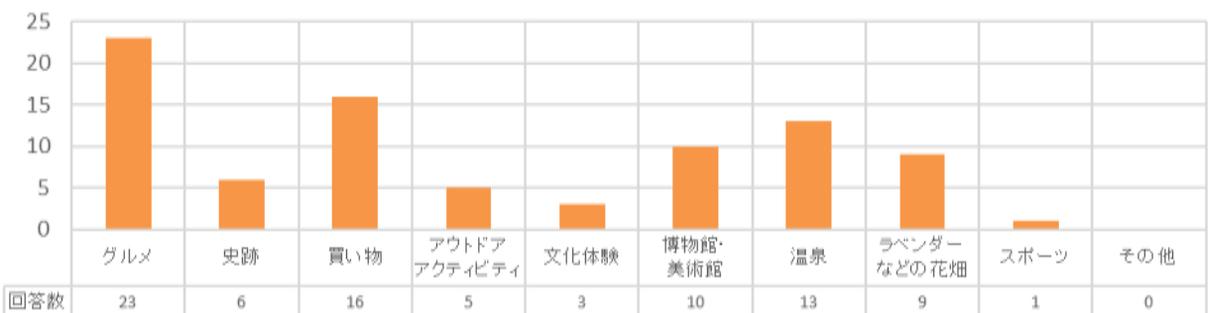
次に1~2泊が多い面も理想・現実で一致している。(理想:回答数10/30% 現実:回答数13/39%) 理想・現実ともに6泊以上という回答もあることから長期での滞在もニーズがあるものと見られる。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

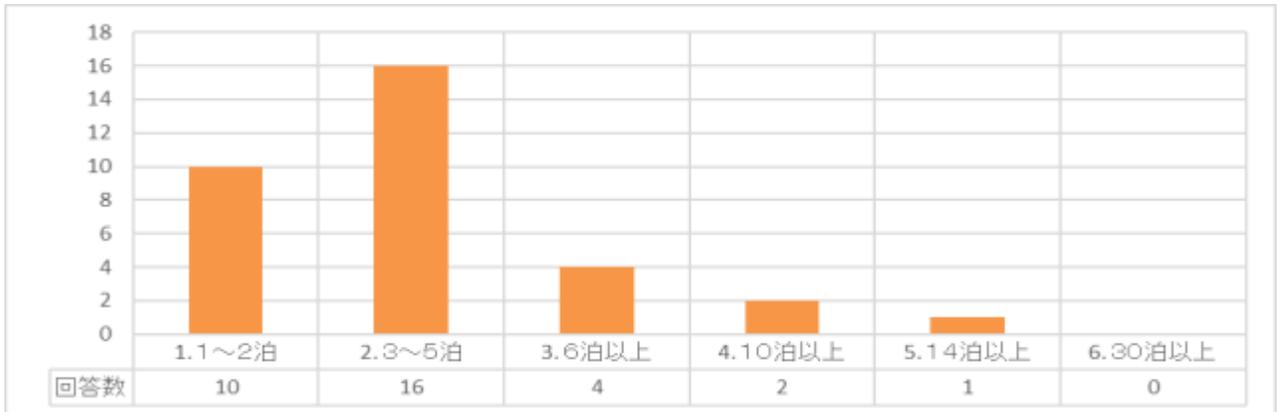
※複数回答可



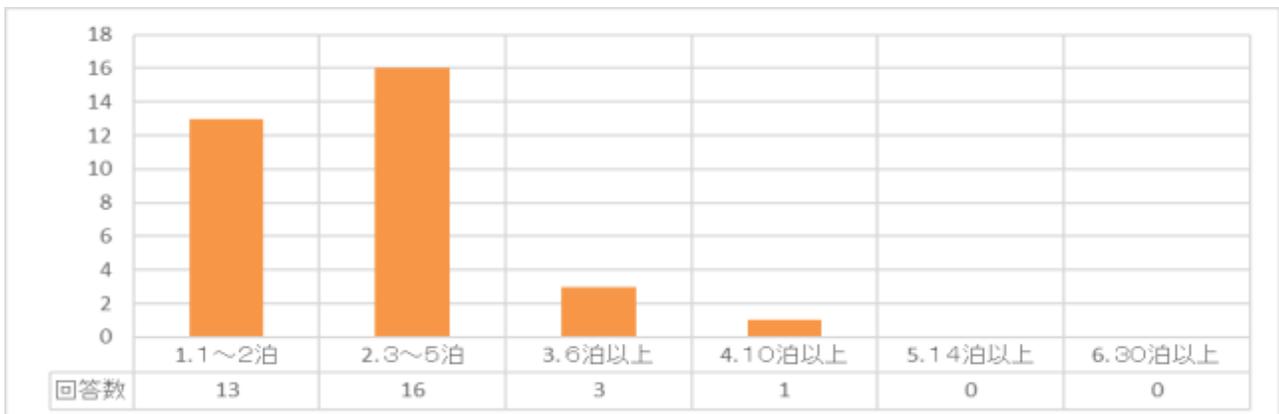
※スポーツ: スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

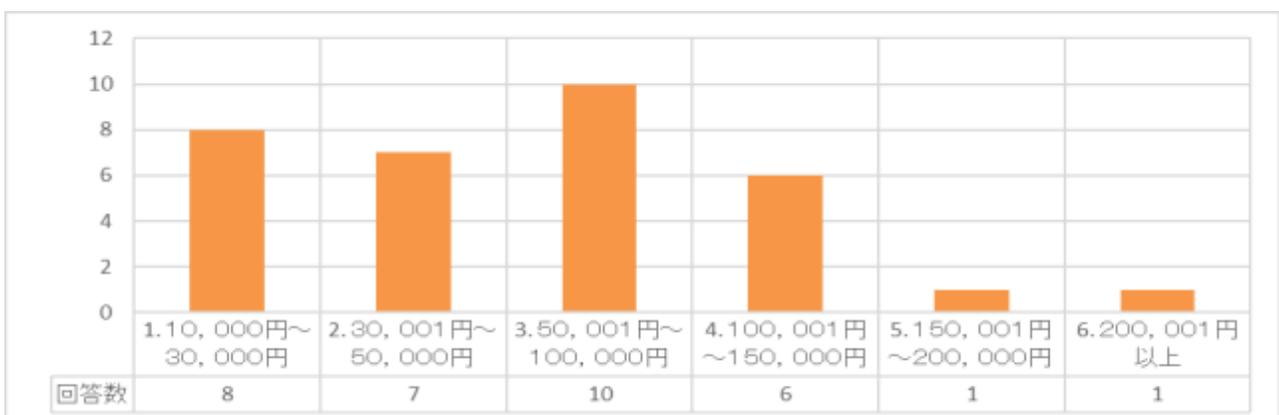
4. 理想的な滞在日数（ヘルス）



5. 現実的な滞在日数（ヘルス）



6. ヘルスを目的の想定滞在費



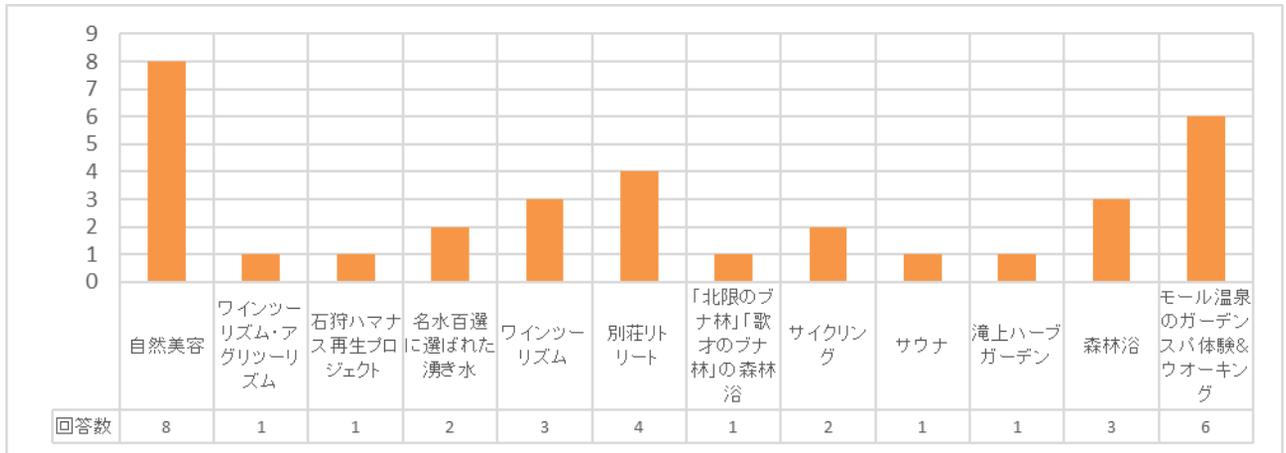
ヘルス系サービスで最も興味があるのが「アンチエイジング」（回答数16/48%）が圧倒的に多い。続いて「疾患に効能が高いとして有名な温泉」が多く、「タラソテラピー」「人間ドック」「PET検査」は回答数2~3で分散している。



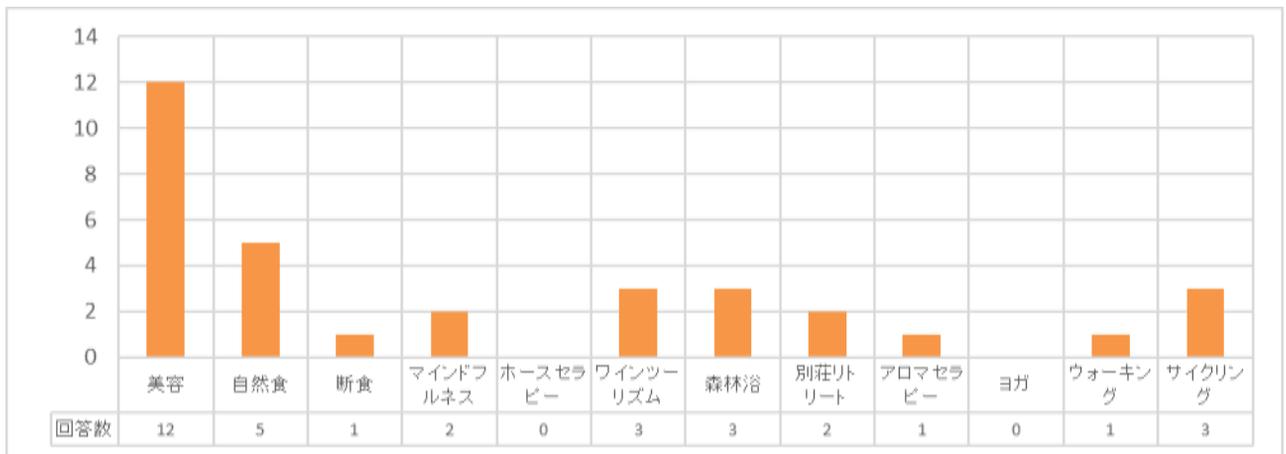
「再生医療」との親和性が高いヘルス系サービスとして「アンチエイジング」が示唆された。また、旅行要素としては、「温泉」との親和性の高さが示唆される結果であった。また価格帯は5万~10万円程度がボリュームゾーンであるが、1万~5万や10万円以上にもそれぞれ24%の回答が存在することから、価格に合わせて選択できるような内容もニーズがあることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



最も興味があるウェルネス系コンテンツは「自然美容」（回答数8/24%）で、次に多いのが「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」（回答数6/18%）だった。ウェルネス系サービスは「美容」（回答数12/36%）が圧倒的に多い。



ウェルネス系コンテンツ、サービスとして「再生医療」と「自然美容」「美容」との親和性の高さが示唆される結果であった。その他ウェルネス系コンテンツとしては、「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」との親和性の高さが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「福祉タクシー・バリアフリーツアー」に一番関心のある回答者

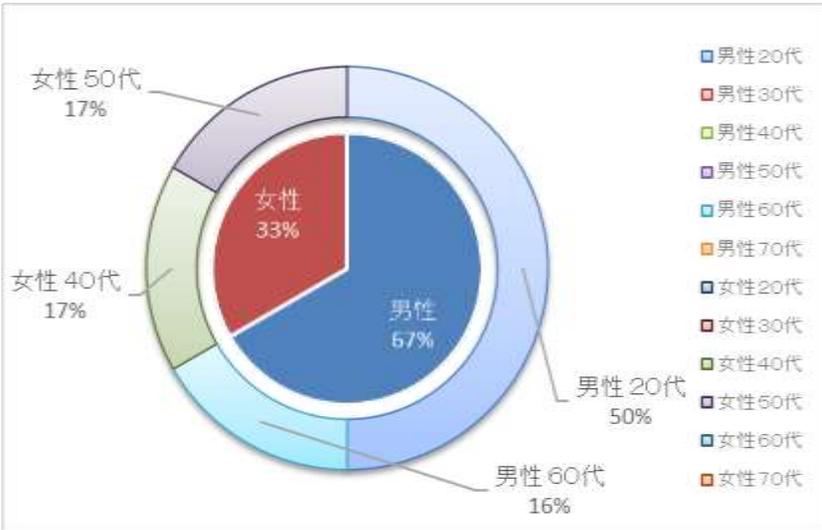


○福祉タクシー・バリアフリーツアー

<市区町村>千歳市
 <コンテンツ紹介コメント>
 福祉タクシー車両(アルファード)を利用した、杖・車椅子で楽しむバリアフリーツアーを販売。現在、支笏湖～ウポポイを巡るプランをご用意しております。ご高齢で歩行が困難な方でも車椅子を利用して旅行ができます。

1. 回答者の男女、年齢の比率

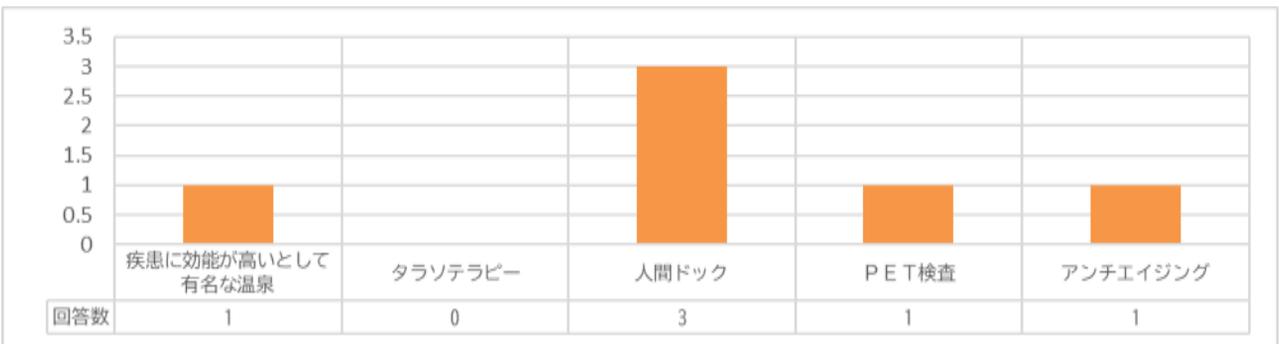
(※N=6)



回答数は6、全体の1%が福祉タクシー・バリアフリーツアーに一番関心があると回答。男性が67%で20代が50%と全体の半数を占めた。女性は33%で40代、50代ともに17%であった。

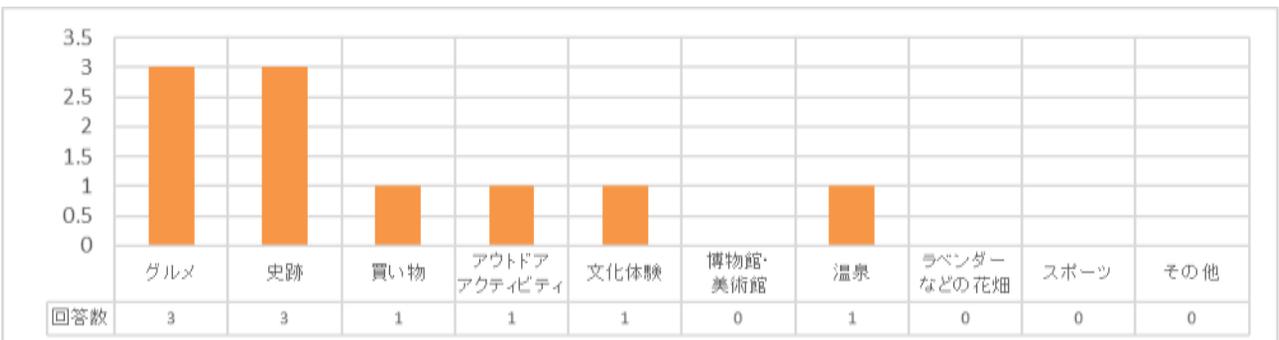
滞在日数は理想・現実ともに3～5泊(回答数3/50%)が多かった。次いで1～2泊(回答数2/33%)、6泊以上の回答も理想・現実でそれぞれで1件ずつ回答が見られた。回答数が6と母数が少ないものの、1～5泊程度が理想的、かつ現実的であることが考えられる。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

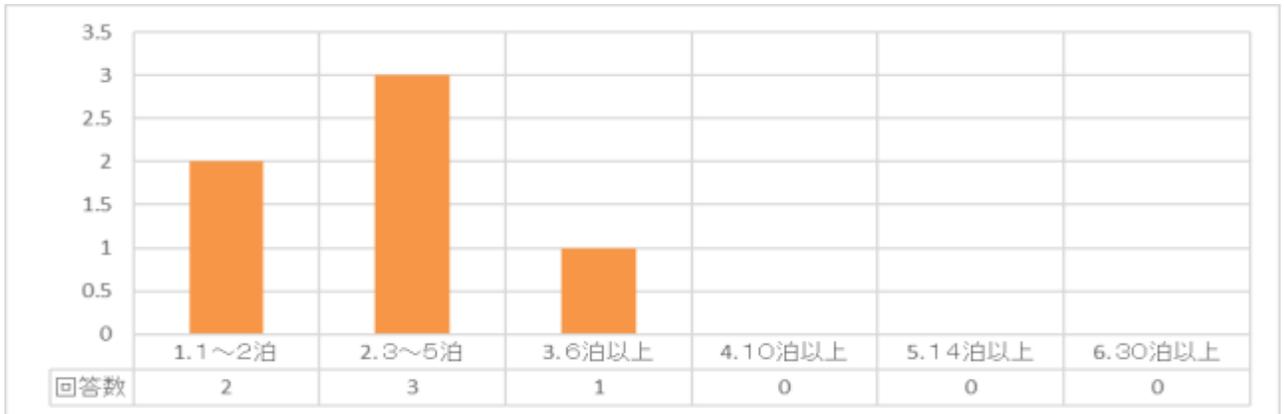
※複数回答可



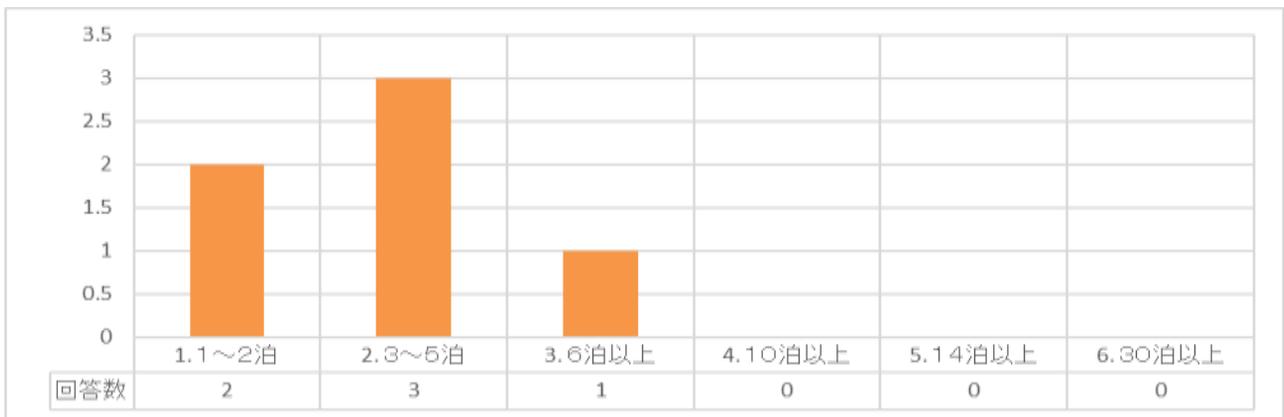
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

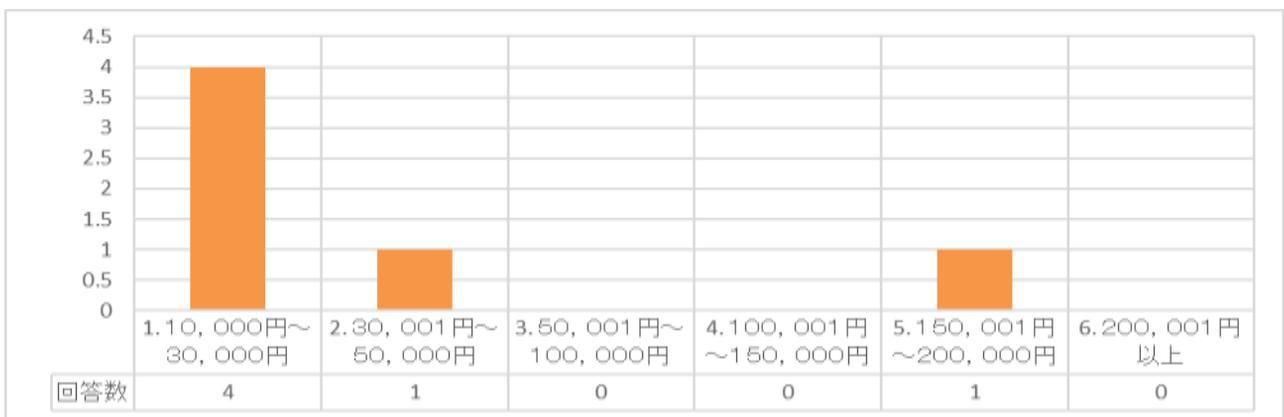
4. 理想的な滞在日数 (ヘルス)



5. 現実的な滞在日数 (ヘルス)



6. ヘルスを目的の想定滞在費



ヘルス系サービスで最も興味があるのは「人間ドック」(回答数3/50%)で、続いて「疾患に効能が高いとして有名な温泉」「PET検査」「アンチエイジング」にもそれぞれ1件回答があった。

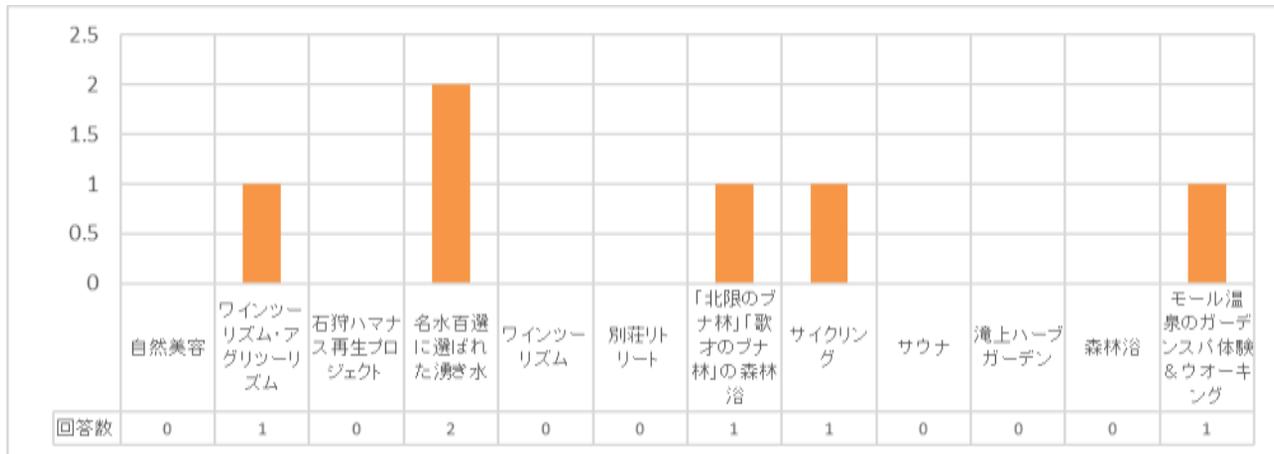


「福祉タクシー・バリアフリーツアー」と親和性の高いヘルス系サービスとして「人間ドック」「PET検査」といった医療系サービスが示唆された。

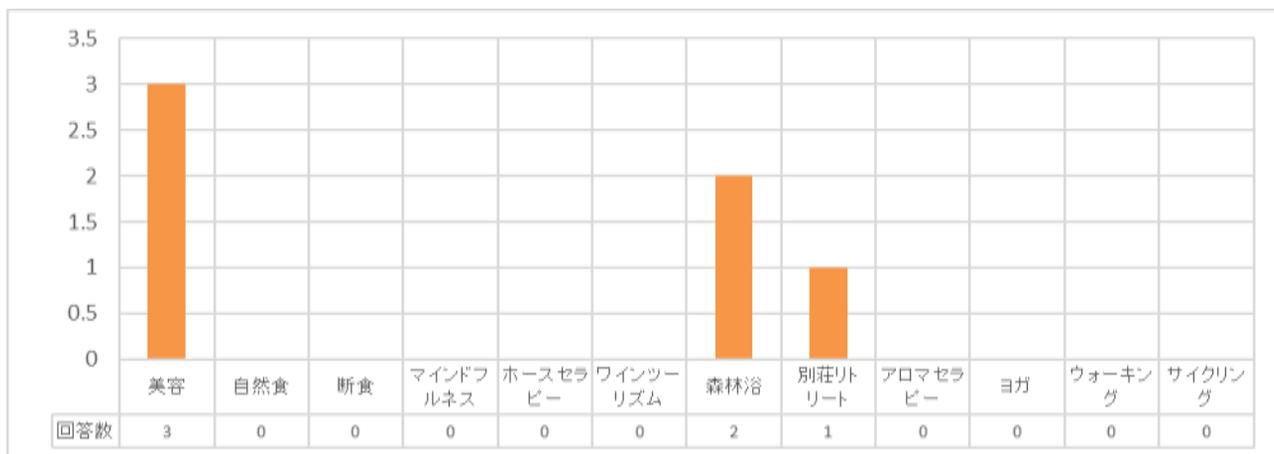
回答数が少なく、15万~20万円の回答も1件ながら存在しているが、価格帯は1万~3万円程度がボリュームゾーンと他のヘルス系コンテンツに比べて低価格帯であることが示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



一番関心のあるウェルネス系コンテンツは「名水百選に選ばれた湧き水」（回答数2/33%）で、「ワインツーリズム・アグリツーリズム」「北限のブナ林・歌才のブナ林の森林浴」「サイクリング」「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」にもそれぞれ1件の回答があった。



総回答数が少ないが、回答にばらつきを認めており、「福祉タクシー・バリアフリーツアー」と親和性のあるウェルネス系コンテンツ、サービスとの組み合わせとして、幅の広さが示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「登別カルルス温泉での湯治」に一番関心のある回答者



○登別カルルス温泉での湯治

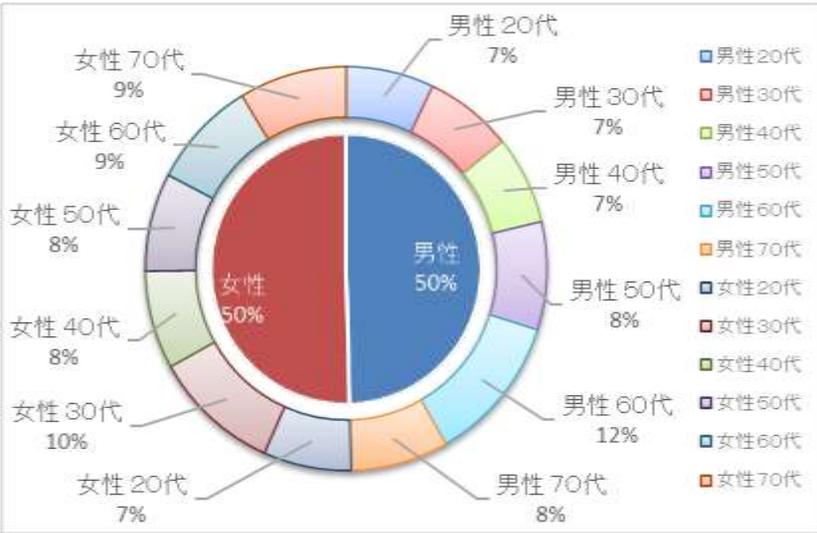
<市区町村>登別市

<コンテンツ紹介コメント>

カルルス温泉は、登別温泉から8km離れたところにある小さな温泉郷。昔から薬湯として知られ、国民保養温泉地にも指定されています。温泉のみならず、景色も見事な温泉地です。数ある効能を実感してください。

1. 回答者の男女、年齢の比率

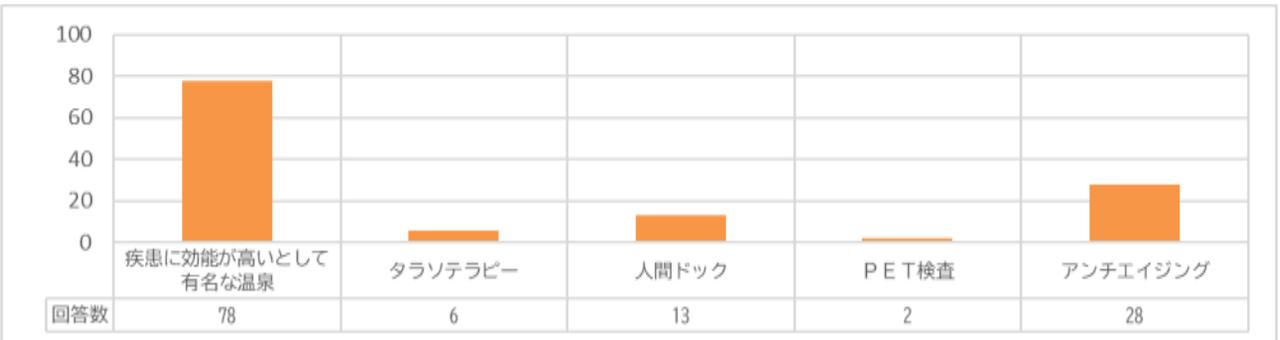
(※N = 127)



回答数は127、全体の28%が登別カルルス温泉での湯治に一番関心があると回答。男女比は50%ずつと同比率、年齢比も各世代に大差なく、老若男女問わず関心を持っている。

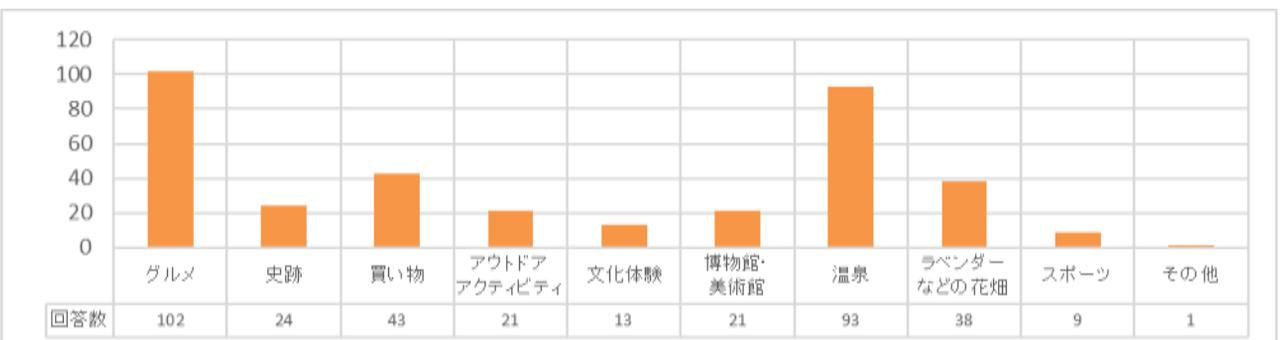
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的に半数を占め、次に1~2泊が続いた。6泊以上の滞在は理想的には24%を占めているが現実的には僅か9%であり、30泊以上となると理想的には3%希望しているが現実的には0名と、金銭的・時間的制約のため実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

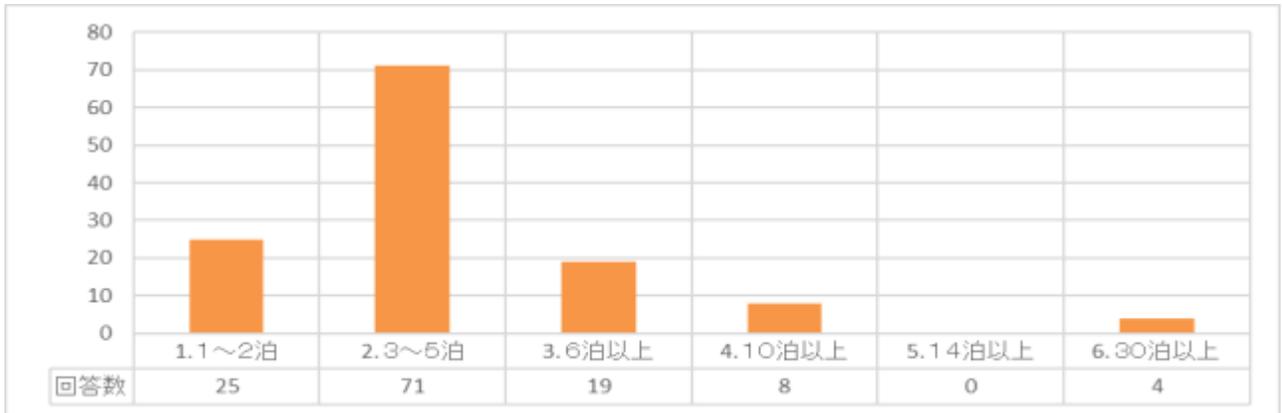
※複数回答可



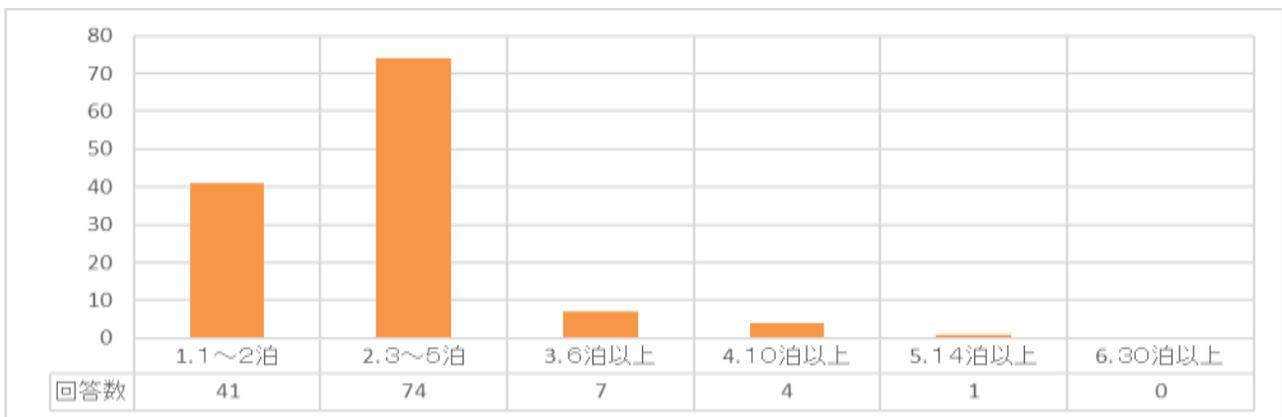
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

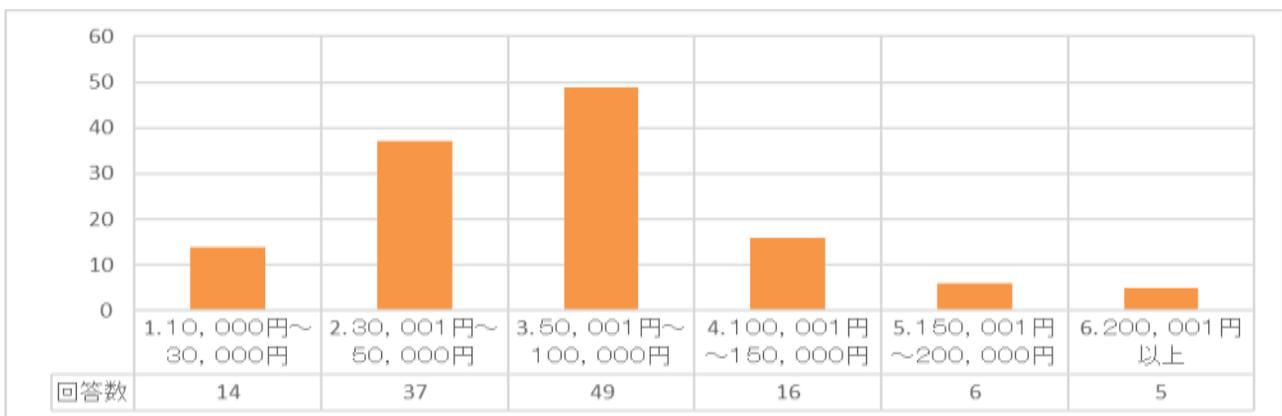
4. 理想的な滞在日数（ヘルス）



5. 現実的な滞在日数（ヘルス）



6. ヘルスを目的の想定滞在費



ヘルス系サービスで最も興味があるのは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数78／61%）が圧倒的に多い。

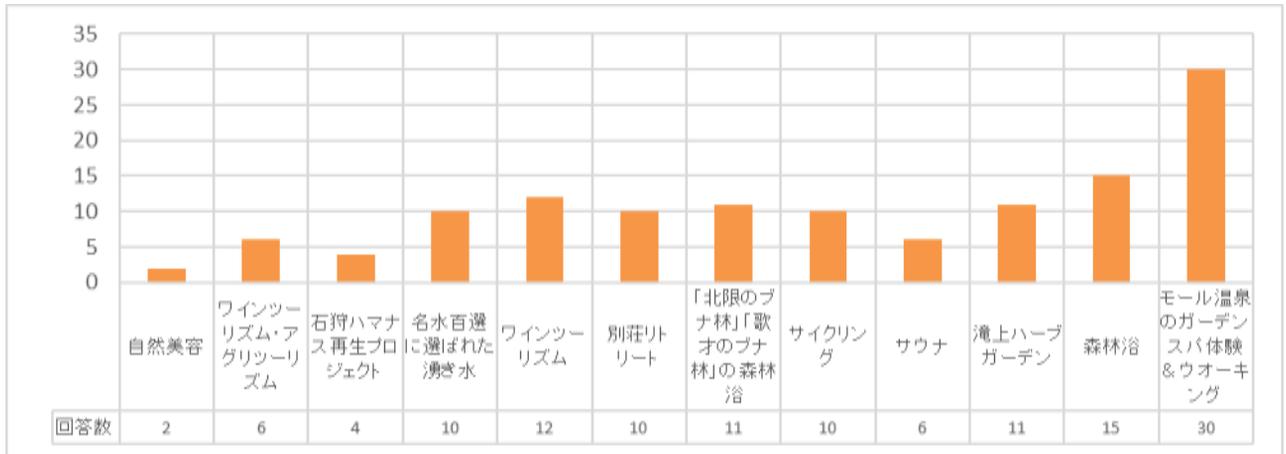
組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数102）、「温泉」（回答数93）が特に多い。



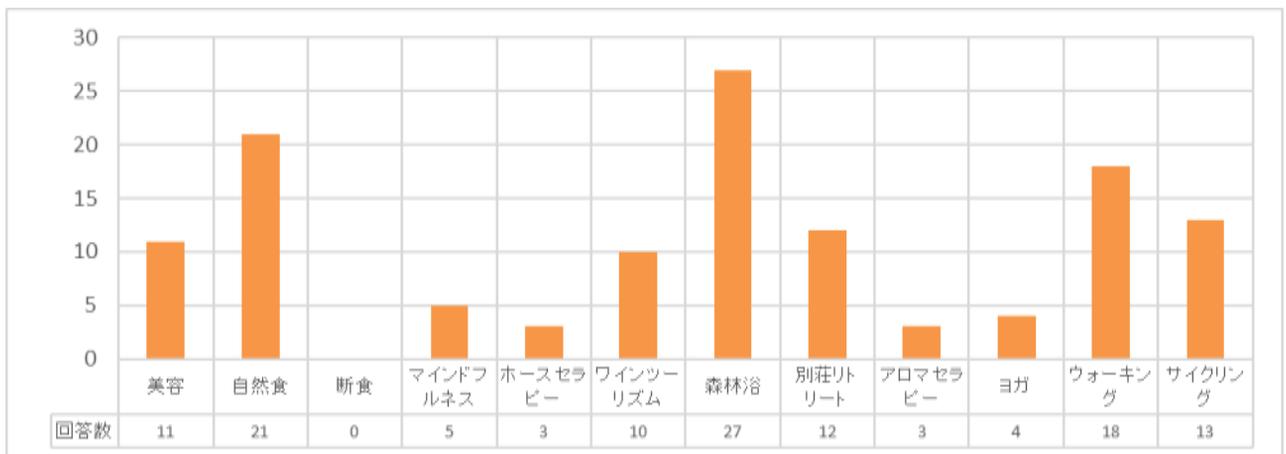
「登別カルルス温泉での湯治」と親和性の高いヘルス系サービス、旅行要素は、まずは「温泉」（効能の高い）であるが、旅行要素として「グルメ」の親和性の高さも示唆される結果であった。また価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであるが、10万円以上の回答も27件（21%）存在することから、高価格帯のニーズも存在することが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



最も興味があるウェルネス系コンテンツは「モール温泉のガーデンSPA&ウォーキング」（回答数30／24%）が特に多いが、回答数10-15（8-12%）のコンテンツが7つ存在していた。ウェルネス系サービスでは「森林浴」（回答数27／21%）が最多で「自然食」（回答数21／17%）が続いたが、回答数10-18（8-14%）のサービスが5つ存在していた。



「登別カルルス温泉での湯治」との親和性の高いウェルネス系コンテンツでは、同系統である「モール温泉のガーデンSPA体験、ウォーキング」が突出しているが、その他のウェルネス系コンテンツやサービスへの回答のばらつきを認めることから、親和性のある組み合わせの幅の広さが示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「タラソテラピー」に一番関心のある回答者



○タラソテラピー

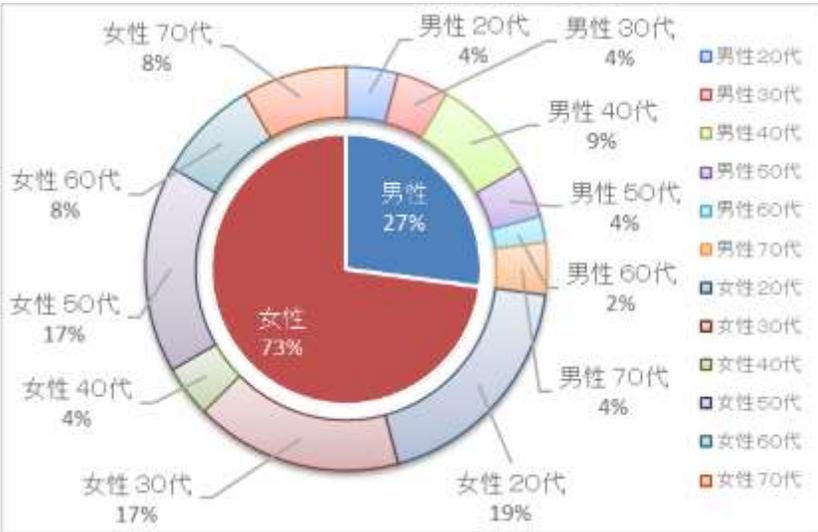
<市区町村>乙部町

<コンテンツ紹介コメント>

フランスが発祥とされるタラソテラピーは、海水や海藻などの海の資源を使って、心身のバランスを取り戻すことを目的とした自然療法です。日本海を望む完全バリアフリーのホテルで、海水入浴を楽しんでみませんか？

1. 回答者の男女、年齢の比率

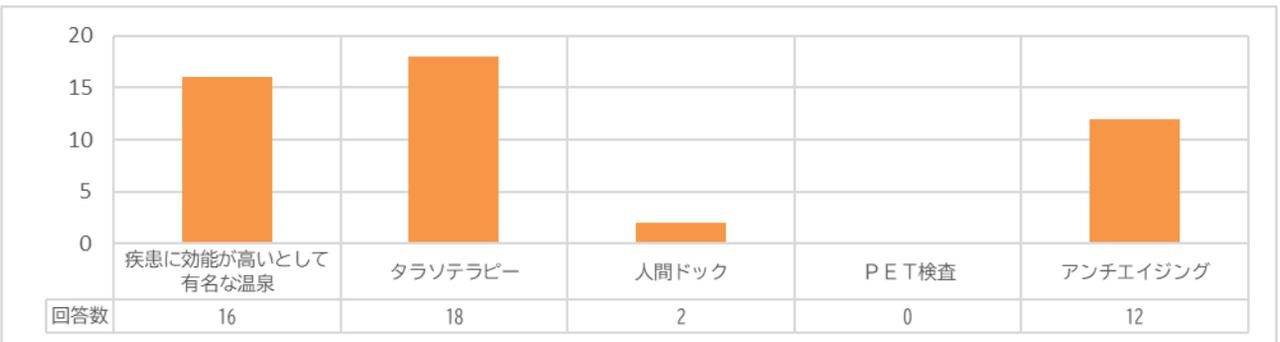
(※N = 48)



回答数は48、全体の11%がタラソテラピーに一番関心があると回答。73%が女性で、特に20代、30代、50代の比率が高く、それぞれ19%、17%、17%を占めた。しかし、男性では40代が特に関心を持っている。

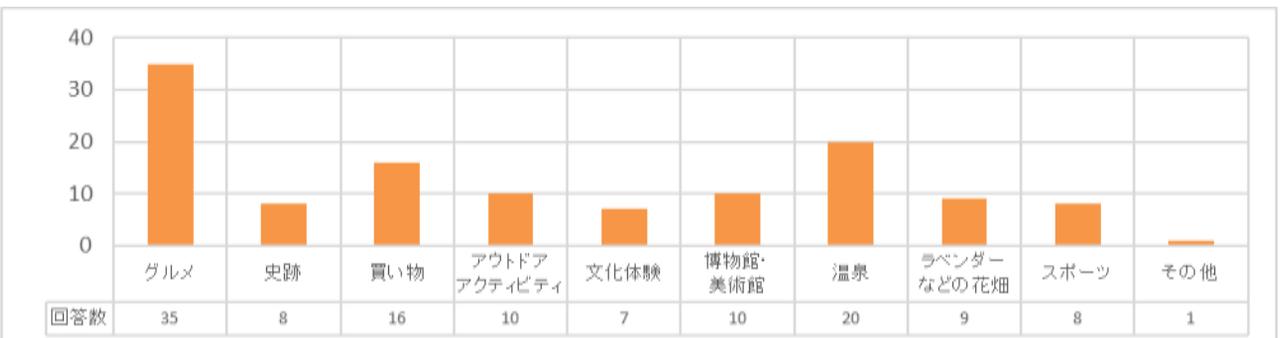
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的共に半数以上を占め、次に1~2泊が続いた。6泊以上は理想的には21%、現実的には10%と乖離があるが、理想的にも14泊以上の希望がないことから、金銭的・時間的制約がなくても短期滞在を好むと推察される。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

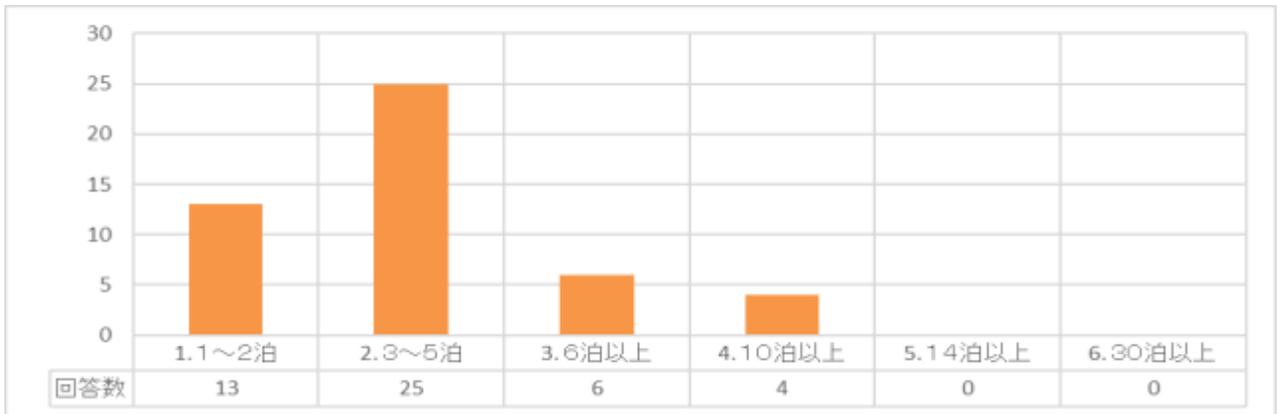
※複数回答可



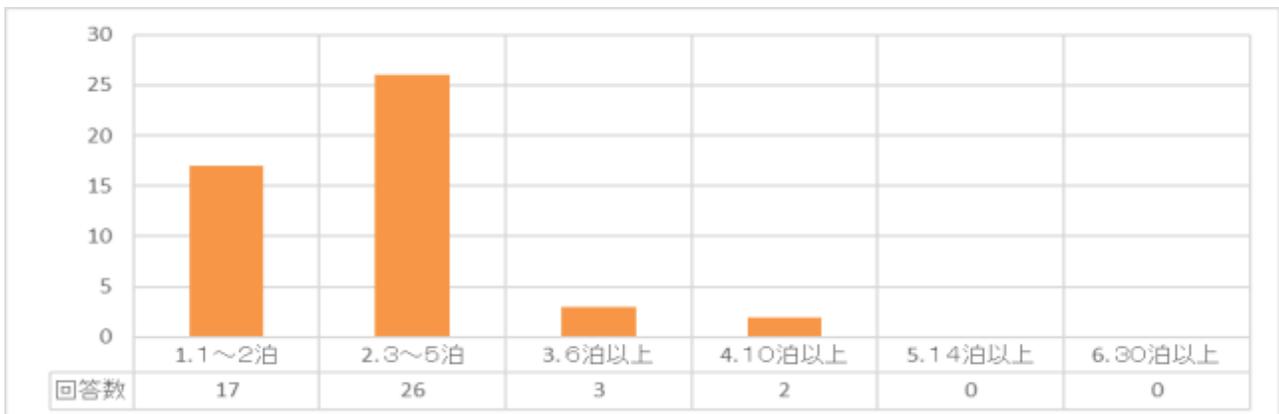
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ビール)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

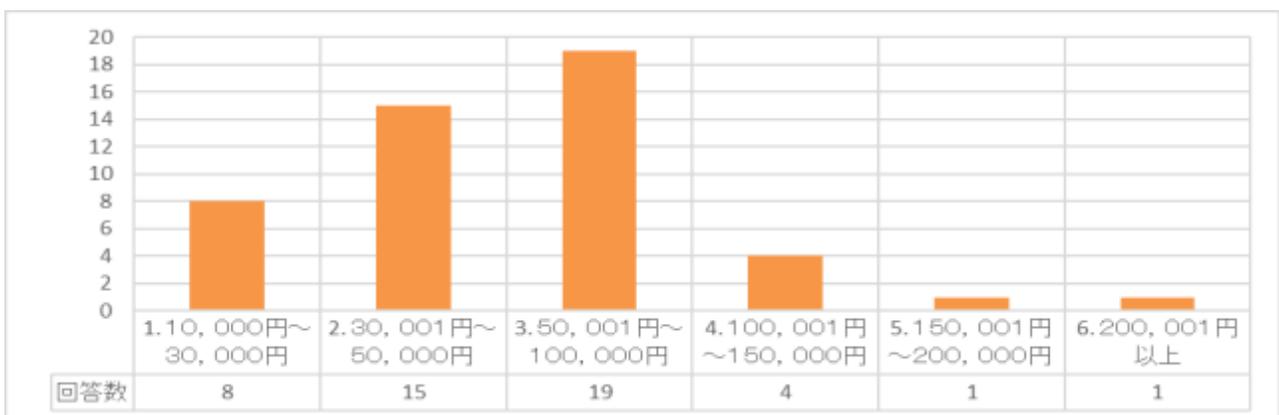
4. 理想的な滞在日数 (ヘルス)



5. 現実的な滞在日数 (ヘルス)



6. ヘルスを目的の想定滞在費



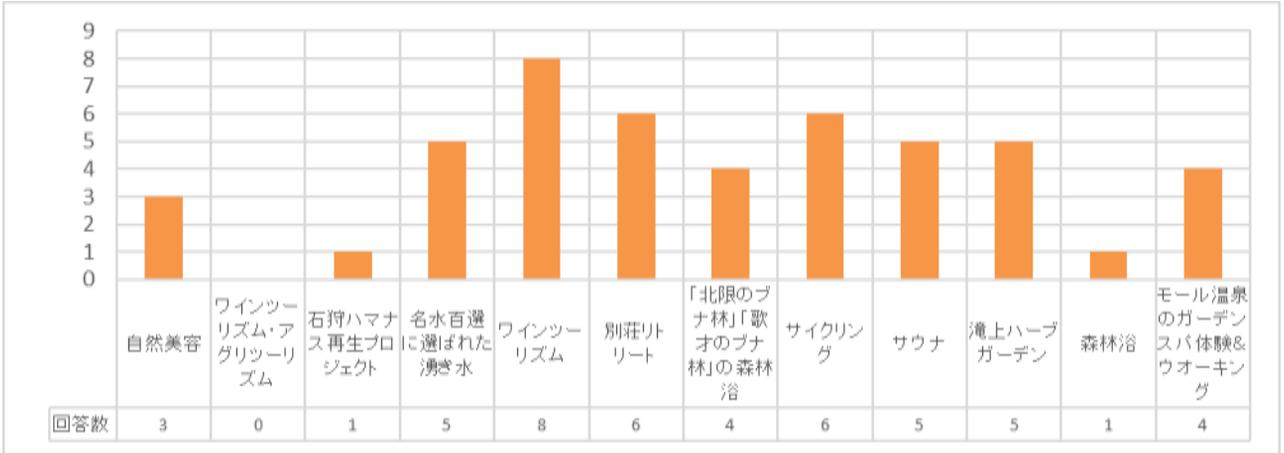
ヘルス系サービスで最も興味があるのは「タラソセラピー」(回答数18/38%)だが、続く「疾患に効能が高いとして有名な温泉」(回答数16/33%)もほぼ同数の回答がある。次がアンチエイジングで回答数も12であった。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数35)が圧倒的に多い。



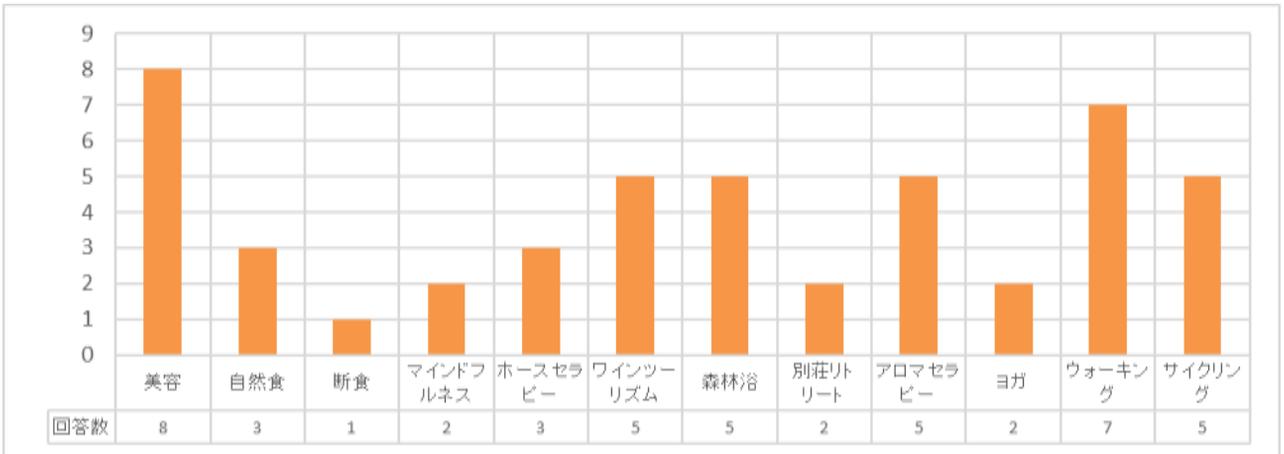
「タラソセラピー」と親和性の高いヘルス系サービスとして「温泉」(効能の高い)や「アンチエイジング」が示唆される結果であった。旅行要素としては「グルメ」との親和性の高さが、また、価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



最も興味があるウェルネス系コンテンツは「ワインツーリズム」(回答数8/17%)が最も多いが、続く「別荘リゾート」(回答数6/13%)、「サイクリング」(回答数6/13%)、「名水百選に選ばれた湧き水」(回答数5/10%)、「サウナ」(回答数5/10%)、「滝上ハーブガーデン」(回答数5/10%)も大差ない結果であった。また、ウェルネス系サービスにおいても「美容」(回答数8/17%)が最多であったが、回答数5-7(10-15%)のサービスが5つ存在した。



「ワインツーリズム」や「美容」がその他と比べやや高い回答率であったが、ウェルネス系コンテンツ、サービス両者における回答のばらつきから、「タラソセラピー」のウェルネス系コンテンツ、サービスに対する幅広い親和性が示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「豊富温泉」に一番関心のある回答者



○豊富温泉

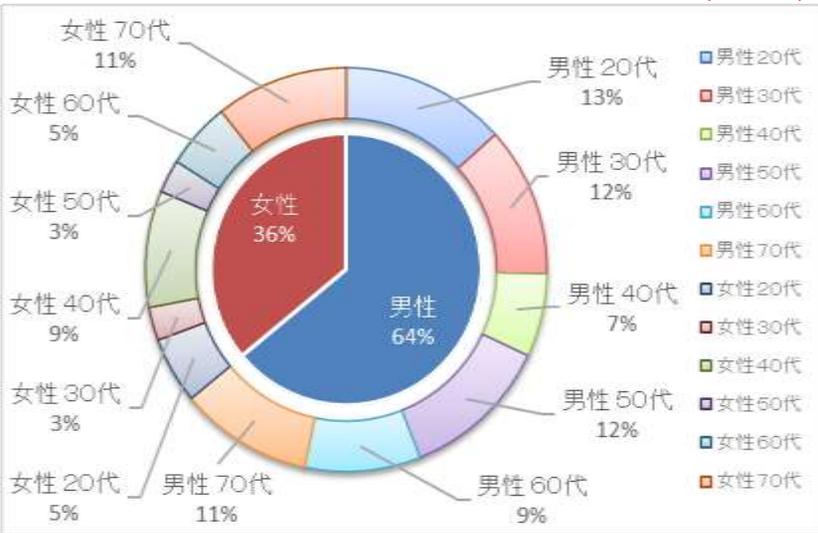
<市区町村>豊富町

<コンテンツ紹介コメント>

豊富温泉は、温泉に石油分が含まれており、世界には二つ、日本にはただ一つともいわれるほど希少な温泉です。皮膚疾患の療養のため来町される方は年々増加し、療養の手段の一つとして豊富温泉を進める医師も多いです。

1. 回答者の男女、年齢の比率

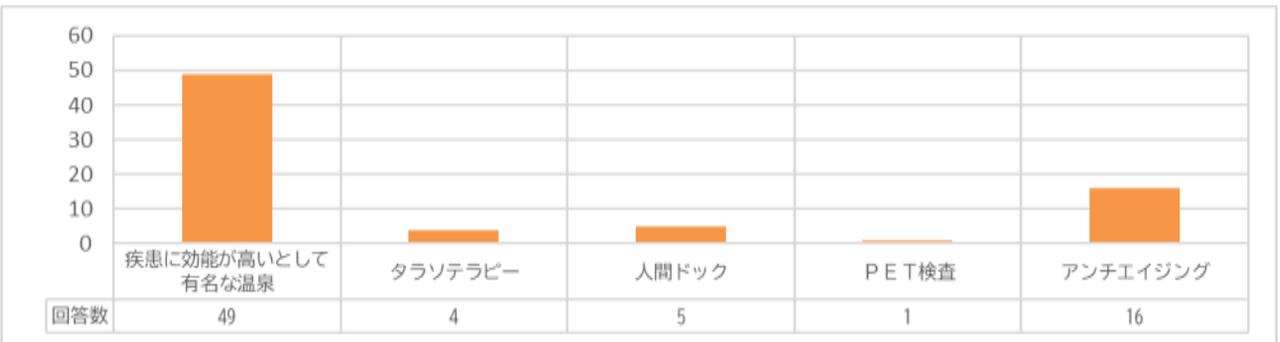
(※N = 75)



回答数は75、全体の17%が豊富温泉に一番関心があると回答。男性が64%、女性が36%と男性のほうがやや比率が高い。世代別では男性20代13%、男性30代12%、男性50代12%、男性70代11%と、各世代大差ない。

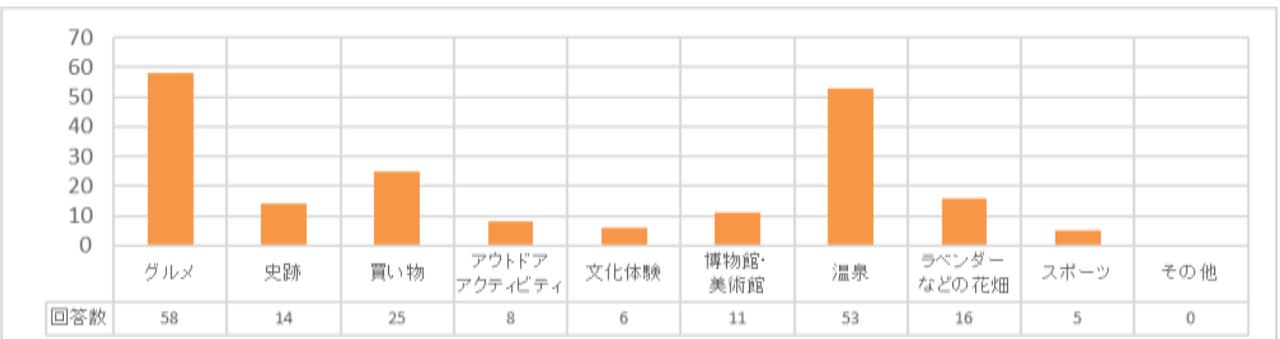
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的に最も多く、次に1~2泊が続いた。10泊以上の滞在は理想的には9%を占めているが現実的には僅か1%であり、30泊以上となると理想的には5%希望しているが現実的には0名と、金銭的・時間的制約のため実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

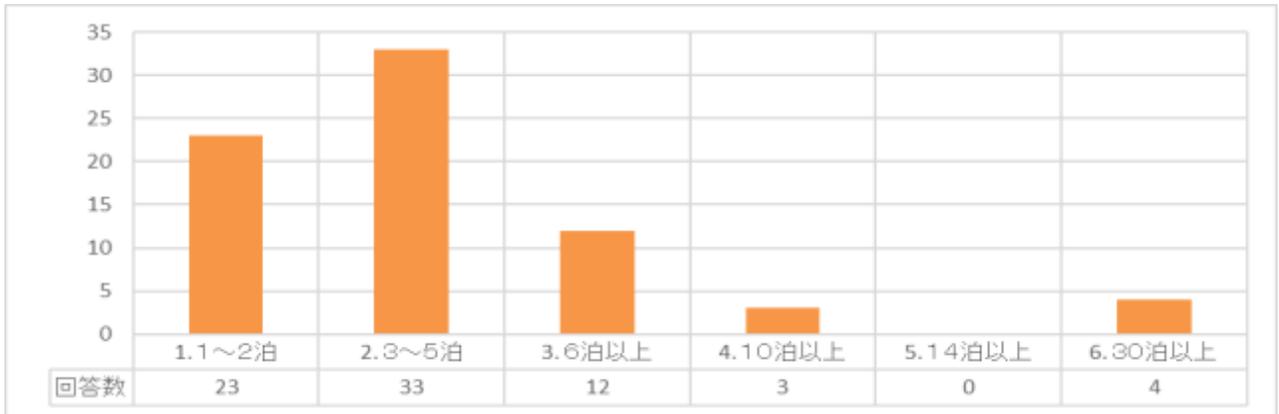
※複数回答可



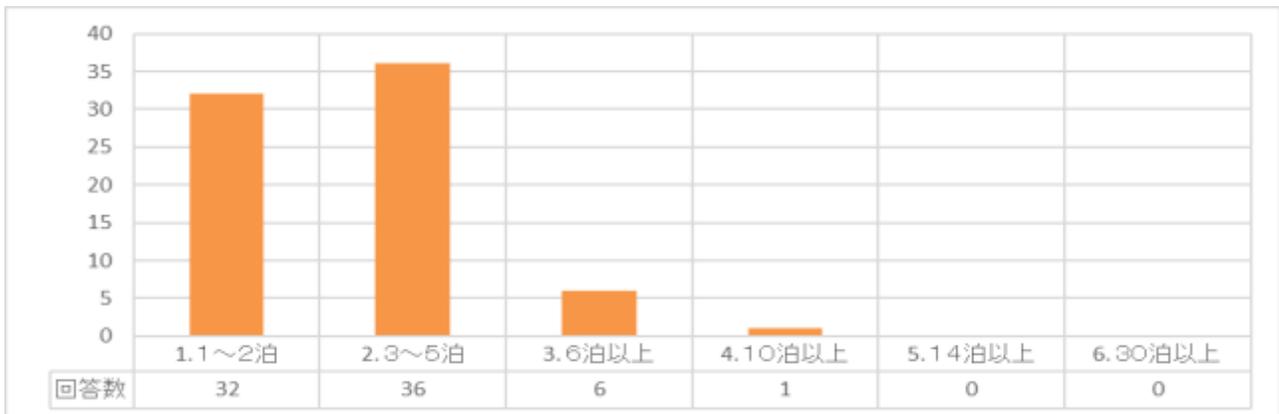
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

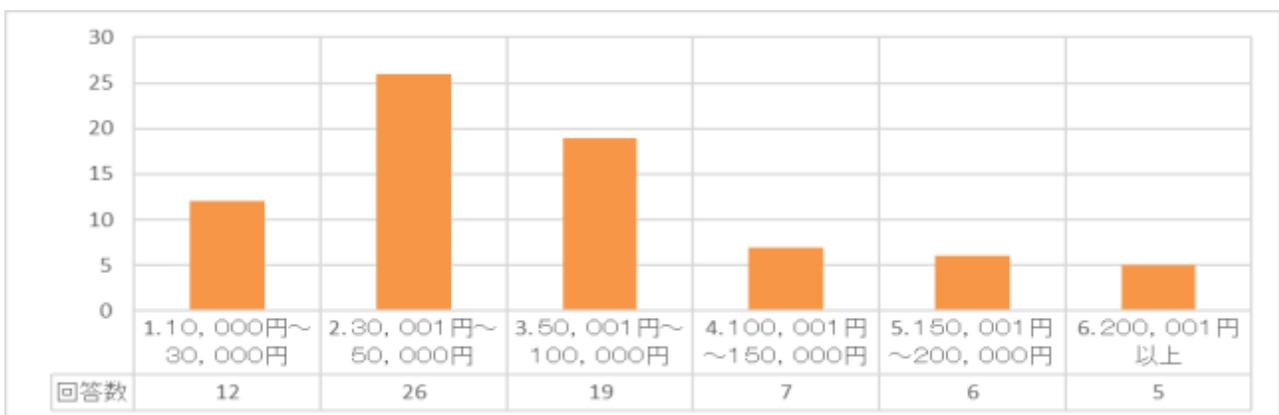
4. 理想的な滞在日数（ヘルス）



5. 現実的な滞在日数（ヘルス）



6. ヘルスを目的の想定滞在費



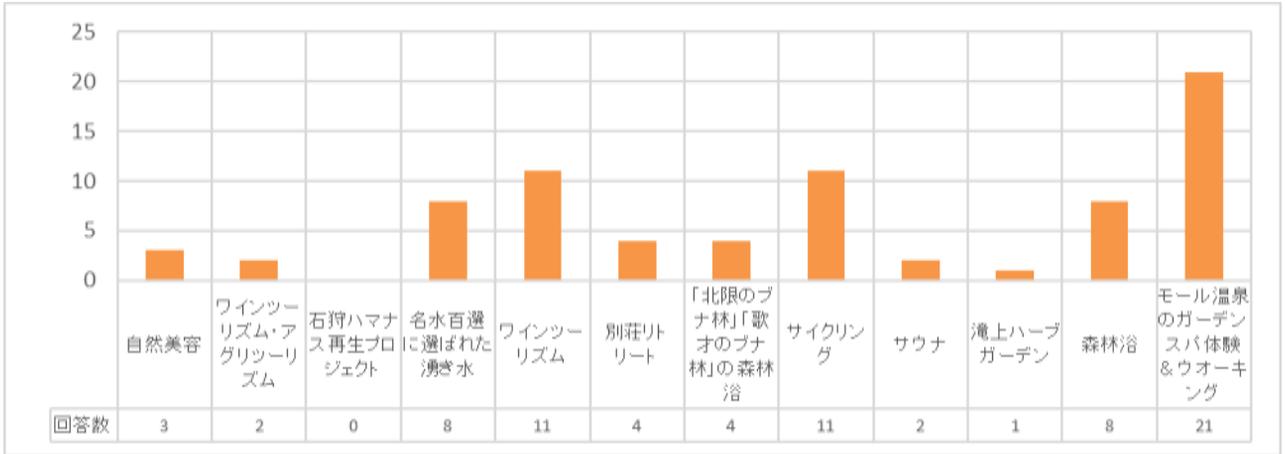
ヘルス系サービスで最も興味があるのは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数49／65%）が圧倒的に多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数58）と「温泉」（回答数53）が特に多い。



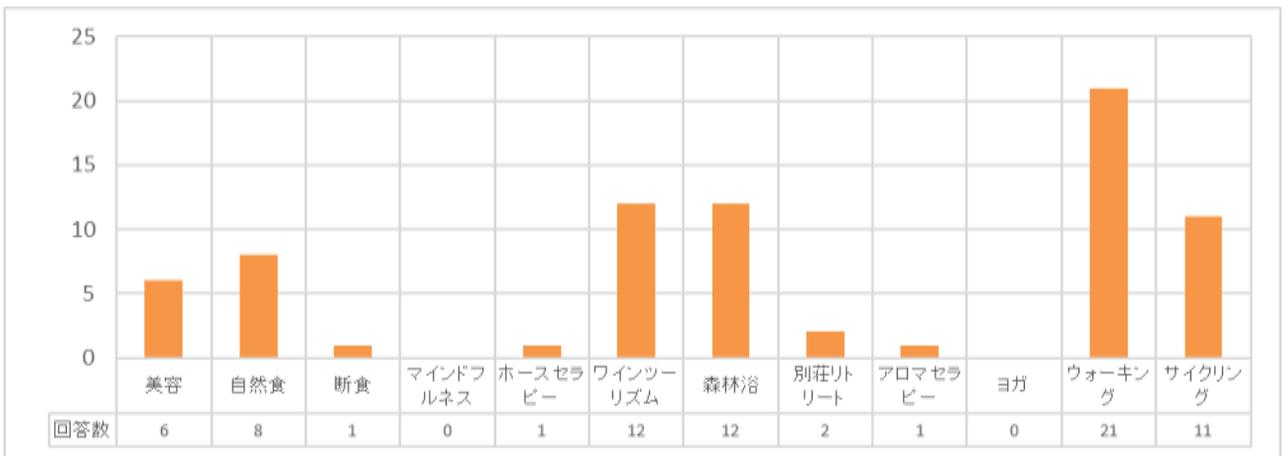
関心のあるヘルス系コンテンツ、組み合わせたい旅行要素としては、やはり「温泉」（効能の高い）が強い。加えて、旅行要素として「グルメ」との親和性の高さも示唆される結果であった。また価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであるが、10万円以上の回答も5件（24%）存在しており、高額商品に対するニーズも示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



最も興味があるウェルネス系コンテンツは「モール温泉のガーデンSPA&ウォーキング」（回答数21／28%）が圧倒的に多い。ウェルネス系サービスは「ウォーキング」（回答数21）が最も多い。



ウェルネス系コンテンツでは、「**モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング**」の回答が目立ち、ウェルネス系サービスでは「**ウォーキング**」の回答が最多で「**森林浴**」「**サイクリング**」と続く。ウェルネス系コンテンツ、サービスではアクティビティを伴うものとの親和性が示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「森林セラピー」に一番関心のある回答者



○森林セラピー

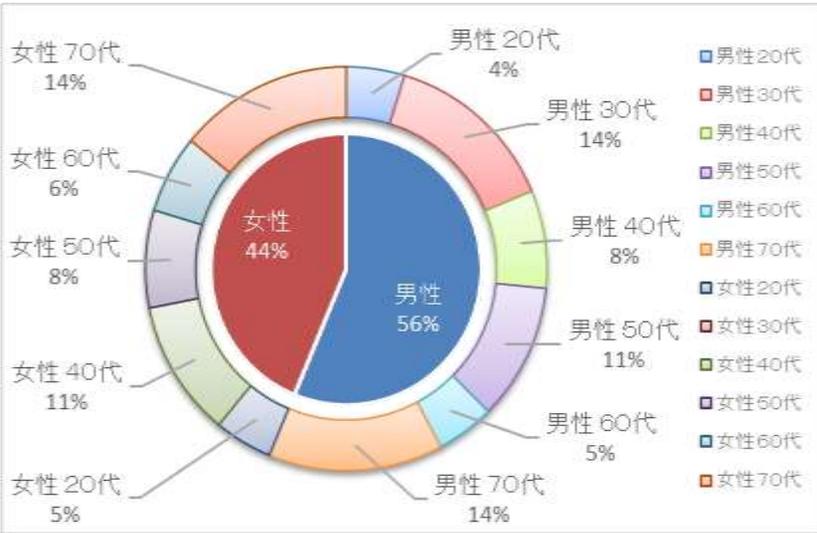
<市区町村>津別町

<コンテンツ紹介コメント>

森林セラピーは癒し効果が科学的に検証された「森林浴効果」のことをいいます。「ノンノの森」では森林セラピストが森林セラピー基地をご案内、科学的根拠に基づく森の癒し効果を、心と体の健康づくりに生かします。

1. 回答者の男女、年齢の比率

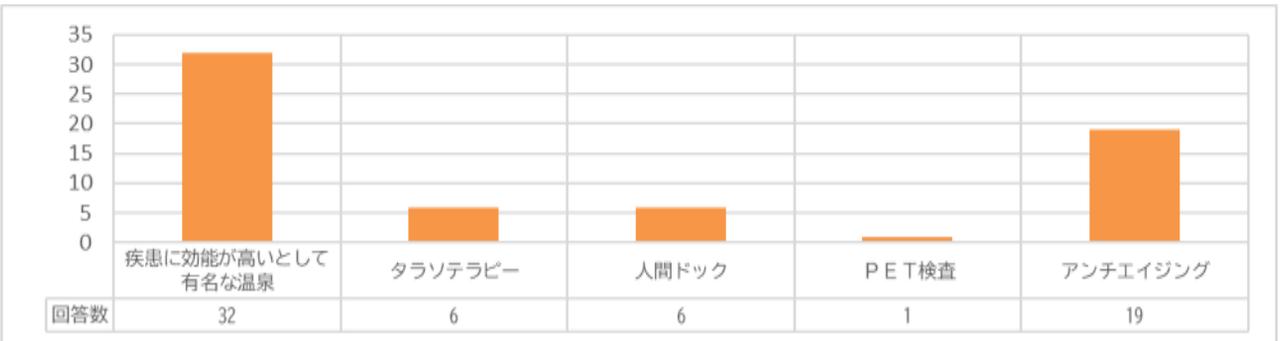
(※N = 64)



回答数は64、全体の14%が森林セラピーに一番関心があると回答。男性が56%、女性が44%と男性のほうがやや比率が高い。世代別では男性・女性とも70代が14%と最も多い。男性30代も同じ14%の結果が出ている。

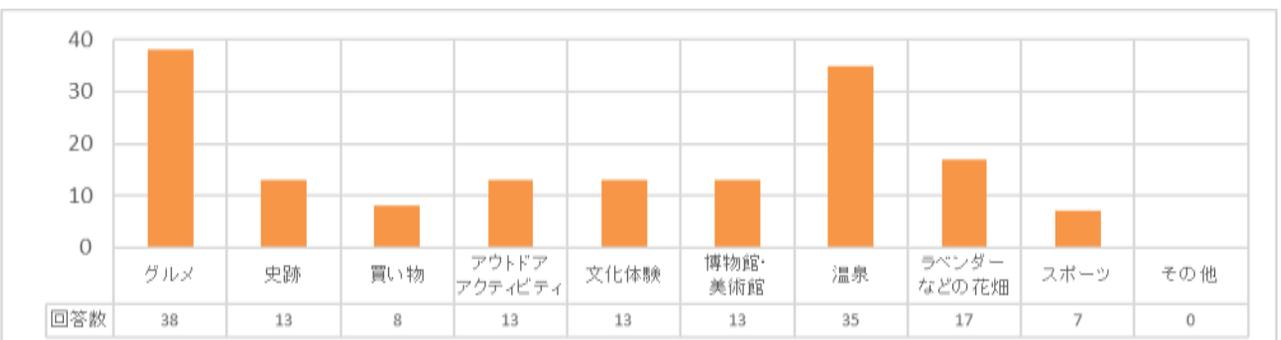
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的に最も多く、次に1~2泊が続いた。10泊以上の滞在は理想的には11%を占めているが現実的には僅か2%であり、金銭的・時間的制約のため実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

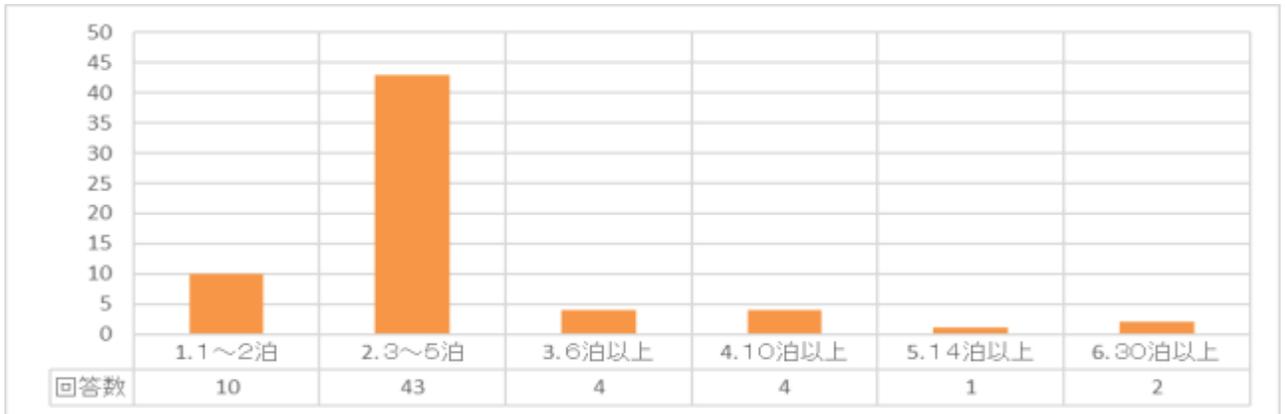
※複数回答可



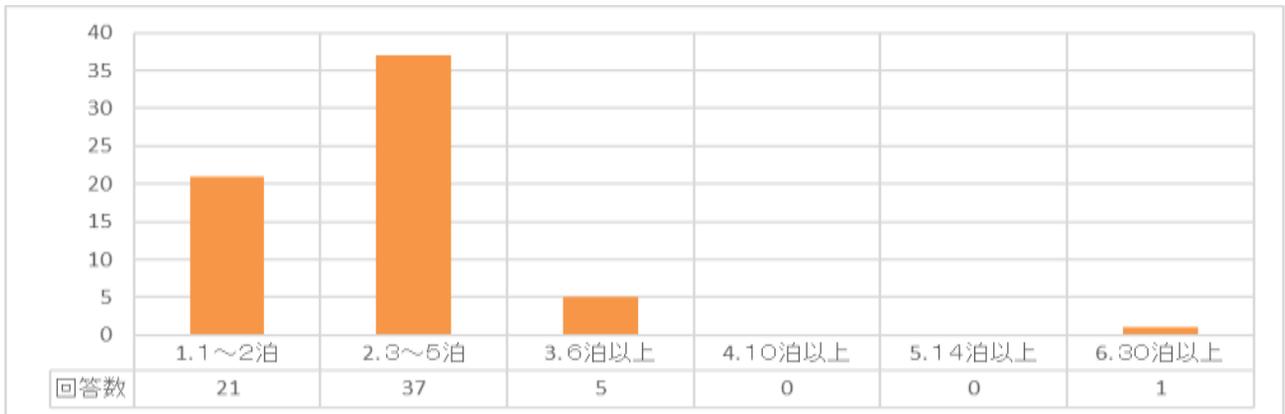
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

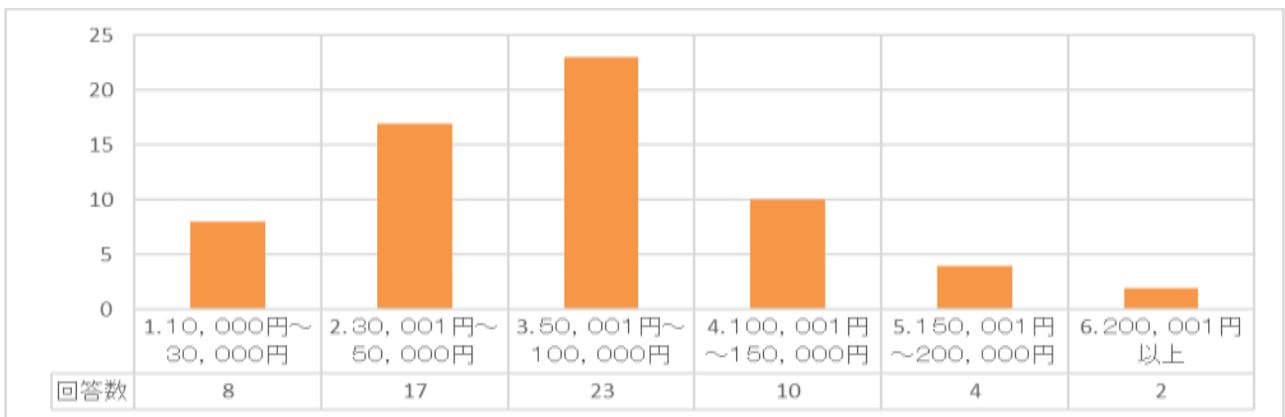
4. 理想的な滞在日数（ヘルス）



5. 現実的な滞在日数（ヘルス）



6. ヘルスを目的の想定滞在費



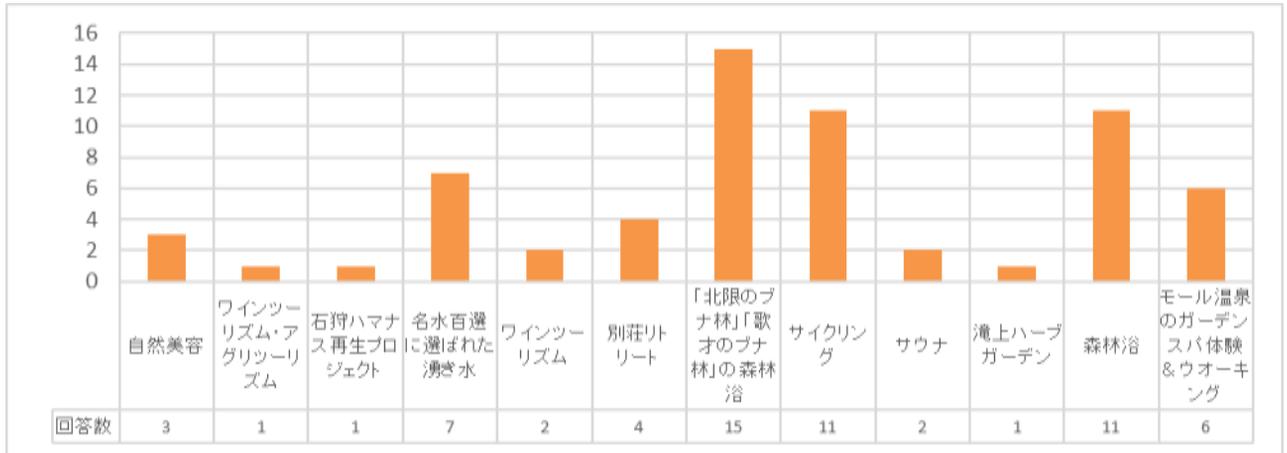
ヘルス系サービスで最も興味があるのは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」（回答数32／50%）が特に多い。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」（回答数38）と「温泉」（回答数35）が特に多い。



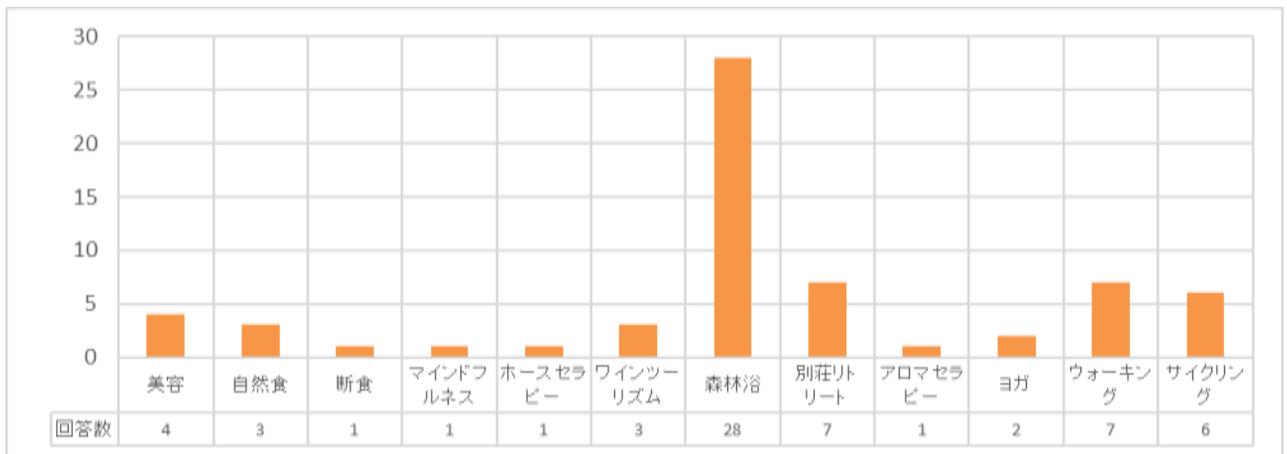
「森林セラピー」と親和性が高いヘルス系サービスとしては、「温泉」（効能の高い）が示唆された。また、旅行要素としては「グルメ」との親和性も高いことが示唆された。また価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであると考えられるが、10万円以上の回答も16件（25%）存在することから、高価格帯のニーズの存在も示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



最も興味があるウェルネス系コンテンツは「北限のブナ林 歌才のブナ林の森林浴」（回答数15／23%）が特に多い。次いで「森林浴」（回答数11／17%）、サイクリング（回答数11／17%）が続く。ウェルネス系サービスでは「森林浴」（回答数28／44%）が圧倒的に多く、別荘リゾート、ウォーキングが続く。



ウェルネス系コンテンツ、サービスにおいて「森林セラピー」との組み合わせで親和性が高いものとして、「森林浴」や「名水百選に選ばれた湧き水」「別荘リゾート」などの自然系コンテンツ、サービスに加え、「サイクリング」「ウォーキング」といったアクティビティ系もあることが示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●ヘルス系コンテンツで、「クジラ・イルカ・バードウォッチング」に一番関心のある回答者



○クジラ・イルカ・バードウォッチング

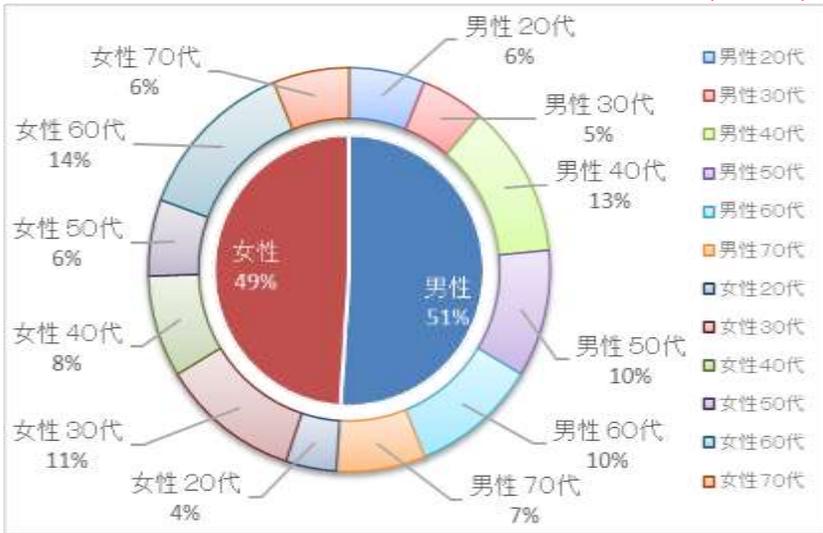
<市区町村>羅臼町

<コンテンツ紹介コメント>

羅臼では、クジラやイルカが豊富な餌を求めて陸地近くまでやってきます。観光クルーズに乗船して、間近でみるクジラやイルカの大ジャンプを体験してみてください。珍しい野鳥も多く生息しています。

1. 回答者の男女、年齢の比率

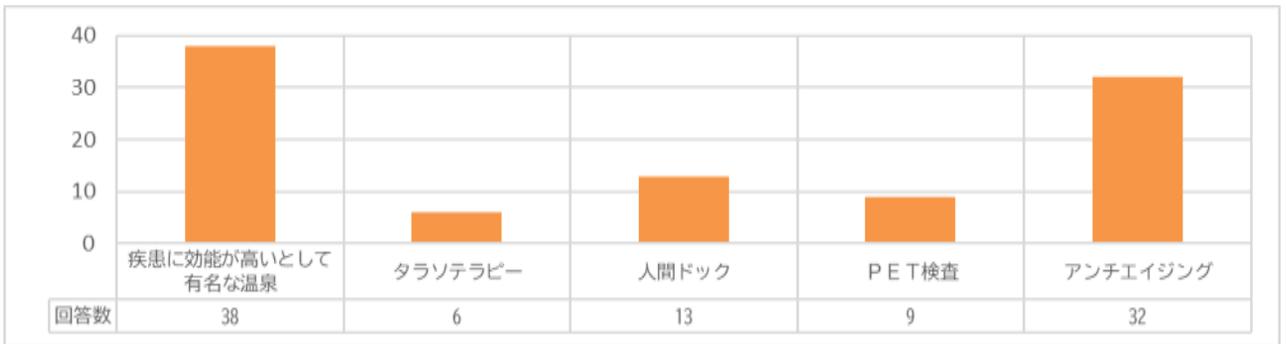
(※N = 98)



回答数は98、全体の22%がクジラ・イルカ・バードウォッチングに一番関心があると回答。男性が51%、女性が49%と男女比はほぼ同率。世代別では男性は40代が最も多く13%、女性は60代が最も多く14%。

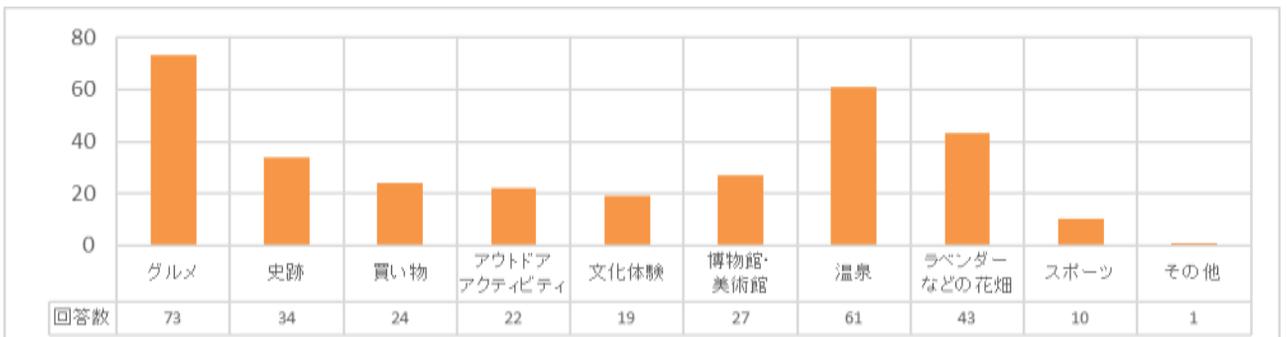
滞在日数は、3~5泊が理想的、現実的に最も多く、次に1~2泊が続いた。6泊以上の滞在は理想的には23%を占めているが現実的には僅か6%であり、金銭的・時間的制約のため実現できない可能性がある。

2. 最も興味があるヘルス系サービス



3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

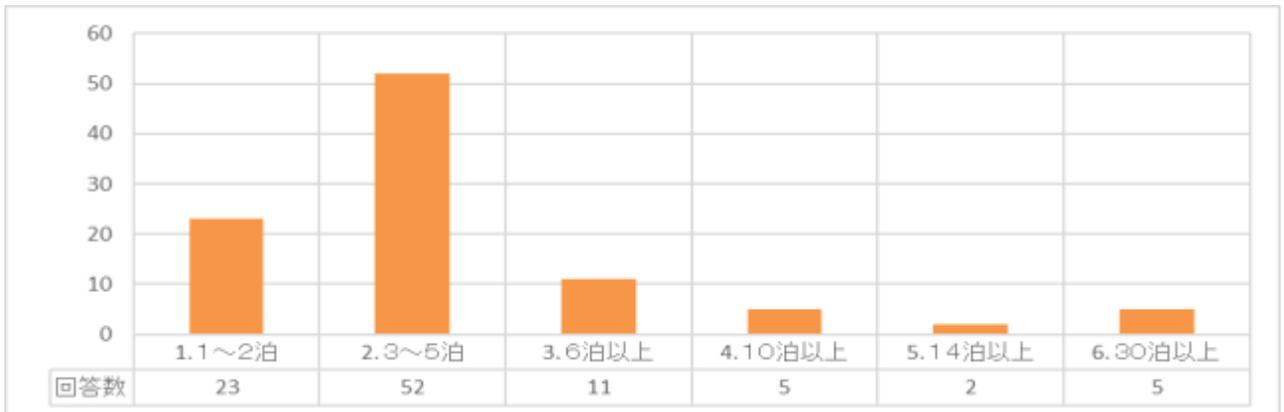
※複数回答可



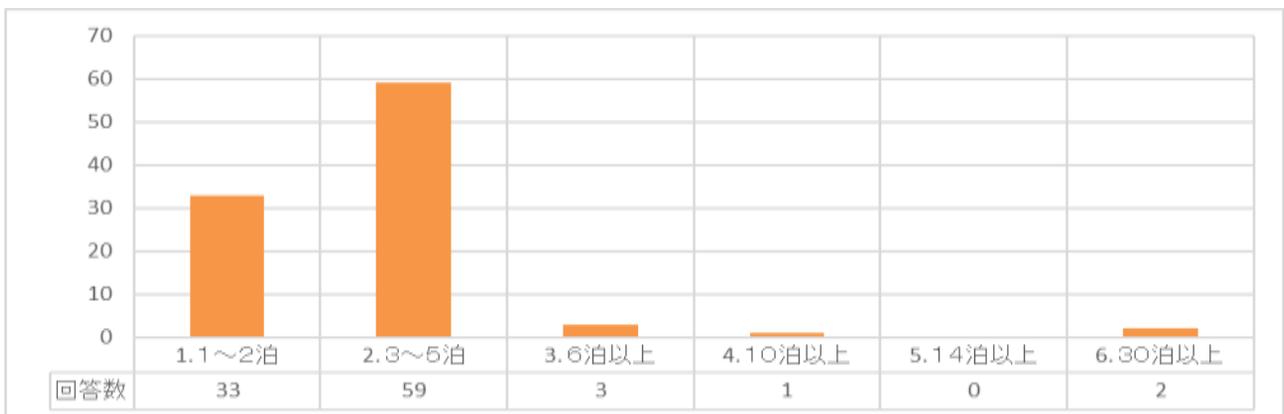
※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1. 知的好奇心を満たす旅)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

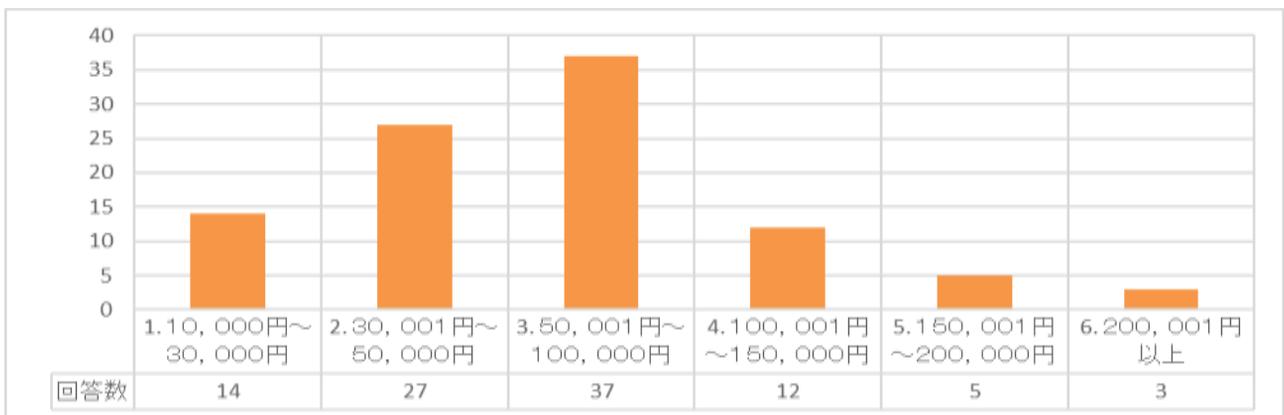
4. 理想的な滞在日数 (ヘルス)



5. 現実的な滞在日数 (ヘルス)



6. ヘルスを目的の想定滞在費



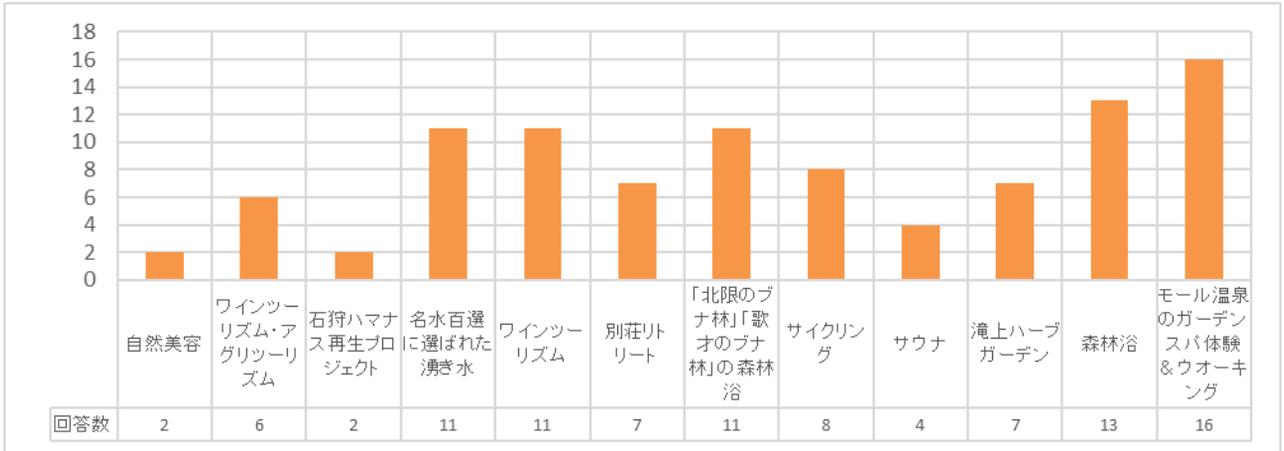
ヘルス系サービスで最も興味があるのは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」(回答数38/39%)が特に多い。次いで「アンチエイジング」(回答数32/33%)。組み合わせたい旅行要素は「グルメ」(回答数73)と「温泉」(回答数61)が特に多いが、他にも20件を超える回答が幅広く存在していた。



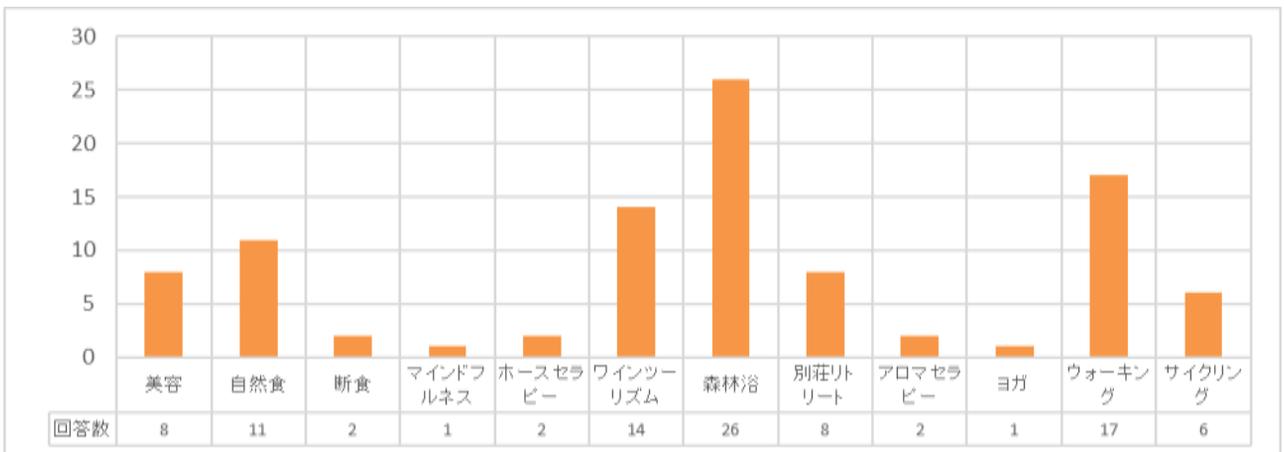
ヘルス系サービスとして「クジラ・イルカ・バードウォッチング」との組み合わせとして、「温泉」(効能の高い)と「アンチエイジング」との親和性の高さが示唆された。また、旅行要素としては「グルメ」「温泉」の他にも、広範な親和性の高さが示唆される結果であった。また、価格帯は3~10万円程度がボリュームゾーンであると考えられたが、10万円以上の回答も20件(20%)存在することから、高価格帯のニーズの存在も示唆された。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

7. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



8. 最も興味があるウェルネス系サービス



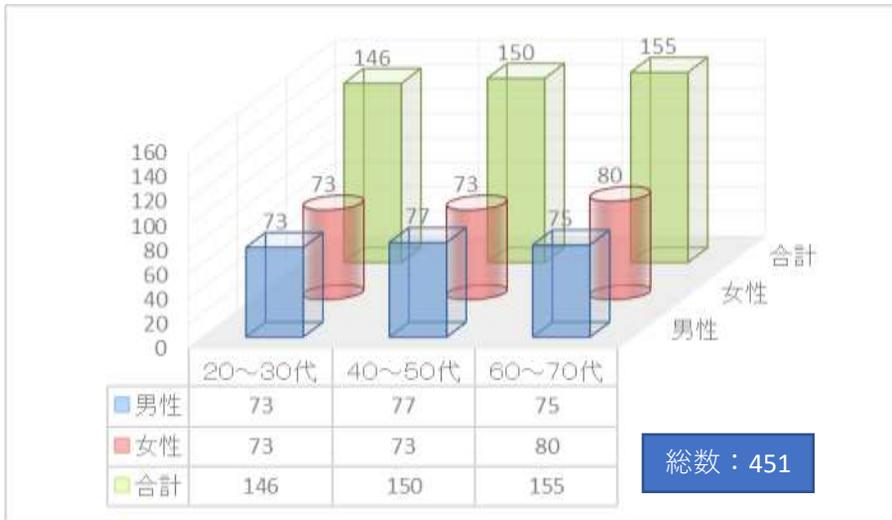
最も興味があるウェルネス系コンテンツは「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」（回答数16/16%）が特に多く、「森林浴」（回答数13/13%）が続くが、回答数11(11%)のものが3つ存在した。ウェルネス系サービスは「森林浴」（回答数26/27%）が特に多いが、回答数10(10%)を超えるものが3つ存在した。



ウェルネス系コンテンツ、サービスとして「クジラ・イルカ・バードウォッチング」との組み合わせとして、「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」や「森林浴」との親和性の高さが示唆されたが、その他のウェルネス系コンテンツ、サービスとの広範な親和性の高さが示唆される結果であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

●年齢区分による分析



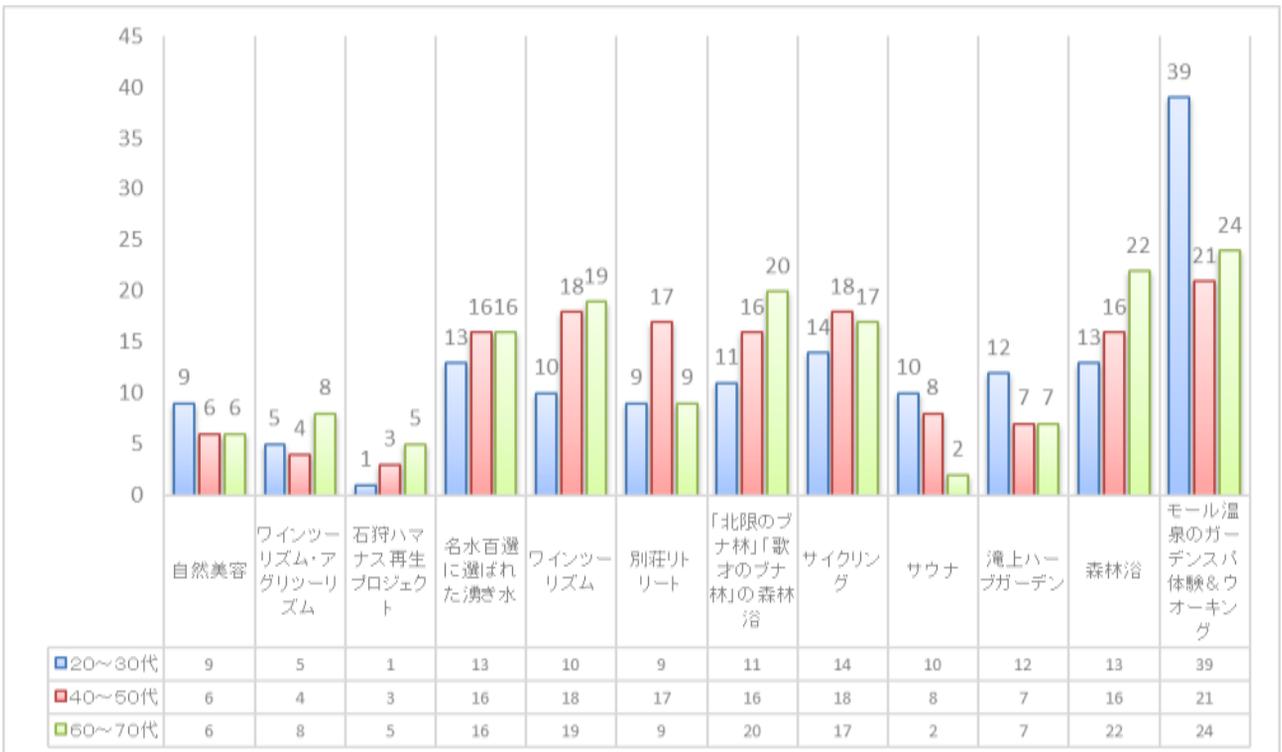
総サンプル数は451。各年代、性別ともに同等程度の回答数を集約することができた。

以下、3つの年齢層に分類し全体的に調査結果への考察を行う。

- ・ 20～30代（若年層）
- ・ 40～50代（中年層）
- ・ 60～70代（シニア層）

○ウェルネス系について

1. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ

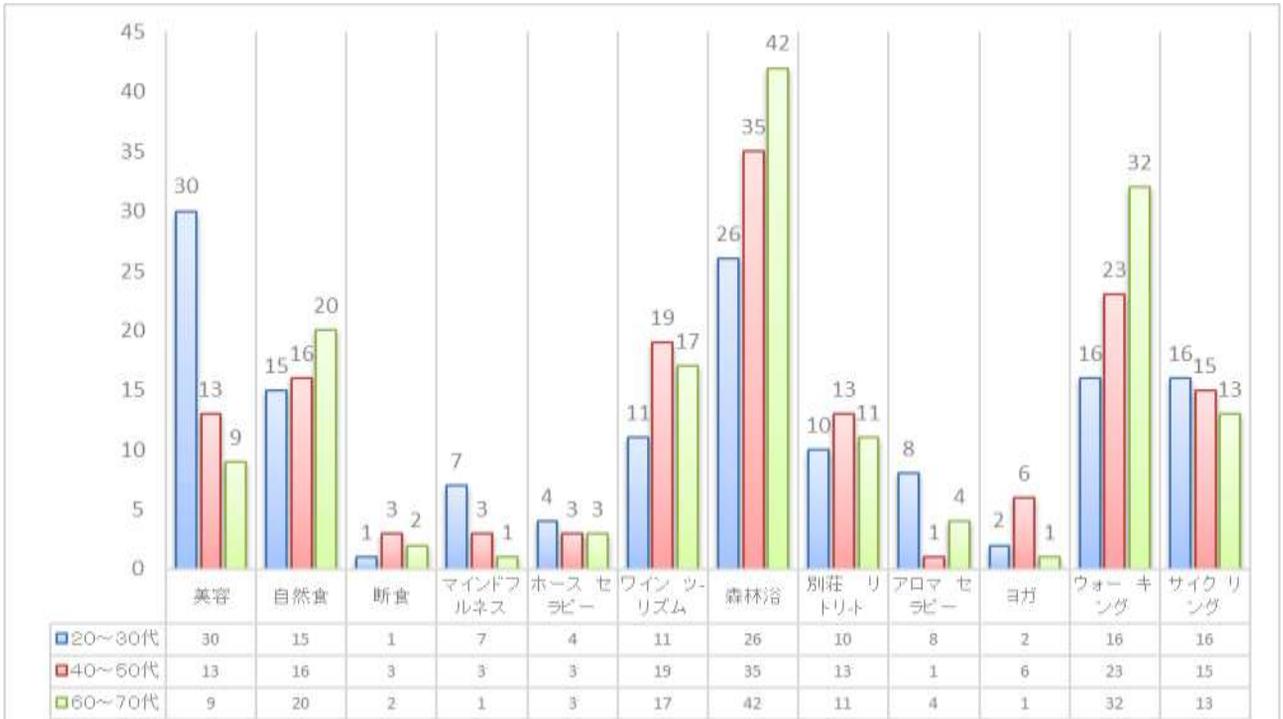


全ての年齢層で関心の高いウェルネス系コンテンツは「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」であり、関心の低いコンテンツは「石狩ハマナス再生プロジェクト」であった。

年齢層別では、若年層と中年層は、全体と同様の傾向がみられる。若年層では「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」への関心が突出して高かった。中年層は一つのコンテンツへの関心が突出しておらず、複数のコンテンツへ回答が分散した。シニア層では、一番回答数が少ないコンテンツは「サウナ」であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

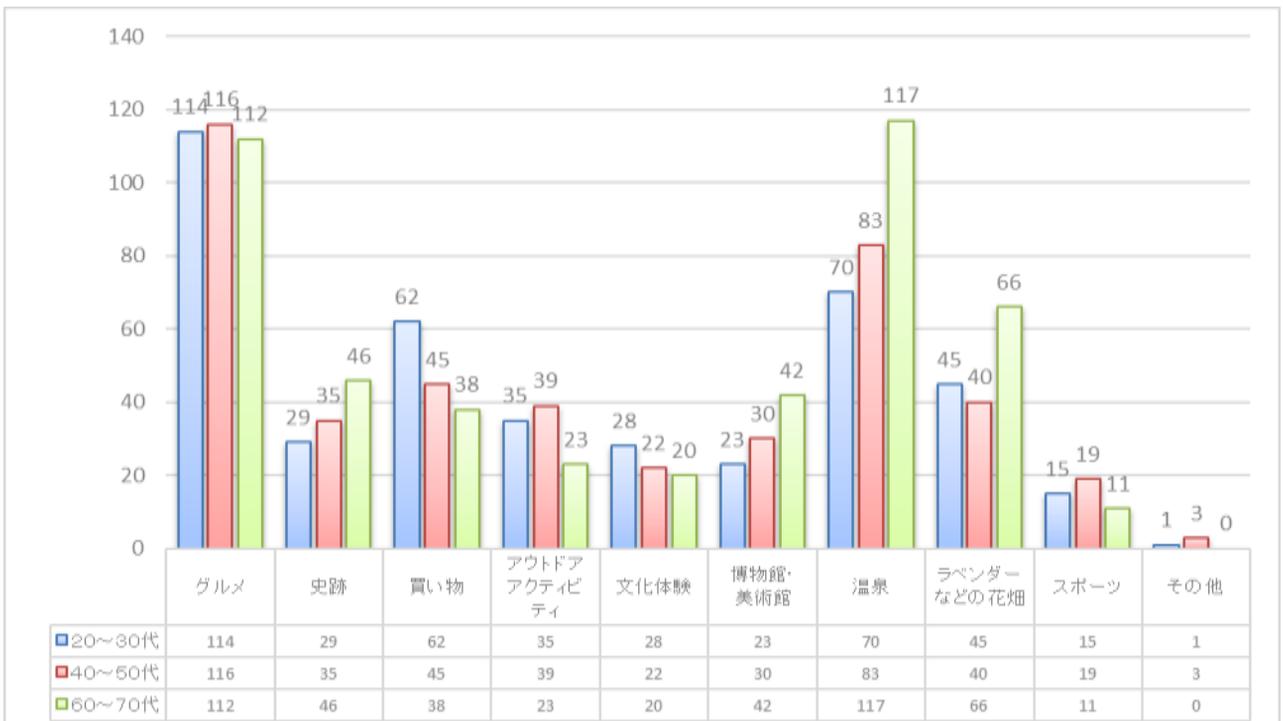
2. 最も興味があるウェルネス系サービス



全体としては、最も興味があるウェルネス系サービスは「森林浴」であり、最も興味があるという回答数が少ないコンテンツは「断食」であった。若年層では「美容」への関心が高く、「断食」、「ヨガ」、「ホースセラピー」への関心が低い。中年層、シニア層は、「森林浴」、「ウォーキング」への関心が高く、「アロマセラピー」、「断食」、「マインドフルネス」、「ホースセラピー」への関心が低い。

3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

※複数回答可

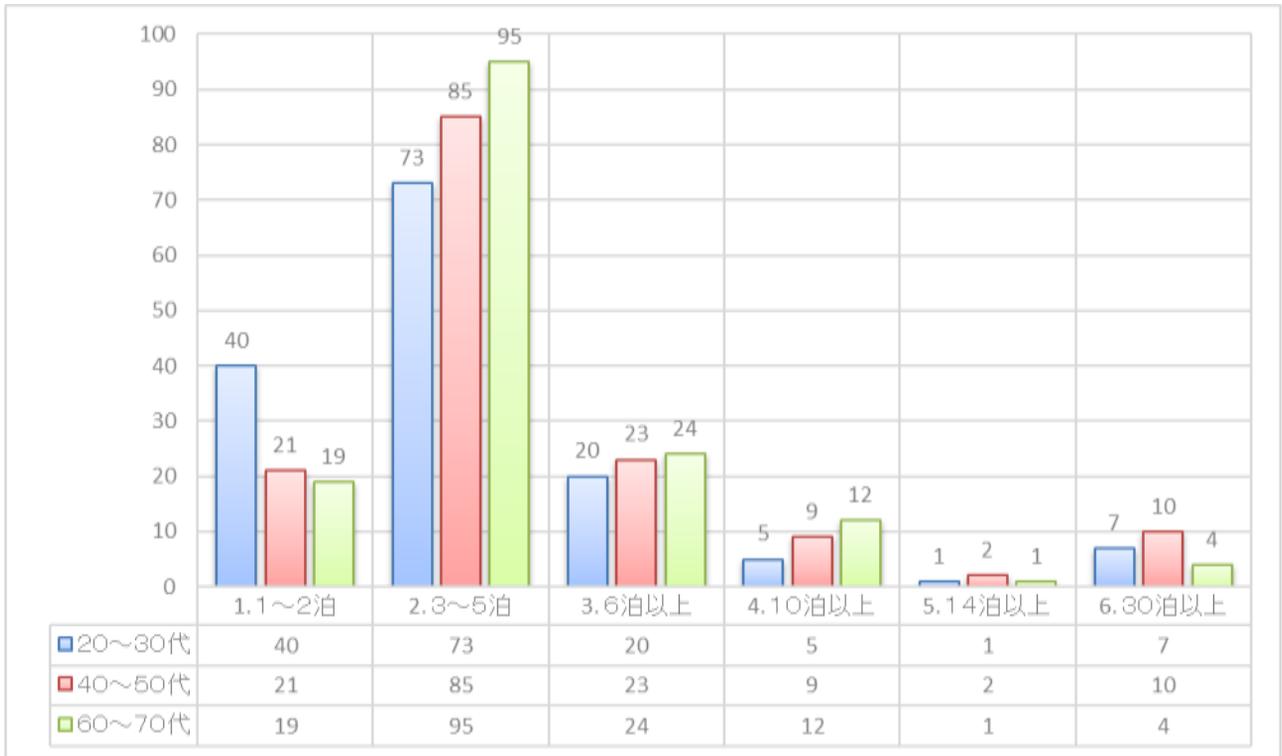


全体としては、「グルメ」、「温泉」への関心が高く、「スポーツ」への関心が低い。「グルメ」は全年齢層からの関心が高いが、「温泉」は特にシニア層からの関心が高い。年齢層別では、若年層、中年層は「買い物」への関心も「グルメ」、「温泉」に次いで高い。シニア層は「ラベンダーなどの花畑」への関心が「グルメ」、「温泉」に次いで高い。

※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ 2.ビール 3.知的な好奇心を満たす旅 4.自然)

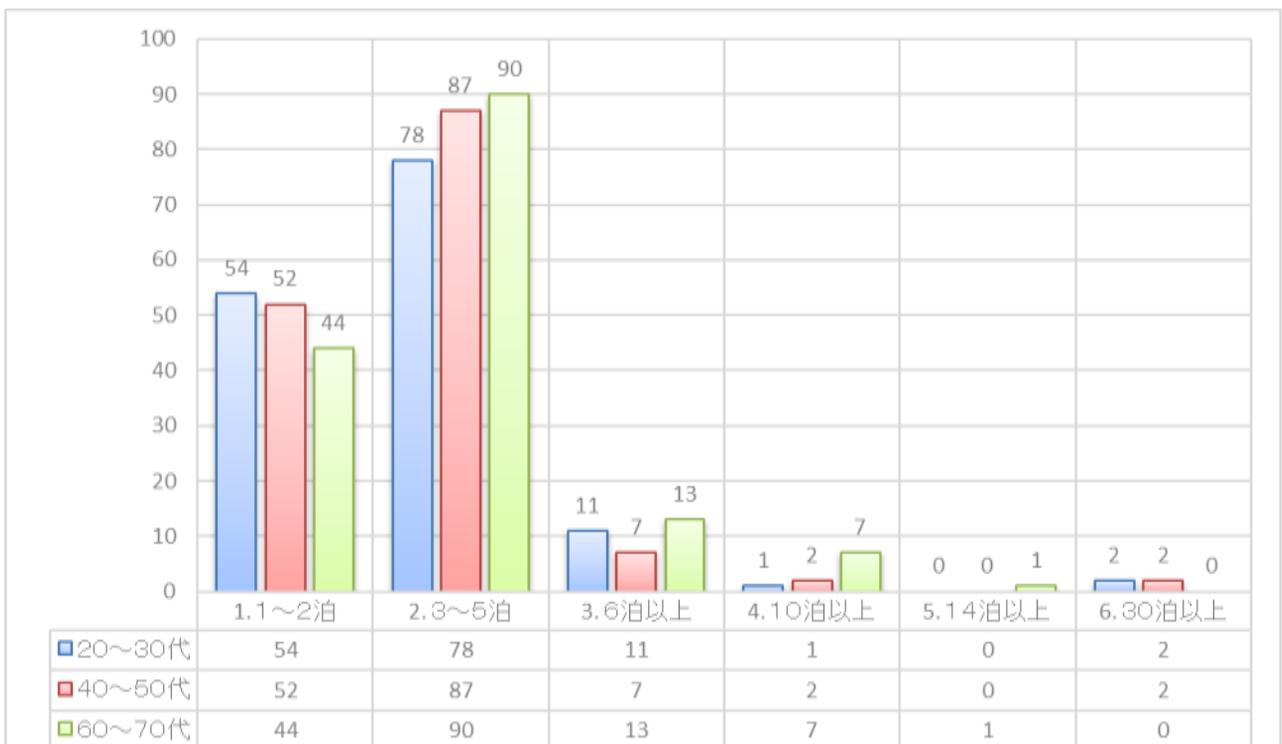
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

4. 理想的な滞在日数（ウェルネス）



全体としては、3~5泊が大多数を占める。若年層は1~2泊が理想的だという回答も他の年齢層に比して多い。全年齢層から30泊以上という回答も見られる。

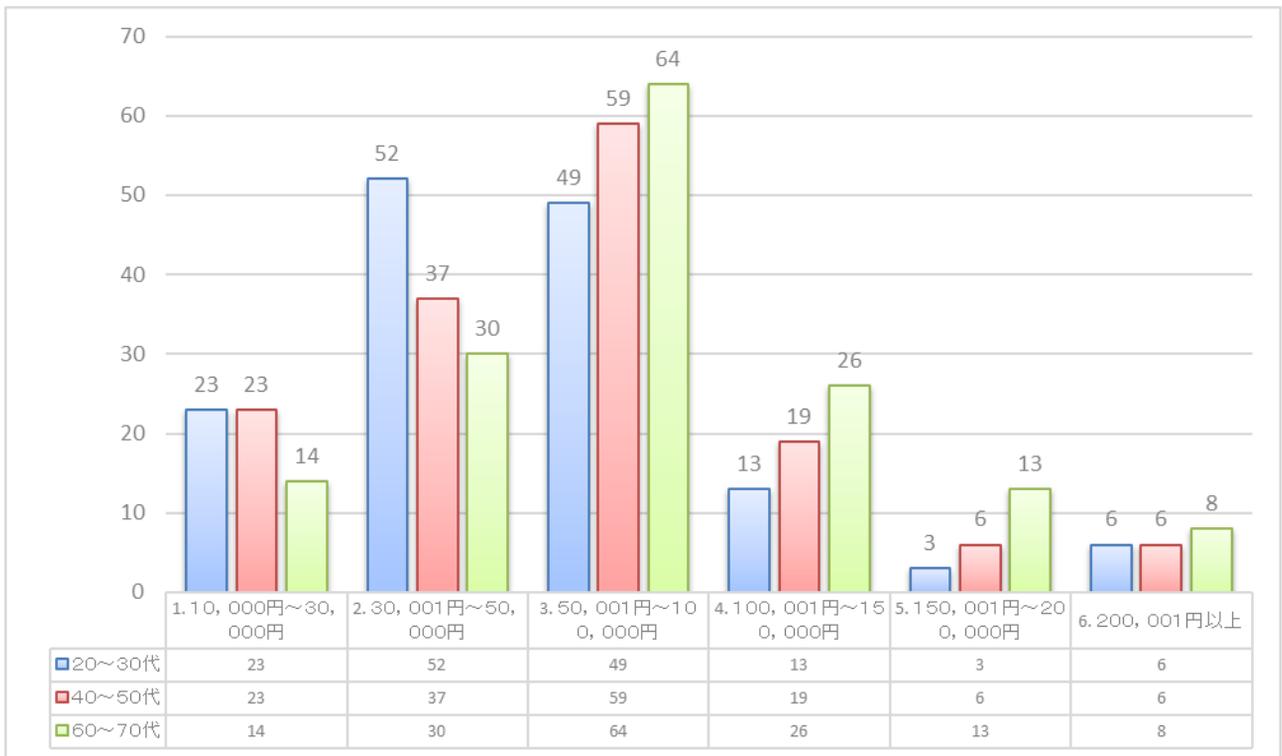
5. 現実的な滞在日数（ウェルネス）



全体としては、3~5泊が多数であり、次に1~2泊が続く。
 現実的な滞在日数は理想的な滞在日数に比して、1~2泊の比率が高まる。
 (理想的な滞在日数が1~2泊の回答比率：18%/現実的滞在日数が1~2泊の回答比率：33%)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

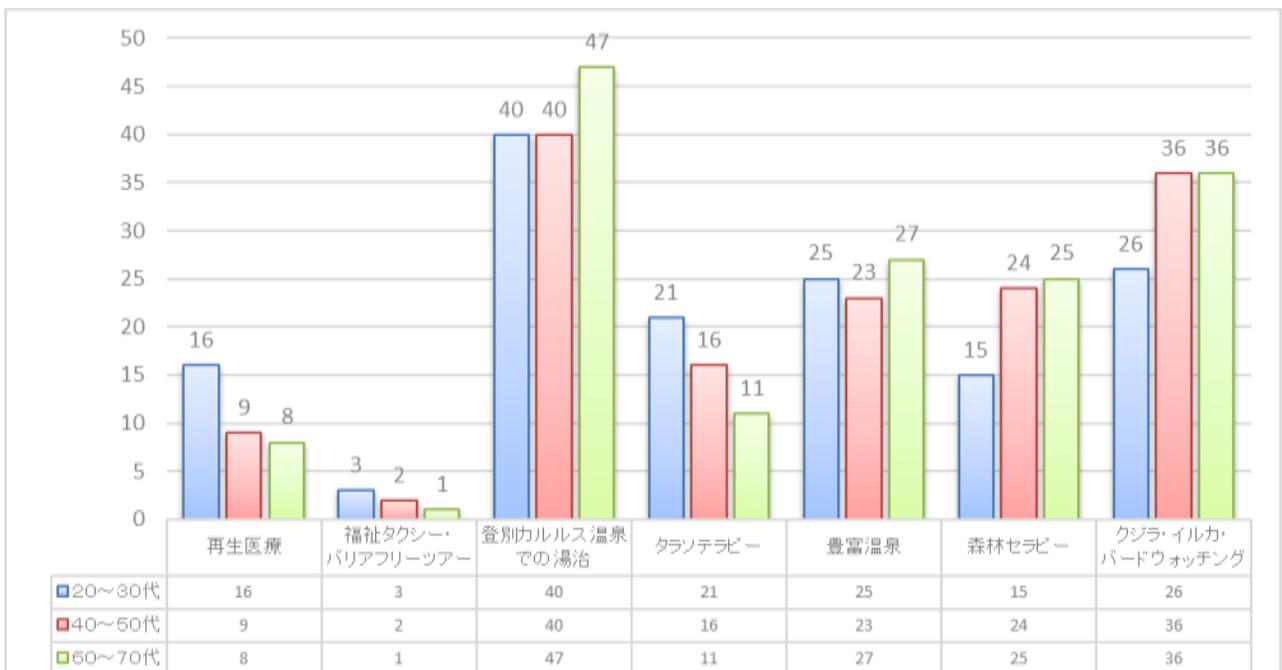
6. ウェルネスを目的の想定滞在費



中年層、シニア層については、50,001円～100,000円がボリュームゾーンであるが、若年層は30,001円～50,000円がボリュームゾーンである。シニア層が回答数をけん引するものの、100,001円～150,000円、150,001円～200,000円、200,001円以上への回答も各年齢層からみられた。

○ヘルス系について

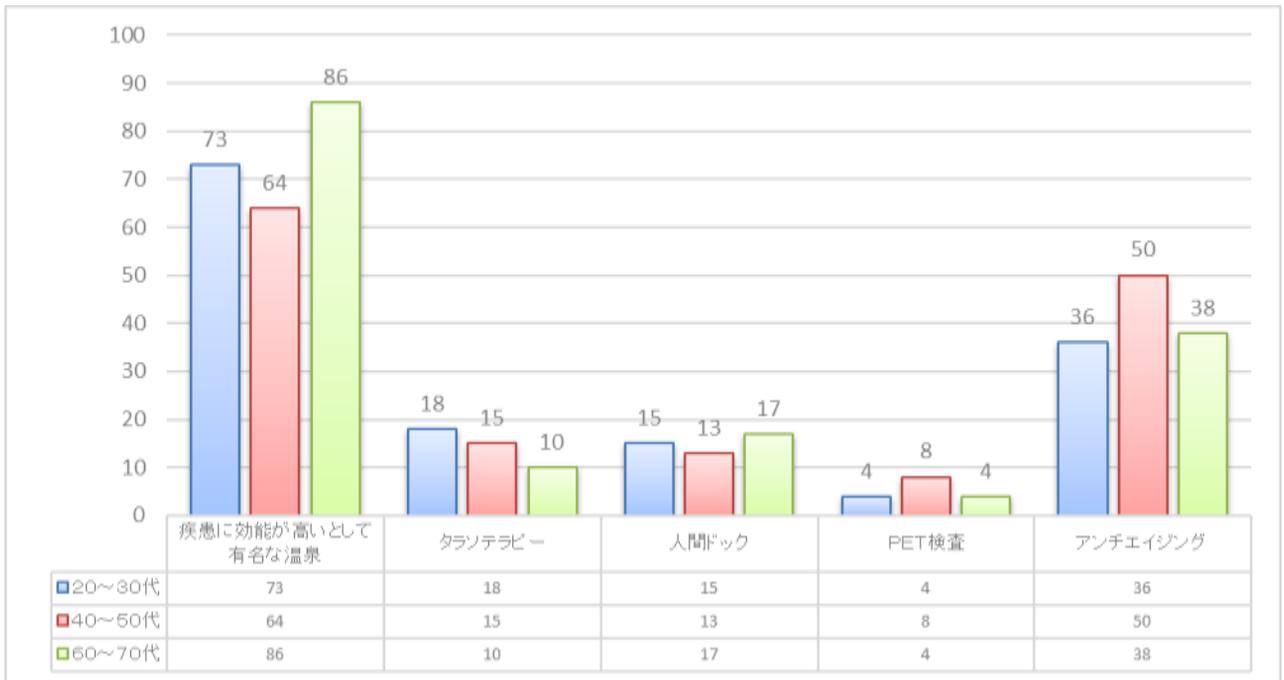
1. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



全ての年齢層で一番関心の高いヘルス系コンテンツは「登別カルルス温泉での湯治」であり、次に「クジラ・イルカ・バードウォッチング」である。最も関心が少ないヘルス系コンテンツは「福祉タクシー・バリアフリーツアー」であった。「タラソテラピー」、「再生医療」については、中年層、シニア層に比べ、若年層の関心が高かった。

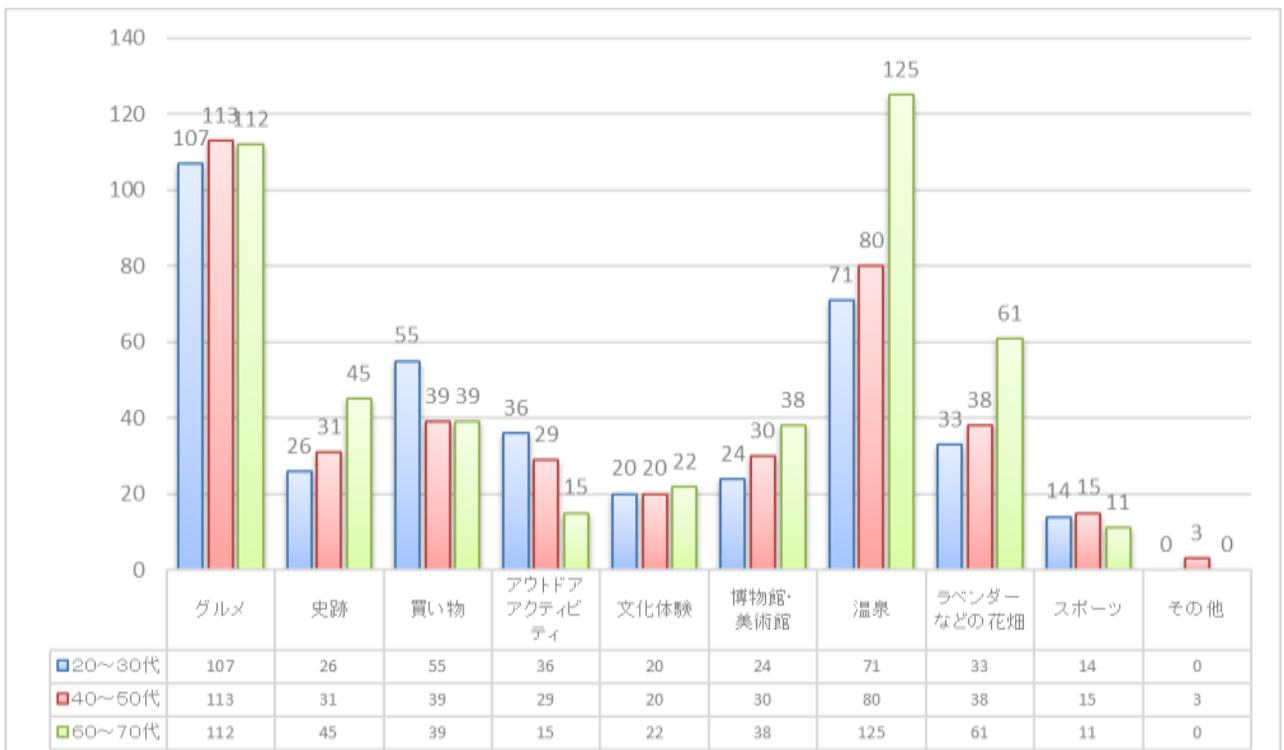
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

2. 最も興味があるヘルス系サービス



全体としては、最も興味があるヘルス系サービスは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」であり、次に「アンチエイジング」であった。関心が低いヘルス系サービスは「PET検査」であった。各年齢層で回答にばらつきが少なく、同じ傾向がみられた。

3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

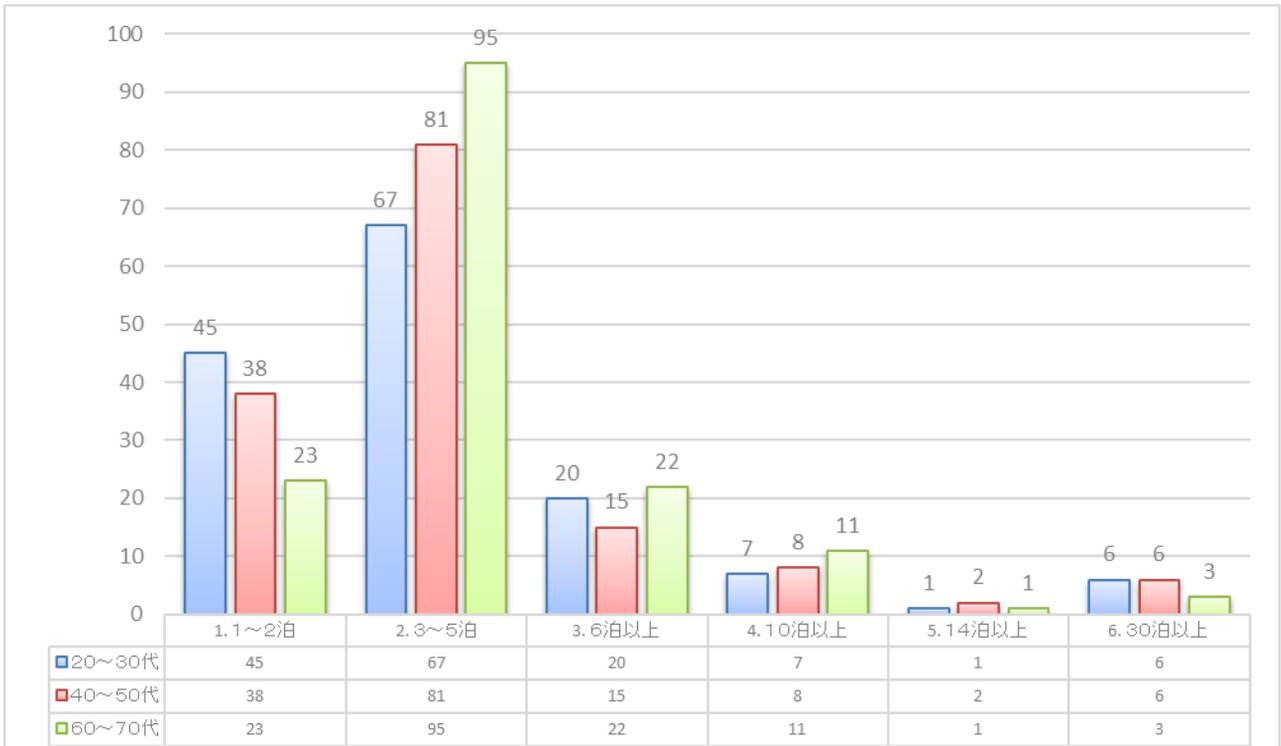


全体としては、「グルメ」、「温泉」への関心が高く、「スポーツ」への関心が低い。「グルメ」は全年齢層からの関心が高いが、「温泉」は特にシニア層からの関心が高い。年齢層別では、若年層、中年層は「買い物」への関心も「グルメ」、「温泉」に次いで高い。シニア層は「ラベンダーなどの花畑」への関心が「グルメ」、「温泉」に次いで高い。

※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ 2.ビール 3.知的な好奇心を満たす旅

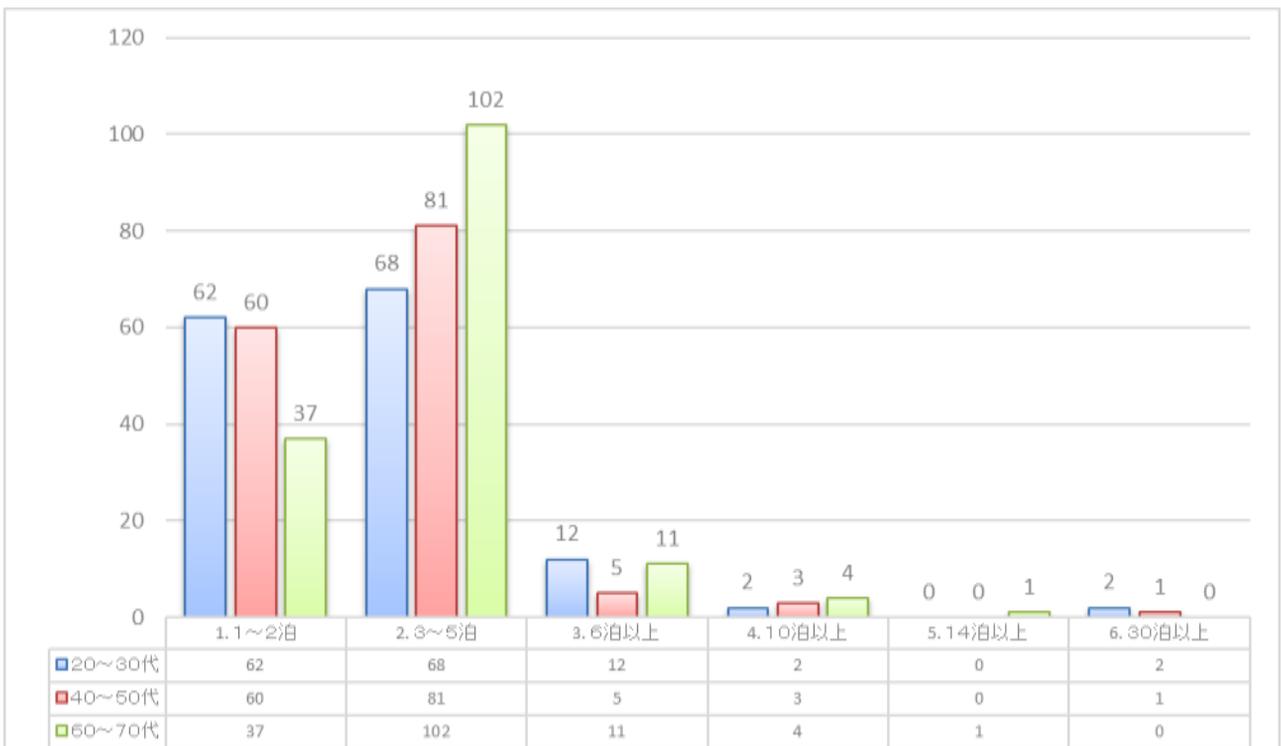
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

4. 理想的な滞在日数（ヘルス）



全体としては、3～5泊が大多数を占める。若年層は1～2泊が理想的だという回答も他の年齢層に比して多い。全年齢層から30泊以上という回答も見られる。

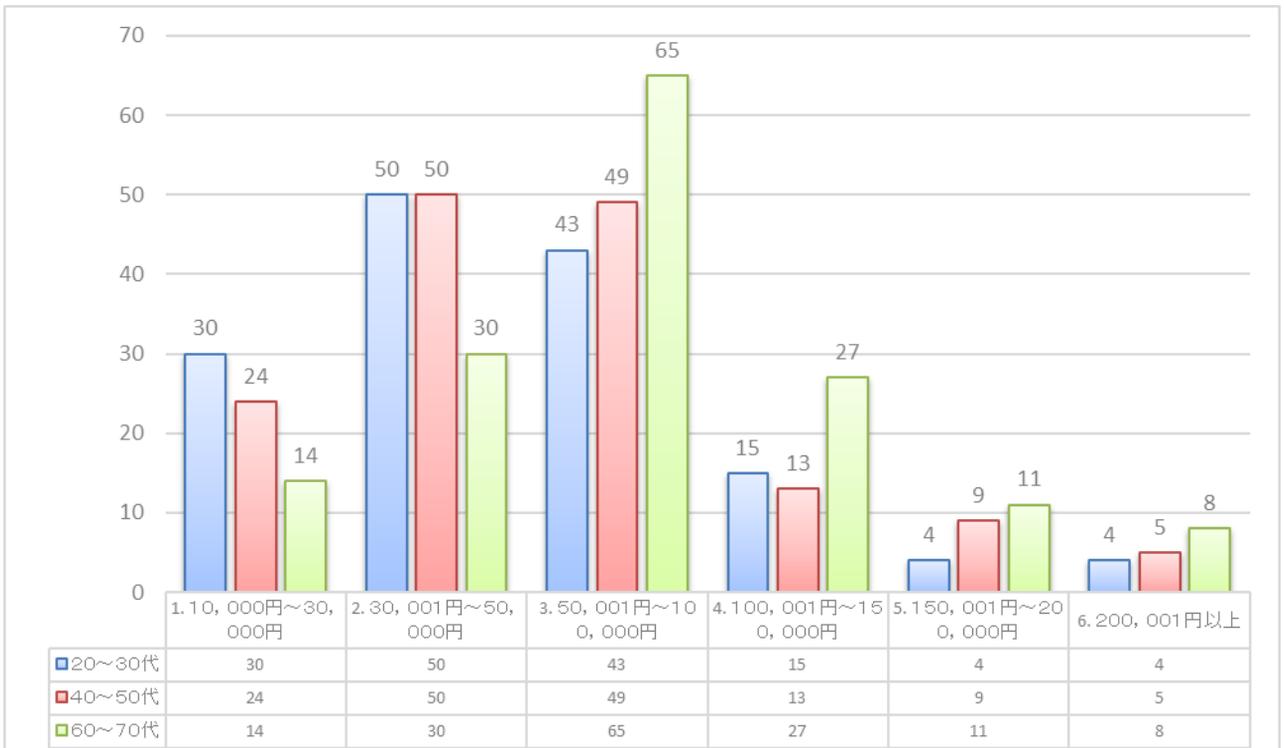
5. 現実的な滞在日数（ヘルス）



全体としては、3～5泊が多数であり、次に1～2泊が続く。
 現実的な滞在日数は理想的な滞在日数に比して、1～2泊の比率が高まる。
 （理想的な滞在日数が1～2泊の回答比率：24%／現実的滞在日数が1～2泊の回答比率：35%）

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

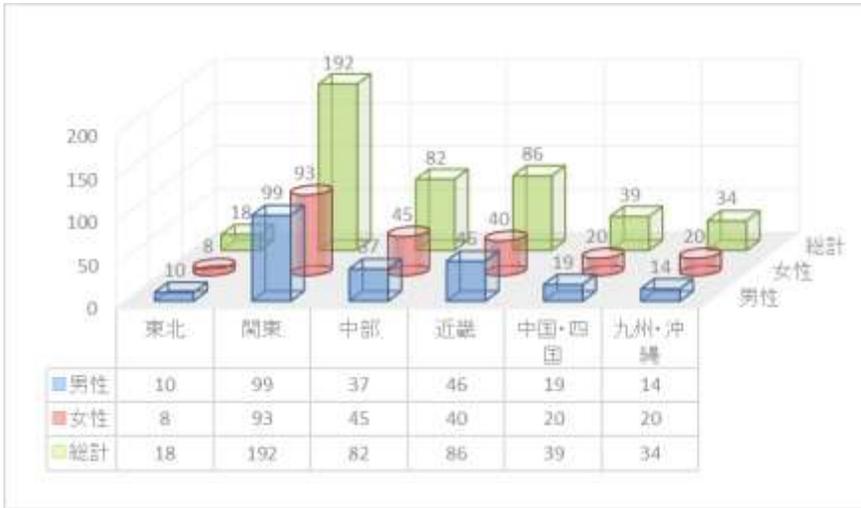
6. ヘルスを目的の想定滞在費



シニア層については、50,001円～100,000円がボリュームゾーンであるが、中年層、若年層は30,001円～50,000円および50,001円～100,000円がボリュームゾーンである。シニア層が回答数をけん引するものの、100,001円～150,000円、150,001円～200,000円、200,001円以上への回答も各年齢層からみられた。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

● 地方区分による分析



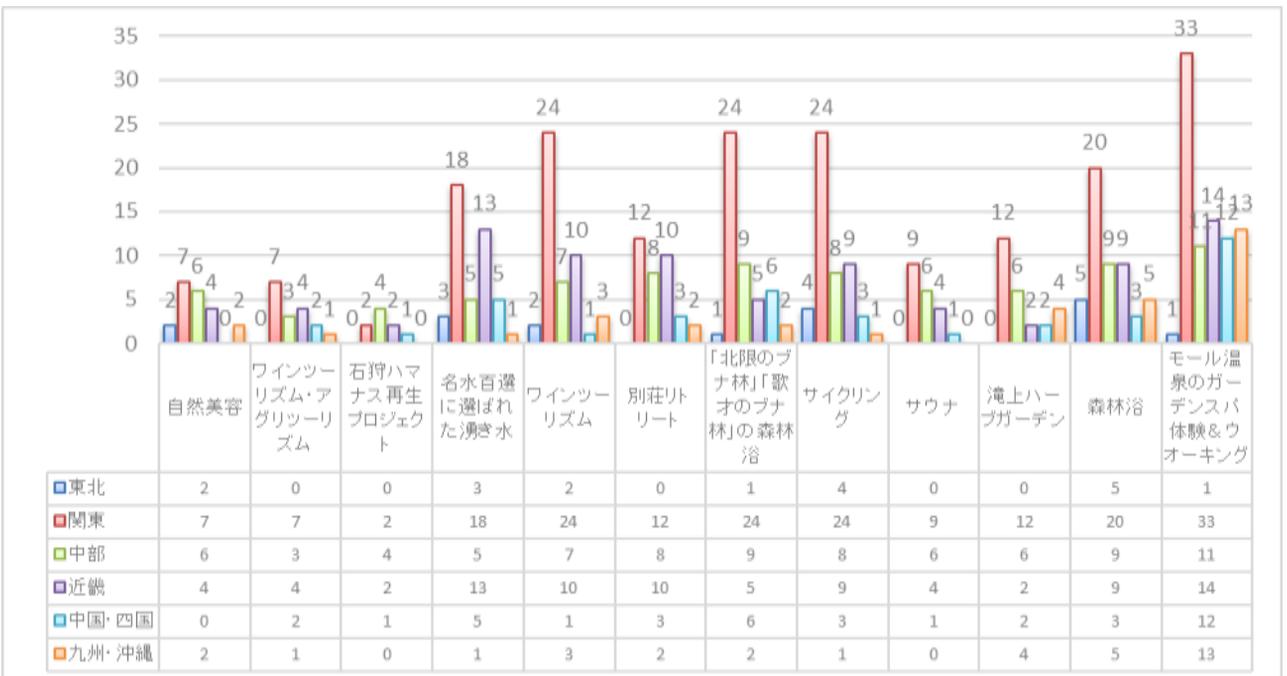
総サンプル数は451。地方区分、男性・女性・総計の回答数を表示している。サンプル数が限定的なため、中国・四国および九州・沖縄を括りグラフ化している。

関東地方からの回答数が192、全体の43%を占める。次に近畿地方と中部地方が続く。

北海道以外の全地方から回答を集約できている。

○ ウェルネス系について

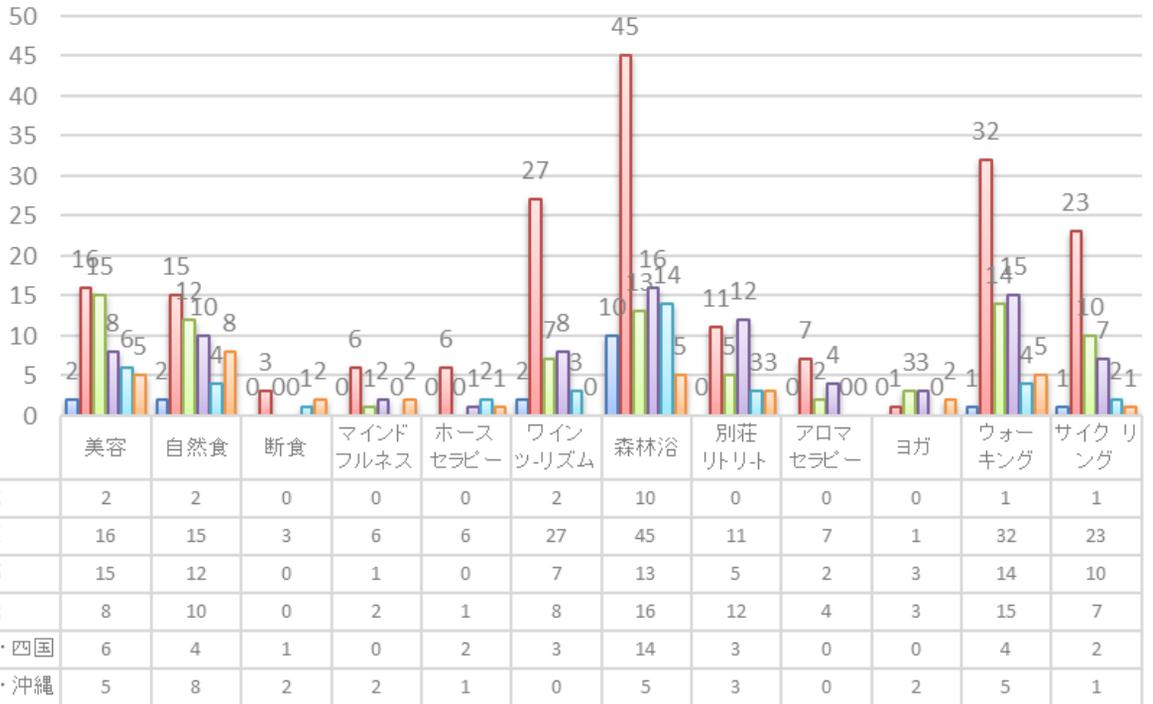
1. 一番関心のあるウェルネス系コンテンツ



東北以外の地方で関心の高いウェルネス系コンテンツは「モール温泉のガーデンSPA体験&ウォーキング」であり、東北地方で関心の高いウェルネス系コンテンツは「森林浴」であった。関心の低いコンテンツは回答が分散したが、中部地方、中国・四国地方以外の4地方で関心の低いコンテンツは「石狩ハマナス再生プロジェクト」であった。中部地方で関心の低いコンテンツは「ワインツーリズム・アグリツーリズム」であり、中国・四国地方で関心の低いコンテンツは「自然美容」であった。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

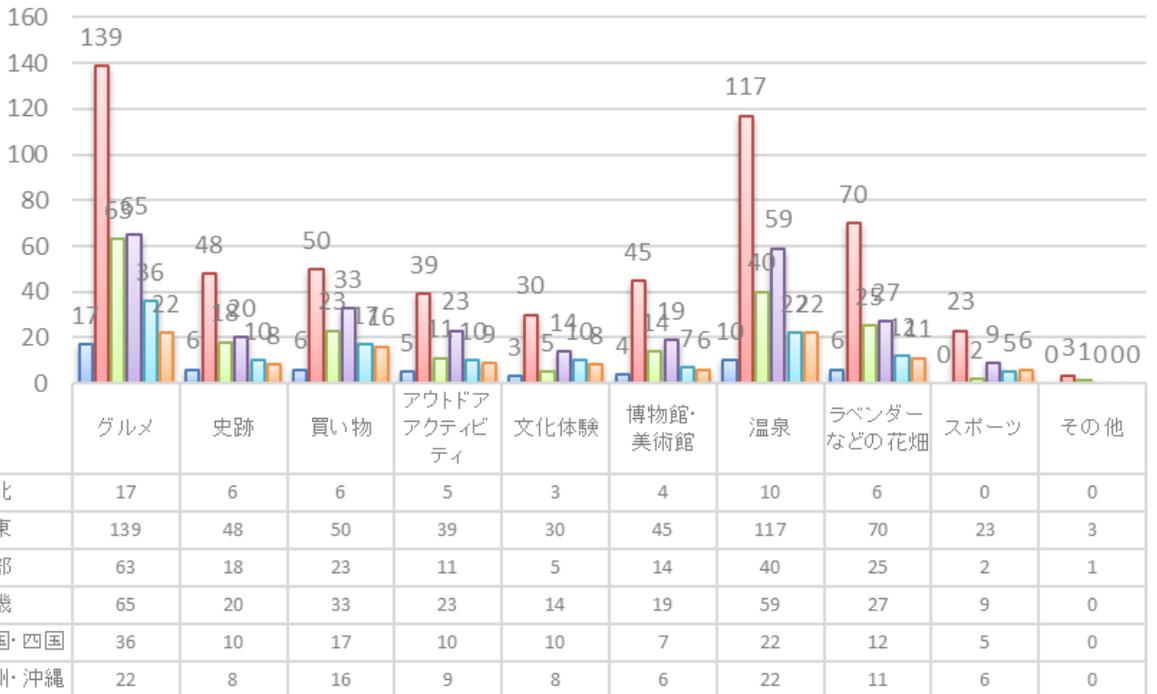
2. 最も興味があるウェルネス系サービス



全体としては、最も興味があるウェルネス系サービスは「森林浴」であり、最も興味があるという回答数が少ないコンテンツは「断食」であった。「別荘リトリート」については、関東地方と近畿地方のみ関心を示している。

3. ウェルネス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

※複数回答可

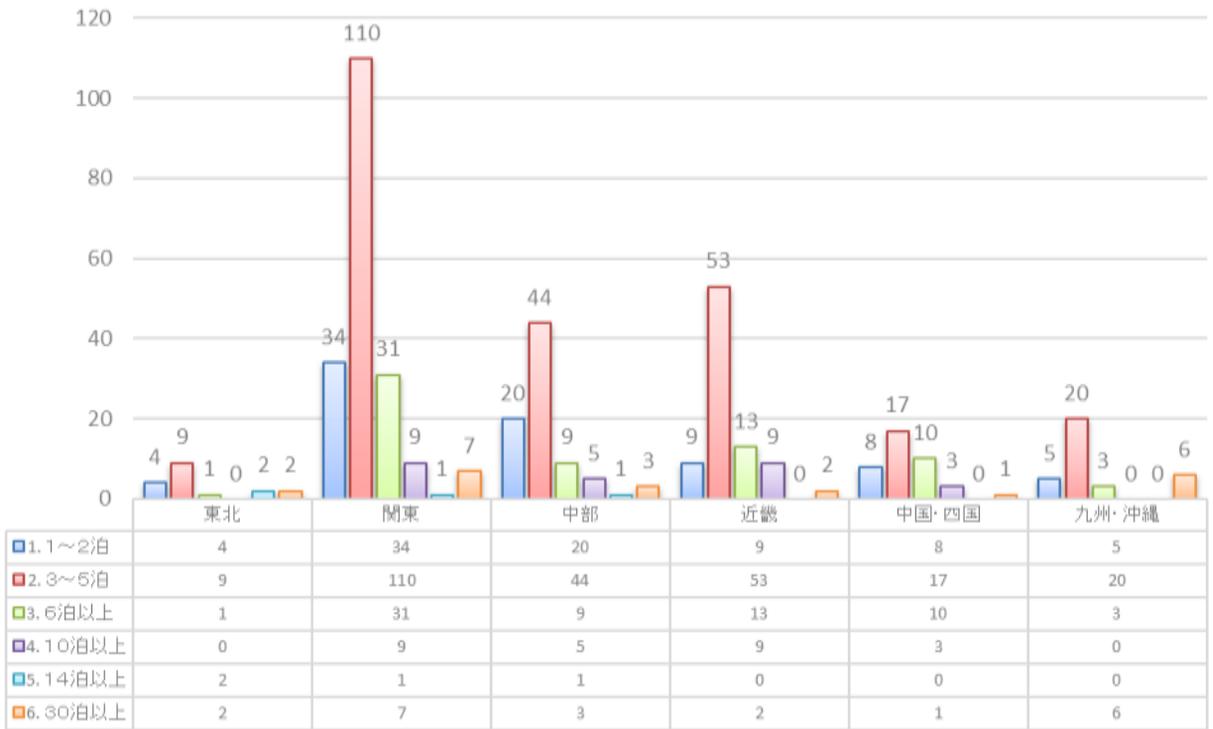


全体としては、「グルメ」、「温泉」への関心が高く、「スポーツ」への関心が低い。地方別の回答差はあまり見られないが、「アウトドアアクティビティ」、「文化体験」、「温泉」、「スポーツ」については、回答総数ほぼ同数である関西地方と中部地方を比較すると、関西地方に比べ中部地方の関心が低い。

※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ 2.ビール 3.知的な好奇心を満たす旅 4.自然)

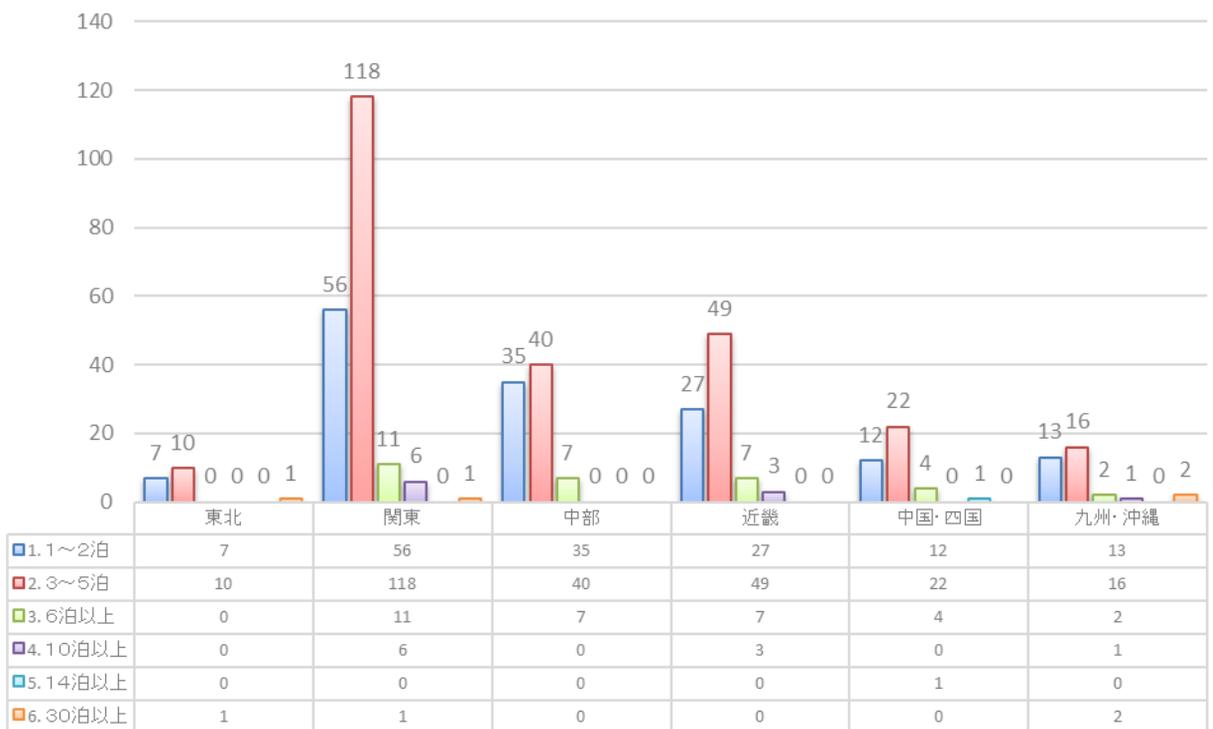
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

4. 理想的な滞在日数（ウェルネス）



すべての地方で3~5泊が多数を占める。近畿地方と中国・四国地方は6泊以上の回答数が1~2泊よりも多く、北海道と距離が離れている地方の方が長期の滞在を理想としている可能性がある。また、九州・沖縄地方は30泊以上の回答数が6、18%を占めた。

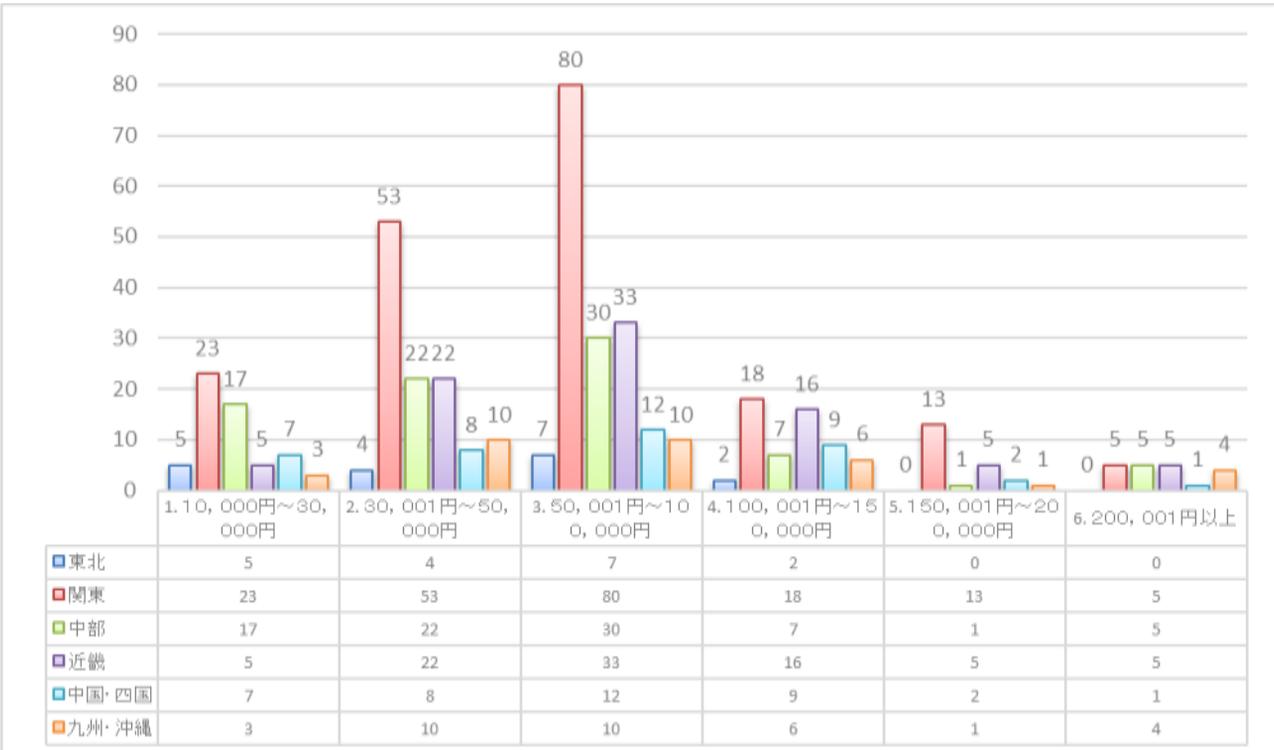
5. 現実的な滞在日数（ウェルネス）



全体としては、3~5泊が多数であり、次に1~2泊が続く。
現実的な滞在日数は理想的な滞在日数に比して、1~2泊の比率が高まる傾向もすべての地方に共通してみられる。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

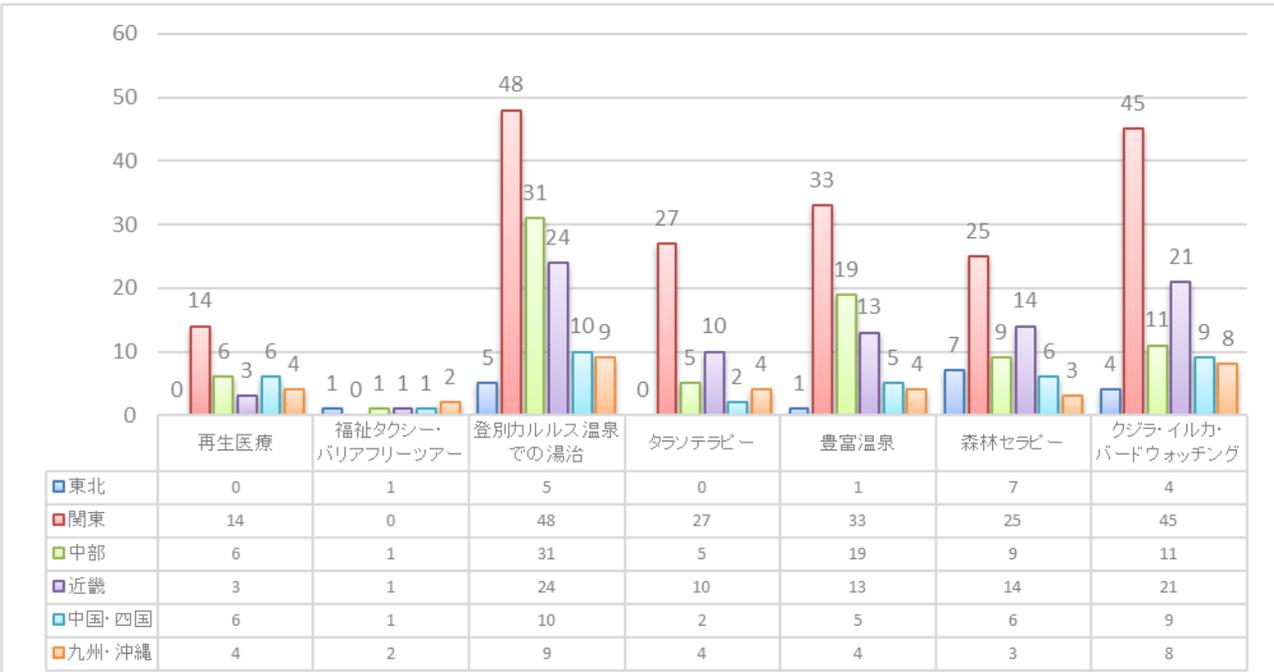
6. ウェルネスを目的の想定滞在費



全ての地方で、50,001円~100,000円がボリュームゾーンである。中部地方は10,000円~30,000円の回答数が17、21%であり、関東地方の12%、近畿地方の6%と比べ比率が高い。近畿地方は100,001円~150,000円の回答数が16、19%であり、関東地方の7%、中部地方の9%と比べ比率が高い傾向がある。200,001円以上の回答者は東北地方を除いて1~5の回答数が見られた。

○ヘルス系について

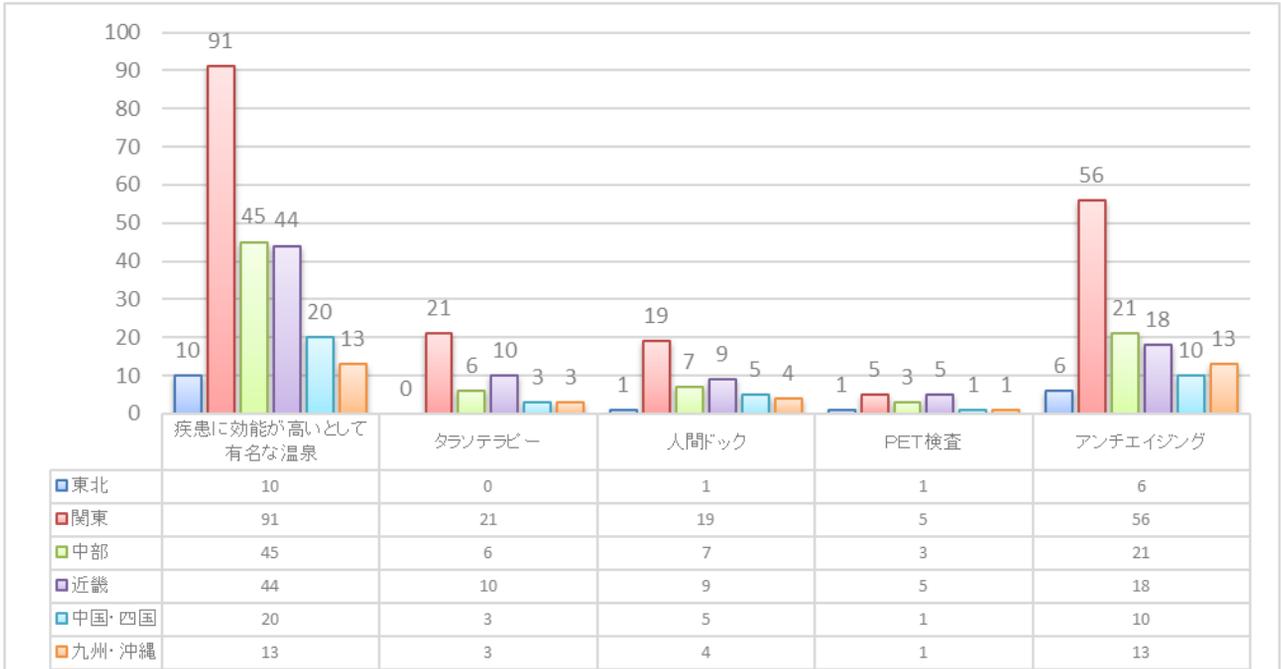
1. 一番関心のあるヘルス系コンテンツ



全ての地方で一番関心の高いヘルス系コンテンツは「登別カルルス温泉での湯治」であり、次に「クジラ・イルカ・バードウォッチング」である。回答総数がほぼ同数である関西地方と中部地方を比較すると、中部地方は「登別カルルス温泉での湯治」に関心のある比率が高く、関西地方は「クジラ・イルカ・バードウォッチング」に関心のある比率が高い。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

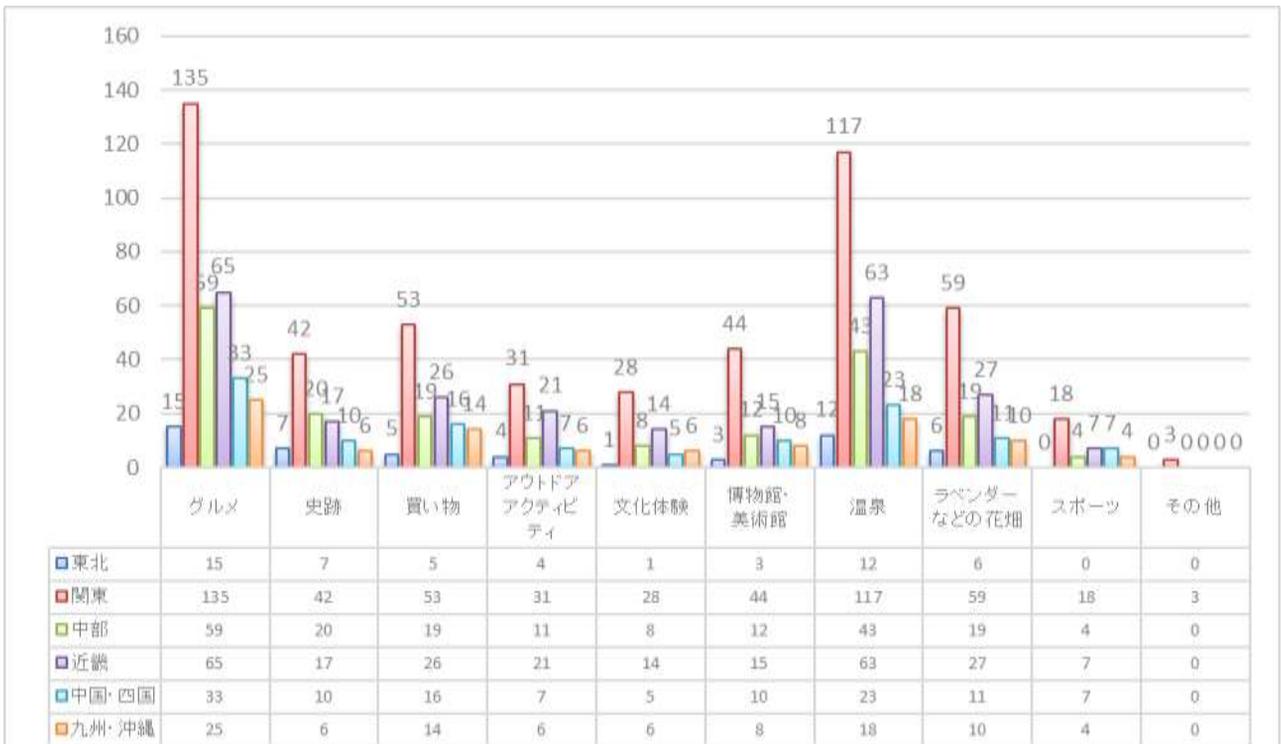
2. 最も興味があるヘルス系サービス



全体としては、最も興味があるヘルス系サービスは「疾患に効能が高いとして有名な温泉」であり、次に「アンチエイジング」であった。関心が低いヘルス系サービスは「PET検査」であった。回答総数がほぼ同数である関西地方と中部地方を比較すると、中部地方は「疾患に効能が高いとして有名な温泉」、「アンチエイジング」に関心のある比率が高く、関西地方は「タラソテラピー」、「人間ドック」、「PET検査」に関心のある比率が高い。

3. ヘルス系コンテンツと組み合わせたいと考える旅行要素

※複数回答可

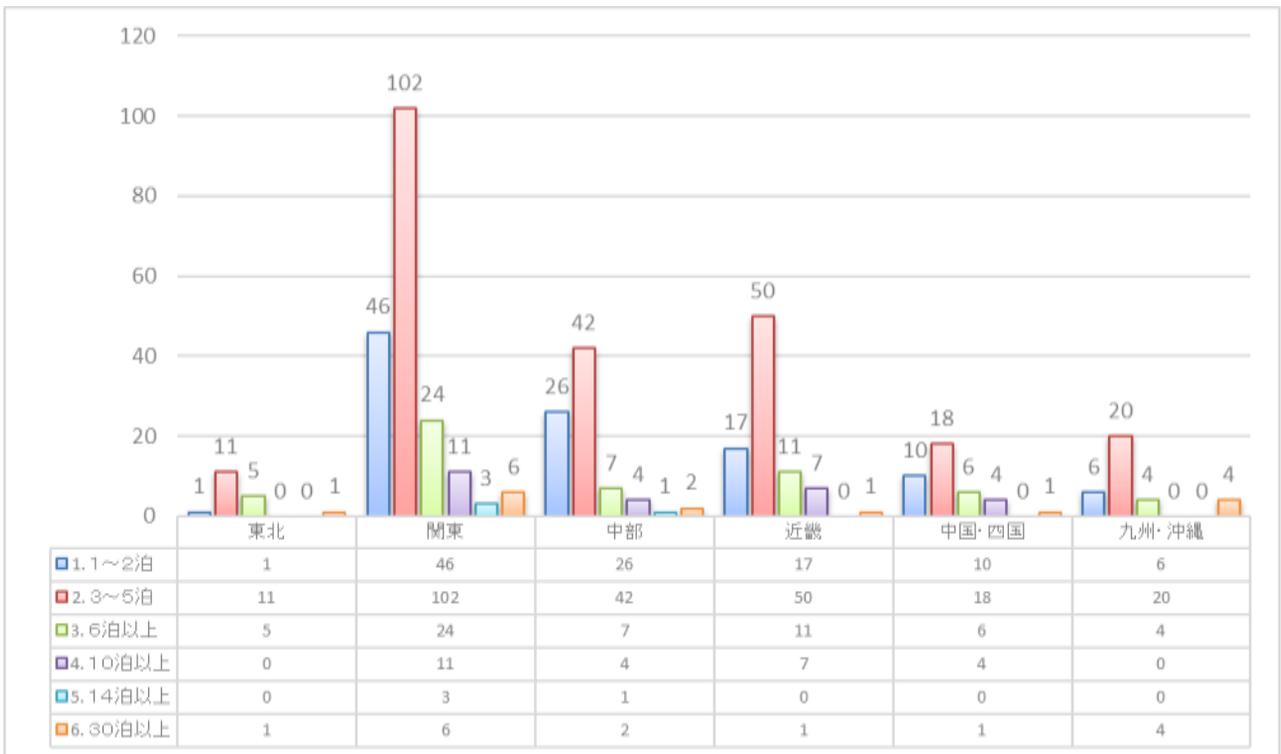


全体としては、「グルメ」、「温泉」への関心が高く、「スポーツ」への関心が低い。回答総数がほぼ同数である関西地方と中部地方を比較すると、「史跡」については、関西地方より中部地方が関心のある比率が高い。また「グルメ」、「温泉」、「ラベンダーなどの花畑」については、中部地方より関西地方が関心のある比率が高い結果となった。

※スポーツ：スキー・スノーボード・ゴルフ等 ※ その他 (1.ドライブ 2.ビール 3.知的な好奇心を満たす旅)

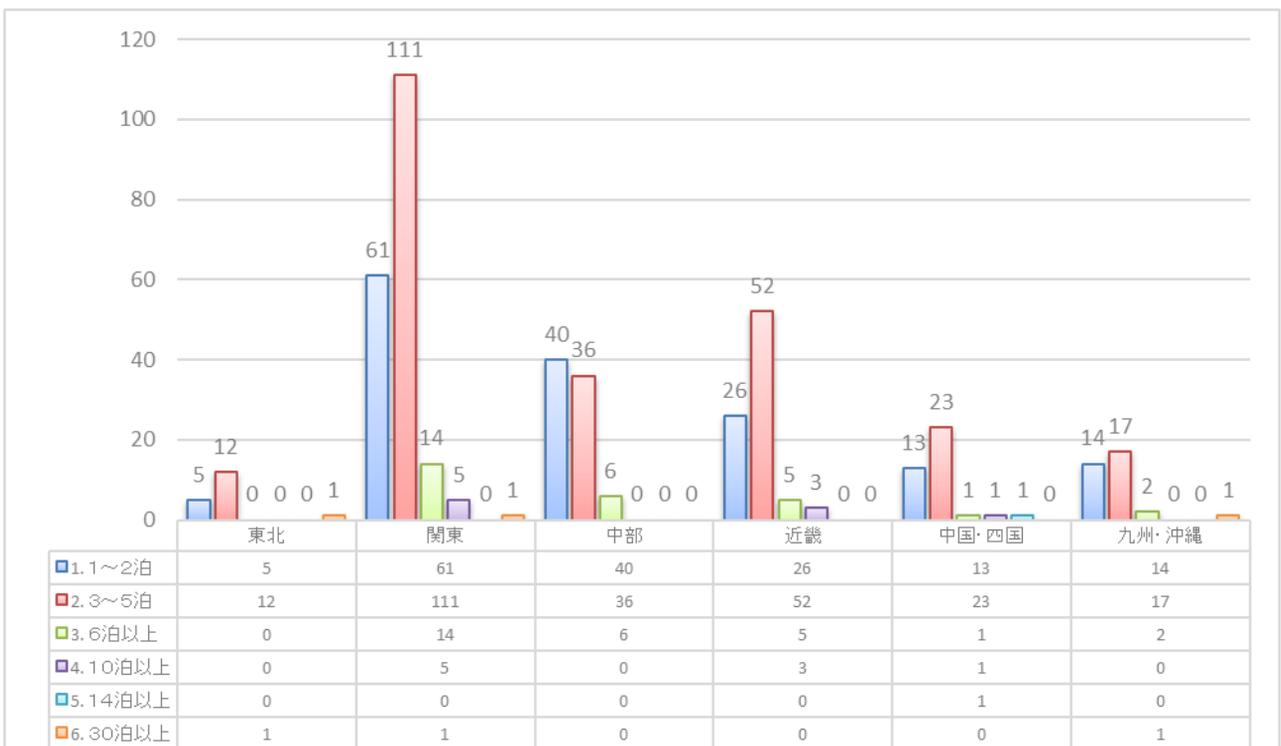
(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

4. 理想的な滞在日数 (ヘルス)



すべての地方で3~5泊が多数を占める。次に1~2泊の比率が高いが、東北については、6泊以上の比率が高くなっている。

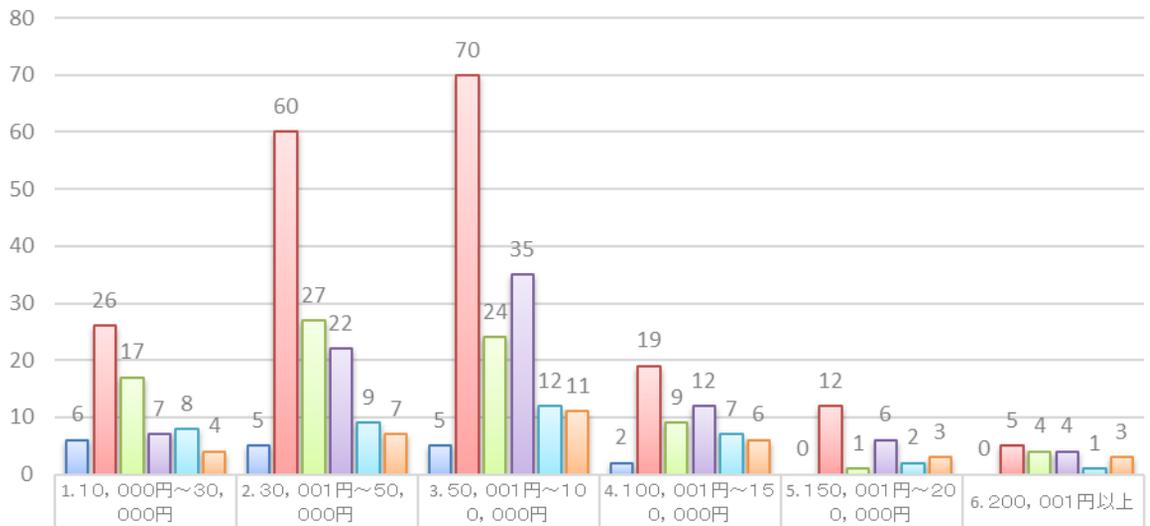
5. 現実的な滞在日数 (ヘルス)



全体としては、中部を除き3~5泊が多数である。中部地方は1~2泊が多数を占めた。現実的な滞在日数は理想的な滞在日数に比して、1~2泊の比率が高まる傾向もすべての地方に共通してみられる。

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

6. ヘルスを目的の想定滞在費



地域	1. 10,000円~30,000円	2. 30,001円~50,000円	3. 50,001円~100,000円	4. 100,001円~150,000円	5. 150,001円~200,000円	6. 200,001円以上
東北	6	5	5	2	0	0
関東	26	60	70	19	12	5
中部	17	27	24	9	1	4
近畿	7	22	35	12	6	4
中国・四国	8	9	12	7	2	1
九州・沖縄	4	7	11	6	3	3

中部地方、東北地方を除き、50,001円~100,000円がボリュームゾーンである。中部地方は30,001円~50,000円の回答数が27、33%であり、関東地方の31%、近畿地方の26%と比べ比率が高い。近畿地方は100,001円~150,000円の回答数が12、14%であり、関東地方の10%、中部地方の10%と比べ比率が高い傾向がある。200,001円以上の回答者は東北地方を除いて1~5の回答数が見られた。

調査方法

リハビリツーリズム&レスパイトツーリズム

(1)調査目的

ケア・ツーリズムに対する介護支援機関の反応と患者のニーズを調査する。
※新しい市場なので、北海道を含む全国を対象とする。

(2)調査対象・方法

対象

【リハビリツーリズム】

- ・各都道府県の居宅介護支援事業所
- ・全国の回復期リハビリテーション病院 から無作為抽出

【レスパイトツーリズム】

- ・各都道府県の居宅介護支援事業所 から無作為抽出

方法: WEBアンケート(400事業所)

※調査対象者に書面またはメールで触接依頼する

実施結果:10サンプル
※4,000事業所に依頼

(3)調査期間

2023年10月

(4)調査内容

- ・職種
- ・勧めたい利用者さん(患者さんの有無)
- ・その利用者さん・患者さんが実際に参加できると思うか
- ・費用感について
- ・その他

※調査票は、次ページ

調査結果概要

(1)調査手段

電子メール

(2)調査対象

居宅介護支援事業所

※居宅介護支援事業所とは、介護保険サービスを受ける要介護者の在宅介護に関する相談や計画、連絡・調整を総合的に引き受ける事業所である。主任ケアマネジャーやケアマネジャーが常駐しており、サービスを受けるために必須のケアプランの作成や、サービス利用者のフォローを行っている。

(3)調査数

合計4,414件／北海道249件

残りの4,165件を、道外観光客の居住地域割合に合わせて分割し、以下のよう
に送信した。

東北317件／関東2,140件／甲信越119件／北陸68件／東海426件
近畿665件／中国108件／四国68件／九州254件

(4)送信結果

送信完了 4318件

送信率 97.8%

メール開封 826件

開封率 19.1%

(5)アンケートへの回答者数

合計11名（対送信数 0.25%、対開封数 1.33%）

◎リハビリテーション・ケアツーリズム 6名

◎レスパイト・ケアツーリズム 7名

※両方のアンケートへの回答者が2名

(6)アンケートへの回答件数

合計13件

◎リハビリテーション・ケアツーリズム 6名

◎レスパイト・ケアツーリズム 7名

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するニーズ調査

リハビリ・ツーリズム調査票

▶属性(職種)

あなたの職種をお聞かせください。(記述式)

▶勤めたい利用者さん(患者さん)の有無

問1. 自費リハビリ・自費看護やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、リハビリと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設の利用者さんへその滞在を推薦したいと思いますか？

はい/いいえ

問1-1. はいの場合、価格がいくらであれば推薦することができるか教えてください。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、リハビリ系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。

(選択の中から一つ選ぶ)

10,000～30,000円/30,001～50,000円/50,001～100,000円/100,001円～150,000円/
150,001円～200,000円/200,001円以上価格を問わない

問1-2. いいえの場合、なぜ推薦したくないか懸念事項を教えてください。

(記述式)

問2. 自費リハビリ・自費看護やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、リハビリと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設に、その滞在をしたいと考える利用者さんはいると思いますか？

はい/いいえ

問2-1. はいの場合、その利用者さんは実際にその滞在ができると考えますか？

はい/いいえ

問2-1-1. いいえの場合、なぜ実際に滞在ができると考えないか懸念事項を教えてください。

(記述式)

問2-2. いいえの場合、なぜ滞在したいと考える利用者がいないと思うか懸念事項を教えてください。

(記述式)

▶その他

問3. その他、ご要望等ございましたらご記入ください。

(記述式)

調査結果(リハビリテーション・ケアツーリズム)

問1. 【自費リハビリ・自費看護やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、リハビリと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設の利用者さんへその滞在を推薦したいと思いますか？】

■6名中6名が「はい」と回答

問1-1. はいの場合、価格がいくらであれば推薦することができるか教えてください。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、リハビリ系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。

■回答は下記の通り

10,000～30,000円	2
30,001～50,000円	1
50,001～100,000円	3
100,001円～150,000円	0
150,001円～200,000円	0
200,001円以上 価格を問わない	0

問1-2. いいえの場合、なぜ推薦したくないか懸念事項を教えてください。

■「いいえ」の回答なし

問2. 自費リハビリ・自費看護やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、リハビリと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設に、その滞在をしたいと考える利用者さんはいると思いますか？

■6名中3名が「はい」、3名が「いいえ」と回答

問2-1. はいの場合、その利用者さんは実際にその滞在ができると考えますか？

■3名中3名が「はい」と回答

問2-1-1. いいえの場合、なぜ実際に滞在ができると考えないか懸念事項を教えてください。
(記述式)

■「いいえ」の回答なし

問2-2. いいえの場合、なぜ滞在したいと考える利用者がいないと思うか懸念事項を教えてください。
(記述式)

■一人ひとり個性があり、対応が大変であるため **スタッフが余程できる集団ではないと実現不可能**

■安全・安心と引き換えが条件になるから、ただ漠然といいますかと言われると、ベースをどのように整えるかで違うため

■静岡県からの移動が遠距離であり、移動にかかる交通費と身体的不安が大きい

■北海道に行くというような話をしたことがない。

■ **主治医の許可がもらえるかどうか？**現地で急変した場合の医療体制の不安。透析患者の場合、透析する病院の確保。移動中の痰吸引。などなど。

行きたいと思っても、実際は無理だ、となる可能性あり。

調査結果(リハビリテーション・ケアツーリズム)

▶その他

問3. その他、ご要望等ございましたらご記入ください。(記述式)

■【北海道における「リハビリテーション」と「観光」を目的とした旅行】とありますが、リハビリと旅行の考え方は旅行を目的としたリハビリへのモチベーションの維持だと考えます。短期の旅行先でのリハビリより、旅行前のリハビリをどのようにケアするかが大切かと思えます。

■具体的なプランが見えてきたら、利用者にお伝えして実際に興味があるか聞けると思えます。

■どのくらいの泊数を考えていますか？

レスパイト・ツーリズム調査票

➤ 属性(職種)

あなたの職種をお聞かせください。(記述式)

➤ 勧めたい利用者さんの有無

問1. 自費介護・自費看護等やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、レスパイトと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設の利用者さんへその滞在を推薦したいと思いませんか？

問1-1. はいの場合、価格がいくらであれば推薦することができるか教えてください。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、リハビリ系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。

(選択の中から一つ選ぶ)

10,000～30,000円／30,001～50,000円／50,001～100,000円／100,001円～150,000円／150,001円～200,000円／200,001円以上価格を問わない

問1-2. いいえの場合、なぜ推薦したくないか懸念事項を教えてください。

(記述式)

問2. 自費介護・自費看護等やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、レスパイトと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設に、その滞在をしたいと考える利用者さんはいると思いませんか？

はい／いいえ

問2-1. はいの場合、その利用者さんは実際にその滞在ができると考えますか？

はい／いいえ

問2-1-1. いいえの場合、なぜ実際に滞在ができると考えないか懸念事項を教えてください。

(記述式)

問2-1. いいえの場合、なぜ滞在したいと考える利用者がいないと思うか懸念事項を教えてください。

(記述式)

➤ その他

問3. その他、ご要望等ございましたらご記入ください。

(記述式)

(1)「北海道のケア・ツーリズム」に関するコンテンツの洗い出し・ニーズ調査

調査結果(レスパイト・ケアツーリズム)

➤属性(職種)

あなたの職種をお聞かせください。(記述式)

➤勧めたい利用者さんの有無

問1. 自費介護・自費看護等やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、レスパイトと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設の利用者さんへその滞在を推薦したいと思いませんか？

■7名中6名が「はい」と回答

問1-1. はいの場合、価格がいくらであれば推薦することができるか教えてください。

※滞在費には、滞在中の宿泊代、交通費、食費、観光費用、リハビリ系コンテンツ費用を含むものとします。一人当たりの滞在費でお答えください。

■回答は下記の通り

10,000～30,000円	0
30,001～50,000円	1
50,001～100,000円	2
100,001円～150,000円	1
150,001円～200,000円	0
200,001円以上 価格を問わない	2

問1-2. いいえの場合、なぜ推薦したくないか懸念事項を教えてください。(記述式)

■東京からは遠すぎるから。したがって当施設の利用者さんが北海道への旅行・滞在を特に強く望み、費用についての懸念もないならサポートはできます。

問2. 自費介護・自費看護等やバリアフリー施設・車両などの受入体制が整い、レスパイトと観光を目的とした北海道での滞在が可能な場合、所属先施設に、その滞在をしたいと考える利用者さんはいると思いませんか？

■7名中5名が「はい」、2名が「いいえ」と回答

問2-1. はいの場合、その利用者さんは実際にその滞在ができますと考えますか？

■5名中5名が「はい」と回答

問2-1-1. いいえの場合、なぜ実際に滞在ができると考えないか懸念事項を教えてください。(記述式)

■「いいえ」の回答なし

問2-1. いいえの場合、なぜ滞在したいと考える利用者がいないと思うか懸念事項を教えてください。(記述式)

■航空機の移動について、主治医の許可が下りないかもしれない。急変時の医療体制が心配。ホテルにエアマットレスや、在宅酸素、吸引機、胃ろうの器具など、設備的なものが整っているか心配。家族が、結局対応することになり、休息にならなくなるかもしれないと思うと不安あり。

■それほどまで強く北海道に行きたいと思われているご利用者さんがいますかね。むしろそっちの理由を聞くべきではないでしょうか。

調査結果(レスパイト・ケアツーリズム)

問5. その他、ご要望等ございましたらご記入ください。(記述式)

■レスパイト目的となるとヘルパー等の同行が必要となり、場合によっては夜間介助等も必要となるため複数のヘルパーが必要となり費用の問題が出て来ます。その辺りをどうクリアするかが課題かと思えます。

■現地の対応は可能かもしれませんが、飛行機内での体調不良やトイレ対応がネックになる方が多いかと思えます。

■北海道は人気の観光地で自分も大好きです。でも東京の高齢者や障害者がただ1箇所の受け入れ先がレスパイトに特化しているからと言ってそこに行きたいと思うことはないのでは、と考えます。利用対象者を道内近隣地区に絞った方が堅実ではないでしょうか。

■恐らく北海道に行くこと自体が初めてな方や最後の思い出づくりの方もいる。自然や観光を楽しみ、結果元気が出て体も動けるようになるようなりハビリテーションが望ましい。

調査結果の考察

【全体として】

在宅において介護サービスを利用している本人・家族に対して、ケアマネジャーの与える影響は大きく、山口県のレスパイト・ケアツーリズムの先進事例の調査においても、モデルツアーの参加者募集において、ケアマネジャーからの声掛けが最も有効であったとの情報を得た。今回の調査内容である北海道のリハビリテーション・ケアツーリズム、レスパイト・ケアツーリズム、いずれにおいてもその有効性は当てはまると考え、居宅介護事業所に対して調査を実施したわけであるが、ダイレクトメールに対してのレスポンスは非常に悪いものであった。

この結果から、まず、ケアマネジャーへのアプローチ手段として、ダイレクトメールによるアプローチは不適當であると考えられた。

アプローチとしては、選択と集中から全面展開する方法が望ましいのではないかと考えられる。対象となる事業所を絞り、共同で新規事業に取り組むスタンスでアプローチし、モニターツアーで実績を構築する。そして、その実績を元に、各都道府県の介護支援専門員(ケアマネジャー)協会を介して周知を図るといったものが考えられる。また、対象となる事業所を絞る際に、浸透の速さという点で多数の事業所を抱える大手企業に対してアプローチする方法も有効ではないかと考えられる。

【リハビリテーション・ケアツーリズム】

利用者に推薦はできるが、実際に事業所の利用者にはいないと答える回答者が半数であった。ツアーのイメージが湧きにくい可能性がある。

一方で、ツアーへの参加希望者がいると答えた回答者の全員が、希望者は実際に参加できると回答している。受け入れ体制、事業者へイメージが伝わることで、参加者への推薦から実際のツアー催行に至る実現可能性が示されていると考えられる。

【レスパイト・ケアツーリズム】

滞在費に関して、リハビリテーションと比べ、高価格帯を回答している割合が多く、リハビリテーションより高価格帯のツアー造成が可能となる可能性がある。高級有料老人ホームを運営している企業へのアプローチが有効である可能性が示唆される。

一方で、レスパイトの方が、現地での受け入れ態勢に対しての不安が強い印象であったことから、レスパイトを目的としたツアー造成の場合、受け入れ側の体制準備をより十分に行う必要があると考えられる。

ツアーへの参加希望者がいると答えた回答者の全員が、希望者は実際に参加できると回答している。受け入れ体制の充実があれば、参加者への推薦から実際のツアー催行に至る実現可能性が示されていると考えられる。

●日本におけるケアツーリズムの先進事例

①調査対象

先進地のケア・ツーリズムへの取り組みに関するヒアリングと現地視察を実施、本道のケア・ツーリズムとの差分などについて分析する。

以下の事例①～④について調査を実施しました。

状態	目的	国内先進事例
健康	【ウェルネス】 健康な人をもっと健康に	事例①:ファスティングホテル アイウェルネス伊豆高原 静岡県
	【ヘルス】 健康な人をずっと健康に	事例②:相澤病院 長野県
非健康	【リハビリ】 非健康な人とその家族に 活力を与える	事例③:ドルフィンセラピー 沖縄県
	【レスパイト】 非健康な人とその家族に 癒しを与える	事例④:レスパイトツーリズム 山口県 湯田温泉

② 調査地点

4地点

③調査内容及び手法

ウェルネス・ツーリズム／ヘルス・ツーリズム:

確立されたサービス体系と受入体制を現地で見学・体験し、受入体制、過去実績、課題、今後の方向性、関係機関との連携構築等のヒアリングを行うことで、今後それらが北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築に応用できるかどうか、北海道との差分についても調査・分析を行いました。

リハビリ・ツーリズム／レスパイト・ツーリズム:

上記に加え、事例③と事例④の調査については、調査員に加え、障害当事者も同行し、実際の受入に近い形で、確率されたサービス体系と受入体制を現地で見学・体験しました。また、上記ヒアリング事項の他、障害者等を受け入れるにあたり、付加される医療・介護サービスを確認、その従事者に留意事項・注意点等のヒアリングも行いました。(新規で当日だけ接する障がい者や高齢者の情報をどのように集め、当日どのように対応をしているか。)

従来の観光コンテンツや素材に医療・介護サービスを付加することで、リハビリテーション効果やレスパイト効果を発揮するかを検証し、その取り組みが北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築に応用できるかどうか、北海道との差分についても調査・分析を行いました。

●事例①ファスティングホテル アイウェルネス伊豆高原 静岡県

◎ファスティングとは

ファスティング＝断食であり、下記の効果が期待されます。

- ・ダイエット効果、脂肪燃焼力のアップ
- ・デトックス効果、体内に溜まった老廃物・毒素・宿便の排出
- ・生活習慣病の予防、中性脂肪・コレステロールの改善
- ・自然治療のアップ、腸内の善玉菌増加、脳の疲労回復、精神的な安定

ファスティングは自己流で行うことは危険を伴うため、正しい指導の下で行うことが大切です。



◎ファスティングホテル アイウェルネス伊豆高原の実績

1973年創業の「ファスティングホテル」のパイオニアです。アイウェルネス創設者である医学博士の馬淵通夫先生は断食療法のパイオニアであり、「病気は予防することこそ最高の治療法である」(今で言う予防医学)から健康断食療法を編み出しました。

ファスティング(断食)による『身体の休養』と、国立公園の自然の中で過ごす『心の休養』。ミネラルを多く含むバランスの摂れた食事による『栄養補給』。日替り滞在プログラムや観光・ウォーキングなどでの『運動』。

『休養』『栄養』『運動』、この3つのバランスこそがアイウェルネスのファスティング(断食)メソッドの基本です。

アイウェルネス伊豆高原では一人ひとりのバランスに適したプログラムの提案を行うことが可能です。

◎ヘルスツーリズム認証

ヘルスツーリズム認証制度は、経済産業省「健康寿命延伸産業創出推進事業」の一環として誕生し、プログラム内容、および提供する事業者の取組体制において、「安心・安全への配慮」、「楽しみ・喜びといった情緒的価値の提供」「健康への気づきの促進」という3つの柱からヘルスケアサービスを評価・認証し、利用者がその品質を一目で分かるよう「見える化」するための認証です。

アイウェルネス伊豆高原ではこの「ヘルスツーリズム認証」を受けた体験プログラムをはじめとした、①常に最新を取り入れた ②ファスティングホテルのパイオニアとして実績を持つ ③完全個室・豊富なプログラム ④伊豆高原という立地を生かし、ゆったりと観光も可能な環境 で健康をサポートすることが可能です。



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

アイウェルネス伊豆高原 プラン比較表

プラン名 (ファスティングコース・プチファスティングコース共通)	シンプル	スタンダード	プレミアム	1週間 (6泊7日)	長期滞在 (7日泊以上)	体験
こんな方におすすめ	ご滞在中の過ごし方を自由にカスタマイズしたい方	ファスティング(断食)の魅力を体験されたい方	ファスティング(断食)の時間をより快適に、充実させたい方	ファスティング(断食)の効果を本格的に体験したい方	時間をかけてしっかり自分の体と向き合いたい方	初めてのファスティング(断食)をリーズナブルに試されてみたい方
宿泊日数	2泊以上	2泊以上	4泊以上	6泊7日	7泊以上	2泊以上
日替わりプログラム	無料					
マッサージ	—	2泊に1回 (20分)	2泊に1回 (40分)	2回 (20分)	—	1回 (20分)
リフレッシュケア※1	2泊に1回 (約45分)	2泊に1回 (約45分)	毎日 (約45分)	滞在中2回 (約45分)	2泊に1回 (約45分)	2泊に1回 (約45分)
O2BOX	—	2泊に1回 (30分)	2泊に1回 (30分)	2回 (30分)	—	—
カップング	—	2泊～4泊に1回 5泊以降4泊に1回 (10分)	4泊に1回 (10分) カップング or お灸	1回 (10分)	—	—
アロママッサージ	—	—	4泊に1回 (60分)	—	—	—
ルームティー	通常ルームティーセット	通常ルームティーセット	プレミアムプラン専用 オーガニックカフェインレスコーヒー付き セット	通常ルームティーセット	通常ルームティーセット	通常ルームティーセット
オプション割引	—	—	—	—	20%OFF アロマは除く	—
最終日朝食	普通食	普通食	スペシャルメイン ディッシュ 普通食	普通食	普通食	普通食
宿泊金額 百年杉館(本館)	2泊 35,200円～ (税込)	2泊 39,600円～ (税込)	4泊 94,600円～ (税込)	6泊 99,000円～ (税込)	7泊 110,880円～ (税込)	2泊 36,300円～ (税込)
宿泊金額 創業館(別館)	2泊 28,600円～ (税込)	2泊 33,000円～ (税込)	—	6泊 82,500円～ (税込)	7泊 90,090円～ (税込)	2泊 29,700円～ (税込)

- ・シンプルプラン 2泊～ 28,600円(税込)～
 - ・スタンダードプラン 2泊～ 33,000円(税込)～
 - ・プレミアムプラン 4泊～ 94,600円(税込)～
 - ・本格的に体験したい方 6泊～ 82,500円(税込)～
- ※本館利用のみ設定あり。

アイウェルネス伊豆高原 スケジュール一例

スケジュール例

ファスティングコース×プレミアムプランの滞在スケジュール4泊5日の例

	ファスティング (断食) 期間		補食 (回復食) 期間		普通食		
	1日目	2日目	3日目	4日目	最終日		
7:00		起床					
8:00		朝の体操 ※自由参加					
8:15		O2BOX (30分) 2泊に1回	マッサージ (40分) 2泊に1回	O2BOX (30分) 2泊に1回			
		リフレッシュケア(約45分)			退所面談		
10:00		カップリング or お灸 (10分) 4泊に1回	補食 (回復食)		朝食(普通食)		
11:00		日替わり滞在プログラム※自由参加(曜日によって時間帯が変わります)			チェックアウト		
12:00	チェックイン (12:30)						
13:00	入所面談						
14:00	マッサージ (40分) 2泊に1回						
15:00	リフレッシュケア (約45分)						
16:00							
17:00			補食 (回復食)				
19:00			アロママッサージ (60分) 4泊に1回				
		就寝					

※断食期間中は酵素ジュースを毎日日本お振いたします。

※1日の流れの一例です。実際のスケジュールは個別面談でご確認ください。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎調査日程・実施者・訪問先

日程:2023年10月30日(月)~10月31日(火)

実施者:(株)日本旅行北海道 営業企画部 小野寺美佳

訪問先①:アイウェルネス伊豆高原(対応者:支配人 皆川 様)

訪問先②:伊豆高原観光オフィス(対応者:事務局長 利岡 様)

訪問先③:伊藤観光協会(専務 村田 様)

◎調査行程

《10月30日》

(航空)ANA4712

新千歳空港8:00-羽田空港9:35

(鉄道)京急電鉄

羽田空港-横浜駅

(鉄道)JR特急踊り子

横浜駅11:24-伊豆高原駅12:55

(送迎バス)

伊豆高原駅-アイウェルネス伊豆高原

★アイウェルネス伊豆高原視察

《10月31日》

★アイウェルネス伊豆高原視察

11:00チェックアウト

(送迎にて移動)

★伊豆高原観光オフィス訪問

(送迎にて移動)

(鉄道)JR

伊豆高原駅-伊東駅

★伊東観光協会訪問

(鉄道)JR特急踊り子

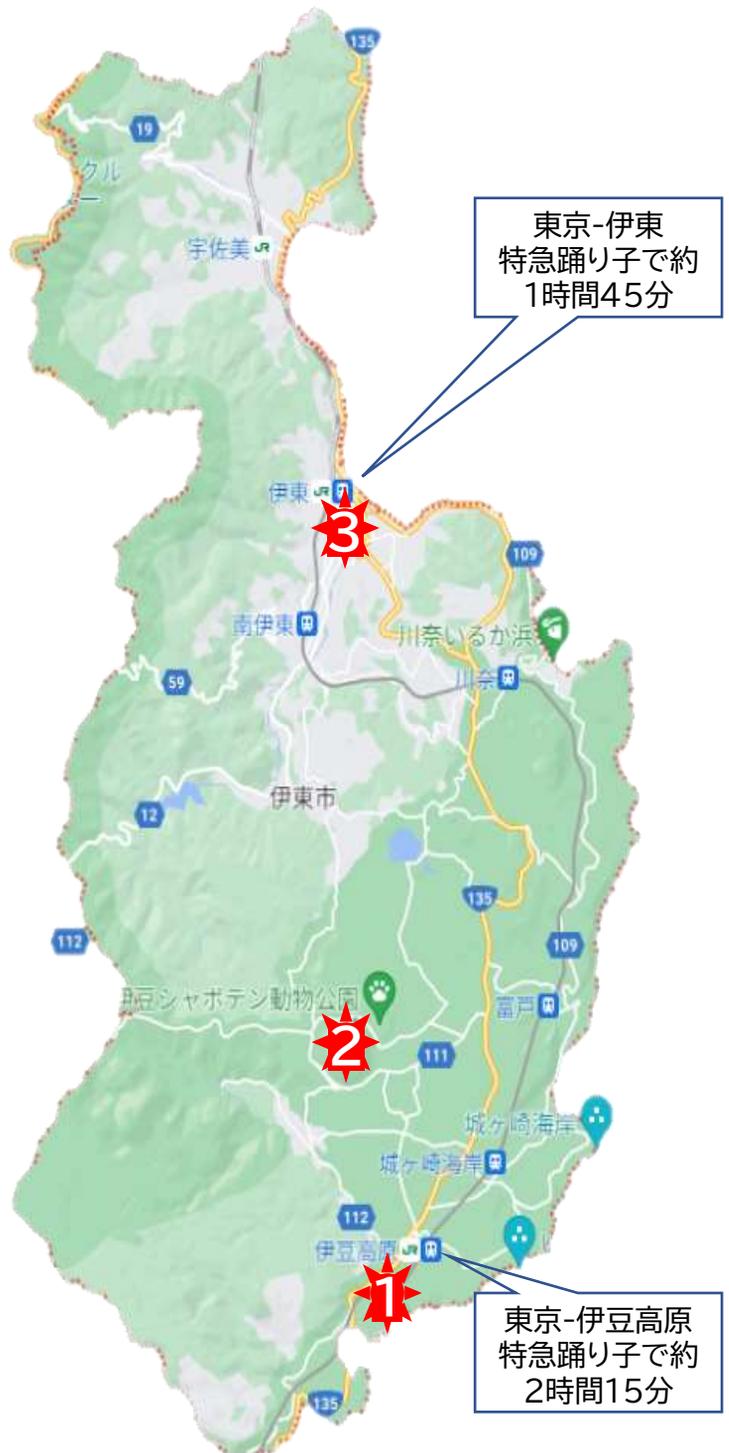
伊東駅16:02-横浜駅17:26

(鉄道)京急電鉄

横浜駅-羽田空港

(航空)ANA77

羽田空港19:00-新千歳空港20:35



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先①ファスティングホテル アイウェルネス伊豆高原

【ファスティング体験滞在中スケジュール】

《10月30日》

11:00 チェックイン

入所面談

マッサージ(20分)

リフレッシュケア(45分)

15:15 日替わりプログラム(ヨガセラピーエクササイズ)

16:00 オリエンテーション

17:00 夕食(回復食)

《10月31日》

8:00 朝の体操(15分)

退所面談

9:45 朝食(普通食)

11:00 チェックアウト



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◆他の施設との差別化が図れているポイント

①多様なリフレッシュケアの機器・機材



②断食スタート日(チェックイン日)が固定されていない。

他の施設は1週間コースが土曜日スタート等、チェックインする曜日が固定されている施設が多い。他の施設では固定されているため、1名での利用者同士で交流を深めるケースが多いが、アイウェルネスでは一人で自由気ままに断食ができる状況を作ることによって他の施設と差別化をしている。

③医療機関との連携

1973年創業時は断食療法のパイオニアであり、予防医学から健康断食療法を編み出した医学博士の馬淵通夫先生が携わっていた。しかし現在は医師との連携や医療機関との連携は特にない。

④専門スタッフの常駐

北軽井沢倶楽部でもファスティングプログラムはあるが、きれいでおしゃれなホテルでファスティングも行っているという形である。宿泊施設としてはきれいでは整っているが、ファスティングの専門施設ではない。その点、アイウェルネスは専門施設であり専門スタッフもいる点、差別化が図れている。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◆施設について

- ・リピーターはチェックシートの保管もしており、食事のアレルギーや好み等にも手厚く対応をしている。
- ・全11部屋、最大で25名程度収容可能。
- ・多言語対応は特に行っていない。日本人と同様の日本語での対応となる。
- ・O₂BOX、ウェーターベッドが最も高価な機器で1台あたり500万円程度。

◆利用実績

- ・40～50代女性の利用が多いが、ユーチューバー配信後20代の利用が増えた。
- ・男女比は男性3割:女性7割
- ・宿泊のみの利用者はなく、断食目的の利用者が100%。ただし、マッサージや針治療のみの外部利用者はいる。
(治療院としての登録があり、月1回程度の利用者が多い)
- ・コロナ前は右肩上がりだったが、現在は当時の50%程度しか戻ってはいない。
- ・GW、年末年始、お盆の利用者が多い。
- ・17泊や2カ月等の長期利用もある。
- ・首都圏からの利用が多い。その他、名古屋、大阪、北海道、沖縄、九州からの利用者もいる。
- ・比較的時間が自由になる経営者(自営業)の方の利用が多い。
- ・ワーケーションでの利用もある。
- ・新規利用者とリピーター比率は
 コロナ前 新規7～8割:リピーター2～3割
 コロナ後 新規5～6割:リピーター4～5割
- ・通信販売等のファスティングキットでの断食に失敗し、アイウェルネスへ来る利用者もいる。街中でもファスティングを行う施設があるが、食べ物の誘惑が多く、自宅や街中ではなかなか実現できないのではないかと考えられる。

・インバウンドを積極的に受け入れる意向はなく、自然の中で断食をしながらくつろぎたいという利用者も多く、日本の文化や生活を知っている在留外国人の利用のみ実績がある。(韓国人・中国人・ウクライナ人等)

◆施設としての課題

- ・伊豆高原でもファスティング施設としては老舗でありパイオニアであるが、その分、建物の老朽化等が課題ではある。

◆今後の受け入れ方針

- ・コロナ前同様まで利用者数の回復を図りたい。
- ・健康経営への意識も高まっており、今後法人利用を伸ばしていきたい。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◆地域について

- ・ファスティング施設は日本でも伊豆が一番多く、3-4か所程度はある。アイウェルネスはその中でも古くに創業した。医師が運営している施設もある。なぜ伊豆かは定かではないが、自然に囲まれた環境と温暖な気候が影響しているかもしれない。(断食中は体温が下がるため。)
- ・伊豆の他、埼玉本庄深谷、淡路島等にもファスティング施設があると思う。
- ・成田山でも断食を行っているが、修行の意味合いもあり、アイウェルネスで行っているものとは方向性が違う。



【ファスティングホテル アイウェルネス伊豆高原】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

ファスティングに必要な不可欠な要素が誘惑を断つということ。

誘惑を断つためには、誘惑がない環境が不可欠であり、その点で北海道の自然環境は大きな強みになる。身体的ファスティングにおいて食べないことで逆に満ちてゆくもの、それは綺麗な空気や綺麗な水。それは自然が豊かであればあるほど価値があるものであり、北海道の無二性が発揮できる。

ファスティングに関して身体のみならずメンタルに着目するのはどうか。例えば、デジタルファスティング。デジタルの誘惑を断つことで、リアルの魅力が浸透する。その魅力においても北海道の無二な自然環境は大いに強みがあり、道外の都市居住者にとっての訴求力は強い。

食べ物であっても、デジタルであってもファスティング状態であるがゆえに、そうでない状態と比べて「浸透率」が高い。つまり、北海道の無二な自然環境が提供する価値の浸透率が高くなるということであり、それは顧客の信者客化につながり、高リピートにつながるのではないか。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先②伊豆高原観光オフィス

◆ケア・ツーリズム(健康志向のお客様)に対してのこれまでの取り組み実績

- ・ファスティングについては聖地化している。アイウェルネスの他にも、ヒポクラティック・サナトリウム、海の杜、やすらぎの郷等の施設がある。
- ・観光庁のワーケーション事業で2年前にウェルネスモニターツアーを実施。3泊海の杜で滞在していただいた。この時からウェルネスという観点では次の施策が打てていないという状況。

◆今後の方向性

- ・教育旅行受入については以前より注力しており、今後も促進していきたい。
- ・別荘地という土地柄かペット同伴で入れる飲食店等が多く、近年ペット同伴可能な宿泊施設も増えており、今後ペット・ツーリズムへも傾注していきたい。(伊東市内で新規オープン(の宿)86軒中、ペット同伴可能な宿が7-8割ある。伊東市全体では、合計で250軒程度ある。)
- ・ペット、自然、アートを押し出していきたいと考えている。

◆今後の課題および域内連携について(掲載するかどうか要検討)

- ・伊東観光協会はイベントを運営するための組織となっている現状があり、なかなか新しいことをしていこうという体制にはない。
- ・伊東市も8割が第三次産業であるという自治体である割には観光課の職員数も少ない等、観光施策への比重をかけていない現状があると考えられる。
- ・(一社)美しい伊豆創造センターというDMOがあり、13市町村からの出向者も出ており、情報・予算もついているがなかなか各観光協会までは情報・予算が降りてこない現状がある。
- ・熱海より先になかなか首都圏から足を延ばしてくれない現状もある。
- ・大阪からはアクセスが悪くあまり来訪がない。
- ・2018年にジオパークに認定されたが、ジオパークであるというだけでは人は来ない。ジオパークを前面に出さず、町のシンボルでもある大室山の景観や城ヶ崎海岸(全長9kmの自然散策路や門脇つり橋)で集客を図っていく。

【伊豆高原観光オフィス】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

聖地化という方向性がポイントではないか。信者客による聖地巡礼という高リピート化を目指す。伊豆におけるファスティングの聖地化は、ヘルスツーリズム認証制度でいうところの「安心・安全への配慮」、「楽しみ・喜びといった情緒的価値の提供」「健康への気づきの促進」という3つの柱の確立とその継続から生まれている。比較的短期間で聖地化するためには、この3つの柱の確立に加え、無二性とその強化が必要不可欠だろう。「楽しみ・喜びといった情緒的価値」を北海道の持つ無二の自然環境を用いて提供しつつ「安心・安全への配慮」と「健康への気づきの促進」を専門職との連携でハイレベルに実現し、その無二性を強化、可能であればさらなる無二性を付加することで聖地化を目指す。例、豊富温泉の乾癬、アトピー性皮膚炎。

◎訪問先②伊東観光協会

◆これまでの取り組み実績

- ・特にケア・ツーリズムという観点ではないが、首都圏からのアクセスがよいため、日帰り、1泊2日、2泊3日で来訪しやすい。自然、温泉、ゴルフ等、都会の方が興味のあるコンテンツが何でもそろっているのが伊東市。できるだけコンテンツを増やし、その多様なコンテンツを提示し、その中から来訪者が自由に選んでご滞在いただくことに注力している。
- ・ほとんどオフシーズンがなく、強いて言えば6月が梅雨で少し来訪者が減る程度である。
- ・教育旅行誘致には力を入れており、ガイドブックも整備、年間8000名(多いときで10000名程度)の利用がある。東京1泊+伊東市1泊の組み合わせが多く、ペンション分宿で対応している。
- ・来訪者数は600万人、うち230-240万人が宿泊。
- ・インバウンドは1割程度。平日を埋める顧客として、インバウンドには傾注していく。台湾へのトップセールスも行っている。
- ・イベント(全日本まくら投げ大会in伊東温泉、松川タライ乗り競走、尻つみ祭り(尻相撲大会))の実施にも注力している。特に全日本まくら投げ大会in伊東温泉は高校生のアイデアを観光協会が具現化したイベントであり、他の観光協会からの視察も来ている状況である。

◆今後の課題および域内連携について

- ・伊東温泉(旧市街)はもともと地元の間が多く、伊豆高原は移住者が多い。意見が異なる場面もあるが、同じ市内でもあることから、一緒になって観光を振興していきたいというスタンスでいる。
- ・伊東市の観光に関係する人々や組織、外部の伊東市サポーター等有志で構成された「伊東市ブランド研究会」が、伊東市新しい観光とまちづくりを考える「伊東市観光プロモーション事業」の一環として「伊東市観光ブランドブック」を制作した。改めて伊東市民が日常の中で見逃していた、外部の人をも引きつける素晴らしいものや人をその背景・歴史・由来等を含め紹介する内容となっており、通常の観光パンフレットとは一線を画す内容が新鮮である。

【伊東市観光協会】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

道外からの誘客を考えた場合、必然的に2泊3日以上の旅を想定することになる。ファスティングは抽象化すれば、ウェルネスアクティビティという意味でサウナや温泉と同系統であり、サウナや温泉でもファスティングホテルと同様の取り組みができると考えられるが、聖地化の方向性であれば、松花堂弁当的なアクティビティコンテンツの豊富さは必要なく、むしろ一点突破的であることが必要であろう。そのためには、キーコンテンツを育ててきた地域コミュニティと連携し、地域コミュニティの日常を体験価値として提供することで、キーコンテンツの無二性を強化することが必要ではないか。なお、この方向性は、旅慣れた海外インバウンドの誘客に関しても特に強みになる。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

●事例②相澤病院 長野県

◎相澤病院の実績

厚労省・令和元年度の「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業」では地域の連携体制の構築、事業計画の策定、体制整備、実証、実証結果の評価を約7カ月間で実施。相澤病院がバランスよく充実した内容、かつインバウンドの受け入れ体制が優れているとの評価を受けています。

★PET-CT・MRIを用いた人間ドック、相澤スポーツ医科学センター(JAMS)での体力ドック(相澤健康スポーツ医科学センター:JAMS)のメディカルコンディショニング、スピードスケート日本代表チームをはじめ、地域のプロ・アマ等チームのサポート 等

また相澤病院では中国の市場浸透が進む中、ベトナムからの新規誘客を目指し、現地の医療機関や渡航支援事業者等への訪問・連携推進の支援を行った実績があります。

◎JMIPおよびJIHの取得

相澤病院では甲信越地方では初となる「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)」および「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ (JIH)」を取得し、日本国外から医療サービスを受けることを目的として来日する渡航受診者の受入に意欲がある病院の受入体制や取組みを認められています。

コミュニケーションに不安がある方でも安心して医師の診察、検査・治療、または入院ができるようにサポートしています。また、国籍や言語などによる医療格差をなくし、公平な医療サービスの提供に取り組んでいます。



【長野県松本市：国内連携構築】

本事業の中核3社による協力関係を確立し、販売に向けた事業運用体系へと発展。

松本市の医療・観光における協力関係

人間ドックを中心に外国人の医療目的渡航の受入れ業務多数、体力ドック、オリンピック選手のコンディショニング等のサービスも提供。



滞在プランの販売に向けて、事業運用体系を具体化。



社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院



【長野県松本市：滞在プラン造成】

「体力・健康の見える化」と「大地と水の循環」をテーマとした5泊6日のプランを造成。



対象ペルソナの具体化

居住地：主に中国
 年齢：45歳
 性別：女性
 職業：会社経営
 言語：中国語、英語

健康ニーズ
 ・糖尿症が心配。
 ・評判の高い日本の病院で自分の健康状態を知りたい。健康であれば健康維持の方法を知りたい。
 ・運動不足を自覚。ウエルネスに興味があり、何らかのアクティビティをしたい。

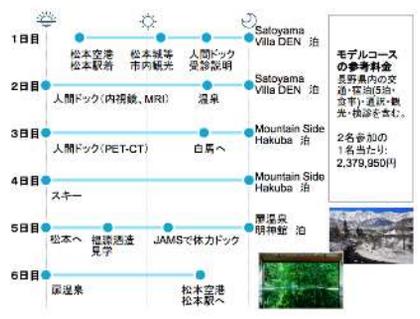
生活
 ・政治、経済、トレンドの情報収集を常にスマホを通じて行っている。
 ・夫婦で外国語、不動産、投資資産などの投資に関心が非常に高い。
 ・子供に教育の機会を受けさせたい。
 ・社会的。

婚姻：既婚
 子供：1人
 配偶者：会社経営
 学歴：高学歴(英米に留学経験)
 世帯年収：5,000万円以上

旅行のニーズ
 ・仕事から離れ、家族でリラックスしたい。
 ・日本の上質なサービス体験をしたい。
 ・自分からの観光客を連れて、日本のリゾートで初めての体験をしたい。
 ・日本の歴史や文化に見識があり、中国との文化上の格差について興味。

食事
 ・仕事柄外食が多い。
 ・健康的なマクロビオティックなど日本の伝統食や発酵食に興味がある。
 ・ワインの知識があり、日本酒に興味。

滞在プランのモデル旅程及び価格



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎調査日程

○日程:2023年10月23日(月)~10月25日(水)

○実施者:㈱日本旅行北海道 営業企画部 小野寺美佳

○訪問先①:相澤病院

健康センター(対応者:経営戦略部 国際課課長兼戦略企画室推進役 海老原 功 様)

JAMS(対応者:経営戦略部 国際課課長兼戦略企画室推進役 海老原 功 様、

センター長 青木 啓成 様)

○訪問先②:松本市・松本観光コンベンション協会

松本市(対応者:文化観光部 観光プロモーション課 課長 勝山 裕美 様、

文化観光部 観光プロモーション課 市江 瑠衣 様)

松本観光コンベンション協会(観光誘客課長兼インバウンド推進課長 瀬原田 久英 様、

観光誘客担当 臼井 大輔 様)

◎調査行程

《10月23日》

(航空)FDA224

札幌丘珠空港11:45-信州まつもと空港13:25

(バス)エアポートシャトルバス

信州まつもと空港-松本駅

★相澤病院 健康センター 視察



《10月24日》

★相澤病院 JAMS(相澤健康スポーツ医科学センター) 視察

(タクシーにて移動)

★松本市観光プロモーション課訪問

★松本観光コンベンション協会訪問

(鉄道)JR特急しなの

松本駅20:32-名古屋駅22:42

(鉄道)名古屋鉄道

名古屋駅-中部国際空港

救命救急センターとヘリポート:



《10月25日》

(航空)SKY781

中部国際空港7:20-新千歳空港9:00



◎施設概要

長野県、特に南信の基幹病院。社会医療法人であり、地域への貢献・還元を理念としており、社会的貢献が大前提であるため、営利目的では活動していない。(収益を計上する仕組みとはなっていない。)

24時間365日トリアージステーション(救命救急センター)が稼働しており、ヘリによる緊急搬送も多い。2022年度ヘリ搬送件数101件の実績ではあるが、2日間の調査中だけで3回ヘリの発着を確認した。北アルプスでの滑落事故等の緊急搬送も多い。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先①【相澤病院】
《健康センター》

◆施設運営について

- ・日帰りドックは3か月待ち、1泊2日は1年待ちの予約状況。
- ・総合健診基本コース(2日ドック)、1泊2日69,300円で実施、オプションでPET-CT健診も追加できる。宿泊設備14室、レストランも都内の有名健診施設に負けない、通常の観光利用でも全く遜色のない施設を完備している。(別添資料参照)
- ・インバウンド版人間ドックは、総合健診基本コース2日ドックかそれにPET-CT健診コースを追加したコースか、2種類のみでの展開。過去は人間ドック前日に宿泊ホテルへ出向いて、当日の説明等を英語・中国語対応で行っていたり、前後泊手配等、人間ドック以外の手配が担当者へ依頼されるなど、受け入れに大変手間が生じるが、社会医療法人であるがゆえに社会的貢献が前提となっており、その手間を勘案したインバウンド価格などは設定していない状況である。

◆他の施設との差別化が図れているポイント

- ・検診ではないが、治療分野では、全国に19か所しかない、陽子線治療が可能なセンターがある点が差別化を図れている。

注釈)陽子線治療とは、がん細胞のみを狙い撃ちできるため、他の正常な細胞へのダメージが小さく、従来の放射線治療と比較すると副作用が軽くすむがんの治療法。

・観光と相性の良い健診目的渡航をターゲットとし、都内の有名健診施設に匹敵する設備・対応が可能である。健康センター内には4星ホテル並みの宿泊施設とレストラン「ヒカリヤ」もあり、ヒカリヤは地元の扉グループが展開するルレ・エ・シャトー加盟レストラン。

・20年以上前から中国人看護師育成をしている。日本語教育と看護師免許取得への奨学金を提供、取得後5年間は相澤病院での勤務が条件となっている。現在、中国人看護師は13名程度在籍。北京事務所もあり、広州にある病院のリハビリ病棟の運営委託も受けている。相澤理事長は松本日中友好協会の会長でもある。



専用レストラン「ヒカリヤ」

相澤病院内専用「ヒカリヤ」の美味しい料理をお楽しみいただけます。豪華な施設設備の環境をぜひお楽しみください。予約はヒカリヤの予約センター(03-3463-1111)またはヒカリヤの予約センター(03-3463-1111)にお願いいたします。ヒカリヤの予約センターは、ヒカリヤの予約センターに併設しております。ヒカリヤの予約センターは、ヒカリヤの予約センターに併設しております。

2日ドック受診者専用宿泊施設

また、相澤病院内には、きれいで落ち着いた雰囲気の中庭施設、ラウンジ・カフェ・バー、治療室も完備しております。ヒカリヤの予約センター(03-3463-1111)にお願いいたします。ヒカリヤの予約センターは、ヒカリヤの予約センターに併設しております。



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

・外国人患者受入れ医療機関認証を長野県で唯一取得している。
参考)北海道では以下3施設が認証を受けている。

- 医療法人雄心会 函館新都市病院
- 国立大学法人北海道大学 北海道大学病院
- 医療法人徳州会 札幌東徳州会病院

・外国人患者対応部署として、法人本部経営戦略部国際課、相澤病院国際課兼務の部署があり、海老原課長を筆頭に5名の職員が在籍、英語・中国語医療通訳と看護師の資格を備えている職員が対応している。その他、令和3年度・令和4年度の新型コロナ外国人患者受入環境整備事業の補助金にて医療通訳用タブレット、医療通訳用スマートフォンを導入、タブレットは全28台の用意があり、31言語での受付対応が可能であり、19言語で24時間対応が可能となっている。院内案内標記にも英語を併記している。

外国人患者対応体制(主管部署)

○外国人患者対応部署

法人本部 経営戦略部 国際課
相澤病院 国際課(兼務)



提供：信濃毎日新聞社2017年2月27日

○国際課人員

- 課長(事務) 医療コーディネーター
- 主任(看護師) 医療コーディネーター 兼 中国語医療通訳
- (事務) 医療コーディネーター 兼 英語医療通訳
- (看護師) 医療コーディネーター 兼 英語医療通訳
- (看護師) 医療コーディネーター 兼 中国語医療通訳

通訳ツール

医療通訳用タブレット



医療通訳用スマホ



R3&4 新型コロナ外国人患者受入環境整備事業の補助金にて購入

会話集



翻訳済み書類(英語・中国語版)



・外国人患者の受入対応は、2022年に1575名の実績がある。うち52件は観光滞在中のケガ・病気の受入、17件は治療目的の渡航である。治療目的の渡航はほとんどが中国人の利用となっている。

・松本市の観光マップにも相澤病院が掲載されており、英語・ハングル・簡体字・繁体字・ベトナム語で発行されている。

・長野県インバウンド推進協議会にも参加している。

外国人患者受入れ実績



受診傾向を把握 2022年実績 1,575名の詳細

国籍	検診	外来		計	
		再診	初診		
中国	4	307	196	19	439
フィリピン	3	237	65	8	311
タイ	1	56	28	4	84
韓国	1	39	17	5	82
ベトナム	1	37	16	5	81
アメリカ	1	47	28	3	79
アジア	30	13	3	65	
パキスタン	20	8	2	37	
台湾	1	27	6	37	
マレーシア	22	13	2	35	
その他	24	8	2	32	
日本(帰国者)	22	2	2	24	
ロシア	18	3	1	22	
インドネシア	12	7	1	20	
オーストラリア	2	12	6	20	
イギリス	7	7	1	15	
カナダ	10	4	1	14	
フランス	11	2	1	13	
アメリカ合衆国	8	1	1	9	
インド	8	5	1	9	
オランダ	4	3	2	9	
ドイツ	6	1	1	8	
マレーシア	1	3	3	6	
ポルトガル	3	3	1	4	
イタリヤ	1	3	1	4	
ニュージーランド	2	1	1	4	
韓国	3	3	1	4	
東アフリカ	4	1	1	3	
シンガポール	2	1	1	3	
その他(ASEAN諸国)	1	2	1	3	
韓国	2	1	1	3	
ドイツ	1	2	1	3	
ロシア	2	1	1	3	
オーストラリア	1	2	1	3	
スペイン	2	1	1	3	

2023年07月より
電子カルテ登録国名リストを
200の国と地域+日本とした。

・R5.3.20現在、外務省が承認している
195カ国

・台湾、香港、マカオ、パレスチナ、北朝鮮
の特別な地域、5地域

・日本国籍(中国残留邦人、帰国子女、
帰化外国人などの日本人)

・その他

・未登録
※北極、南極は除外。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◆近年の活動

・厚生労働省「令和3年度 地域の医療・観光資源を活用した外国人患者受入促進のための調査・展開事業」においては、羽田未来総研からの投げかけがあり、参画した。信州まつもと空港は長野県が設置・管理をしており、プライベートジェットや国際チャーター便の利用も意向もあり、羽田空港利活用の点から羽田空港の子会社である羽田未来総研が参画への声かけを行った模様。扉ホールディングスはもともとウェルネスツーリズムに関心があり、相澤病院健康センターへレストラン展開をしている関係性もあったため参画している。扉ホールディングスは市内で扉温泉明神間や古民家を再生した一棟立ての宿泊施設Satoyama Villa DEN、レストラン「ヒカリヤ」を展開している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でリアルモニターツアーは中止となったが、「体力・健康の見える化」と「大地と水の循環」をテーマとした5泊6日の滞在プランを造成、オンラインツアーに切り替えて実施した。ドラゴンパスジャパン日本支社長、相澤(北京)医院管理有限公司職員、中国超富裕層対応通訳、健診目的渡航実績のある身元保証機関社長に対して実施した結果、中国人富裕層はツアーパッケージ購入はしなく、オーダーメイドで旅行を行うため、販売・紹介方法や相澤病院以外の観光コンテンツや宿泊先についても、今後、再考の余地があるとのフィードバックがあった。注釈)ドラゴンパスジャパンとは、中国とイギリスで会員5000万人を有するVIPサービスの会社である。日本国内において、それらのVIPをもてなすサービスを展開し、今後拡大していく予定。

・三者合意(2022年6月27日)

社会医療法人財団 慈泉会(長野県松本市、理事長 相澤 孝夫)
扉ホールディングス株式会社(長野県松本市、代表取締役社長 齊藤 忠政)
株式会社羽田未来総合研究所(東京都大田区、代表取締役社長執行役員 大西 洋)

(三者合意におけるビジョン)

長寿の長野県・松本市にて「信州発のウェルネスツーリズム」を提供し、国内・海外の人々に心身の健康をもたらすことをビジョンとしています。

またウェルネスツーリズムの観点から松本市の魅力を発信し続け、ツーリズムやヘルスケアを基盤に、将来的に松本市と多様に関わる関係人口を増加させ、松本市に寄与することを目指します。

(出典:PRTIMES2022年6月27日)

◆ヘルスツーリズムとしての今後の運営について

・観光と医療はビジネスという観点では、その収益性と自由度において親和性が低いと感じている。

メディカルツーリズム：観光との親和性

治療目的渡航(病気)	健診目的渡航(健康)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自国に最新治療法がない ・ 自国の治療実績が悪い ・ 自国治療が信用できない ・ 自国の医療費が高い ・ 自国の治療で治らなかった ・ 最後の望みをかけて渡航 ・ 医療渡航ビザが必要 ・ 患者であるため観光しない ・ 家族も重病患者を横目に観光できない ・ 高額(数百万～1億円超え) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自国に健診文化がない ・ 自国に検査機器がない ・ 自国検査が信用できない ・ 医療渡航ビザ不要 ・ 傷病が無く観光ができる ・ 定期的健診、再来日期待 ・ 新型コロナの影響で健康意識が高まっている ・ アクティビティーと組み合わせ健康になる提案ができる ・ 手頃価格(20万～100万円)

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先①【相澤病院】
《JAMS(相澤健康スポーツ医科学センター)》

◆施設運営について

・相澤健康スポーツ医科学センターは2020年9月プレオープン、2021年4月グランドオープン。トップアスリートのリハビリテーションやトレーナー経験のある理学療法士が、スポーツ分野で培った経験と知識を活かし、アスリートだけでなく、スポーツ愛好家のケガ予防から高齢者の健康寿命延伸までをサポートし、健康な体づくりと予防医療をおこなう施設。(別添資料参照)

- ・病院で行うリハビリテーションや民間のジムとは異なる。
- ・体力ドックにより自身の心身の状況を数値で把握、その後、管理アプリでのセルフケアを継続することで、健康な体づくりと予防医療を実施している。(19ページ参照)

◆他の施設との差別化が図れているポイント

・健康アプリは、自身の身体状態は把握できるが、それを理想に導く解がない。JAMSの管理アプリは身体状態を知ることができるだけではなく、セルフケアメニューを動画で確認しながら継続できる点が異なる。

◆現在の受け入れ状況

- ・60～80代、高校生、月1回程度の利用が多い。

◆今後の意向・課題

- ・インバウンド用には人間ドック+体力ドックの形で展開の意向はある。管理アプリも英語・中国語版がある。
- ・インバウンド受入拡大に際して、現在は1対1の対応形式であり、今後団体対応ができるかが課題である。

【相澤病院】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

健診において、病院による診断力に差はないことが前提になる。法的にも医療機器の差を除いて、診断力に差があると言ってはならない。医療機器への設備投資は億単位の投資が必要になることから、ヘルス・ケアツーリズム目的での設備投資は困難であるがゆえに健診を目的としたヘルス・ケアツーリズムの場合、差をつけることが出来るのはツーリズムの部分になる。

そこでポイントになるのがコンシェルジュ機能である。特に海外インバウンドを対象とした場合、オーダーメイド対応が必須となるため、コンシェルジュ機能が重要となる。

コンシェルジュ機能を持てば、宿泊や飲食は自前の施設を持つ必要はなく、院外のコンテンツを利用でき、ツーリズム価値を大いに増すことができる。コンシェルジュ機能は地元観光企業にアウトソーシングすることで、医療機関は自己負担を増すことなく機能を手に入れることが出来る。言語面に関しては、看護師などの医療職が多言語対応できる必要はないが、医療通訳の確保は必要である。現地で確保できるに越したことはないが、オンラインでも機能としては十分である。

ヘルス・ケアツーリズムに対しての取り組みができるかどうかは、病院のスタンスが重要であり、広く取り組みを医療機関に求め実働を期待することは困難である。ツーリズムに意欲的な医療機関に集中して支援し、成功事例を示すことで参画医療機関を増やす方針が良いであろう。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

(参考資料)

体カドックプロセス



管理アプリ (セルフケアの実施と自己管理)

生活者は指導された運動メニューを自分のスマートフォンで確認し、自宅にて継続する。



自分の健康・体力に合った方法でスポーツを楽しみ
健康と体力を維持

一年後、半年後など定期的にセルフケアの効果を確認
松本での体カドック

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先②【松本市・松本観光コンベンション協会】

◆ケア・ツーリズムに対してのこれまでの取り組み実績

- ・メディカル・ツーリズムという点では相澤病院が先進的に受入を行っている。
- ・市としてATには取り組んでいるが、ATの要素としては「自己変容」もあるため、通ずるところはあるかもしれない。
- ・観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」として松本・高山エリアが本年、選定された。民芸も一つの要素として含まれており心を満たすものとして、通ずるところはあるかもしれない。
- ・前市長が医師だったため、健康産業企業誘致課があり、健康産業とのマッチングや温泉2泊3日で健康診断を実施し、滞在前後での数値の比較等を行った事例はある。
- ・健康促進という観点では、自転車もある。安曇野でのロングライドイベント、乗鞍と美ヶ原でのヒルクライムの大会も開催されており、サイクリングは推進している。市街地での観光サイクリングコースも整備し、マップ発行等もしている。



松本市
MATSUMOTO

まつもと
ウォーキングマップ

アルプス展望コース

見所スポット

① 大日城址	② 奥山山	③ アルプス公園
④ 矢野館倉庫(普門院)	⑤ 岡田神社	⑥ 岡田神社旧参道
⑦ 穴田観音堂	⑧ 浅間温泉	⑨ 水野家墓所
⑩ 玄向寺	⑪ 岡宮神社	⑫ 大安楽寺
⑬ 高橋家住宅	⑭ 旧岡宮小学校舎	⑮ 北門井戸

このコースマップはあくまで推奨コースを示すものです。
地図を片手に自由に歩いてください。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◆今後の方向性

- ・信州まつもと空港の利用促進

同空港は日本で一番標高が高い空港であり、滑走路は2000m。FDAが札幌(丘珠・新千歳)、福岡、神戸への路線を運航している。特に札幌便は高搭乗率を維持している。標高が高いため離発着の難易度が高く、重量制限のため、150名機材でも100名以下の旅客しか搭乗させられない。沖縄へのチャーター便等も実施実績がある。MRJに期待したが残念な結果になった。騒音等の関係で定期便就航は本数制限があるため、制限のないチャーター便や、ビジネスジェット(プライベートジェット)の利用を増やしていきたい。旅行事業者への助成金制度もある。

- ・フランス人が代表を務める会社matsumoto experience(マツモト・エクスペリエンス)とは訪日外国人が楽しめる体験コンテンツ造成で連携、今後もバックアップしていく。

◆今後の課題

- ・飲食店の閉店時間が早く、訪日外国人が夜間に楽しめる場所がなかなかない状況である。(ライトアップされた松本城の周りを夜に散策している方も多く見受けられる。)

- ・域内連携について
- ・中部空港から高山市を経て松本市を訪れる訪日外国人も多く、高山市とは上述の事業で連携を図っている。

◆インバウンドの受け入れについて

- ・訪日外国人宿泊客数の統計(2019年)ではタイ人が1位で19%を占めている。
- ・韓国人はほとんど来訪していない。
- ・欧米豪からの来訪者も多い。訪日外国人宿泊客数の統計(2019年)数ではアメリカ、オーストラリア、イギリスが6%、フランスが4%で計22%となっている。(出典:松本市観光データ調査分析事業業務レポート 別冊:訪日外国人位置情報調査 国・地域別)
- ・相澤病院海老原課長より地域全体でメディカル・ツーリズムへ取り組みができればよいとの提案があった。

【松本市・松本観光コンベンション協会】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

健診を中心としたヘルス・ケアツーリズムのアプローチとして、健診に加えて、北海道の観光資源を利用した健康増進系=ウェルネスアクティビティを加えることでヘルス・ケアツーリズムとしての付加価値を増大できるのではないかと。

健診という現状把握のみならず、行動変容の端緒まで得ることのできるヘルス・ケアツーリズムは珍しく、さらに北海道の無二の自然環境を生かしたウェルネスコンテンツを組み合わせることで他地域との差別化が顕著になる。

ウェルネスコンテンツとの融合を考える際、「体力ドック」は有用なツールとなる可能性がある。体力ドックの結果に応じたウェルネスアクティビティの推薦やアドバイスがあると全体が有機的につながり、ヘルス・ケアツーリズム全体としての価値が上がるだろう。「体力ドック」に関して必要となる設備投資は大型医療機器に比して軽微であり、内容によっては既存の医療職のみで実施可能である。北海道はウインタースポーツ王国であり、ウェルネスコンテンツでウインタースポーツを利用することでオールシーズンの誘客が期待できる。

●事例③:ドルフィンセラピー 沖縄県

イルカ + 沖縄県
= リハビリ

◎DATとは

イルカ介在療法 (Dolphin Assisted Therapy: ドルフィン・アシステッド・セラピー) のことを言い、ドルフィンセラピーやイルカセラピーとも呼ばれます。健康科学財団(以下、当財団とします)では頭文字をとって『DAT(ディーエーティー)』と呼び、動物介在療法(Animal Assisted Therapy: AAT)の一つとして実施しています。

DATでは疾患の治療を目的とするのではなく、人とイルカと自然の海との相互作用を利活用して人間の健康や成長・QOL(生活の質)の向上を目指すことを目的としています。

◎DATの歴史

約30年前にアメリカの児童心理学者が浮力をもつ水と知能の高いイルカを結びつけたことから始まります。その後、諸外国の研究者やセラピストによって自閉症などの発達障害、ベトナム戦争帰還兵の心的外傷後症候群(PTSD)、また学習障害や虐待等におけるリハビリテーションを対象に実施されてきました。

日本においては、1996年に初めて旧厚生省の研究班として昭和大学医学部小児科と我々がDATの研究に着手し、それ以降旧国立小児病院神経科と共同で発達障害やコミュニケーション障害を対象に取り組んできました。2001年からはDATの常設を開始し現在は年間を通して実施しています。

また近年ではイルカと一緒に泳ぐことが軽度うつ病の緩和に役立つ可能性があることが報告され、当財団でも2006年に名桜大学人間健康学部と共に成人のメンタルヘルス改善の研究を行いました。

◎DATの特徴

海に作られた生簀で行われるDATには動物介在療法(動物介在療法)の他に海洋療法(タラソセラピー)の効果も作用すると考えられます。

海洋療法とは健康増進や美容、機能回復のために海水・海辺の大気・気候などの海の要素を活用するもので、安定感が増加したり自信が回復するなどの精神心理面への効果や、睡眠感の改善、睡眠の質の向上などが期待されます。

一方、動物介在療法は動物との関わりから得られる様々な効果を治療やリハビリに役立てようとする心理療法で、動物がいることで安心感が生まれ不安やストレスが軽減されたりリハビリがスムーズに進むといった報告があります。また、動物との交流が精神的・肉体的障害を持った子どもたちのコミュニケーション能力を促すとも言われています。

これらの効果が複合的に作用して、普段はなかなか接することのないイルカとのふれあいを楽しみながら心身のリハビリテーションができる点がDATの大きな特徴と言えます。



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎調査日程・実施者・訪問先

日程:2023年10月10日(火)~10月12日(木)

実施者:保険外看護サービス 株式会社cocole 代表取締役 道下 淳子

障害当事者:深谷 司 様

※脳梗塞、後遺症にて左片側麻痺、高次脳障害/介助用手動車椅子使用

同行家族:深谷 香代 様(続柄:配偶者)

訪問先①:マリニピアザオキナワ(対応者:大川 様)

訪問先②:ドルフィンセラピー(対応者:DAT 米川 様)

訪問先③:もとぶ元気村(対応者:DAT 米川 様)

◎調査行程

※①新千歳発 道下 ②小松発 深谷様ご夫妻

《10月10日》

(航空)①JAL500 新千歳空港7:55-羽田空港9:35

②JAL182 小松空港7:45-羽田空港8:50

①②JAL909 羽田空港10:00-那覇空港12:50

(レンタカー)那覇空港発着 Aクラス 運転者:道下

★16:30マリニピアザオキナワ館内視察

★夕飯は施設外の地元居酒屋

(宿泊)マリニピアザオキナワ

《10月11日》

★9:00ドルフィンセラピー体験

★もとぶ元気村内視察

★美ら海水族館視察

★古宇利島視察

★夕飯は施設外の地元ステーキハウス

(宿泊)マリニピアザオキナワ

《10月12日》

(航空

①②JAL988 那覇空港15:10-羽田空港17:30

①JAL527 羽田空港18:30-新千歳空港20:00

②JL191 羽田空港18:20-小松空港19:25



◎訪問先①【マリンピアザオキナワ】

【インタビュー】

◆身体障害者への対応について

- ・お部屋は特にバリアフリー仕様無し。
- ・共用スペース(ロビー、大浴場、レストランなど)もバリアフリー仕様無し。入口のスロープなども設置無し。車いすトイレが1階に一つあり。食事はアレルギーには対応可。刻み食対応可。
- ・レンタル品(車椅子、シャワーチェア、ベッドサイドの手すりなど)

車椅子→2台

シャワーチェア→2台(背もたれ付きで肘掛けあるタイプと無いタイプ)

ベッドサイドの手すり無し。

※その他必要なものは持参される方が多い。ベットの下に敷くマットなど。

※レンタル品の提携先なし。

※BG財団は海洋研修目的の施設。今後もバリアフリーなど整備、売りにしていくことはない。

・外部の医療機関や介護事務所との連携無し。

【医療従事者】

・参加者の障がい状況を把握できていたので、本宿泊施設のバリア状況であれば心配はなかった。

・介護用品としては車椅子とシャワーチェアがレンタルできれば十分であった。

【障がい当事者とご家族】

・(本人)入浴に関して、シャワーチェアがあったことは助かった。

・(妻)過去の旅行経験からそもそも心配がなかった上に、医療従事者のサポートがあることで宿泊において全く不安はなかった。

・(妻)現地で車椅子がレンタル出来ることで、旅程を通じて車椅子を持ち運ぶ必要がなかったことは楽だった。

【マリンピアザオキナワ】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

宿泊施設として、①ゲストの障がい状況をヒアリングし把握した上で、宿泊施設のバリア状況を伝えることができるか、②障がいとバリアのギャップを埋めることができる手段を持っているかどうか、が障がい者を広く受け入れるためのポイントとなる。ヒアリングとバリア状況の伝達に当たっては、日常生活動作に関するヒアリングと施設のバリア状況を同時に把握できる専用シートを用意しておく、スタッフの負担を軽減しつつ情報提供の質を担保できるのではないかと、

ギャップの埋め方に関して、現場での専門職による人的サポートは強力だが、レンタル可能な介護用品に幅があるだけでも受け入れ体制は大いに充実する。その際に地元の福祉用具業者との連携が可能であれば、宿泊施設が物品を保有・管理することなくハイレベルなレンタル体制の構築が可能になる。またどれだけ事前にヒアリングしていても予想外に介護用品が必要になる場合がありうるが、その際の対応力を持つことができる。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先②【ドルフィンセラピー】もとぶ元気村DAT

【プログラム内容】

DATは5レベルのプログラムから構成される。

心理療法士など専門者の意見を取り入れながら参加者の症状や希望に合わせて構成し、参加者に合わせたプログラムを提供している。

プログラムの細かな実施内容については症状や状況に合わせて対応する為に、同じレベルプログラムでも行う内容は異なるケースがある。

レベル1:

イルカへの出会いを考慮したプログラム。環境への馴化が苦手な学習障害や自閉症の方の初日としてお勧め。

レベル2:

イルカへの動機付けを目的にしたプログラム。イルカに対する興味を強める事を目的にした内容。海には入らない形で、イルカのパフォーマンスを見たり、プラットフォーム上からふれあいを行う。

レベル3:

イルカたちの棲む海の中に少し入り、浅瀬でイルカたちとふれあうプログラム。イルカたちの世界である海の中に1歩入ってイルカとのふれあいを行う。

← 今回の視察ではこのプログラムを実施

レベル4:

イルカたちの世界へ。イルカたちと共に海の中まで入ってふれあうプログラム。

レベル5:

健常者の方並みにイルカと泳ぎ遊ぶ上級者向けプログラム。主に身体障害の方や身体のリハビリを目的にした方にお勧め。



疾患、コース別のレベル構成例

		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
発達障害	5日間	レベル1	レベル2	レベル2	レベル3	レベル4
発達障害 (再)	3日間	レベル3	レベル4	レベル4		
コミュニケーション障害	5日間	レベル2	レベル2	レベル3	レベル3	レベル3
身体障害者	3日間	レベル3	レベル3	レベル4		
アトピー性皮膚炎	5日間	レベル3	レベル3	レベル4	レベル4	レベル5
アトピー性皮膚炎 (再)	3日間	レベル3	レベル4	レベル5		

◎訪問先②【ドルフィンセラピー】もとぶ元気村DAT

【料金】

基本 5日間(1日1回70分×5日間)

料金 ¥250,000(税別)

※基本的に1日1回DATを実施

※DATは家族で参加することも可能(症状により異なる)。上記は1グループ(最大5名まで対応可能)の料金。

※改善効果を期待する為には5日間の連続参加が望ましいとしているが、3日間コースも用意がある。

3日間(1日1回70分×3日間)

料金 ¥150,000(税別)

※「DAT適正チェック」(1日コース)の用意もある。

DATに参加する事で改善が見込まれるかを判断すると同時に、最適なDATプログラムを提案することを目的にした1日コース。また、一般体験プログラムへの参加が難しい重度身体障害など特別な支援が必要な方とそのご家族が、精神的ケアを目的とされた場合に適したプログラムである。

DAT適正チェック(1日1回70分×1日間) ← 今回の視察ではこのプログラムを実施

料金 ¥70,000 (税別)

※上記DAT参加料金には宿泊等は含まれていない。

【実施までの流れ】

基本 5日間(1日1回70分×5日間) コース

STEP1: 受付・相談

利用者の症状や希望日などのヒアリングを受けた後に予約。

※DATには様々な形があり、改善したい症状によってプログラムが変わる。また、DATでは改善が見込めない症状もあり、十分な相談が必要となる。相談、予約の段階では料金は必要ない。

STEP2: 申し込み

アンケート等の申し込み必要書類が送付されるので、記載し返送する。

STEP3: 実施書送付

返送したアンケート内容から最善と判断されたプログラムスケジュールや、事前準備説明書類が送付される。

STEP4: DAT実施

STEP5: DAT実施後

臨床心理士等の専門家の意見を元に体験レポートや、家庭での応用方法などがアドバイスされる。また、事後アンケートに回答した利用者には症状に合わせたアドバイスが送付される。

※今回の視察では「DAT適正チェック」(1日コース)であったからか、事前に実施されたのは、利用者の症状、ウェットスーツ着用の可否、希望日のヒアリングのみであった。

◎訪問先②【ドルフィンセラピー】もとぶ元気村DAT

【インタビュー】

◆ドルフィンセラピーの運営について

- ・1日2回。9時と16時に実施。数日間に渡り参加する場合も時間は固定。大抵は1日1回の方が多し。日程が短い人は、稀に2回体験する人もいるが体力がいる)
- ・現在セラピーを担当できるスタッフは二名。研修ではなく経験。
- ・プログラムは50分、準備に10分～20分
- ・利用者様はセラピー目的でいらっしゃる方がほとんどなのでセラピー以外の時間はのんびり過ごしている。

◆身体障害者の受け入れについて

- ・現地に来る前にお電話で障害の程度等を情報収集。
- ・インストラクターは特別な研修はしておらず、経験を引き継いで実施している。マニュアル等もないので注意深くヒアリングをしている。インストラクターも医療従事者ではない。
※社団法人の方で提携医師がいる。現地に医療従事者はいないが、病院や施設で体験に来る方は医療従事者と参加されるケースが多い。
- ・プログラムエリアには当事者+家族または医療従事者のみ入場可能。付き添いの方は見学不可。介助者は体験料を払えば入場可能。
- ・障害者手帳があればスタッフが一名びっちり付いてくれる。
- ・受け入れは毎回柔軟に対応、これまでに断りしたケースはなし。

◆利用者について

- ・利用者は子供が多い(20才以下が多い)。今回の司さんが体験最高齢。身体障害者4割、自閉症6割。
- ・ほぼリピーター。
- ・受け入れは毎回柔軟に対応、これまでに断りしたケースはなし。
- ・利用者が求めることは「水に慣れる、癒し」・利用者はセラピー目的で滞在し、2泊から3泊の滞在が多数。体験1回のみ利用者はほぼいない。
- ・効果を得るために2泊以上必要とすることが多い。小児は特に時間を要し、1日目は水に慣れるだけなど様子を見ながら段階的に進行。
- ・コロナ前でも年にセラピーは数件。海外のテレビで紹介されたことがあった。その時は月に一回程度受け入れ。コロナ前は病院主催のセラピーツアーなども受け入れていた。

◆販売手段について

- ・宣伝活動は特にしていない。社団法人のホームページで案内がある程度。大きく宣伝はしていないが現場は沢山の方に広めてきたいとの思いがある。
- ・宿泊や観光、交通手段等とセット販売する手段は持っていない。



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

【医療従事者】

・セラピストは非医療従事者であったが、過去の障がい者受け入れ実績をから、セラピー実施に対しての不安はなかったが、突発的な事故のリスクは健常者よりも高いことには変わりなく、事故対応への緊張感は常にあった。

・障がい当事者のチャレンジと成功体験による自己効力感獲得の現場に立ち会えることは医療従事者として幸せなことであった。

【障がい当事者とご家族】

・障がいを持ってから初めて海に入る機会であったので不安感が大きかったが、事前のヒアリングで身体状況を伝えておけたことでその不安感はやや軽減し、現地で医療従事者のサポートがあるということでさらに軽減したが、それでも不安感がなくなることはなく、最後はえいやで海に入った。

・海に入ってイルカに引っ張ってもらって泳いだら、まるで自分で泳いでいる感覚だった。動かない左足も使って泳いでいる感覚だった。

・海から出た後は、海に入れたという達成感が大きかった。



【ドルフィンセラピー】もとぶ元気村DAT

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

リハビリテーション・ケアツーリズムにおける活力の源泉は、チャレンジと成功体験、そしてそこから生まれる自己効力感である。大型動物を使ったアニマルセラピーの場合、チャレンジ感が大きいことから得られる自己効力感も大きくなる。また、大型動物との触れ合いは、非日常感も大きいためツーリズムとしての充実感にも繋がる。

大型動物によるアニマルセラピーのカテゴリーで、身体的チャレンジを伴うもの、さらには北海道ならではのものとしては「馬」がある。すでに道内には札幌にNPO法人北海道障がい者乗馬センターがあり、加えて道内には学術面での蓄積もあると考えられることから、ドルフィンに馬を置き換えDAT同様の体制をとることは実現可能性が高いのではないかと。その際にポイントとなるのは、学術機関との連携で、エビデンスを保持しておくことで送客を含めた医療機関との連携が期待できる。そして、対象者に関してであるが、身体障がいのみならず、DAT同様に自閉症などの精神・知的障がいの当事者も重要な対象と捉えるべきだろう。スタッフの障がい当事者への対応力に関して、DATではセラピストが非医療従事者であり、経験の蓄積で対応しているというものであったが、新たに取り組むを始めるにあたっては、現場に介助力を持った医療従事者がいることで、経験の蓄積期間を短縮することができる。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先③【もとぶ元気村】文化体験

【インタビュー】

◆身体障害者への対応について

・ヒアリングを大切にしている。いろいろなパターンの障害があるが、臨機応変に対応している。

【医療従事者】

・他のお客さんが少なかったことから、インストラクターが付きっきりで対応してくれた。繁忙期であれば、そのようなことはできないと思われるので、その場合、作業をサポートする人間がいなければ奥さんは自分の作業に取り組み、楽しむことはできなかったであろう。

【障がい当事者とご家族】

- ・(妻)セラピー以外の旅行コンテンツが、旅としての充実感を増した。シーサー作りに関して、自分も好きなようにひとつのシーサーを作ることができて嬉しかった。介助者がいてくれたことで自分の作品作りに集中して取り組めた。
- ・(本人)ホテルのレストランではなく、地元の飲食店に行けたことが良かった。地元の飲食店で、島唄が聞けたり、飲んだらステーキという、地元ならではの文化に触れることができて嬉しかった。



【もとぶ元気村】文化体験

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

ツーリズム全体の時間の中で、セラピーの時間はごく一部であり、それ以外の時間の使い方が重要になり、訴求力にもつながる。その際、セラピー以外のコンテンツにおける障がい当事者の受け入れ体制が、特に繁忙期において課題となる。現地でアテンドできる介助者がいると施設側への負担なく受け入れが可能となるため、施設外も含めた多様なコンテンツをツアーに取り入れることが可能となり、妻などの家族もツアー自体を楽しむことができ、家族の充実感につながる。

●事例④:レスパイトツーリズム 湯田温泉(山口県)

◎湯田温泉とは

湯田温泉は山口県山口市にある室町時代からの温泉街。幕末には高杉晋作や伊藤博文といった維新の志士たちにも愛され、彼らが入った浴槽も「維新の湯」として現存する。

泉質 アルカリ性単純温泉

肌によく馴染む、軟らかい湯です。温泉独特の癖が気にならず、ゆったりとした気分で長湯できる。

泉温 無色透明の湯で、源泉最高温度は72度

非火山性源泉でありながらも温度が70℃を超えており、山口県内では最も高い値を誇る。

湯量 豊富な1日2000トンの天然温泉

無色透明な湯が、濁らない理由は、豊かな湯量にあります。効能 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、ぢ疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、他。

美肌の湯

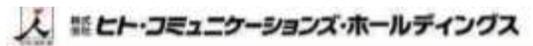
アルカリ性が高い泉質は、お肌をすべすべにする効果がある。



◎ケア・ツーリズム事業の実績

2022年度に株式会社 ティーシーエイ(株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス)が湯田温泉旅館協同組合・山口市介護サービス提供事業者連絡協議会・特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構と協力し、**レスパイト(休息)をコンセプト**に観光庁補助事業「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」を実施した実績があります。

レスパイトツーリズム事業について



レスパイト

×

ツーリズム

レスパイトとは、「休息」「小休止」「息抜き」の意。



ご家族が日々の在宅での介護疲れを感じ、介護力の限界を超え、介護不能となる課題がある。



協力・連携



山口市

湯田温泉旅館協同組合

【今回の取組み】

“介護する人”を主体に、関係するヒト・地域が元気になることを目指し、都市型温泉（山口市・湯田温泉）を活用した新たな事業の創出

- (計画) ■レスパイトステイ：介護者（ご家族）のみを対象としたステイ
- レスパイトwithステイ：介護者（ご家族）と被介護者を対象としたステイ



当社グループは、レスパイトツーリズム事業を

介護・福祉の課題解決 × 地方創生の課題解決 × 当社グループリソースの活用

の実現により、ESG活動における事業の一環として、全国各地へ展開する予定

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎地域観光資源との連携

本モニターツアーではレスパイト効果を高めるべく、地元寺院と協力した座禅と写経や、森林セラピー基地での森林セラピーなど、湯田温泉を含めた地域観光資源を活用したツアー構成が行われた。

サンデー山口

2022年(令和4年) 12月21日(水) 4

サンデー山口(山口版)は、山口市・美祿市宇部市(一部)・防府市(一部)での新聞折り込みと各所への設置で、みなさまにお届けしています。紙面に載り切らない情報はウェブサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

介護者・介護サービス従事者の皆様へ

日常から離れてリフレッシュ。湯田温泉に出かけよう

湯田温泉で深く緩む モニターツアー 参加者募集

適度な休息やリフレッシュが必要な介護者および介護サービスに従事されている方々へ、湯田温泉など地元の地域資源を活用して心身の健康を整える無料モニターツアーを企画しました。1泊2日と日帰りの全3コースをご用意。ぜひご参加ください。

協力:湯田温泉旅館協同組合 山口市介護サービス提供事業推進協議会 特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム協会

旅行代金
無料

参加条件

- ①山口県在住の介護者、又は山口市内の介護福祉事業所勤務の方とそのご家族
- ②ワクチン3回接種済み※出発3日以内のPCR検査陰性でも可
- ③モニターツアーアンケートの記載にご協力いただける方
※アンケート枚数6枚 ツアー終了当日のご提出をお願いします(提出への郵料等はございません)

申込方法 参加希望の方には詳しいパンフレット、申込書をお送りいたしますので、下記までご連絡ください。
株式会社 ティーシーエイ 東京支店 担当:飯塚/成田
TEL:03-5927-9330 FAX:03-5927-9333 Mail:tr-narita@tca-grp.co.jp
【営業時間】10:00~18:00(休業日:土・日・祝日) ホームページ:https://yudansen-welness-tourism.com

添乗員 同行致しません

集合場所 湯田温泉ユウベルホテル松政(山口市湯田温泉3-5-8)

最少催行人員 各出発日2名

申込締切日 2023年1月5日(木)

※今年年初休日は2022年12月30日(金)・2023年1月3日(火)その他の一泊二日等でお申し込みを併せてにつきましては2023年1月4日(水)以降ご連絡させていただきます。
※応募者多数の場合は抽選となります。その場合は、1月7日(土)頃の最終案内の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。

本公式ホームページからもお問い合わせ可申し込みいただけます

詳しい旅行条件を説明した書面をお送りいたしますので、事前にご確認の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

Aコース 和文化体験と森林セラピー、徳地和紙に触れる旅

1泊2日

～マッサージでリフレッシュ～

出発日: 2023年1月13日(金)・1月17日(火)・1月20日(金) 催行人員: 各日6人

湯田温泉
利用施設:湯田温泉ユウベルホテル松政

山陽第一といわれる豊富な湧量(1日2,000トン)を誇る湯田温泉。神経痛、筋肉痛、関節痛など多くの効果があるため、昔から多くの人々に親しまれ愛されています。創業90余年のユウベルホテル松政で、温泉がけ流しの露天風呂にゆったり浸り、日常から離れ心落ち着くひとときをお過ごしください。

和文化体験
利用施設:AWAKU

伝統的な和菓子「餅り切り」、季節の和菓子とオリジナル和菓子をご用意いたします。また可愛い漢文字つまようじ入れを折り紙で作成、自分でつめたお抹茶と和菓子をお召し上がりください。昼食はAWAKUオリジナルメニューをご用意いたします。

オールハンドリンパマッサージ
利用施設:湯田温泉ユウベルホテル松政内エステルーム

身体や顔をリラックスさせ、深い眠りに促すことで、日頃の疲れを癒し大切な自分の身体にエネルギーを与えます。肩こり、足のむくみ、お肌の疲れ、頭皮の硬さなど、あなたのためのメニューで組み合わせ合わせた30分で、心身ともにリフレッシュしましょう。

手漉し和紙染め体験 徳地和紙
利用施設:徳地和紙ワークス

鎌倉時代から受け継がれる手漉しの徳地和紙は、山口市の無形文化財です。江戸時代には米・塩とともに「徳地三白」として長州藩の財源にもなっていました。徳地和紙ワークスでは「折り染め」という手漉し和紙を自然やがに染め上げ、タペストリーやクッションカバーを作っています。ツアーでは、伝統工芸品の歴史に触れながら、自分色で染める小さなタペストリー作り体験していただきます。

Bコース 写経と座禅、和会席ランチとマッサージで心身リラックス

日帰り

出発日: 2023年1月11日(水)・1月19日(木)・1月24日(火)・1月25日(水) 催行人員: 各日4人

写経と座禅
利用施設:玄通寺

毛利秀包公が下関阿国に創建し、1625年山口古戦に移されて以来、吉敷毛利家の菩提寺として続く玄通寺。静寂に包まれる境内で写経と座禅を体験し、心身を癒えますよ。

ユウベルホテル松政(11:00開館)＝バス＝玄通寺で写経と座禅(約90分)＝バス＝ユウベルホテル松政(14:00開館)ホテル松政後マッサージの体験(リンパマッサージまたはフェイシャルマッサージから選べます。約50分)また、17時まで温泉・サウナをお楽しみください※16～17時の解散となります

Cコース 和文化体験と温泉で癒しの休日

日帰り

出発日: 2023年1月12日(木)・1月16日(月)・1月23日(月)・1月26日(木) 催行人員: 各日8人

ユウベルホテル松政(11:00開館)＝徒歩＝LAWAKUで和文化体験(和菓子作りや茶道体験と昼食、約180分)＝徒歩＝ユウベルホテル松政(15:00開館)ホテル松政後マッサージの体験(リンパマッサージまたはフェイシャルマッサージから選べます。約50分)また、温泉・サウナをお楽しみください

観光庁補助事業
「地域独自の観光資源を活用した地域の縁の着販商品の創出事業」
本事業は、観光庁から採択された「地域独自の観光資源を活用し、地域の縁の着販商品の創出事業」を活用しています。湯田温泉と山口市の観光関連事業者などが連携し、レスパイトツーリズム(休息)をコンセプトに、湯田温泉を中核とし、つながりの場として地域住民と旅行者との共生による新しい価値の創造につなげ、地域経済の活性化を目的とします。

旅行企画実施

株式会社ティーシーエイ
大阪府知事登録旅行業 第23013号
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目49番1-9セタワー23階

**取組事業所
お問い合わせ**

株式会社ティーシーエイ 東京支店
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-29-12 トロシティ南池袋8階
TEL:03-5927-9330 担当:飯塚/成田 営業時間 10:00~18:00(休業日:土・日・祝日)
総合企画課取組管理者 下島聖矢子

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎調査日程・実施者・訪問先

日程:2023年10月25日(水)~10月27日(金)

実施者:保険外看護サービス 株式会社cocole 代表取締役 道下 淳子(看護師)

実施者:保険外看護サービス 株式会社cocole 鎌田 萌(作業療法士)

現地アテンド:株式会社 ティーシーエイ(2022年観光庁補助事業モニターツアー主催会社) 成田 陵治 様

障害当事者:森山 敏明 様

※脳動静脈奇形による小脳出血/自走用電動車椅子

同行家族:森山 佳那 様(続柄:配偶者)

同行家族:森山 源太 様(続柄:子)

訪問先①:森林セラピー(現地担当者様)

訪問先②:和菓子作り&茶道体験 LAWAKU(LAWAKU 酒向 淳子 様)

訪問先③:山口市役所(交流創造部観光・スポーツ・文化交流部部長 岡村 萬利雄 様)

インタビュー:現地アテンド者 株式会社 ティーシーエイ 成田 陵治様 /

株式会社 ティーシーエイ 代表取締役社長 柿内 裕一様

◎調査行程

《10月25日》

(航空)JAL504 新千歳空港9:45-羽田空港11:25

JAL293 羽田空港12:10-山口宇部空港13:55

(レンタカー)山口宇部空港発着 WSクラス 運転者:道下

★夕食は地元居酒屋

(宿泊)ホテルニュータナカ

《10月26日》

★10:00森林セラピー体験

★14:30和菓子作り&茶道体験 LAWAKU

★17:30山水園翠山の湯の家族風呂で入浴

★夕食は地元居酒屋

(宿泊)ホテルニュータナカ

《10月27日》

★秋吉台観光

(バス)秋吉台12:55-山口宇部空港13:45

★山口市役所

※道下のみ。レンタカーで他の参加者を秋吉台に送迎後、訪問。

(航空)JAL294 山口宇部空港14:45-羽田空港16:15

JAL525 羽田空港17:35-新千歳空港19:10



【全体像】**北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析**

今回の視察では、内容としては、株式会社ティーシーエイ主催のモニターツアーの行程を踏襲しつつも、モニターツアーで今後の課題とされた障がい当事者含めた家族全員での参加という形態で視察を実施した。

同モニターツアーにおける大きなポイントは、対象者が普段家族の介護を行っている、または、業務として介護を行っている「健常者」のみが対象であるということである。

同モニターツアーでは参加者に対してアンケート調査が行われており、その結果を含む報告書を入手したことから、別途資料として提出する。

この資料中には記載がないが、ツアー実施企業担当者から「当初は、介護が必要な家族は連れて行きたくないと言っていた参加者が、ツアー実施後には、その家族も連れてきたいと、思いが変化している事例があった」との情報提供があった。まさにこれこそがレスパイト・ケアツーリズムの本質と考えられる。つまり、癒しを得るならば自分だけでなくやっぱり家族一緒に得たい。自分だけ癒しを得るということに罪悪感や後ろめたさ感じるということもあろうが、それ以上に、家族一緒に癒しを得ることによる喜びの大きさがあるのではないか。

◎訪問先①【森林セラピー】**【インタビュー】****◆身体障害者への対応について**

・モデルツアーを行う際、普段介護をしている人に森林セラピーを提供するにあたって配慮したことは特になく、いつもヒアリングを大切にしている。

車椅子でも行ける道のコースがあるが、2022年の震災で通行止めに。

・モデルツアーで普段介護をしている人に森林セラピーを提供した際の参加者の反応は「表情が明るくなる」「緊張」「不安の軽減」「活気が出る」

・障がい当事者の方が参加することに抵抗はない。介助が必要な人は、介助者が同行してくれるため。

・今回の受け入れに対しては特別な準備はしていない。

・受け入れに不安がないように、ヒアリング等、事前準備を大切にしている。

・障害者の受け入れも、どんな依頼も断らないが積極的にアピールなどすることはない。

海外からの視察の問い合わせもある。来月台湾の視察予定ある。

・今回のように、障がい当事者をサポートする医療従事者や介護従事者がいた場合は安心感はある。ガイドは150人程の登録があり、(登録だけの人も多い。実働している方30人くらい)適任のガイドをつけるようにしている。子供対象のガイドや、看護師のガイドもいる。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査



◎訪問先②【和菓子作り&茶道体験 LAWAKU】

【インタビュー】

◆身体障害者への対応について

- ・モデルツアーを行うにあたって普段介護をしている人に和菓子作り&お茶体験を提供する際に配慮したことは特になし。作法など関係なく楽しんでもらえるようにしている。
- ・モデルツアーで普段介護をしている人に和菓子作り&お茶体験を提供してみて、参加者の反応として普段と変わったことは特になし。
- ・今回のように、障がい当事者の方が参加することに抵抗はない。
- ・今回は使用しなかったが、障害者を当事者の受け入れの際は広いバリアフリー設備のある伝承センターを使用する。
- ・普段から飛び込みの障害当事者もいるので、ケースバイケースで対応している。
- ・今後、障がい当事者の方の受け入れ要請があった場合、希望があれば積極的に受け入れようと思う。
- ・元々障害当事者の受け入れに抵抗はないが、今回のように、障がい当事者をサポートする医療従事者や介護従事者がいた場合はより安心。
- ・車椅子のまま着付けが出来る着物も準備している。
- ・外国人や聴力障害の方用に説明動画を準備している。



(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

◎訪問先③【山口市役所】交流創造部観光・スポーツ・文化、交流部
部長 岡村 萬利雄 様

◆レスパイト・ツーリズムについてのインタビュー

質問	回答
行政として「レスパイト」をテーマとした旅行事業を考案したきっかけは？	関連会社との旅行や医療の話の中で
行政としてレスパイトツーリズムの将来性をどのように考えていたか？	10年程前からヨーロッパでは進んでいる、レスパイトは日本でも社会課題だと感じていた。
温泉協会や介護協会にモデルツアーの案件を持ち込むにあたって、行政としてのバックアップはあったか？	助成金などの資金面、広報
例えばそれぞれの協会へ行政から協力要請など行なったか？	行った
協力要請を行なった場合、温泉協会、介護協会それぞれの反応は？	旅館組合：コロナ禍で経営が厳しく、特に平日の稼働力UPに繋がるならと賛成施設：補助金があるなら、自分たちでもパッケージを作りたい、人員不足...など様々
モデルツアーのプロモーションは新聞広告だけか？	新聞ではなく地元のフリーペーパー、地域のケアマネジャー
他にも行政のリソースを使っただけのアプローチをされたか？	なし
モデルツアーを作るにあたって行政の関わりはあったか？例えばコンテンツのリサーチや選択に協力したか？	関係機関に依頼。まず琉球大学の荒川先生にウェルネスビーイングについての勉強会を開催し旅館協会、施設関係者の理解を深めた。オーダーメイドのプランも検討したがハードルが高かった
モデルツアーに参加した人の中で、介護職の人と一般の人(家族を介護している人)の割合はどうであったか？	5:5
モデルツアーの参加者の反応はどうだったか？	満足度は高かった。参加後に次回は当事者も一緒に参加したいと考えが変わる人もいた。 ※事前アンケートでは、障害当事者が一緒なら疲れるし一緒にいきたくない。との声が多かった。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

質問	回答
行政として、モデルツアーの結果をどう評価しているか？	成功した
モデルツアーを終えて、行政としてレスパイトツーリズムの将来性をどのように考えているか？	ニーズがあるのは確か
行政として、レスパイトツーリズムの今後の展開をどのように考えているか？	今後は旅館協会主体で進めていきたい
今後の展開にあたってどんな課題があると考えているか？	行政が動く、資金や運営など行政に期待、依存する
どのように収益化するか その課題を解決するためにどのような方策を考えているか？	旅館組合に任せたい
今後は介護を受けている人も一緒に参加してもらう形も考えているか？	必要とする人には
参加を考えている場合、どんな課題があると考えているか？	どのようなプランにするか

◎インタビュー【株式会社 ティーシーエイ】現地アテンド
成田 陵治様 / 代表取締役社長 柿内 裕一様

質問	回答
「レスパイト」をテーマとした旅行事業を考案したきっかけは？	山口市との介護や旅行などの話の中から
企業としてレスパイトツーリズムの将来性をどのように考えていたか？	ヨーロッパでは広まっている、レスパイト。日本でも需要はあるはず！必要である！
モデルツアーの案件を持ち込んだ際に、温泉協会、介護協会それぞれの反応は？	温泉協会：補助金があるなら 介護協会：反対はないが、積極的な施設、そうではない施設があった。

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

質問	回答
新聞広告からのレスポンスはどうだったか？	新聞広告ではなく地元のフリーペーパーと地域のケアマネジャーからの告知 無料とのことでフリーペーパーからの当事者家族からのレスポンスもあったが、多くはケアマネ経由
モデルツアーの内容はどのように作ったのか？ コンテンツはどのように探したか？	旅館組合にお願いしピックアップした
探したコンテンツからどのように選択したか？	和菓子、森林セラピー、写経、和紙染め物、サイクリング、坐禅
ヘルスツーリズム協会の関わりは？	ガイドスタッフに市役所の職員もいてスムーズで友好的な関係
モデルツアーのプロモーションは新聞広告だけか？	新聞広告ではなく地元のフリーペーパーと地域のケアマネジャーからの告知
他にもアプローチされたか？	していない
モデルツアーに参加した人の中で、介護職の人と一般の人(家族を介護している人)の割合はどうであったか？	5:5 120名募集 全枠埋まったが、コロナの影響でキャンセル多く参加は63名
モデルツアーの参加者の反応はどうだったか？ (アンケート結果を提供していただけませんか？)	アンケートは後日共有してくださる
企業として、モデルツアーの結果をどう評価しているか？	概ね、成功したと考えている
モデルツアーを終えて、企業としてレスパイトツーリズムの将来性をどのように考えているか？	レスパイトの必要性、可能性は感じている。
今後の展開にあたってどんな課題があると考えているか？	費用が発生した時の、集客。事業として成り立たせる必要性
今後は介護を受けている人も一緒に参加してもらおう形も考えているか？	考えている。
コンテンツ内容、安全性 その課題をどうクリアしていけば良いと考えているか？	具体的にはなし

(2)国内のケア・ツーリズム先進地に関する調査

インタビュー【障がい当事者とご家族】

・食事の場所に関して、以前自分たちだけで旅行に行った際には、ショッピングセンターのフードコートしか行くことができなかったが、今回は地元の飲食店に入ることができたことが嬉しかった。
・夕飯に関して、以前の旅行ではその後の介助のことを考えてしまいお酒はほとんど飲めなかったが、今回はプロの介助者がいることで、お酒を控えなくて良かったことが嬉しかった。

インタビュー【障がい当事者と家族】

北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析

各コンテンツや宿泊施設それぞれにおけるバリアフリー化だけでは、旅程全体としてのバリアフリー化にはならない。コンテンツ間に存在する、移動や飲食時体験が旅の価値を増大させるということを考えた時、要素各々のバリアフリー化に期待するのではなく、全行程にアテンドする形でプロの介助者がつくことで、全行程におけるシームレスなバリアフリー化が実現可能である。



(3)中間取りまとめ

**中間報告総括～全体を通じて
北海道におけるケア・ツーリズム受入体制の構築への応用についての分析**

アンケート内で、介護が必要な家族を連れて行く際には、現地での介護サポートが必要との回答があった。介助者によるサポートを得ることで、自身もレスパイト＝癒しを得ることができるという意見である。この点に関しては、今回の視察参加者である妻からのコメントも同様であった。特に、入浴と食事についてその意見が顕著であった。入浴に関して、旅程初日は部屋のユニットバスでの入浴であったが、それは妻の介助で可能であったが、2日目に実施した露天風呂での入浴は、専門職による介助がなければ妻ひとりの介助では到底不可能であった。入浴は、転倒リスクが高い場面であり、本人にとっても不安が大きいものであるが、専門職による介助があるとのことで、本人もトライすることができたとのことであった。

なお、専門職からのコメントでは、1人介助では不安で、2人の介助者がいたから安心できたとのことであり、障がい状況と浴室・浴槽構造とのギャップでそれだけ難易度の高い入浴であった。妻からは、一緒に入ることは無理でも、温泉地に行って自分だけでなく、夫も温泉を楽しめたことはよかったとのコメントを得ている。

食事に関しては、家族だけで旅行をする際には、夫自身または妻による介助で安全に済ませることができるようという意識から、フードコートのような商業施設での食事しかしたことがないとのことであったが、今回は、専門職による介助があったことから町場の居酒屋であっても躊躇なく行くことができたとのことであった。また、過去の家族のみでの旅行では、その後の介助を考えると、お酒は好きで飲んでみたいと思いつつも、一口程度しか飲むことができなかったとのことであったが、今回は入浴同様に専門職の介助があることで、不安なく十分にお酒を楽しむことができたとのことであった。

また、観光地での移動に関しても、今回参加の障がい当事者には、注意障害という高次脳機能障害があり、危険回避に対しての意識が低くなってしまう傾向にあり、小さな子どもを連れての旅行の場合、移動そのものにおいても妻の負担はかなり大きなものとなる。今回も、秋芳洞での移動に関して、専門職としても危険を感じる場面があり介助を要した。ツアーにおいて移動の時間は大きいものであり、その間に必要な注意力は、介助する家族の大きな負担となる。現地での専門職による介助は、その負担を大幅に軽減することで、家族の癒し獲得を促進する。

このように、現地での専門職による介助で、本人はもとより家族の不安と負担を大いに軽減することが可能となり、ツアーによる癒しの獲得を促進できるわけであるが、その一方で、専門職のコメントとして、知らない土地における介助の不安は負担が大きいとの意見があった。ここは重要なポイントであり、インターネットや電話による情報聴取には限界があることから、必ず現場での臨機応変な対応が要求されることになり、その際に現地の状況をリアルに知っているかどうかという点は専門職といえども介助者にかかる負担には大きな差が生まれる。

現地での介助を現地の専門職が行うことで、専門職にかかる負担を軽減し、その分、障がい当事者や家族とのより良いコミュニケーションに当てることができ、それはさらなる癒しの促進につながると考えられる。またそれは、専門職にとってもやりがいの促進となる。

「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

下記の方法で、北海道におけるケア・ツーリズムの新たなニーズについて調査します。

(1)調査目的

「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズ(医療・介護・リハビリ等)を旅行会社にヒアリングし、今後の新たなコンテンツ開発・コース造成や受け入れに係る体系化(関係性構築等)に活用する。

(2)調査方法

対象①

身元保証機関(登録旅行会社)または
身元保証機関(登録医療コーディネーター等)

対象予定: ・ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター(JMHC)
/株式会社JTB
・株式会社南海国際旅行

対象②

①を除く道内/道外旅行会社

*現状で、これらの新しいニーズに対しては、十全な取り組みを行っていない旅行会社についても、ニーズに加え、取り組みへのボトルネック等についてのヒアリングを行う。

対象予定: (道内):コープトラベル、HKワークス
(道外):日本旅行、阪急交通社

(3)調査件数

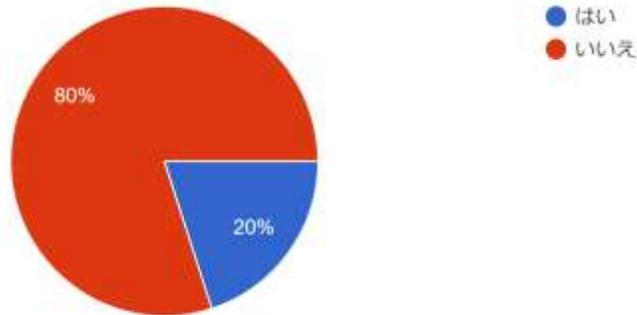
6件 (回答あり5件 未回答1件)

(4)調査内容

- ・ウェルネス・ヘルス・リハビリ・レスパイトツーリズムへの需要(問合せ等)
- ・過去の受注実績(対象・数量・事例等)
- ・受注にあたっての課題
- ・受注のメリット・デメリット
- ・北海道旅行者の目的傾向
- ・既存の道内コンテンツへの意見
- ・今後需要が増加すると思われるコンテンツ・素材
- ・今後新しいニーズの旅行を受け入れるにあたる課題

■ ウェルネス・ツーリズムについてお聞かせください。

Q1. ウェルネス・ツーリズム(健康な方を対象とした、旅先での地域資源に基づいた心身の活動により、健康の増進を図ることができる旅行のこと)をこれまで取り扱った事がありますか？
(5件の回答)



※Q1で「はい」とお答えいただいた方

Q2. 2023年は何件何名程度のお取り扱いがありましたか？その比率をお聞かせください。
【①件数:〇〇件】数字のみ入力してください。

(1件の回答)

●1件

【②人数:〇〇名】数字のみ入力してください。

(1件の回答)

●20名

お取り扱いのうち、日本人・訪日外国人・在住外国人の比率(%)をお聞かせください。

日本人・訪日外国人・在住外国人の合計が100%になるように入力ください。

(1件の回答)

●日本人:100%

Q3. 2023年の取扱案件の目的地はどちらでしたか？(複数回答可)

(1件の回答)

●近畿

Q4. 過去のウェルネス・ツーリズム取扱事例で今後需要が高まるのではと思う事例をお聞かせください。(自由記述)

(1件の回答)

●健康、予防医療

Q5. 過去のウェルネス・ツーリズム取扱の際に感じた課題がありましたら、お聞かせください。特
にない場合は「特になし」とご記入ください。(自由記述)

(1件の回答)

●周知、集客方法、料金設定

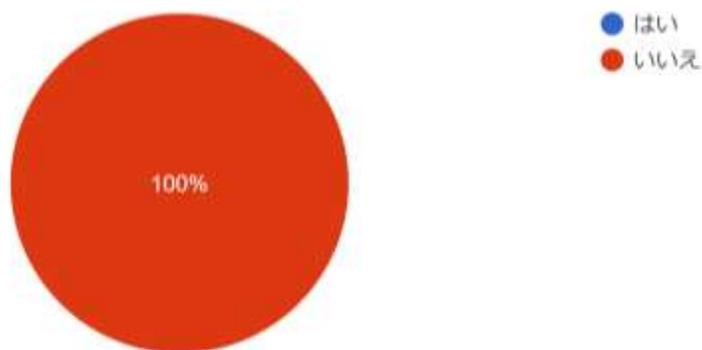
ウェルネス・ツーリズムにおける取扱いは1件・20名、需要が高いのは健康と予防医療だった。
周知や集客方法、料金設定について課題を感じているという結果となった。

■ ウェルネス・ツーリズムについてお聞かせください。

※Q1で「いいえ」とお答えいただいた方

Q6. 成約には至らなかったもののウェルネス・ツーリズムの問合せはありましたか？

(4件の回答)



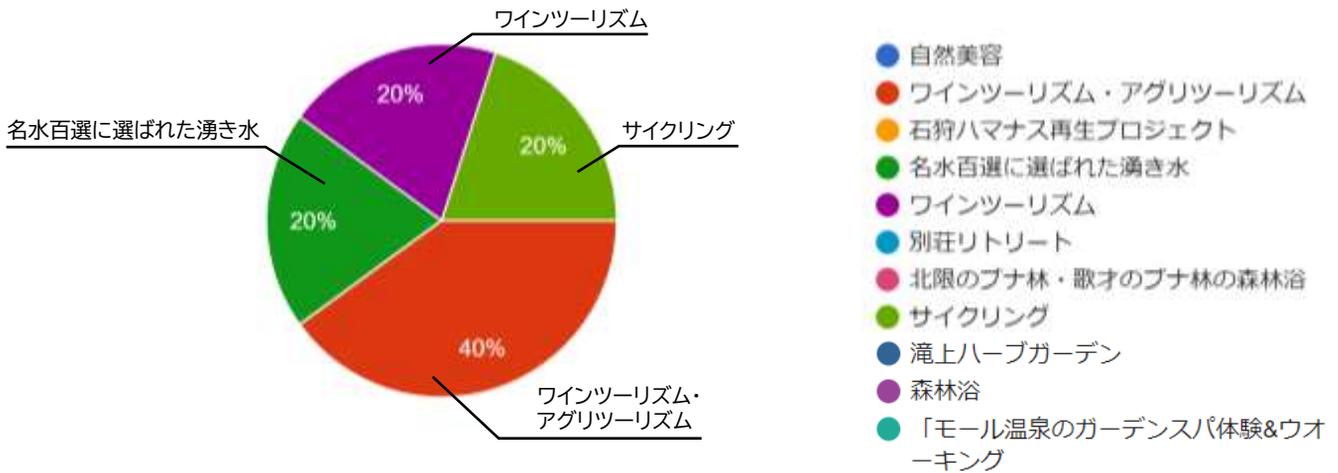
ウェルネス・ツーリズムにおける取扱いがなかったとお答えいただいた4件のうち、問合せは0件という結果だった。

(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

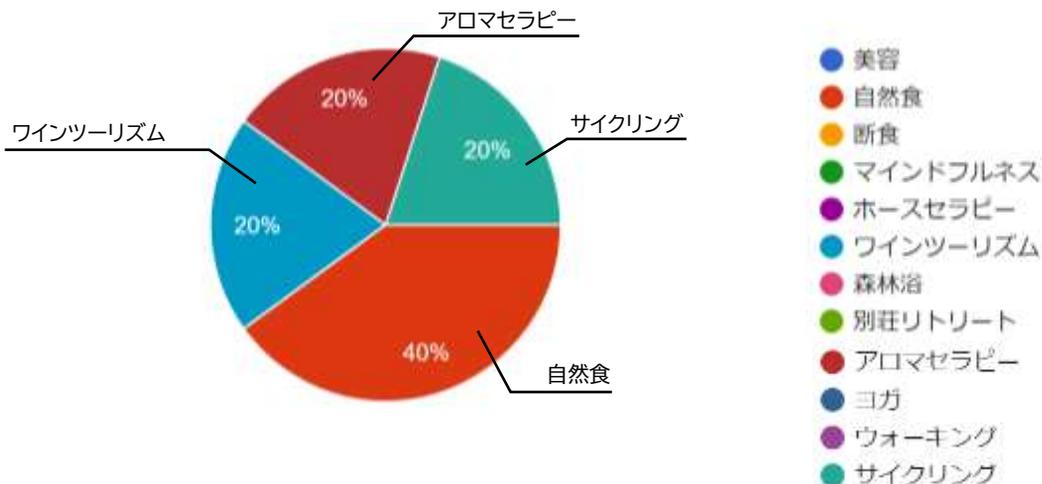
「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■ウェルネス・ツーリズム・需要について

Q10.以下のウェルネス系既存コンテンツの中で最も需要が高いと思うものをご選択ください。
(5件の回答)



Q11.以下のウェルネス系サービス分類で最も需要が高いと思うものをご選択ください。
(5件の回答)



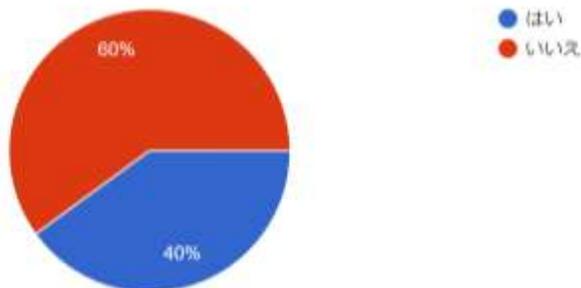
ウェルネス系既存コンテンツではワインツーリズム・アグリツーリズムが最も需要が高い結果だった。またサービス分野では自然食が最も需要が高い結果となった。

(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■ヘルス・ツーリズムについてお聞かせください。

Q12. ヘルス・ツーリズム(健康な方を対象とした、旅先での医学的根拠に基づいた検査や加療により、健康の維持を図ることができる旅行のこと)をこれまで取り扱った事がありますか？

(5件の回答)



※Q12で「はい」とお答えいただいた方

Q13. 2023年は何件何名程度のお取り扱いがありましたか？その比率をお聞かせください。

【①件数:〇〇件】数字のみ入力してください。

(2件の回答)

●200件 ●0件

注)Q12は「これまで」取り扱った事がありますか？という問いであり、Q12の回答は「はい」であっても2023年に取り扱いがない場合、Q13①の回答は0件となります。

【②人数:〇〇名】数字のみ入力してください。

(2件の回答)

●200名 ●0名

注)Q12は「これまで」取り扱った事がありますか？という問いであり、Q12の回答は「はい」であっても2023年に取り扱いがない場合、Q13②の回答は0名となります。

お取り扱いのうち、日本人・訪日外国人・在住外国人の比率(%)をお聞かせください。

日本人・訪日外国人・在住外国人の合計が100%になるように入力ください。

(2件の回答)

●訪日外国人:100%

Q14. 2023年の取扱案件の目的地はどちらでしたか？(複数回答可)

(2件の回答)

●近畿 ●アジア

Q15. 過去のヘルス・ツーリズム取扱事例で今後需要が高まるのではと思う事例をお聞かせください。(自由記述)

(2件の回答)

●健診・付加価値つけた観光

●外国人(インバンド)でのガン検診等の健康診断及び、日本人の透析等を含めた治療しながらの旅行

Q16. 過去のヘルス・ツーリズム取扱の際に感じた課題がありましたら、お聞かせください。特にない場合は「特になし」とご記入ください。(自由記述)

(2件の回答)

●特になし ●外国人へのアテンド体制・人の問題

ヘルス・ツーリズムにおける取扱いは2件・200名、需要が高いのは健診・付加価値をつけた観光、透析を含めた旅行、訪日観光客の検診だった。
外国人のアテンド体制や人の問題について課題を感じているという結果となった。

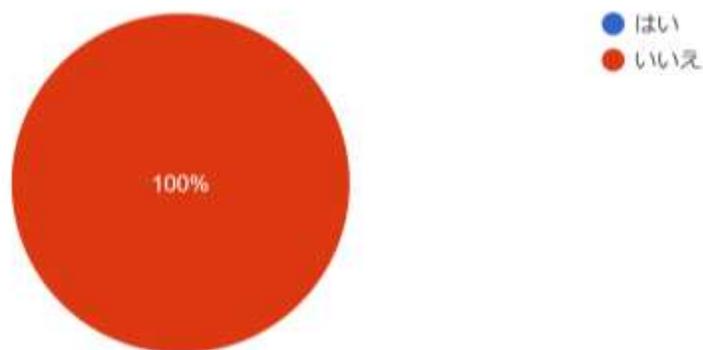
「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■ヘルス・ツーリズムについてお聞かせください。

※Q12で「いいえ」とお答えいただいた方

Q17. 成約には至らなかったもののヘルス・ツーリズムの問合せはありましたか？

(3件の回答)

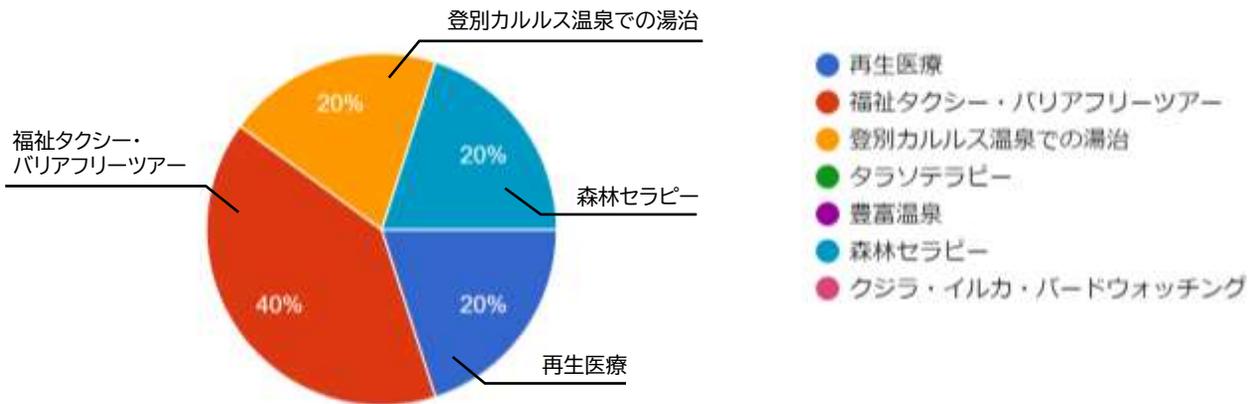


ヘルス・ツーリズムにおける取扱いがなかったとお答えいただいた3件のうち、問合せは0件という結果だった。

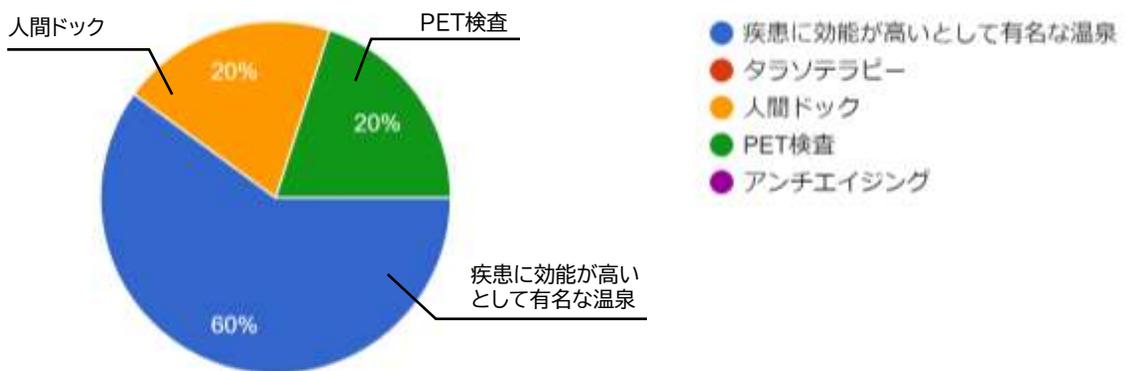
(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■ヘルス・ツーリズム・需要について

Q21.以下のヘルス系既存コンテンツの中で最も需要が高いと思うものをご選択ください。
(5件の回答)



Q22.以下のヘルス系サービス分類で最も需要が高いと思うものをご選択ください。
(5件の回答)

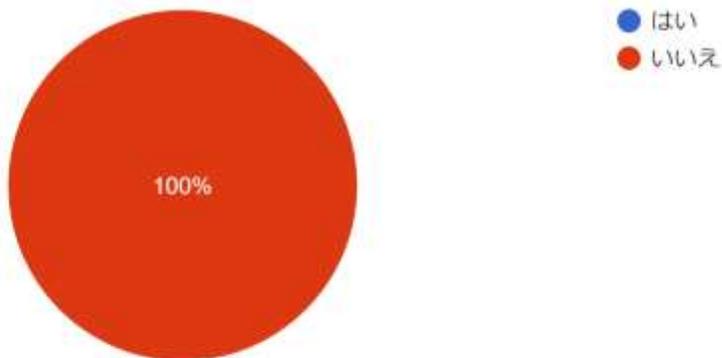


ヘルス系既存コンテンツでは福祉タクシー・バリアフリーツアーが最も需要が高い結果だった。またサービス分野では疾患に効能が高いとして有名な温泉が最も需要が高い結果となった。

■リハビリ・ツーリズムについてお聞かせください。

Q23. リハビリ・ツーリズム(非健康な方とその家族を対象とした、旅先でのリハビリを中心とした医療サポートを受けながら、地域資源を通じた心身の活動を行うことで、人生への活力を得ることができる旅行のこと)をこれまで取り扱った事がありますか？

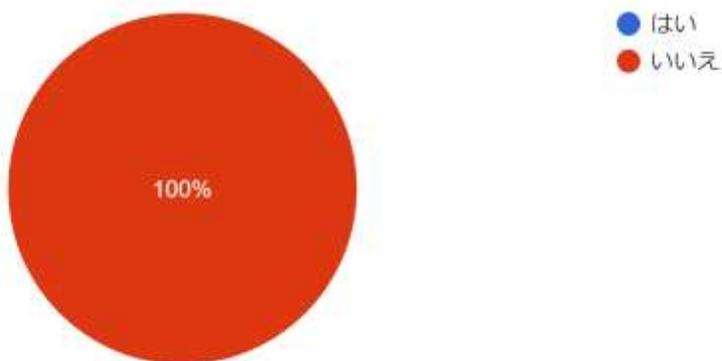
(5件の回答)



※Q23で「いいえ」とお答えいただいた方

Q28. 成約には至らなかったもののリハビリ・ツーリズムの問合せはありましたか？

(5件の回答)



リハビリ・ツーリズムにおける取扱い・問合せは0件であった。

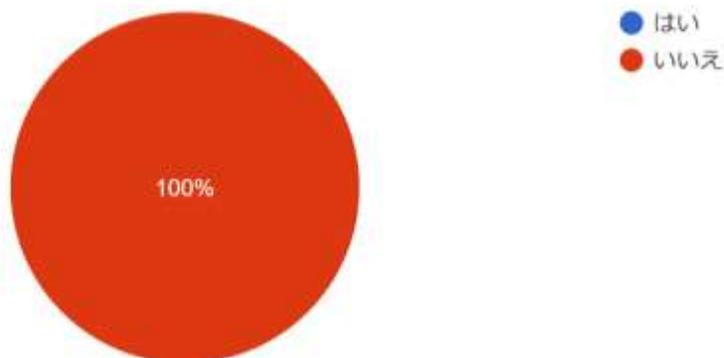
(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■レスパイト・ツーリズムについてお聞かせください。

Q32. レスパイト・ツーリズム(非健康な方とその家族を対象とした、旅先での介護サポートを受けながら、地域資源を通じた心身活動を行うことで、人生における癒しの時間を得ることができる旅行のこと)をこれまで取り扱った事がありますか？

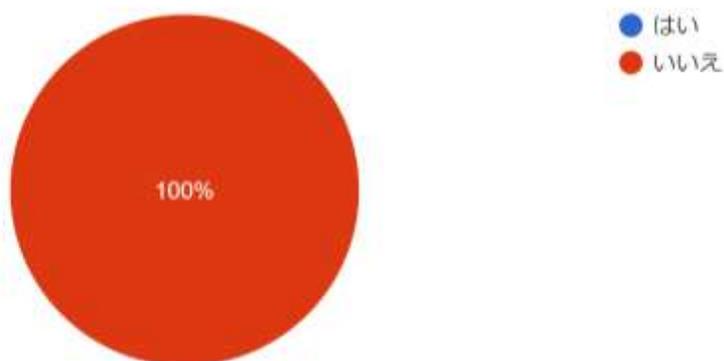
(5件の回答)



※Q32で「いいえ」とお答えいただいた方

Q37. 成約には至らなかったもののリハビリ・ツーリズムの問合せはありましたか？

(5件の回答)



レスパイト・ツーリズムにおける取扱い・問合せは0件であった。

(4)「北海道のケア・ツーリズム」の新たなニーズなどに関する調査

■ ケアツーリズム全般についてお聞かせください。

Q41. 今後このようなケアツーリズムを取り扱う事のメリットとデメリットについてご意見をお聞かせください。【①メリット】

- 今までとは違った旅行や切り口で提案することができる。
- 消費者、自治体等で健康寿命がさらに注目されてくることを考えると取り組むべきだと思えます。
- 【メリット】疾患を持った方と家族が心身共にゆったりと過ごし、家族共有の体験と思い出を持つ事の幸せ
- 新たな顧客層の開拓

Q41. 今後このようなケアツーリズムを取り扱う事のメリットとデメリットについてご意見をお聞かせください。【②デメリット】

- 受入施設の受入基準がバラバラである点。基準を明確化にすることが必要。
- 【デメリット】金銭的、時間的な制約
- 万人が申し込む取組ではない点
- 手配に手間がかかるが、その分の収益を確保することが難しい。

Q42. ケアツーリズムの目的地として、北海道のポテンシャルについてどう思われますか？

- 温泉や食事、観光が豊富の為、ポテンシャルがあると感じる。
- 自然や食などの資源が豊富であり、ケアツーリズムのポテンシャルはあると思えます。
- 高いと思えます
- 温泉なども豊富にあり、北海道でのポテンシャルは高い

Q43. 今後、ケアツーリズムのような新しいニーズの旅行を取り扱うにあたり考える課題についてお聞かせください。

- 前例がない為、手探りで進めていかないといけないことが課題。
- 周知、集客やマネタイズの仕方
- アクシデント発生時の対応

ケアツーリズムのメリットとして、今までとは違った旅行であること、新たな顧客層の開拓ができることなどが挙げられた。
一方でデメリットとして受入施設側の問題や万人が申し込むわけではないため手配の手間や収益確保が難しいことが挙げられた。

北海道のポテンシャルについては温泉・観光・自然などが豊富でポテンシャルは高いという声が多かった。課題として、前例がないこと、周知・集客、アクシデント発生時の対応が挙げられた。

★電話でのインタビュー／株式会社コープトラベル

ユニバーサル・ツーリズムデスクを設け、バリアフリーの旅を、手動車いす(自走式、介護式)・電動車いす・杖等を利用されている方、ゆっくり歩行の方を対象として「誰もが、いつでも、安心」して楽しめる旅をコンセプトに造成・販売している。
事前にアンケートを取り、必要であれば対面での打合せも実施している。

○実施内容:

車いすリスト付バス利用、添乗員付き、最少催行人員10名、募集人員は15～25名、静岡県(河津桜と伊豆花旅)3日間、沖縄県4日間、台北4日間等を造成している。バリアフリールーム(ユニバーサルルーム)については、沖縄を除き確約ではなく、問合せベースでの対応としている。一部ツアーには看護師同行であるが看護師同行が主流ではない。

参加者へは事前にアンケートを取り、希望者には対面での打合せも実施。添乗員が全員の状況を常に確認しながら、不自由が発生しないように配慮して行程を進めている。添乗員が時に車いすを押す場面等もある。

参加者から希望があれば、車いすを押すサポートスタッフを旅先で有料手配することもある。東京、大阪、京都、名古屋、福岡等の都市圏であれば、NPO法人等がサポートサービスを行っており、手配に不自由は感じていない。

○集客・催行状況:

コロナ前は年に3本程度催行あり。歩行がゆっくりなご年配者と車いす利用者混合の形で最少催行人員の10名以上集客できていた。コロナ後は、2023年春より募集を再開しているが、車いす利用者からの問合せはあるものの、ご年配者からの問合せはなく、最少催行人員に満たず催行できていない。仕入価格高騰によりツアーも値上げされているため、バリアフリー対応が不可欠な車いす利用者に需要が偏っているのかもしれない。

○課題:

・バリアフリールーム(ユニバーサルルーム)確約のツアーを造成したいが、多くの宿泊施設はバリアフリールーム(ユニバーサルルーム)自体あるものの、1部屋または2部屋しかなく、予め仕入をして確約する事ができないため、ツアー造成自体が困難である。少なくとも3～5部屋は必要である。

・障がいをお持ちもしくは歩行困難なご年配者は、周囲への迷惑を懸念して、なかなか団体旅行への申し込みを躊躇する傾向があり、このまま団体で実施する方向性がよいのか検討中ではある。ただ、個人の手配となると、手配へかかる労力に対して販売額が少ない点は課題としてある。社会的意義があると考え手配は行っている状況ではある。

○インバウンドへの取り組みについて:

インバウンドの場合、webホテル予約サイトを利用する。webホテル予約サイトの方が人が介在しないため価格も安い。また詳細な確認事項等は直接ホテルへ連絡する可能性が高い。アウトバウンドでは膝を付け合わせて旅行中の不安を解消するような対応も可能であるが、インバウンドの場合、受入側現地で細かな問合せを受けるという事はなかなか考えられないのではと思う。

★電話でのインタビュー／株式会社コープトラベル

(事例紹介)コープトラベルのバリアフリー旅

<https://coop-travel.jp/barrierfree/>



コープトラベルのバリアフリー旅

ユニバーサル・ツーリズムデスク

ご高齢や障がい等の有無に関わらず
「誰もが、いつでも、安心」して
楽しめる旅をご案内します。

コープトラベル ユニバーサル・ツーリズムデスク

お電話 011-851-7411 / FAX 011-851-7455

営業日 月～金曜(祝日を除く) 営業時間 (注)09～18:00(申込受付は14:00まで) 定休日 土・日曜日、祝日

事前来店予約(ご来店希望の場合)はこちらから

バリアフリーのゆったり旅では

「ゆっくり歩行」「杖歩行」「車いす」での旅を楽しめます。長い歩行、団体での歩行に不安を感じられる方、車いすや杖を利用されている方が「安心して、ゆったり」と「旅」をお楽しみいただける旅行です。



リフト付きバスで快適な旅をお楽しみいただけます。



添乗員・スタッフがみなさまの旅をサポートします。



みなさまの思い出に残る旅を企画・サポートします。

★電話でのインタビュー／株式会社コープトラベル

(事例紹介)【バリアフリー/ゆったり旅】新千歳発★早春の河津桜と伊豆花旅
★リフト付きバス確約★【3日間】

<https://coop-travel.jp/kokunai/j2u003/>

ツアーコード：J2U003

誰もが、いつでも、安心して楽しめる新千歳発のコープトラベルのケアツアー。安心のリフト付きバス確約コースです。

【バリアフリー/ゆったり旅】新千歳発★早春の河津桜
と伊豆花旅★リフト付きバス確約★【3日間】

- オンライン予約
- バリアフリーツアー
- ゆったり旅
- 観光ツアー
- 春の季節
- 企業旅行
- 車いすリフト付きバス確約
- 食事付き

基本料金 188,000円～220,000円

観望期間 2024/02/21～2024/02/21

出発地 新千歳空港

目的地 伊豆、熱海

空席確保・予約



ポイント

誰もが、いつでも、安心して楽しめる新

バリアフリー/ゆったり旅

「ゆっくり歩行」「杖歩行」「車いす」での旅をお楽しみいただく。バリアフリーのバスツアー。長い歩行、団体での歩行に不安を感じられる方、車いすや杖を利用されている方が、「安心して、ゆったり」と「旅」をお楽しみいただける。コープトラベルの新しい旅のブランドです。

ポイント

- リフト付きの大型観光バスを利用【確約】し、車いすご利用のまま乗降いただけます。
- 春運師が同行いたします。

ツアーの見どころ

早咲きの桜として有名な伊豆「河津桜」をはじめ、一足早い春を満喫する充実の旅。一面をピンクに染める桜や大地いっぱいの菜の花など、春の景色を満喫いただけます。宿泊も青い海が目前のビーチリゾートに、熱海温泉の人気旅館を指定。ゆったりとお楽しみいただけるコースとなっております。

南伊豆 河津桜と菜の花の風景

2月後半は河津川（河津町）をピンクに染める華やかな桜並木をはじめ、8000本の河津桜が町いっぱいに咲き誇ります。2024年で34回目の開催となる「河津桜まつり」は、100万人を超える来場者が訪れ、早い春を色ける伊豆の一大観光イベントとなっております。

OFFICIAL WEB SITE



★電話でのインタビュー／株式会社南海国際旅行

2010年より医療ツーリズムに参入、旅行会社としての国際的なネットワークを活用し、訪日外国人が日本の高度な医療機関で健診や治療を受けるための予約手続から、健診・治療代金の代理受領、医療通訳、翻訳の手配や医療滞在ビザの身元保証などワンストップで行っている。

○実施内容:

主に中国から健診・治療目的での渡航の受入を行っている。割合としては健診6:治療4。

主に日本にある中国系旅行会社等より送客を受けている。

一部、海外の旅行会社からの直接送客もある。

自社に医療通訳士の資格を持つ中国人スタッフが数名おり、顧客および医療機関とのやり取りを行っている。特に治療渡航の際には、診療情報書と関連データを顧客より入手し、中国語から日本語へ翻訳して医療機関へ提供している。

受け入れ先病院は大阪にある病院のみであり、健診は1医療機関、治療は複数の医療機関と連携している。健診受入の医療機関には中国人スタッフを1名常駐させて対応にあたっている。

○集客・催行状況:

コロナ前は年間600名程度の取扱いがあるが、2023年は200名と、コロナ前の3分の1程度であった。2024年に大阪駅に新しい医療機関が開設される予定であり、健診待機用の個室を完備し、1日に20名程度の受入が可能な機関であることから、2024年は集客を伸ばしていく意向。

○課題:

・中国1カ国からの送客となっているが、中国の景気が悪化している、あるいは中国にも最新の健診施設が出来てきている等の状況もある。また政情不安等も含めリスク分散のためにも複数国からの受入展開を図りたい。

・自社に医療従事者はいないため、特に治療の受入については確認事項や翻訳事項が多く、受入までのやり取りに時間を要する。最終的に金額提示をした時点で取り止められる事もある等、労力がかかってしまう事が課題である。

○北海道のポテンシャルについて:

中国人にとって北海道は大変ブランド力がある。

自然、食、温泉はもちろん魅力的な素材ではあるが、日本の他地域にもある。

北海道はその存在自体がブランドとして成り立つのではないか。

★電話でのインタビュー／株式会社南海国際旅行

メディカルツーリズム

<https://nankai-travel.com/medical>



メディカルツーリズムとは

南海国際旅行は2010年より医療ツーリズムに参入いたしました。

旅行会社としての国際的なネットワークを活用し、訪日外国人が日本の高度な医療機関で健診や治療を受けるための予約手続から、健診・治療代金の代理受領、医療通訳、翻訳の手配や医療滞在ビザの身元保証などワンストップで行います。

(医療査証身元保証機関 登録番号：A-004)

当社の主な業務



訪日外国人受診者・患者の受入サポート
医療機関との調整、予約



※セカンドオピニオン（オンライン含む）



医療通訳、医療翻訳手配



医療滞在査証の身元保証



費用の決済代行
医療機関様へのお支払いを受診者・患者に代わ
ってお支払い



宿泊、交通、食事等の手配

[詳しくはこちら](#) >

※セカンドオピニオンとは、患者様が納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めます。（東京都福祉保健局より）

★電話でのインタビュー／株式会社南海国際旅行

メディカルツーリズム

<https://nankai-travel.com/medical>

その他のサービス

- ▶ 企業様向けインフルエンザ集団ワクチン接種
- ▶ 看護師付き添い旅行のご提案
- ▶ ドライバース向け脳ドック検査

など



主な顧客層

健診

- 1 個人（早期予防の意識高いお客様）
- 2 家族・友人団体（旅行と健診をセット）
- 3 銀行・保険会社の重要なお客様及びお得意先様
- 4 貿易会社・不動産会社などの重要なお客様及びお得意先様
- 5 企業社員向け定期健診

治療

- 1 自国内の病院や医師により治療方法が異なるので、悔いのない治療方法を探している
- 2 日本の最先端の治療を受けたい

提携病院

徳洲会グループ

吹田徳洲会病院

大阪府



吹田徳洲会病院は、新大阪駅や伊丹空港に近いという立地条件の下、2014年に開設した医療の国際化に積極的な取り組みを目指す病院です。外国人患者受け入れ体制として国際医療支援室には英語、中国語及び韓国語の対応が可能な担当者を配置、また外国人専用のVIPルーム等完備しており、迅速で質の高いサービスを提供しています。

対応可能項目 治療 健診 セカンドオピニオン（オンライン可）

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての調査

下記の方法で、北海道におけるケア・ツーリズムのインバウンド受け入れ体制について調査します。

- ・アジア圏(特に中国本土)においてメディカル・ツーリズムに対する一定のニーズがあるとの仮説に基づき実施する。
- ・インバウンド対象のケア・ツーリズム推進にあたり課題や隘路なども含め調査結果について分析する。

(1)調査対象および手法

調査は以下4つのカテゴリーにおいて実施することで、今後の受入体制・関係構築の基盤とする。

対象① 北海道医師会および他都市医師会
方法: 電話でのヒアリング実施

対象② 自費診療クリニック
方法: Web等でのアンケート実施

対象③ ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック
方法: Web等でのアンケート実施

対象④ 診療として外国人対応可能な病院
方法: Web等でのアンケート実施

(2)調査件数

回答10件以上 ※発信は次ページ以降のリスト化された機関全てに対して行う。

(3)調査内容

インバウンドを対象にしたケア・ツーリズムの受入体制の現状や受入意思の有無などについてヒアリングする。

- ・ 検査や医療を目的としたインバウンドを受け入れている医療施設及び渡航支援事業者の有無
- ・ 受診者の人数・国籍
- ・ 受診者の目的(検査・医療など)
- ・ 先進医療の提供の有無
- ・ 受診者と合わせた観光の有無
- ・ 検査や医療を目的としたインバウンドに関する受入意思の有無 等

調査対象

対象① 北海道医師会および他都市医師会

2011年 日本医師会「各都道府県における医療ツーリズムの動向」についての調査概要をベースに現在の医師会のスタンスを新規ヒアリングできないか検討、対象は、道医師会と都市医師会。

医師会名

北海道医師会

札幌市医師会

釧路市医師会

函館市医師会

帯広市医師会

富良野医師会

室蘭市医師会

小樽市医師会

旭川市医師会

滝川市医師会

都市
医師会

苫小牧市医師会

日高医師会

岩見沢市医師会

北見医師会

江別医師会

上川北部医師会

留萌医師会

美幌医師会

余市医師会

渡島医師会

美唄市医師会

石狩医師会

医師会調査 ～北海道医師会および都市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

2010年6月9日 日本医師会 定例記者会見
国民皆保険の崩壊につながりかねない最近の諸問題について
～混合診療の全面解禁と医療ツーリズム～

(発表資料からの抜粋)

日本医師会は、営利企業が関与する組織的な医療ツーリズムには反対である。 営利企業は、診療報酬に縛られず、自由価格の医療市場が拡大することを期待する。医療の質が担保できなくなるだけでなく、混合診療の全面解禁が後押しされ、公的医療保険の保険給付範囲を縮小させるおそれがある。

医療ツーリズムで日本を訪れる富裕層の外国人は、全額自己負担で診療を受け、現金やカードで支払う。医療機関からすれば、レセプトの請求をする必要がなく、かつ現金収入にもなる。診療報酬上の点数よりもはるかに高い金額を設定することもあるだろう。そして、全額自己負担で、高い診療費を支払う外国人患者は優先的に扱われることになる。

現在、医療ツーリズムの外国人患者を受け入れたいとしている医療機関は、PETやMRIなどによる健診(自費で行なう場合は健診)が空いているところかもしれない。しかし、それらの医療機関が、外国人患者に対して自由価格を設定して収益をあげ、経営状況が好転するようになれば、最新の画像診断機器を装備した近隣の医療機関も、それにならうことは容易に想定できる。そうすると、画像診断などの公的医療保険診療による検診(公的医療保険で給付される場合は検診)が混んでいる医療機関も外国人患者の受け入れを始めるだろう。そして、保険診療で受診している多くの日本人の患者は、これまでよりも後回しにされる。

そうすると、「全額自己負担でもいいから、優先的に検査、治療をしてほしい」という日本人患者が出てくることになり、全額自己負担できない日本人との格差が生じる。また、すでに病気で通院中の、ある程度の高所得者は、検査については全額自己負担するので優先的に受けたいと思うようになる。このことが混合診療の全面解禁を後押しすることになるだろう。

すると、最新の医療機器による診断を公的医療保険に組み入れるインセンティブが働きにくくなる。そのほうが医療費、特に公費支出が抑制されるからである。その結果、多くの患者は最新設備の整った日本にいながら、適切な検診を受けられないという事態になる。

さらに、日本人および外国人患者を自由価格のみで診療するようになった医療機関は、診療報酬とは関係がなくなる。これらの医療機関は診療報酬を引き上げる動きに同調する必要がないので、公的医療保険を拡充しようという動きが全体的に弱まり、診療報酬はますます抑制される。

その結果、都市部などで、外国人患者や富裕層の日本人患者が見込める地域と、そうではない地方との格差が拡大する。地方の医療機関では、診療報酬が伸びない中で苦戦を強いられ、最悪の場合には、地域医療が完全に崩壊する。もちろん、現在、個別に外国人患者を受け入れている医療機関、医師がそうであるように、医療ツーリズムを受け入れる多くの医療機関は、健診や治療に良心的な価格で対応すると考えられる。しかし、ここに、株主への配当を至上命令とする株式会社が関係してくれば、どうしても経営効率を重視せざるを得なくなる。

医師会調査 ～北海道医師会および都市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

2011年1月26日 日本医師会 定例記者会見
各都道府県における医療ツーリズムの動向

(発表資料より抜粋)

各都道府県における医療ツーリズムの動向調査

1. 調査の目的

2010年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」では、国際医療交流の一環として、2012年から外国人患者を本格的に受け入れることが示された。また、これを受けて、厚生労働省が来年度予算の概算要求に、外国人患者の受入に資する医療機関の認証制度の整備を掲げるなど、いわゆる「医療ツーリズム」へむけての動きが急を告げている。そこで、各地域における医療ツーリズムへの取り組みをあらためて把握することにした。

2. 調査対象

47都道府県医師会

3. 調査項目

各都道府県医師会に対し、以下の内容について所定の用紙に回答してもらった。

(1)各都道府県における医療ツーリズムに関する動向

・検討および実施主体(行政、民間病院グループなど)

・進捗状況

・各都道府県医師会との関係

・目標および実現可能性

(2)医療ツーリズムに対する都道府県医師会のコメント

4. 調査期間

2010年11月～12月

医師会調査 ～北海道医師会および都市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

2011年1月26日 日本医師会 定例記者会見
各都道府県における医療ツーリズムの動向

(発表資料より抜粋)

医師会		内容
北海道	動向	<p><北海道> 平成22年度第1回北海道経済政策戦略会議会議録1には、医療ツーリズムについて触れているが、保健福祉部も問題視しておらず、11月末現在、北海道定例議会において質問は出ていない。</p> <p><札幌市> ・「医療法人医仁会中村記念病院」が全日本病院協会の「国際医療サービス推進コンソーシアム」の参加施設となっている。 ・医療ツーリズムの受け入れ体制が整いつつあると名前が出ている医療機関があるが、自院のホームページ等で広告はしていない。</p> <p><その他地方都市> 旭川市で経済界を中心に、経済活性化手段として導入したいという動きがあるが、セミナー開催程度で、具体化はしていない。</p>
	コメント	<p>国が推し進める「医療ツーリズム」に対しては、当会も早い段階から危機感を持ち、日本医師会と同様に「反対」の姿勢で臨んできている。 広大な本道においては、札幌市をはじめとする都市と地方との経済格差、医療格差が著しい。同様に、医療機関も、安定した経営が可能である都市部の大病院と、赤字経営を余儀なくされている地方の医療機関に二分されている。</p> <p>外国人や日本人の富裕層をターゲットに展開する医療ツーリズムが進展すれば、患者も医療機関も経済力のあるものがさらに強くなる図式となり、医療の公平性が失われ、最終的には国民皆保険制度の崩壊につながる。</p> <p>当会は、2010年11月13日(土)に、民主党北海道総支部連合会に、9分野18項目からなる「医療政策等に関する要望」を提示し、荒井聡代表をはじめ、北海道選出の衆・参議員と懇談した。</p> <p>その要望書の中でも「医療ツーリズム 国は医療を成長産業と捉え、外国人富裕層をターゲットとした健診と観光を合わせた医療ツーリズムを推進している。しかし、この医療ツーリズムには営利企業が関与しているケースが多く、自由に価格を設定するため、診療報酬よりも高額となるが、外国人ばかりでなく希望すれば日本人も全額自己負担による検査・診療が可能となり、優先的に受診できることになる。その結果として、高額所得者の全額自己負担による混合診療が加速し、公的医療費が縮小され、所得によって受けられる医療に格差が生じる。医療ツーリズムの推進により、医療機関格差や地域間格差がさらに助長されることがないよう要望する。」と、強く求めている。</p> <p>これより先の、2010年10月15日(金)には、自由民主党北海道支部連合会にも同様の要望を提出している。日本医師会は、われわれの先頭に立って、医療・社会保障分野を経済戦略の先兵にしないよう、しっかりと国に進言していただきたい。</p>

医師会調査 ～北海道医師会および都市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

【回答のまとめ】

医師会名	電話ヒアリング可否	2010年から現在までの間に医療ツーリズムに関する動きがあったか	医療ツーリズムに対する2010年とのスタンスの変化
北海道医師会	○	なし	なし
札幌市医師会	○	なし	なし
釧路市医師会	○	なし	なし
函館市医師会	○	なし	なし
帯広市医師会	○	なし	なし
富良野医師会	×	-	-
室蘭市医師会	○	なし	なし
小樽市医師会	○	なし	なし
旭川市医師会	○	なし	なし
滝川市医師会	×	-	-
都市医師会	苫小牧市医師会	×	-
	日高医師会	○	なし
	岩見沢市医師会	×	-
	北見医師会	○	なし
	江別医師会	×	-
	上川北部医師会	○	なし
	留萌医師会	○	なし
	美幌医師会	○	なし
	余市医師会	×	-
	渡島医師会	○	なし
美唄市医師会	○	なし	
石狩医師会	○	なし	

北海道医師会ならびに、ヒアリング可能であったすべての都市医師会で、2010年から現在までの間に、海外からの医療ツーリズムに関する動きはないとの回答であった。結果としてすべての医師会で海外からの医療ツーリズムに対してのスタンスも2010年と変化はない結果であった。つまり、海外からの医療ツーリズムに対する北海道の医師会のスタンスは、現在も「反対」の立場であると考えられる。

医師会調査 ～北海道医師会および都市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

【外国語対応に関して】

- ・北海道医師会は、病院における多言語対応に関しては、日本医師会が提供している通訳サービス(下記)を各都市医師会へ紹介し、各都市医師会は、同サービスを会員へ紹介している。
- ・医師会から会員へ、上記通訳サービスの情報提供以上の支援、例えば通訳の斡旋などを行っている都市医師会はなかった。
- ・いずれの都市医師会も、外国人患者への対応は個々の会員の自主対応としていたが、会員から他言語対応で困ったという事案が医師会まで上がってきたことがあると回答した都市医師会はなかった。
- ・技能実習生への企業健診のような場合、雇い主である企業が通訳を派遣するケースが多いとの回答が多くみられた。
- ・行政からの通訳派遣がある場合もあるが、技能実習生への企業健診で旅行者にまで対応する余裕がない模様との回答があった。

MEDI PHONE

日本医師会医師賠償責任保険
医療通訳サービス

申し込みフォームへ

上記ボタンから申し込みフォームに遷移します。



電話医療通訳

対応言語：19言語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・タイ語・ロシア語・タガログ語・フランス語・ヒンディー語・モンゴル語・ネパール語・インドネシア語・ベルシャ語・ミャンマー語・広東語・アラビア語・ウクライナ語）

対応時間：毎日8:30～24:00

※IC、ムンテラにも対応

※ウクライナから避難された患者やその家族における電話医療通訳については対象言語に関わらず、年間20回の回数制限を除外して対応

機械通訳

対応言語：18言語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・タイ語・ロシア語・タガログ語・フランス語・ヒンディー語・モンゴル語・ネパール語・インドネシア語・ベルシャ語・ミャンマー語・広東語・アラビア語）

対応時間：毎日24時間

※ウクライナ語は対象外

医師会調査 ～北海道医師会および郡市医師会～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについて分析

【郡市医師会のその他の回答に関して】

- ・ 医療資源が限られており、さらに少なくなっている地域であり、海外からの旅行者にまで対応することは難しい。(北見医師会)
- ・ 海外からの旅行者への対応として課題となるのは、言語の問題の他に、保険の問題がある。未収金が発生した場合の対応はどうするのか。(北見医師会)
- ・ 地域医療を維持するだけで精一杯であり、海外からの旅行者に向けた余裕はない。(日高医師会)
- ・ 当医師会にはないが、独自に健診センターを持っている医師会ならば将来的に海外からの医療ツーリズムを受け入れる可能性はあるのではないか。(釧路市医師会)
- ・ 医師会の運営している夜間・急患センターでは、タブレットを用いて多言語対応している。(小樽市医師会)

【医師会へのヒアリングのまとめ】

「医療ツーリズムは、価格を自由に設定できる自由診療であり、日本人を含め、全額自己負担できる者が優先的に受診できることになる。医療ツーリズムの推進の結果として、高額所得者の全額自己負担による混合診療が加速し、所得によって受けられる医療に格差が生じる。また、医療機関格差や地域間格差がさらに助長される。」との考えから、医師会は、医療ツーリズムに対して「反対」の立場を維持している。この立場は、北海道医師会のみならず各郡市医師会も共通していると考えてよいだろう。

ゆえに、インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受け入れ体制の構築にあたって、医師会の協力を得ることは全道において困難であると考えられる。同受け入れ体制の構築に当たっては、医療ツーリズムに対して意欲的な病院・クリニックに対して、個別にアプローチし協同することから開始する以外に手はないと考えられる。

調査対象

対象② 自費診療クリニック

施設名	所在地
自由診療クリニックゴールデンゲートクリニック	札幌市
北海道がんセンター（札幌）がん遺伝子外来	札幌市
白いあさがお皮ふ科スキンケアクリニック	札幌市
白石ガーデンプレイス皮膚科クリニック	札幌市
あさの皮フ科クリニック	札幌市、釧路市
満岡内科・循環器クリニック（帯広）ED, アンチエンジング	帯広市
さところ皮膚科・美容クリニック	札幌市
形成外科・美容外科SSCクリニック	札幌市
札幌いそべ頭痛・もの忘れクリニック	札幌市
Miraclinic（札幌）幹細胞培養上清液治療	札幌市
札幌中央形成外科	札幌市
かねた皮膚科クリニック	札幌市、旭川市
アルバアレルギークリニック	札幌市

対象③ ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック

施設名	所在地	内容
札幌整形循環器病院	札幌市	心臓CTによる「心臓病検診」と、血液採取による「がん検査」「生活習慣病検査」と動脈硬化測定器による「動脈硬化検査」が可能です。
札幌南3条病院	札幌市	PET、MRI、マルチスライスCTなどを導入し非常に充実した画像診断部門と、20年以上の積み重ねて参りました肺がんの手術・化学療法の治療実績を合わせ、診断、治療、臨床研究すべてを組み合わせた最善の医療を提供できる体制です。
LSI札幌クリニック	札幌市	PET-CT癌検査、脳MRI、脳MRA造影検査、超音波検査の専門病院です。
大橋眼科	札幌市	大橋院長は白内障手術のエキスパートであり(昨年800件、札幌市内実績NO1)、手術は、患者さんの家族が外から見学できるようなシステムをとっています。
北斗病院	帯広市	PETCTを中心とした癌の健康診断をはじめ、心臓・脳の健康診断も展開しております。治療は、アジアで初めて導入した放射線治療器「TomoTherapy」や「免疫細胞」を使用した癌治療を提供。
北海道大学病院(国際医療部)	札幌市	北海道札幌市にある北海道大学医学部・歯学部附属の大学病院です。陽子線治療の受入も可能です。
小樽市立病院	小樽市	小樽市が経営している医療機関です。全国的にも公立病院の健康診断受入施設は希少です
札幌東徳洲会病院	札幌市	札幌でいち早く外国人患者受入れに取り組んできたのが札幌東徳洲会病院である。同病院は2013年に通訳が常駐する国際医療支援室を開設し、英語、ロシア語、中国語、韓国語、スペイン語など10カ国語で、外国人旅行者の急患はもちろん、治療や健康診断を目的に日本を訪れるメディカルツーリズムにも対応する体制を整えた。
旭川北彩都病院	旭川市	旅行透析。現在は受け入れないがコロナ前は海外からの受け入れ実績あり。
旭川吉田病院	旭川市	コロナ前は積極的に外国人向け検診ツアーを行っていた。現在は休止。

調査対象

対象④ 診療として外国人対応可能な病院 *デスクリサーチ結果によるリストアップ

日本政府観光局(JNTO)による外国人患者対応可能な医療機関一覧（北海道）

施設名	所在地
医療法人 雄心会函館新都市病院	函館市
市立函館病院	函館市
医療法人 徳洲会札幌東徳洲会病院	札幌市
社会医療法人 孝仁会北海道大野記念病院	札幌市
JA北海道 厚生連倶知安厚生病院	倶知安町
旭川赤十字病院	旭川市
整形外科進藤病院	旭川市
社会医療法人 北斗北斗病院	帯広市
市立釧路総合病院	釧路市
函館五稜郭病院	函館市
木古内町 国民健康保険病院	木古内町
医療法人 秀真会藤岡眼科	函館市
医療法人社団 函西会こにし内科・心臓血管クリニック	函館市
医療法人 徳洲会札幌徳洲会病院	札幌市
医療法人 札幌円山整形外科病院	札幌市
社会医療法人 秀眸会大塚眼科病院	札幌市
北星病院	千歳市
医療法人 孝佑会大通じんぼ皮膚科	札幌市
医療法人社団 片山内科胃腸科医院	江別市
医療法人 社団真愛会札幌ファミリークリニック	札幌市
医療法人社団 山口整形外科クリニック	札幌市
社会福祉法人 北海道社会事業協会 小樽病院	小樽市
社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 北海道済生会小樽病院	小樽市
医療法人社団 太田整形外科医院	小樽市
ニセコインターナショナルクリニック	倶知安町
独立行政法人 労働者健康安全機構 北海道中央労災病院	岩見沢市
社会福祉法人 北海道社会事業協会 洞爺病院	洞爺湖町
苫小牧市立病院	苫小牧市
王子総合病院	苫小牧市
勤医協苫小牧病院	苫小牧市
医療法人 徳洲会日高徳洲会病院	新ひだか町
中村脳神経内科 クリニック	新ひだか町
医療法人社団 佐藤眼科	新ひだか町
旭川医科大学病院	旭川市
医療法人 臨生会吉田病院	名寄市
士別市立病院	士別市

医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

回答医療機関数 4件

旭川市

医療法人社団慶友会 吉田病院

(対象③:ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック)

札幌市

LSI札幌クリニック

(対象③:ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック)

倶知安町

JA北海道厚生連 倶知安厚生病院

(対象④:診療として外国人対応可能な病院)

札幌市

札幌東徳洲会病院 国際医療支援室

(対象③:ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック)

医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

Q1.

検査や医療を目的としたインバウンド（訪日外国人...受診をこれまで受け入れたことがありますか？

4件の回答



Q2. 2023年は何名程度の受診がありましたか？

- JA北海道厚生連 倶知安厚生病院
709名（令和4年度）
- 札幌東徳洲会病院
630名
- LSI札幌クリニック
15名
- 医療法人社団慶友会 吉田病院
0名

医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

Q3. 受診者の国籍の内訳を教えてください。

- LSI札幌クリニック
中国人 15名
- JA北海道厚生連 倶知安厚生病院
オーストラリア 167名 香港 83名
アメリカ 75名 中国 50名
シンガポール 49名 イギリス 36名
台湾 34名 タイ 22名
カナダ 21名 マレーシア 15名 他国籍不明
- 札幌東徳洲会病院
中国人、アメリカ人、タイ人、インドネシア人
台湾人、シンガポール人、香港人等多種多様
- 医療法人社団慶友会 吉田病院
なし

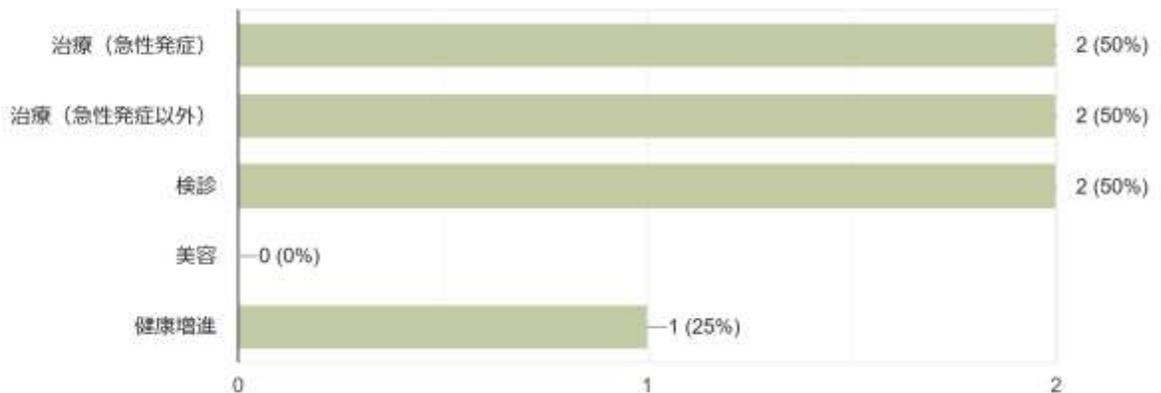
医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

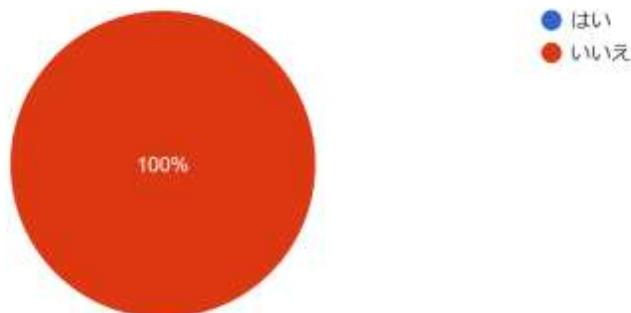
Q4. 受診者の目的をお聞かせ下さい。（複数回答可）

4件の回答



Q5. 受診者に先進医療を提供したことがありますか？

4件の回答



医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

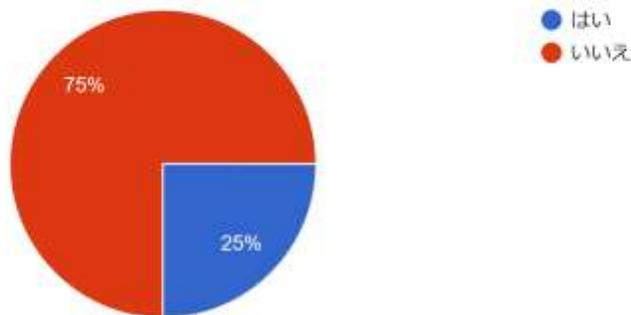
インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

Q7.

受診者を受け入れる際、診療以外に、受診者の要望...や宿泊を案内（手配）したことがありますか？

4件の回答



Q8. どのような案内(手配)をされましたか？

- 札幌東徳洲会病院
急遽、入院となった場合の家族の宿泊先手配

医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【調査結果のまとめ】

Q9.

今後、検査や医療を目的としたインバウンド（訪日...行客）の受入を行っていきたいと思いますか？

4件の回答



Q.10 今後、受入を行うにあたり、障壁や課題がありましたら、お聞かせ下さい。

- 医療法人社団慶友会 吉田病院
有効な仲介者がいない
- JA北海道厚生連 倶知安厚生病院
通訳者の通年確保 未収金
- 札幌東徳洲会病院
特になし
- LSI札幌クリニック
特になし

医療機関調査 ～自費診療クリニック、ケア・ツーリズムを実施している・していた病院・クリニック、診療として外国人対応可能な病院～

インバウンドを対象とした「北海道のケア・ツーリズム」の受入体制などについての分析

【個別医療機関へのアンケートのまとめ】

4つの医療機関に対して1000名を超えるインバウンドが受診しているが、その中で先進医療が提供されたインバウンドはいなかった。また、受診者の目的として、健診や健康増進との回答が、約42%を占めている。このことから、医療を目的としたインバウンド客は、必ずしも先進医療を求めて訪れているわけではないと言える。このことは、日本人に対して従来行われている健診サービスが持つインバウンドへの訴求力が大きいことを物語っているのではないかと。そして、医療機関がインバウンドを対象としたツーリズム事業に参画する場合に必要な設備投資のハードルは必ずしも大きなものではないと言えるのではないかと。

各医療機関のインバウンド受診件数をみると、倶知安厚生病院にはニセコ町がその診療圏に含まれるという地理的特徴があるが、札幌市の札幌東徳洲会病院も同院と遜色ない受診者数を記録していた。同院は2013年に通訳が常駐する国際医療支援室を開設し、英語、ロシア語、中国語、韓国語、スペイン語など10カ国語で、外国人旅行者の急患はもちろん、治療や健康診断を目的に日本を訪れるメディカルツーリズムにも対応する体制を整えた。このことは、言語対応をはじめとしたソフト面の整備がもたらすインバウンドに対する集患力は地理的条件に匹敵するほど大きいことを示唆しているのではないかと。

ソフト面の整備に関して、インバウンドの受け入れにあたっての課題として、適切な仲介業者の存在との回答があった。郡市医師会へのヒアリング内では他言語対応に加え支払いに関する指摘があり、他の医療機関からの回答でも未収金への言及があった。通訳の確保などの言語面の課題の他に、支払い面に関する課題も重要なポイントであることが示唆され、この点に関しても仲介業者の能力が求められると考えられた。

受診者の受け入れにあたって、宿泊先の手配を行った医療機関が1件存在した。緊急入院に当たっての家族への宿泊先の手配という受動的な理由であったが、手配を行うことができたという事実は大きく、能動的な手配を行うことができる可能性を感じさせるものである。もちろん実際の運用においては、手配業務においても仲介業者へのアウトソーシングが現実的であるが、インバウンドを対象としたケア・ツーリズムにおける医療機関と手配業者との連携の有用性が示唆された。

ケア・ツーリズムに関するセミナー

北海道におけるケア・ツーリズムの啓蒙と旅行支援可能な医療従事者の育成のため、ケア・ツーリズムに関するセミナーを実施しました。

■講師：田邊医師

<1回目>

■2023年10月29日(日)／リアル開催(会場：TKP札幌カンファレンスセンター)
参加者25名+障がい当事者・ご家族2組5名

<2回目>

■2024年2月21日(水)／オンライン開催
参加者20名

<3回目>

■2024年2月23日(金)／オンライン開催
参加者20名



■広告換算費

講師&アシスタント費	@250,000円×3式=750,000円 ※弊社内規数字
告知費	@100,000円×3式=300,000円 ※弊社内規数字
会場運営費	150,000円 ※弊社内規数字
オンライン配信費	200,000円 ※弊社内規数字
	合計 1,400,000円

「リハビリテーション・ツーリズム」研修への受入

**北海道におけるケア・ツーリズムの啓蒙と旅行支援可能な医療従事者の育成のため、
「リハビリテーション・ツーリズム」研修を実施しました。**

看護師、理学療法士、作業療法士などの医療従事者を対象として、身体に障がいがある人への旅行支援能力を養う「リハビリテーション・ケアツーリズム」研修への受入を実施。本研修は、実際の障がい当事者をモデルとして、すべて実習形式で行いました。大浴場での入浴や雑踏の観光地での買い物や雪道での介助など、障がい当事者と実際に旅行する中で研鑽を積むという、徹底してリアルを追及した高度実践的な研修内容となっております。

■講師:田邊望 医師

<1回目>

■10月29日(日)

作業療法士1名を対象に、ウポポイをはじめとした白老町での介助研修

<2回目>

■11月26日(日)

理学療法士1名、作業療法士1名を対象に、定山溪温泉での介助研修

<3回目>

■11月27日(月)

理学療法士1名、作業療法士1名を対象に、札幌中心部の観光地での介助研修



■広告換算費

講師&アシスタント費	@350,000円×3式=1,050,000円 ※弊社内規数字
研修運営費	@200,000円×3式=600,000円 ※弊社内規数字
合計 1,650,000円	

現物協賛の広告換算費

内容		単価	数量	合計
セミナー	講師	200,000円	3式	600,000円
	アシスタント	50,000円	3式	150,000円
	告知（ツール制作・告知）	100,000円	3式	300,000円
	会場運営費	150,000円	1式	150,000円
	オンライン配信費	100,000円	2式	200,000円
研修	講師	300,000円	3式	900,000円
	アシスタント	50,000円	3式	150,000円
	研修運営費	200,000円	3式	600,000円
合計金額				3,050,000円

総括

● ウェルネスケア・ツーリズムについて

道外からの誘客を考えた場合、必然的に2泊3日以上の旅程を想定することになる。その場合、重要になるのは、松花堂弁当的なウェルネスコンテンツの豊富さは必要なく、むしろ一点突破的であることと考える。WEB、そしてSNSを背景に価値観の多様化が進行し続ける現代において、健康に対する価値観も多様化している。個々人が深掘りした価値観への対応として、掘りの浅いコンテンツを数多く取り揃えることは無力であろう。深掘りしたところ でつながる価値観が強固な顧客を生む。それはウェルネスという、個々人にとって無二な存在である「健康」をテーマにした商品であればなおさらである。自らの健康に対する価値観を表現するために必要不可欠な存在となることで、もっと健康にという健康欲求を満たすためのハードリピートを実現できる。

● ヘルスケア・ツーリズムについて

健診を中心とした場合、健診に加えて、ウェルネスケア・ツーリズムのコンテンツを加えることでヘルス・ケアツーリズムとしての付加価値を増大できるのではないか。健診という現状把握のみならず、「もっと健康に」という健康増進の端緒まで得ることのできるヘルス・ケアツーリズムは先進的であり、北海道の無二の自然環境を生かしたウェルネスコンテンツとの組み合わせで他地域との差別化が一層顕著となる。

健診を目的としたヘルス・ケアツーリズムの場合、同じ診断機器があれば診断能力に差はないと言っても過言ではない。故に、差をつけることができるのはツーリズムの部分になる。そこでキーとなるのがコンシェルジュ機能である。高付加価値化を望む場合、オーダーメイド対応が求められるが、同機能を持てば、宿泊や飲食は自前の施設を持つ必要はなく、院外のコンテンツを利用でき、ツーリズム価値を大いに増すことができる。地元観光企業との多職種連携によりコンシェルジュ機能をアウトソーシングすることで、医療機関は軽負担で高付加価値のヘルスケア・ツーリズムに参画が可能となると考える。

総括

● リハビリテーションケア・ツーリズム、レスパイトケア・ツーリズムについて

国土交通省観光庁が2023年に行った「ユニバーサルツーリズムに関する調査」によると、ユニバーサルツーリズム全体(外出に何らかの不自由がある高齢者+障がい者)の潜在的市場規模は、4195.6万人/年で、現在の市場規模の2955.9万人/年との差は、1239.7万人/年であり、潜在市場規模が実現した場合、国内旅行消費額が8881億円/年増加することになる。これは、コロナ禍前の2019年を基準とすると日本人の国内旅行消費額を約3.9%押し上げることとなる。

国内の旅行先として随一の魅力を誇る北海道が、この潜在市場実現の先頭を走ることは、持てる者の責任と言っても過言ではないほど、実現可能性が高いと考える。

潜在市場実現にあたってのハードルは、もちろん「バリアフリー」にあることに異論はない。しかし、問題はその越え方にある。障がいは無限のパターンをとる。故に、ハードのバリアフリーだけでは原理的にバリアをフリーにすることはできない。そこで必要不可欠であるのが、人による介助である。特に、介助技術と障がいへの理解を日々発揮している医療専門職が介助に当たることで、最も「バリアフリー」に近い状態を作り出せる。特に、旅行先、現地の医療専門職がアテンドすることで、利用者に対してのコストを抑えつつ安心安全、そして楽しみも増すことのできる、三方良しを実現できる。また、現地の医療専門職のアテンドは、道外からのツーリズムのみならず、道内から道内へのツーリズム、地域内でのマイクロツーリズムにも適用でき、潜在市場の実現を加速することにつながる。

ただし、ここで重要となるのが、多職種連携である。医療専門職は、旅行中の介助になるべく集中し、そして、障がい当事者と共に旅を楽しむだけの余裕を持てることが求められる。そのためには、障がいや疾患に関する事前の情報聴取など医療専門職としてのエフォートが必要不可欠である。故に、旅程の設計や管理に関して、旅行専門職との協同が不可欠となる。宿泊施設・運輸機関・従来の観光素材を一元的に把握、選択、調整できる旅行専門職とより良く協同することが、医療専門職×「宿泊施設・運輸機関・従来の観光素材」によるリハビリテーションケア・ツーリズム、レスパイトケア・ツーリズムの社会実装における一丁目一番地である。

総括

● インバウンドを対象としたケア・ツーリズムについて

インバウンドに関しては、ケア・ツーリズムの4形態の中でまずどれを攻めるのか、その選択が重要ではないか。ヘルスケアは、医師会が医療ツーリズムに対して反対のスタンスをとる中では、受け入れに積極的な医療機関に対しての選択と集中方式で実績を重ねていく以外に手はないであろう。レスパイトケアは対象者背景から滞在中の医療リスクが高くならざるを得ず、言語や支払い面に加え、事前準備のハードルが高いことから、第一選択にはなりえない。

すると、攻めるべきはウェルネスケアとリハビリテーションケアとなる。この2つのケア・ツーリズムは、医療機関の直接参画がなくても実施可能であり、開始に当たってのハードルがその他2つに比べて低いと言える。さらに、リハビリテーションケアに関しては、現地における医療職を安定確保できれば、中長期滞在型のケア・ツーリズムを実現できる可能性があり、その市場規模に期待できると考えられる。

なお、インバウンドへのケア・ツーリズムでは、4形態いずれにおいても言語対応はもちろん、未収金への対応など、仲介企業の能力がキーになる。